

NazcaView 操作説明書（全体）

Users Manual

Version 5.1.0.4

株式会社アストロステージ
東京都千代田区神田司町 2-8-1
PMO 神田司町 5F
TEL : 03-5289-7740

目次

1. 概要	5
2. 基本画面	5
3. 機能一覧	6
3.1 ファイル	6
3.2 操作	6
3.3 表示処理	8
3.4 計測・描画	9
3.5 レイアウト	13
3.5.1 シリーズレイアウト	13
3.5.2 イメージレイアウト	14
3.5.3 レイアウトセット	14
3.6 設定	16
3.7 拡張ウィンドウ	17
3.7.1 シネモード	17
3.7.2 フュージョン	18
3.7.3 レンダリング	19
3.7.4 超音波計測	20
3.7.5 循環器計測	21
3.7.6 脂肪抽出	22
3.7.7 マンモグラフィ	23
3.7.8 整形テンプレート	24
3.7.9 サブトラクション	24
3.7.10 Computed DWI	25
3.7.11 DICOMRT	25
3.7.12 骨密度計測	25
3.7.13 リウマチ自動判定	25
3.7.14 読影依頼	25
3.7.15 読影結果	25
3.8 他ウィンドウ	26
3.8.1 プリセット	26
3.8.2 カスタムコマンド	26
3.8.3 カスタムビューアコマンド	27
3.8.4 検査一覧	27
3.8.5 サムネイルバー	28
3.8.6 キーボード割り当て一覧	28

4. 基本操作.....	29
4.1 ファイル	29
4.2 操作.....	34
4.3 表示処理	53
4.4 計測・描画.....	69
4.5 レイアウト.....	82
4.5.1 シリーズレイアウト	82
4.5.2 イメージレイアウト	87
4.5.3 レイアウトセット	89
4.6 設定.....	105
4.7 拡張ウィンドウ	106
4.7.1 シネモード	106
4.7.2 レンダリング	110
4.7.3 Computed DWI.....	116
4.7.4 DICOMRT.....	120
4.7.5 リウマチ自動判定	128
4.7.6 読影依頼.....	133
4.7.7 読影結果.....	133
4.8 他ウィンドウ	134
4.8.1 プリセット	134
4.8.2 カスタムコマンド	135
4.8.3 カスタムビューアコマンド	136
4.8.4 検査一覧.....	137
4.8.5 サムネイルバー	137
4.8.6 キーボード割り当て一覧	138
5. 設定（スパナボタン）	140
5.1 [全般・データベース]タブ	140
5.1.1 全般.....	141
5.1.2 データベース	143
5.1.3 検索・ダイレクト検索・[リストをデフォルトに戻す]ボタン	143
5.2 [ビューア]タブ	144
5.2.1 表示設定.....	144
5.2.2 フォント・色	155
5.2.4 カスタムビューアコマンド	157
5.3 [プロファイル]タブ	158
5.3.1 プロファイルおよび初期設定.....	158
5.3.2 レイアウト.....	167

5.3.3	アノテーション情報	184
5.3.4	描画・計測ツール	188
5.3.5	プリセット	189
6.	他機能	190
6.1	ボタンの表示/非表示	190
6.2	カスタマイズ	191
6.2.1	ユーザー設定のダイアログ起動	191
6.2.2	[ツールバー]タブ	192
6.2.3	[コマンド]タブ	193
6.2.4	[キーボード]タブ	194
6.2.5	[オプション]タブ	196
6.2.6	右クリックメニューの編集	196
6.3	検査一覧の設定	197
6.3.1	表示項目の編集	197
6.3.2	絞込と並び替え	198
6.3.3	モダリティ検索のプリセット	200
6.3.4	過去検査一覧と選択画像の連携	201
6.3.5	イメージ読込量による操作制御	203
6.3.6	過去検査一覧からのレポート参照	205
6.4	サムネイル	206
6.4.1	サムネイルサイズ変更	206
6.4.2	サムネイルタブ	207
6.5	アノテーション	209
6.5.1	検査履歴番号の表示	209
6.6	操作	210
6.6.1	シンスライスのマーク表示と削除対象からの解除	210
6.6.2	切取り操作	212
6.6.3	タイムインテンシティカーブ	214
6.6.4	イメージ送りスクロールバー	217

1. 概要

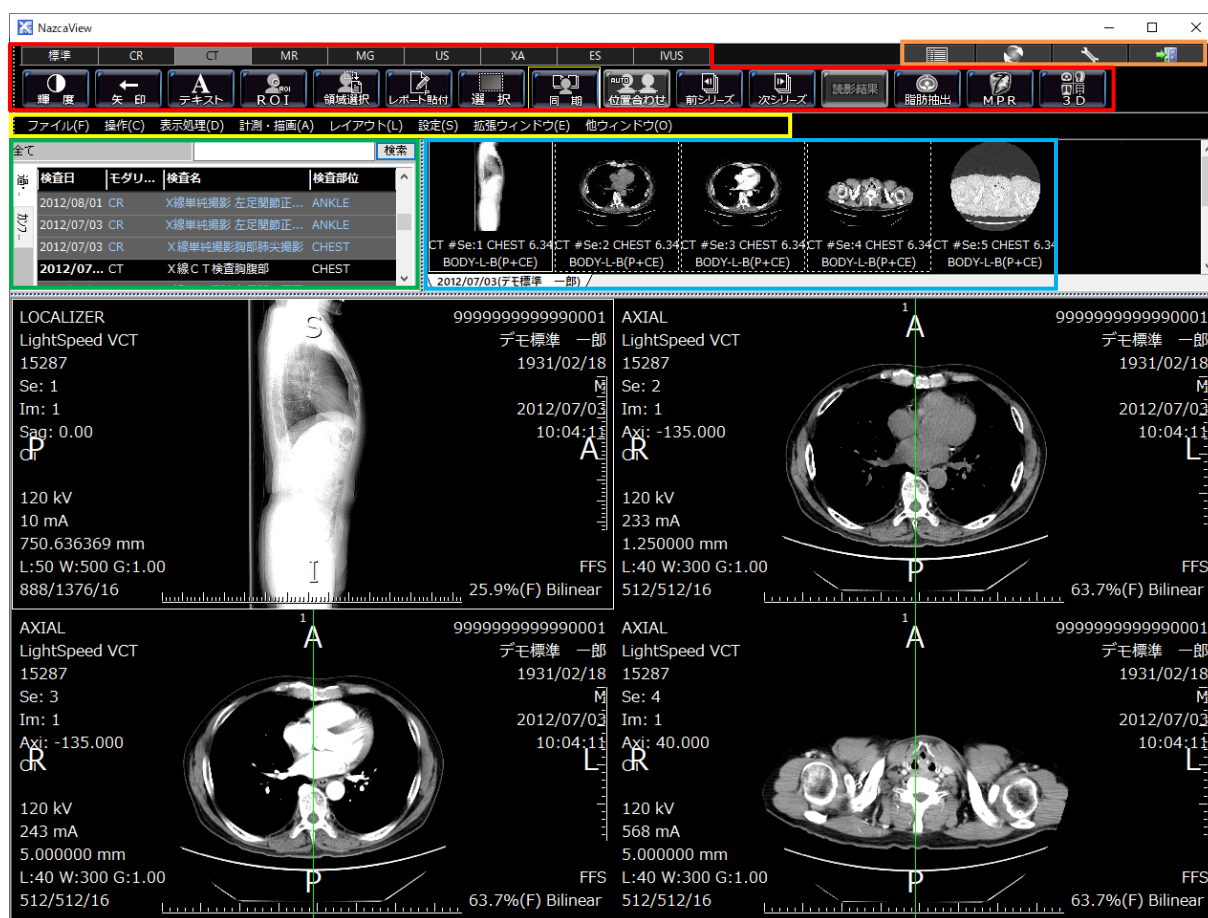
NazcaView アプリケーション(以降、NazcaView と呼ぶ)は、各医用画像装置で撮影した画像を表示するためのマルチモダリティビューワです。

ビューワは、DICOM 形式の医用画像を用いて 2D および 3D 表示や基本的な計測ツールにより解析が可能です。

2. 基本画面

NazcaView の画面構成を以下に図示します。

ビューワ画面



赤枠：ツールバー

橙枠：左から[STELLAROrder 起動]、[初期設定]、[設定]、[閉じる]

黄枠：メニューバー

緑枠：検査一覧

過去検査とカンファレンスの一覧をタブで切り替えて表示。

青枠：サムネイル

3. 機能一覧

3.1 ファイル

NazcaView の操作には、アイコンまたはメニューにより、以下のような機能があります。

機能	アイコン	概要
画像出力		画像を外部に出力します。
CD 読込		CD (DICOMDIR) から画像を読み込みます。
状態保存		現在の状態を保存します。
履歴		履歴から保存時の状態に復元します。
設定の保存		設定を保存します。(前の状態をバックアップ)

3.2 操作

画像に対する操作を行います。

機能	アイコン	概要
シリーズ入替		過去検査サムネイルからドラッグ&ドロップするとシリーズを入れ替えて表示します。
ページ送り		マウス操作により、表示画像を変更して表示します。
輝度		マウス操作により、WW/WL を変えて画像を表示します。
ガンマ		マウス操作により、ガンマを変えて画像を表示します。
拡大		マウス操作により、画像を拡大/縮小表示します。
範囲拡大		マウス操作により、範囲指定した箇所を拡大表示します。
移動		マウス操作により、画像を移動して表示します。
CT 値表示		マウスカーソル位置の画素値を表示します。
ルーペ		マウスカーソルの位置で、部分的に拡大して表示します。
マスクシート		カーソルの範囲以外をマスクします。
ドラッグ&ドロップ		ドラッグ&ドロップ操作でペイントなどの外部アプリに画像を貼り付けます。

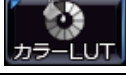
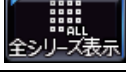
機能	アイコン	概要
全同期		表示している全シリーズを同期表示します。
検査同期		操作しているシリーズと同一検査のシリーズを同期します。
位置合わせ		選択したシリーズを画像処理による位置合わせで、同スライス位置の画像に同期表示します。
同期解除		同期を解除します。
選択		各シリーズをクリックで選択できます。
全選択		表示されている全てのシリーズを選択します。
全選択解除		選択されたシリーズが選択解除されます。
グループ選択 1		選択したシリーズをグループ 1 に分類します。
グループ選択 2		選択したシリーズをグループ 2 に分類します。
グループ選択 3		選択したシリーズをグループ 3 に分類します。
グループ選択 続き	▶	 グループ選択 4 から  グループ選択 10 まで表示
画像コピー		クリップボードに画像データをコピーします。
選択範囲をコピー		マウス操作により、指定した範囲をクリップボードにコピーします。
座標ポイント		座標ポイントを置いた位置に各シリーズが同期します。
領域選択		画像の選択領域をレポートに貼り付けます。
レポート起動		レポートを起動します。
レポートへ貼り付け		画像をレポートに貼り付けます。
カンファレンス登録		対象検査をカンファレンスシステムに登録することができます。
元に戻す		前に行った操作を元に戻します。

機能	アイコン	概要
やり直し		「元に戻す」コマンドで元に戻した操作をやり直します。
更新		データベースの最新情報に更新します。

3.3 表示処理

表示に関する処理を操作します。

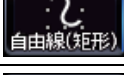
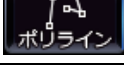
機能	アイコン	概要
スラブ厚表示		スラブ厚（設定したスライス数）の MIP を表示します。
ローカライザビュー		ローカライザビューの有効無効を切り替えます。
リファレンスライン A （キー画像）		キー画像となるリファレンスラインを表示します。
リファレンスライン B （連動）		連動するリファレンスラインを表示します。
FOV		選択している画像にその他の画像のスケールを合わせます。
キーイメージのみ表示		キーイメージのみ表示します。
イメージ順		イメージ順を切り替えます。
反転		画像の明暗を反転して表示します。
実寸表示		実寸大で画像を表示します。
100%（ピクセル等倍）		画像を 100%（ピクセル等倍）表示します。
150%		150%に拡大して表示します。
200%		200%に拡大して表示します。
フィット		表示フレーム枠に合せて表示します。
指定拡大		指定の拡大率で表示します。
任意拡大		任意の拡大率を設定します。
任意回転_移動		マウス操作により、画像の角度変更および平行移動します。

機能	アイコン	概要
任意回転_移動： リセット		任意回転・移動した画像を初期状態に戻します。
任意回転_移動： 保存		任意回転・移動した画像のうち、選択されている画像を保存します。（複数選択可）
90 度回転		画像を右に 90 度回転して表示します。
180 度回転		画像を右に 180 度回転して表示します。
270 度回転		画像を右に 270 度回転して表示します。
左右反転		画像を左右反転して表示します。
上下反転		画像を上下反転して表示します。
補正表示		画像を補正表示します。
フィルタ		シャープ 1～6、スムーズ 1～6、エッジ強調から選択して、画像を表示します。
レベル補正		レベル補正ダイアログで WW/WL、ガンマを変更します。
ヒストグラム		画像のヒストグラムを表示します。横軸に画素値（階調値）、縦軸にその画素数を表示します。
カラーLUT		カラーLUT を選択して表示します。
カーブデータ		DICOM データに心電図の波形データが存在する場合、動画下部に波形を表示します。
iNazca マーカー表示		iNazcaView マーカー表示機能で登録したマーカーをビューワに表示します。
全画面表示		ビューワ画面を全画面表示します。
リセット		初期状態に戻します。

3.4 計測・描画

機能	アイコン	概要
連続使用		計測ツールを連続で使用するモードに切り替えます。
1 回使用		計測ツールを 1 回使用するモードに切り替えます。

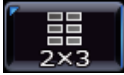
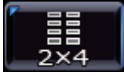
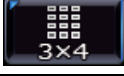
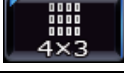
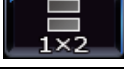
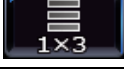
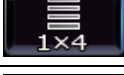
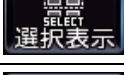
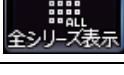
機能	アイコン	概要
保存		図形を保存します。
計測コピー		計測値をコピーします。
計測貼り付け		コピーした計測値を貼り付けます。
計測終了		計測を終了します。
表示／非表示切替		図形の表示／非表示を切り替えます。
キャリブレーション		画像のキャリブレーションを行います。
CTR		CTR 計測を行い、計測値を表示します。
CTR 自動		CTR 計測を行い、計測値を表示します。 画像解析により自動で入力されます。
距離		2 点間の距離を表示します。
距離（中間点）		2 点間の距離およびその中点までの距離を表示します。
自由線計測		画像上に自由線を表示して、距離を計測します。
真円計測		画像上に真円を表示して、距離を計測します。
長短径		長径、短径を表示して、距離を計測します。
ROI		ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。
ポリゴン ROI		ポリゴン ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。
自由線 ROI		自由線で ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。
スタンプ ROI		スタンプ ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。
SUV		PET-CT で ROI 計測を行う場合に SUV 値で計測値を算出します。
SUV MTV		ROI 内の SUV 最大値の関心領域を抽出した領域内の SUV 値で計測値を算出します。
角度		2 つの線分を指定して、そのなす角を計測します。

機能	アイコン	概要
角度（2 線分）	 角度(2線分)	2つの線分を指定して、そのなす角を計測します。
Cobb 角	 Cobb角	Cobb 角を計測します。
FTA	 F T A	FTA を計測します。
中心線	 中心線	画像上の直線を引き、その中点から垂線および垂線とのなす角を表示します。
相対距離	 相対距離	基準線(Base#1) に対し相対距離を求める線([1])を引き、相対距離を表示します。
平行線間距離	 平行間距離	平行な 2 線間の距離を計測します。
平行線間距離比	 平行間距離比	平行な 2 線間距離の比率を計測します。
垂線間距離	 垂直間距離	基準線に対する二つの垂直線間の距離を計測します。
垂線間距離 2	 垂直間距離2	基準線に対する 1、2 本目と 2、3 本目の垂直線間の距離をそれぞれ計測します。
垂線距離	 垂線距離	基準線に対する垂直線の距離を計測します。
対基準線角度	 対基準角	基準線に対する角度を計測します。
対基準線角度・余角	 対基準角余角	対基準線角度測定時、基準線やそれに対する角度・余角を計測します。
CE/Sharp 角	 CE/Sharp角	CE 角、Sharp 角それぞれの角度を計測します。
テキスト	 テキスト	画像上にテキストを表示します。
矢印	 矢 印	画像上に矢印を表示します。
直線	 直 線	画像上に直線を表示します。
長方形	 長方形	画像上に長方形を表示します。
円	 円	画像上に円を表示します。
自由線（矩形編集）	 自由線(矩形)	画像上に自由線を表示します。
ポリライン	 ポリライン	画像上にポリライン線を表示します。

機能	アイコン	概要
ポリゴン		画像上にポリゴン線を表示します。
スタンプ円		画像上に円を表示します。
スタンプ四角		画像上に四角形を表示します。
スタンプ矢印		画像上に矢印を表示します。
削除		選択した計測・描画のオブジェクトを削除します。
全削除		計測・描画のオブジェクトをすべて削除します。

3.5 レイアウト

3.5.1 シリーズレイアウト

機能	アイコン	概要
横 1 × 縦 1 シリーズ		シリーズレイアウトを 1 × 1 に変更します。
横 2 × 縦 1 シリーズ		シリーズレイアウトを 2 × 1 に変更します。
横 2 × 縦 2 シリーズ		シリーズレイアウトを 2 × 2 に変更します。
横 2 × 縦 3 シリーズ		シリーズレイアウトを 2 × 3 に変更します。
横 2 × 縦 4 シリーズ		シリーズレイアウトを 2 × 4 に変更します。
横 3 × 縦 1 シリーズ		シリーズレイアウトを 3 × 1 に変更します。
横 3 × 縦 2 シリーズ		シリーズレイアウトを 3 × 2 に変更します。
横 3 × 縦 3 シリーズ		シリーズレイアウトを 3 × 3 に変更します。
横 3 × 縦 4 シリーズ		シリーズレイアウトを 3 × 4 に変更します。
横 4 × 縦 1 シリーズ		シリーズレイアウトを 4 × 1 に変更します。
横 4 × 縦 2 シリーズ		シリーズレイアウトを 4 × 2 に変更します。
横 4 × 縦 3 シリーズ		シリーズレイアウトを 4 × 3 に変更します。
横 4 × 縦 4 シリーズ		シリーズレイアウトを 4 × 4 に変更します。
横 1 × 縦 2 シリーズ		シリーズレイアウトを 1 × 2 に変更します。
横 1 × 縦 3 シリーズ		シリーズレイアウトを 1 × 3 に変更します。
横 1 × 縦 4 シリーズ		シリーズレイアウトを 1 × 4 に変更します。
カスタムレイアウト シリーズ		シリーズレイアウトを任意のレイアウトに変更します。
選択シリーズ表示		選択したシリーズを表示します。
全シリーズ表示		全てのシリーズを表示します。

3.5.2 イメージレイアウト

機能	アイコン	概要
横 1 × 縦 1 イメージ		タイル表示を 1 × 1 に変更します。
横 2 × 縦 1 イメージ		タイル表示を 2 × 1 に変更します。
横 2 × 縦 2 イメージ		タイル表示を 2 × 2 に変更します。
横 3 × 縦 2 イメージ		タイル表示を 3 × 2 に変更します。
横 3 × 縦 3 イメージ		タイル表示を 3 × 3 に変更します。
横 4 × 縦 4 イメージ		タイル表示を 4 × 4 に変更します。
横 4 × 縦 5 イメージ		タイル表示を 4 × 5 に変更します。
横 1 × 縦 2 イメージ		タイル表示を 1 × 2 に変更します。
カスタムレイアウト イメージ		タイル表示を任意のレイアウトに変更します。

3.5.3 レイアウトセット

(例：モダリティを CT として記載します)

機能	概要
初期表示	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前回	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前 2	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前 3	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前回+前 2	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前回+前 2 + 前 3	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前回 (肺野+縦隔)	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前回+前 2 (肺野+縦隔)	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。
現在+前回 (デモ)	レイアウトセットを選択し、レイアウトを変更します。

機能	アイコン	概要
ROI 計測値表記位置 上レイアウト		ROI の計測値を画像上部に整列表示します。
ROI 計測値表記位置 下レイアウト		ROI の計測値を画像下部に整列表示します。
次のシリーズへ		次のシリーズを表示します。
前のシリーズへ		前のシリーズを表示します。

最初のシリーズへ		最初のシリーズを表示します。
最後のシリーズへ		最後のシリーズを表示します。
次のシリーズページへ		次のシリーズページを表示します。
前のシリーズページへ		前のシリーズページを表示します。
次のシリーズ行へ		次のシリーズ行を表示します。
前のシリーズ行へ		前のシリーズ行を表示します。
次のイメージへ		次のイメージを表示します。
前のイメージへ		前のイメージを表示します。
最初のイメージへ		最初のイメージを表示します。
最後のイメージへ		最後のイメージを表示します。
次のページへ		次のイメージページを表示します。
前のページへ		前のイメージページを表示します。
次の行へ		次のイメージ行を表示します。
前の行へ		前のイメージ行を表示します。
アノテーション		アノテーションの表示／非表示を切り替えます。
DICOM タグ表示		DICOM タグ情報の一覧を表示します。
文字マスク設定		指定範囲をマスク設定します。
文字マスク表示		マスクを表示します。
レイヤを閉じる		画像をレイヤ表示している場合、レイヤウィンドウを閉じます。
シリーズを閉じる		シリーズ単位で画像を閉じます。
検査を閉じる		検査単位で画像を閉じます。

3.6 設定

機能	アイコン	概要
スラブ厚設定		スラブ厚表示のスライス数を設定します。
ループ設定		ループの縮尺や範囲について初期表示の設定ができます。
キャリブレーション設定		キャリブレーションの初期表示の設定ができます。
マスクシート設定		マスクシートの設定をします。
マスクシート選択		マスクシートを選択します。※べた塗り／反転／レインボー／ウィンドウ／フォーカス／帯フォーカス

3.7 拡張ウィンドウ

3.7.1 シネモード

機能	アイコン	概要
単シリーズ再生		単シリーズを繰り返し再生します。
全シリーズ再生		全シリーズを繰り返し再生します。
往復再生モード		単シリーズを往復再生します。
再生		動画再生します。
停止		再生を停止します。
コマ送り		1 コマ送ります。
コマ戻し		1 コマ戻します。
1FPS		再生速度を 1FPS にします。
2FPS		再生速度を 2FPS にします。
3FPS		再生速度を 3FPS にします。
7FPS		再生速度を 7FPS にします。
15FPS		再生速度を 15FPS にします。
30FPS		再生速度を 30FPS にします。
60FPS		再生速度を 60FPS にします。

3.7.2 フュージョン

フュージョンの操作は、【フュージョン機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要	
ドラッグ&ドロップ		フュージョンデータを選択します。	
輝度と透過		フュージョンデータの輝度を変更します。	
移動		フュージョンデータを移動します。	
標準表示		フュージョンデータの表示をリセットします。	
表示（カラーLUT）		フュージョンデータを、カラーLUTを選択して表示します。	HOT IRON
			PET
			Hot Metal Blue
			PET 20
			Rainbow
			HOT IRON Rev
			Rainbow Rev
			HOT IRON (GE)
			RAINBOW (SE)
			Blue
サブトラクション		原画とフュージョンデータをサブトラクションして表示します。	
フュージョンデータを全て削除		フュージョンデータを全て削除します。	

3.7.3 レンダリング

3D の操作詳細は、【3D 機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要
3D を開く		選択しているシリーズの 3D 画面を開きます。
MPR を開く		MPR ビューワを起動します。
3D を閉じる		3D 画面を閉じます。
AXIAL		AXIAL 表示をします。 ※CT、MRI で有効
SAGITTAL		SAGITTAL 表示をします。 ※CT、MRI で有効
CORONAL		CORONAL 表示をします。 ※CT、MRI で有効
MPR 移動量		ページング移動量を調整します。 ※初期値：移動方向のピクセルサイズ
MPR リセット		初期表示（中心断面）に戻します。

3.7.4 超音波計測

超音波計測の操作は、【超音波計測機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要	
編集モード		選択した計測図形を編集します。	
計測終了		計測を終了します。	
B モード		Dist [B]	LVEDV A4C
		Area [B]	LVESV A4C
		IVSd [B]	#Volume A4C
		LVDd [B]	LVEDV A2C
		LVDs [B]	LVESV A2C
		LVPWd [B]	#Volume A2C
		#EF [B]	AVA trace (planimetry)
		#EF (Dd-Ds) [B]	MVA trace (planimetry)
		RVDd [B]	MV Diam 2C
		RVDs [B]	MV Diam 4C
		IVC ins [B]	#LVMI
		IVC ex [B]	PISA Rad
		#IVC [B]	Alias Vel
		LA Diam [B]	%Area
		AO Diam [B]	ECST
		LVOT Diam	NASCET
		RVOT Diam	
M モード		Dist [M]	#EF (Dd-Ds) [M]
		time [M]	IVC ins [M]
		HR [M]	IVC ex [M]
		IVSd [M]	#IVC [M]
		LVDd [M]	LA Diam [M]
		LVDs [M]	AO Diam [M]
		LVPWd[M]	#LVMI [M]
		#EF [M]	

機能	アイコン	概要	
D モード		time [D]	TR PFV
		HR [D]	TV VTI
		PFV [D]	TV PHT
		DCT [D]	AR PHT
		PHT [D]	LV a time
		VTI [D]	LV b time
		MV E Vel	RV a time
		MV A Vel	RV b time
		MV DCT	#tel index
		MV PHT	PV PFV
		MV E' Vel	PV ET
		#MIF	PV ACT
		AV VTI	PV VTI
		MV VTI	MR VTI
		※MV VTI	MR PFV
		LVOT VTI	Flow Trace
		RVOT VTI	
選択削除		選択した計測図形を削除します。	
全削除		フレーム内の全計測図形を削除します。	
保存		計測図形を保存します。	

3.7.5 循環器計測

機能	アイコン	概要
QCA 計測		QCA の計測を行います。 ※【QCA 機能操作マニュアル】をご参照ください
LVA 計測		LVA の計測を行います。 ※【LVA 機能操作マニュアル】をご参照ください
IVUS 計測		IVUS の計測を行います。 ※【IVUS 機能操作マニュアル】をご参照ください

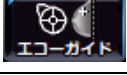
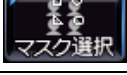
3.7.6 脂肪抽出

脂肪抽出の操作は、【脂肪抽出機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要
自動脂肪抽出		脂肪抽出を行います。
脂肪レポート		脂肪レポートを作成します。
皮下脂肪ペイント		任意で皮下脂肪部分を描画します。
皮下脂肪消しゴム		描画した皮下脂肪部分を削除します。
内臓脂肪ペイント		任意で内臓脂肪部分を描画します。
内臓脂肪消しゴム		描画した内臓脂肪部分を削除します。
脂肪ペイントサイズ		ペイントと消しゴムの描画サイズを選択します。
保存		脂肪抽出した結果を保存します。

3.7.7 マンモグラフィ

マンモグラフィの操作は、【マンモ機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要
マンモモード		マンモモードの ON/OFF を切り替えます。
マンモ反転		マンモ画像を反転します。
胸領域外黒化処理		画像処理で胸領域の輪郭を抽出し、胸領域外を黒でマスクします。
シンメトリック ルーペモード		ルーペをシンメトリックで表示します。
シンメトリック マスクモード		マスクをシンメトリックで表示します。
自動ニップル 位置合わせ		自動ニップルトップ位置合わせをします。
自動ヒストグラム 位置合わせ		自動ヒストグラム位置合わせをします。
位置合わせ解除		位置合わせを解除します。
2 分割 (MLO)		MLO 条件に該当する画像を表示します。
2 分割 (CC)		CC 条件に該当する画像を表示します。
4 分割 (MLO+CC)		MLO 条件に該当する画像と CC 条件に該当する画像を横並びに表示します。
4 分割 (MLO+CC)		MLO 条件に該当する画像と CC 条件に該当する画像を縦並びに表示します。
マンモマーカ表示		DICOM SR のマーカ表示
マンモエコーガイド		MLO、CC それぞれの画像で指示した関心領域の位置を、シェーマ図上に直線を表示します。
ルーペ設定		ルーペの縮尺や範囲について初期表示の設定ができます。
マスクシート選択		マスクシートを選択します。べた塗り、反転、レインボー、ウィンドウ、フォーカス、帯フォーカスから選択します。
マスクシート設定		マスクシートの設定をします。
2 on 1 プリント		2 on 1 でプリントします。

3.7.8 整形テンプレート

整形テンプレートの操作は、【整形テンプレート機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要
キャリブレーション		画像のキャリブレーションを行います。
テンプレートを開く		整形テンプレート選択ダイアログを起動して、表示するデータを選択します。
レイヤ設定		整形テンプレートのレイヤ設定(表示/非表示)をします。
切り取り操作		画像の任意範囲を切り取り、マウスドラッグ操作で移動します。主に、骨部分を切り取り移動することに使用します。
移動		整形テンプレートを移動します。
回転		整形テンプレートを回転します。
反転		整形テンプレートを反転します。
削除		整形テンプレートを削除します。
元に戻す		前に行った操作を元に戻します。
やり直し		「元に戻す」コマンドで元に戻した操作をやり直します。
保存		整形テンプレートを保存します。

3.7.9 サブトラクション

サブトラクションの操作は、【サブトラクション機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要
なし		サブトラクションを解除します。
1 フレーム		1 フレーム目を基にサブトラクションします。
2 フレーム		2 フレーム目を基にサブトラクションします。
3 フレーム		3 フレーム目を基にサブトラクションします。
アクティブフレーム		現在表示しているフレームを基にサブトラクションします。

3.7.10 Computed DWI

機能	アイコン	概要
Computed DWI		Computed DWI のパラメータ調整用のダイアログを起動します。

3.7.11 DICOMRT

機能	アイコン	概要
DICOMRT		DICOMRT のダイアログを表示します。

3.7.12 骨密度計測

骨密度計測の操作は、【骨密度計測機能操作マニュアル】をご参照ください。

機能	アイコン	概要
骨密度測定		骨密度計測のダイアログを起動します。

3.7.13 リウマチ自動判定

機能	アイコン	概要
リウマチ自動判定		リウマチ画像診断支援（HandRA）のダイアログを起動します。

3.7.14 読影依頼

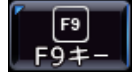
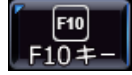
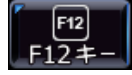
機能	アイコン	概要
読影依頼		ビューワ表示している検査を読影依頼することができます。

3.7.15 読影結果

機能	アイコン	概要
読影結果		読影依頼した検査の読影結果が返ってきている場合、レポート画面を起動して読影結果を確認できます。

3.8 他ウィンドウ

3.8.1 プリセット

機能	アイコン	概要
F1 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F2 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F3 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F4 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F5 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F6 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F7 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F8 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。
F9 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。F9 キーを使用するには担当にて設定が必要です。
F10 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。F10 キーを使用するには担当にて設定が必要です。
F11 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。F11 キーを使用するには担当にて設定が必要です。
F12 キー		プリセット（WL、WW、ガンマ、トーンカーブ）を適用します。F12 キーを使用するには担当にて設定が必要です。

3.8.2 カスタムコマンド

機能	アイコン	概要
カスタムコマンド1		カスタムコマンド1を実行します。
カスタムコマンド2		カスタムコマンド2を実行します。
カスタムコマンド3		カスタムコマンド3を実行します。
カスタムコマンド4		カスタムコマンド4を実行します。

機能	アイコン	概要
カスタムコマンド5		カスタムコマンド5を実行します。
カスタムコマンド6		カスタムコマンド6を実行します。
カスタムコマンド7		カスタムコマンド7を実行します。
カスタムコマンド8		カスタムコマンド8を実行します。
カスタムコマンド9		カスタムコマンド9を実行します。

3.8.3 カスタムビューアコマンド

機能	アイコン	概要
カスタムビューアコマンド1		カスタムビューアコマンド1を実行します。
カスタムビューアコマンド2		カスタムビューアコマンド2を実行します。
カスタムビューアコマンド3		カスタムビューアコマンド3を実行します。
カスタムビューアコマンド4		カスタムビューアコマンド4を実行します。
カスタムビューアコマンド5		カスタムビューアコマンド5を実行します。
カスタムビューアコマンド6		カスタムビューアコマンド6を実行します。
カスタムビューアコマンド7		カスタムビューアコマンド7を実行します。
カスタムビューアコマンド8		カスタムビューアコマンド8を実行します。
カスタムビューアコマンド9		カスタムビューアコマンド9を実行します。

3.8.4 検査一覧

機能	アイコン	概要
検査一覧		検査一覧の表示／非表示を切り替えます。

3.8.5 サムネイルバー

機能	アイコン	概要
サムネイルバー		サムネイルバーの表示／非表示を切り替えます。

3.8.6 キーボード割り当て一覧

機能	アイコン	概要
キーボード 割り当て一覧		画面左側にキーボード割り当て一覧を表示します。

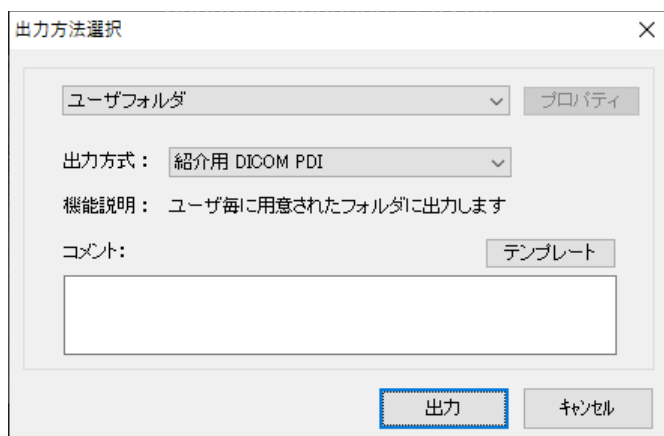
4. 基本操作

4.1 ファイル

機能一覧に従って、各カテゴリの基本的な操作を説明します。

画像出力

画像を外部に出力します。

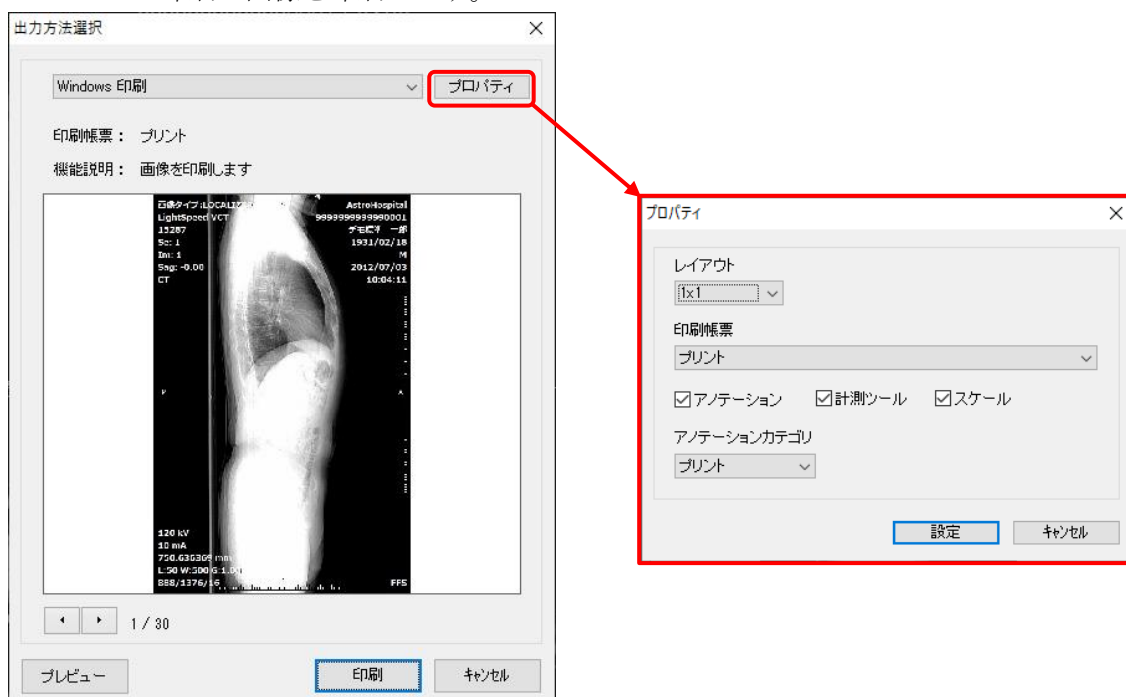


出力方法選択：

- ・ローカル出力：指定したフォルダに出力します。
出力先：指定先フォルダ（初期フォルダは C:¥Users¥ユーザ名¥Documents¥）
フォルダ名：西暦年_月日_時分秒：（例）2020_0812_145117
- ・ユーザフォルダ：ユーザ毎のフォルダに出力します。（Antlia 起動）
コメント：フリー入力、もしくは[テンプレート]ボタンから STELLARTemplate を起動し、コメントを作成
- ・ローカル CD 書き込み：ローカルの CD に出力します。（MediaWriter 起動）
- ・サーバーCD 書き込み：デュプリケータで CD に出力します。（CD Transfer 起動）

出力方式には、紹介用 DICOM PDI、紹介用 JPEG 出力、個人用 DICOM PDI（匿名）紹介用 JPEG 出力、個人用 DICOM PDI（匿名）シンスライス、シンスライス除外等があり、STManagerMasterMainte より設定が可能です。詳細は弊社担当にお問い合わせください。

- ・ Windows 印刷：画像を印刷します。



プロパティ：レイアウト、印刷帳票、アノテーション・計測ツール・スケールの有無、アノテーションカテゴリの変更が行えます。

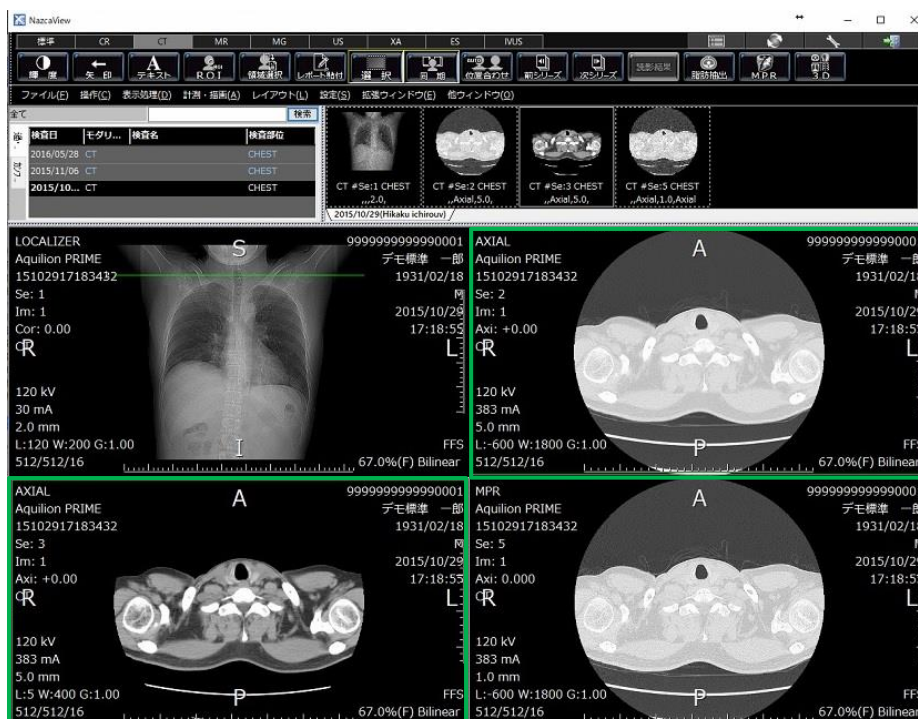
※プロパティの設定値は端末単位で記憶しているため毎回変更は不要です。



ワンポイント

複数画像を選択した場合も、印刷レポート連携に対応しています。

複数画像を選択し、画像出力をします。



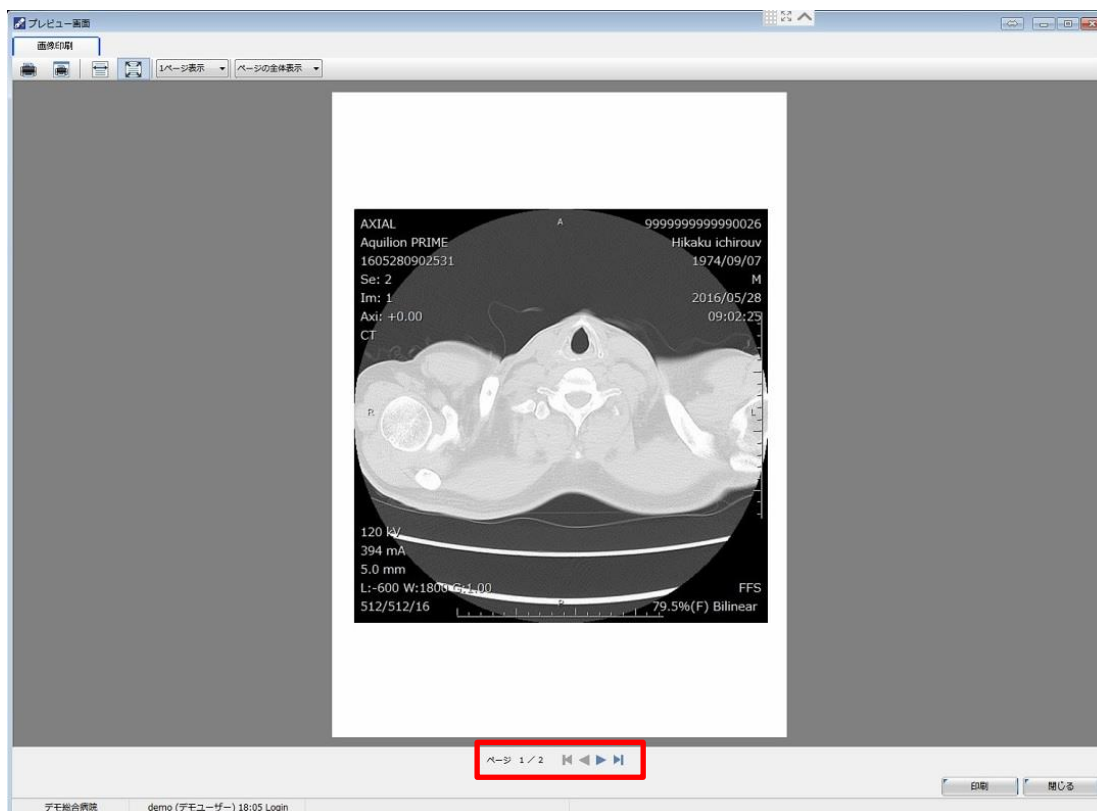
「Windows 印刷」を選択し、[プロパティ]ボタンからプロパティを開きます。



印刷帳票を「プリント」から「画像印刷」に変更します。



印刷レポート連携でも複数ページ表示されています。

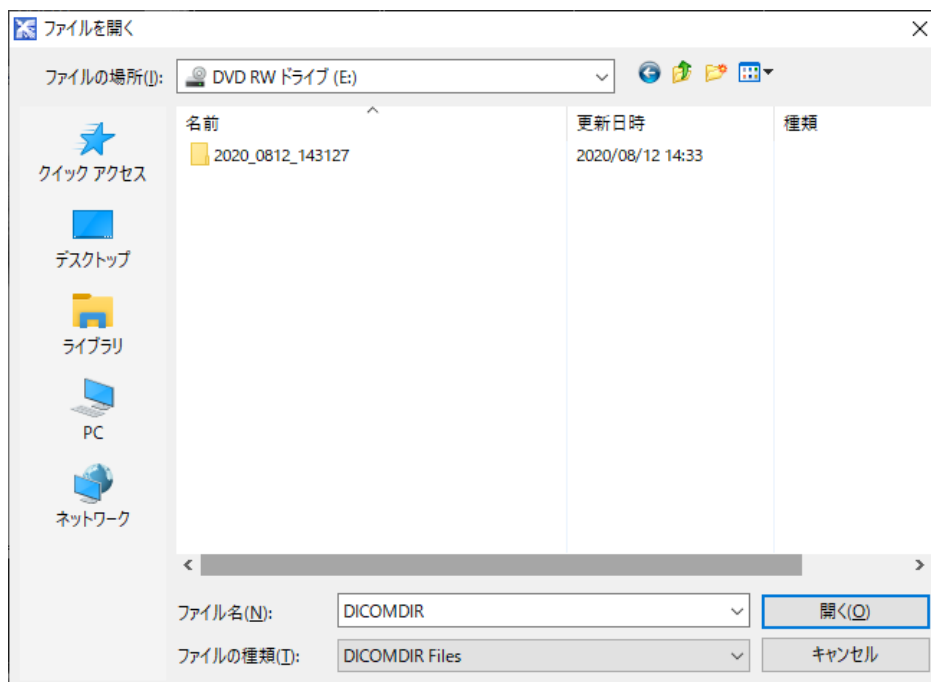


・DICOM印刷：画像をフィルムに印刷します。



プロパティ：レイアウト、送信先、フィルムサイズ、方向、拡大タイプ、画像ビット数、アノテーションの有無の変更が行えます。

CD 読込



CD (DICOMDIR) から画像を読み込みます。

状態保存

現在の状態を保存します。

履歴

履歴から保存時の状態に復元します。



[復元]ボタン：保存時の状態に戻します。

[削除]ボタン：状態保存のデータを削除します。

・設定の保存

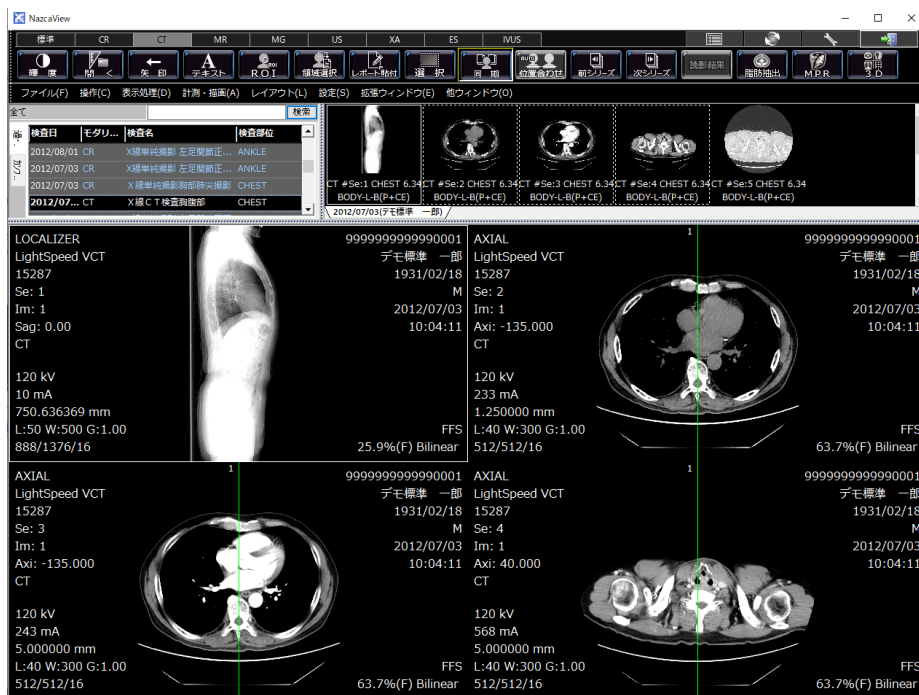
設定を保存します。(前の状態をバックアップします)

4.2 操作

機能一覧に従って、各カテゴリの基本的な操作を説明します。

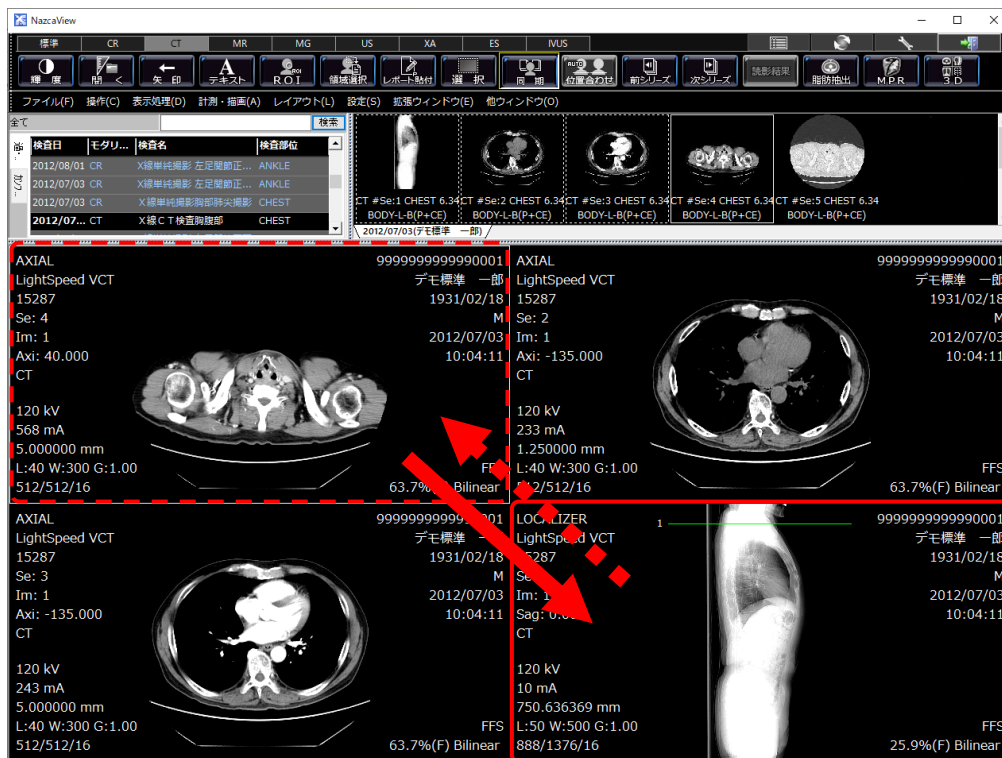
シリーズ入替

表示画面でシリーズ同士をドラッグ&ドロップすると、シリーズを入れ替えて表示します。



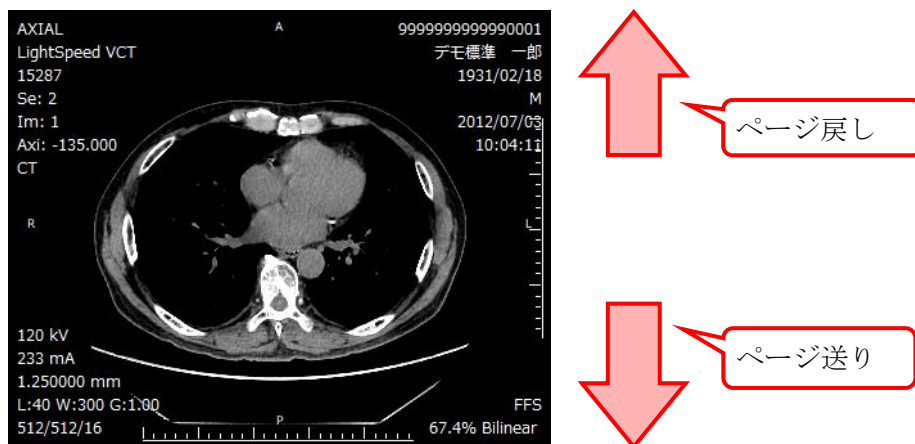
(元図)

(例) 表示画面からドラッグ&ドロップした場合



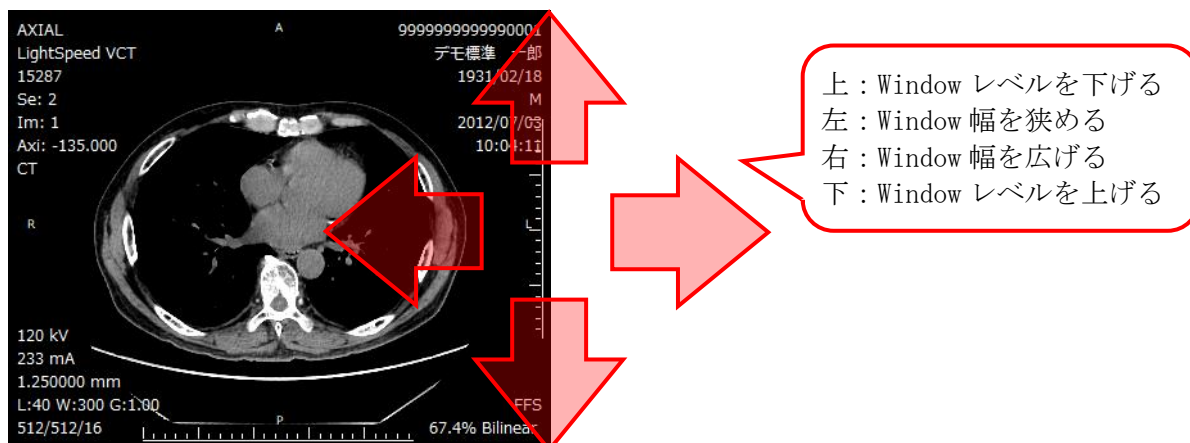
ページ送り

マウスを下方方向にドラッグするとページが送られ、上方方向にドラッグするとページが戻ります。



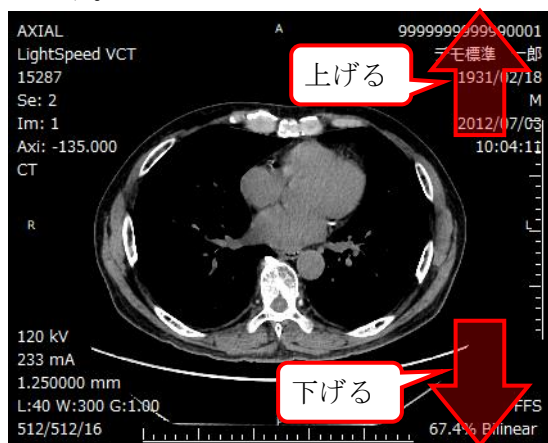
輝度

マウス操作により、WW/WL を変えて画像を表示します。



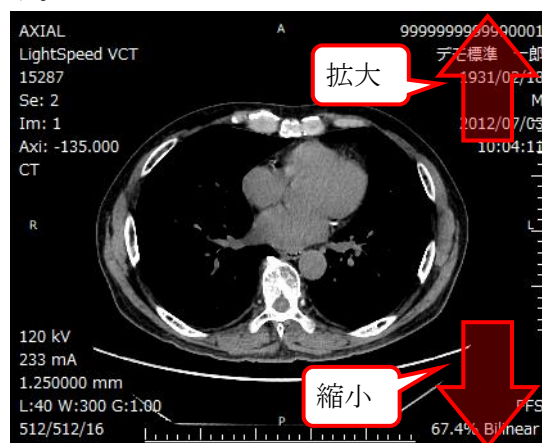
ガンマ

マウス操作により、ガンマを変えて画像を表示します。



拡大

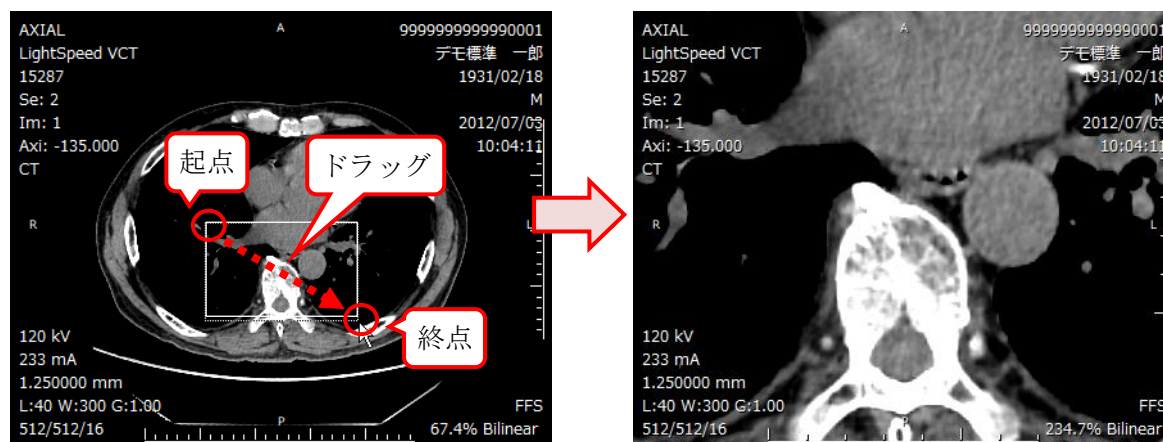
マウス操作により、画像を拡大/縮小表示します。



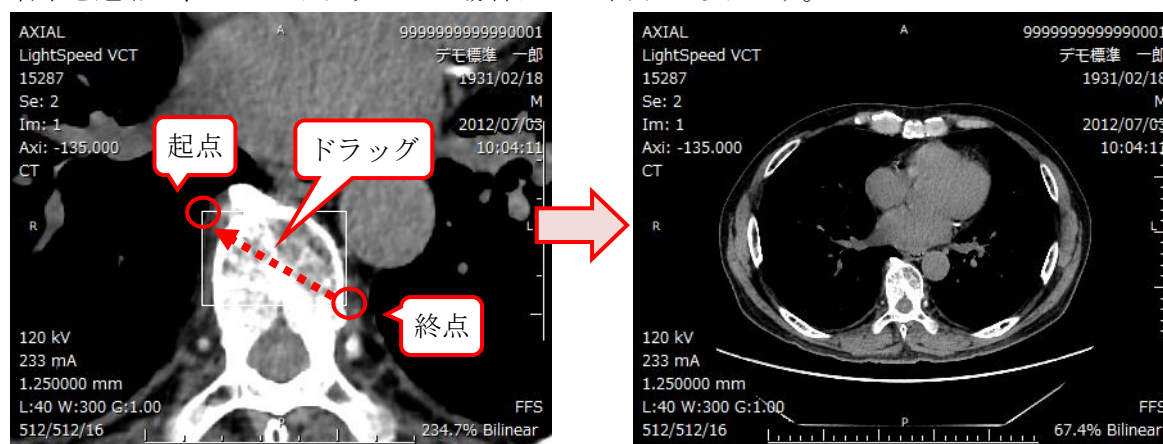
範囲拡大

マウス操作により、指定した箇所を拡大表示します。

左上を起点に、右下にドラッグした場合は指定範囲が拡大表示します。

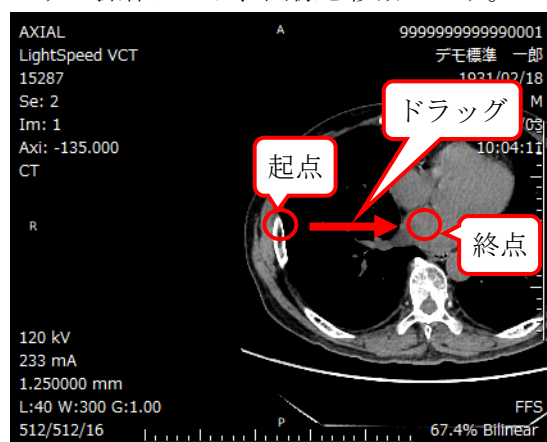


右下を起点に、左上にドラッグした場合は FIT 表示となります。



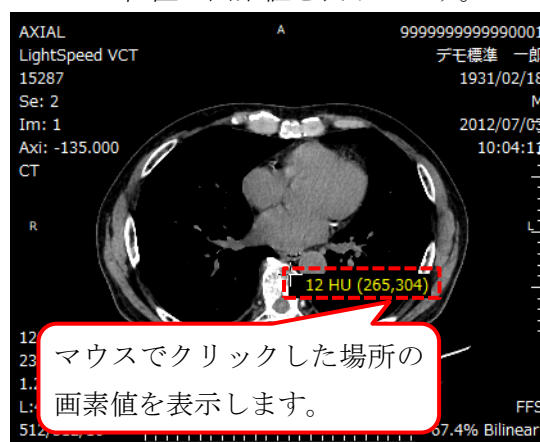
移動

マウス操作により、画像を移動します。



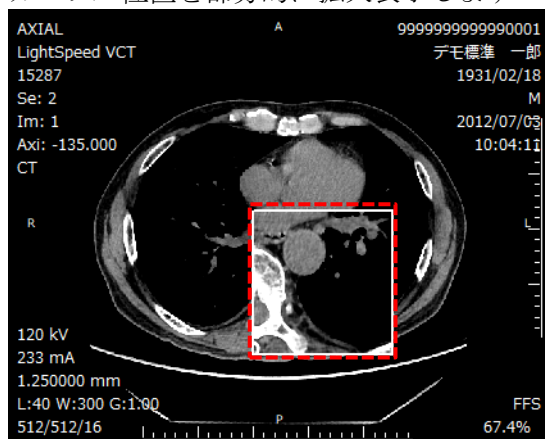
CT 値表示

カーソル位置の画素値を表示します。



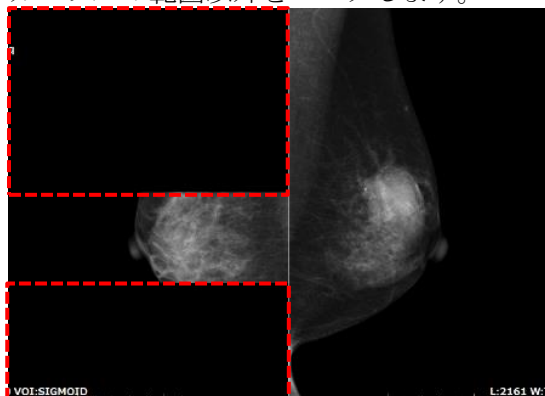
ルーペ

カーソル位置を部分的に拡大表示します



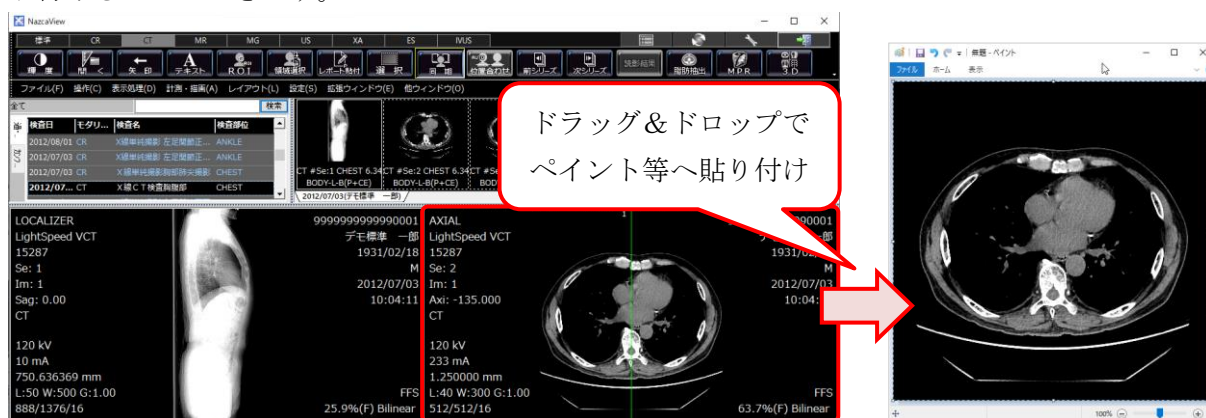
マスクシート

カーソルの範囲以外をマスクします。



ドラッグ&ドロップ (レ点)

チェックを入れることにより、ドラッグ&ドロップ操作でペイントなどの外部アプリに画像を貼り付けすることができます。



全同期

表示している全シリーズを同期表示します（過去検査含む）。同期方法は設定により異なります。

<設定方法>

ビューワ画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[プロファイル]タブ>同期カテゴリ内の「スライス位置」で「画像順」「スライスロケーション」「イメージポジション」「スライスロケーション (Axial のみ)」から選択します。

例は「スライスロケーション」の場合



同期（検査同期）

操作しているシリーズと同一検査のシリーズを同期します。



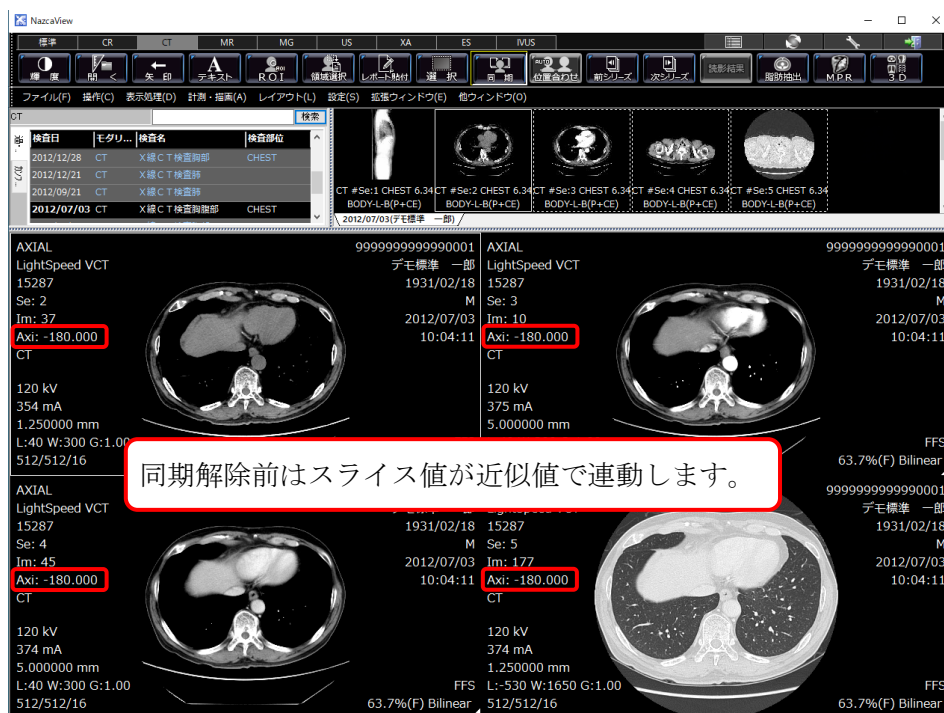
位置合わせ

選択したシリーズを画像処理による位置合わせで、同一スライス位置の画像に同期表示します

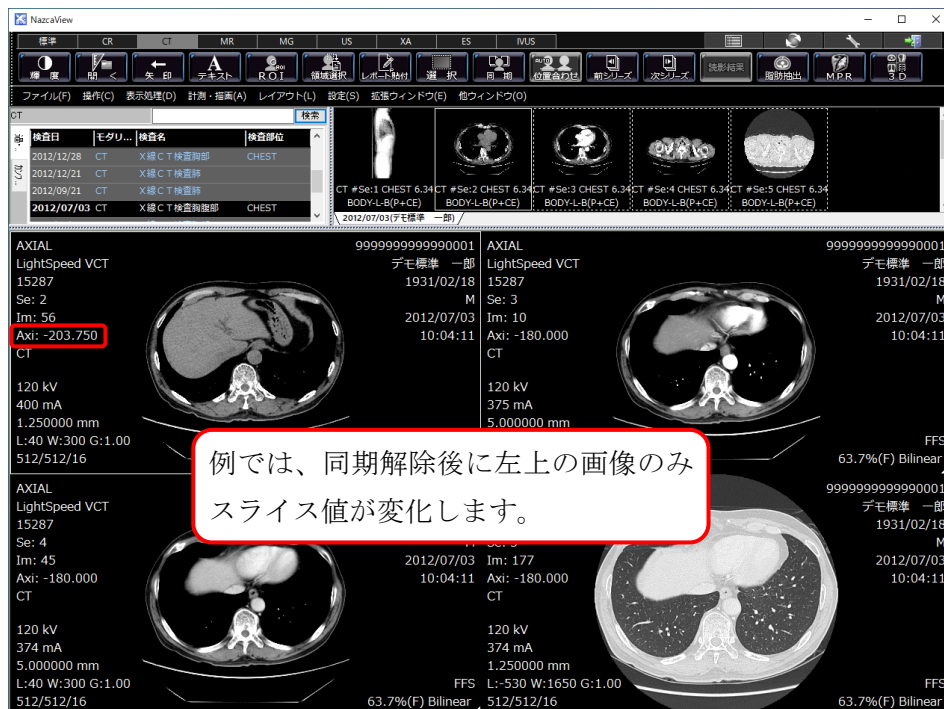


同期解除

全同期または検査同期では、連動した状態で画像が動きます。

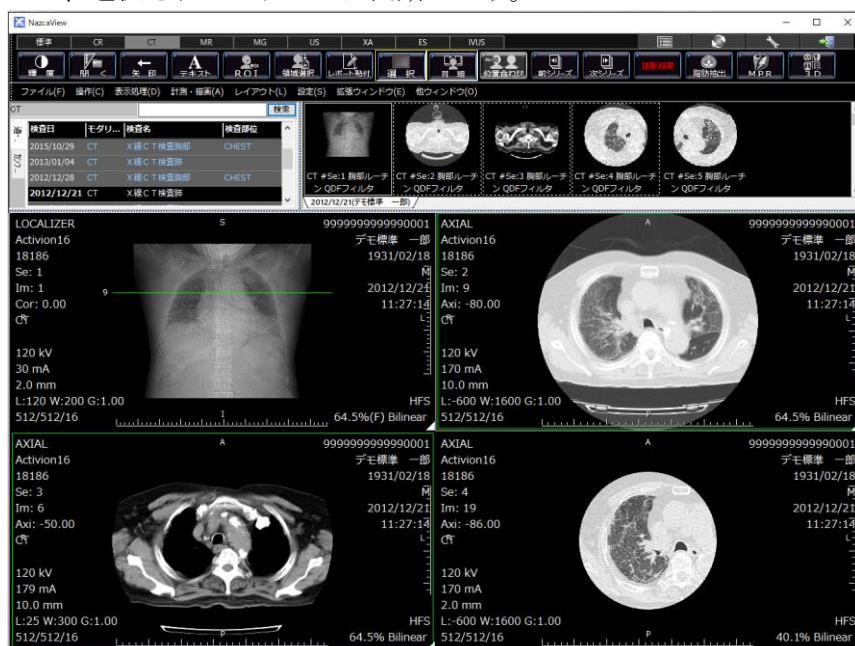


同期解除することにより、それぞれの画像で動かすことができます。



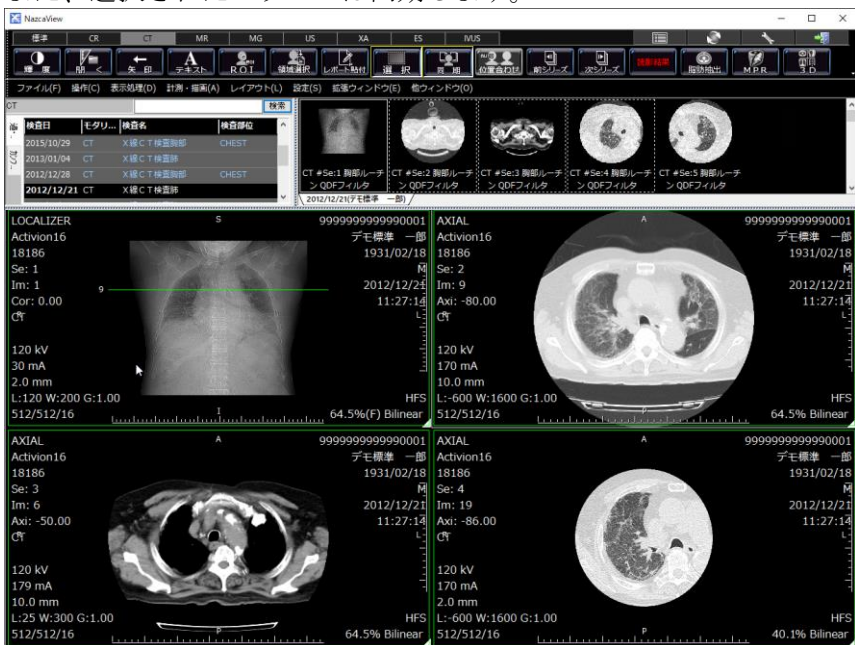
選択

各シリーズをクリックで選択できます（選択されたシリーズは緑枠で表示されます）。また、選択されたシリーズは同期します。



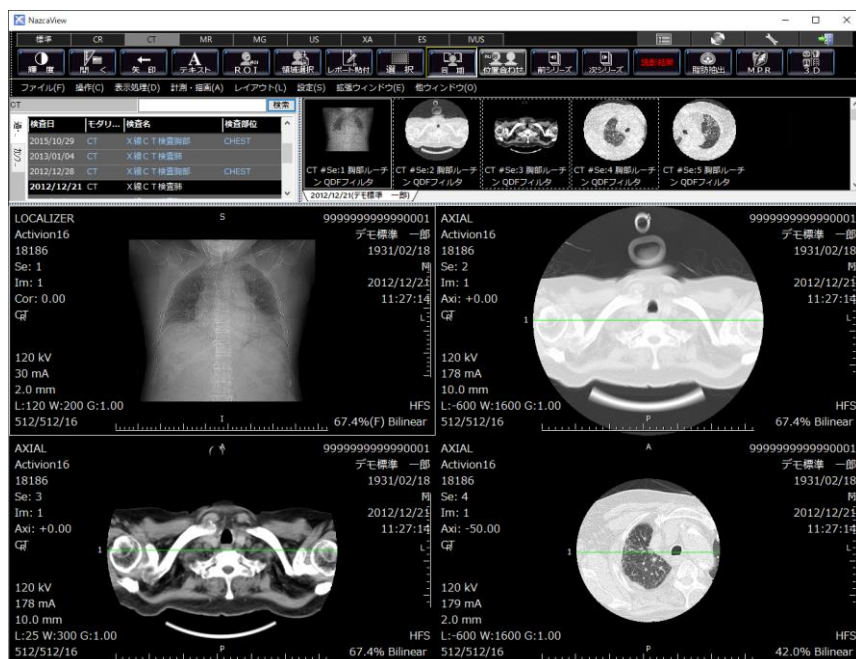
全選択

表示されている全てのシリーズを選択します（選択されたシリーズは緑枠で表示されます）。また、選択されたシリーズは同期します。



全選択解除

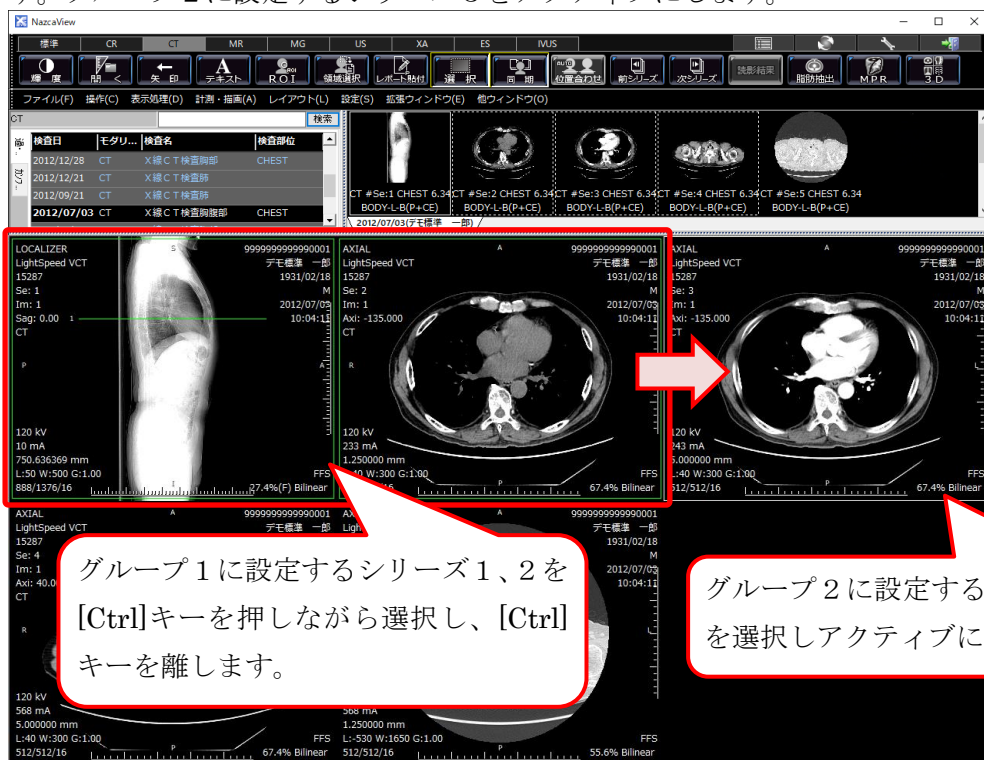
選択された状態のシリーズの選択が解除されます。(同期は解除されません)



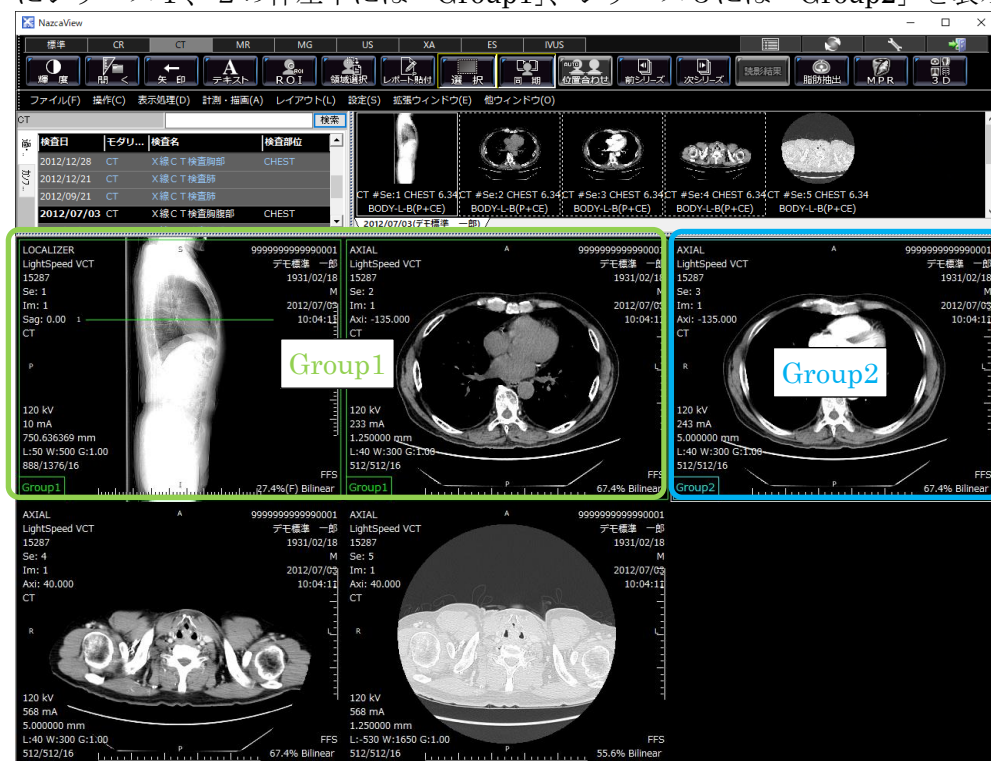
グループ選択 1～3・グループ選択 続き▶グループ選択 1～10

[Ctrl]キーを押しながら画像をクリックするとシリーズを選択できますが、操作により、選択のグループを分けることができます。最大 10 個のグループまで作成できます。

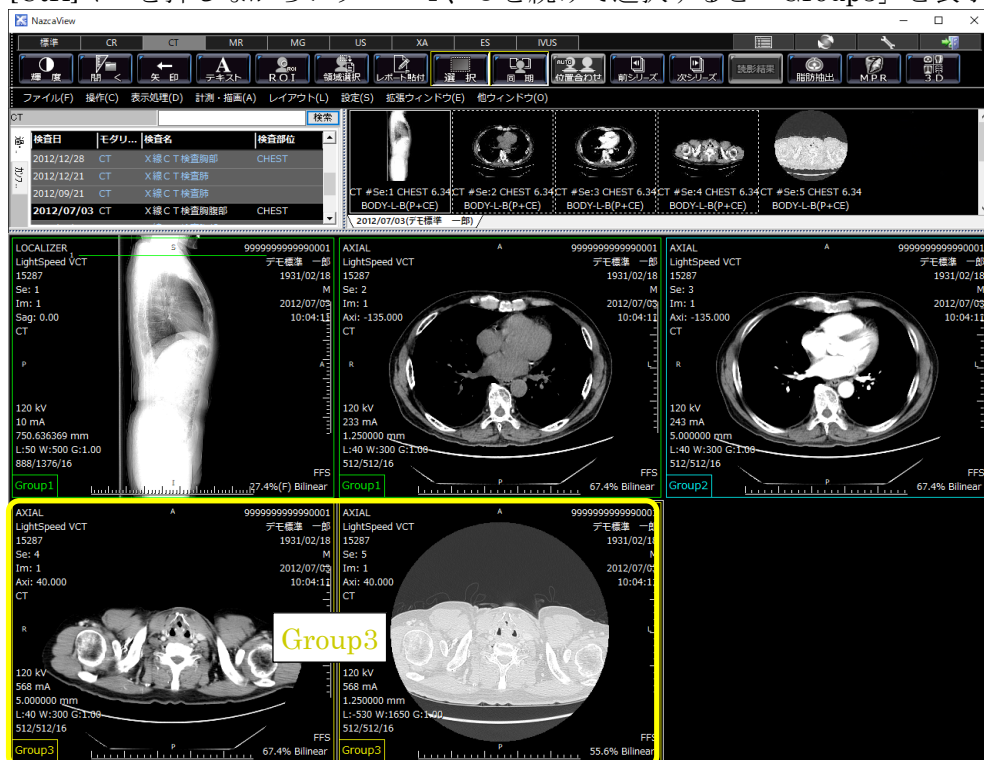
まずは、グループ 1 に設定するシリーズを[Ctrl]キーを押しながら選択し、[Ctrl]キーを離します。ここではシリーズ 1、2 を選択します。続いて、グループを分けたいシリーズをアクティブにします。グループ 2 に設定するシリーズ 3 をアクティブにします。



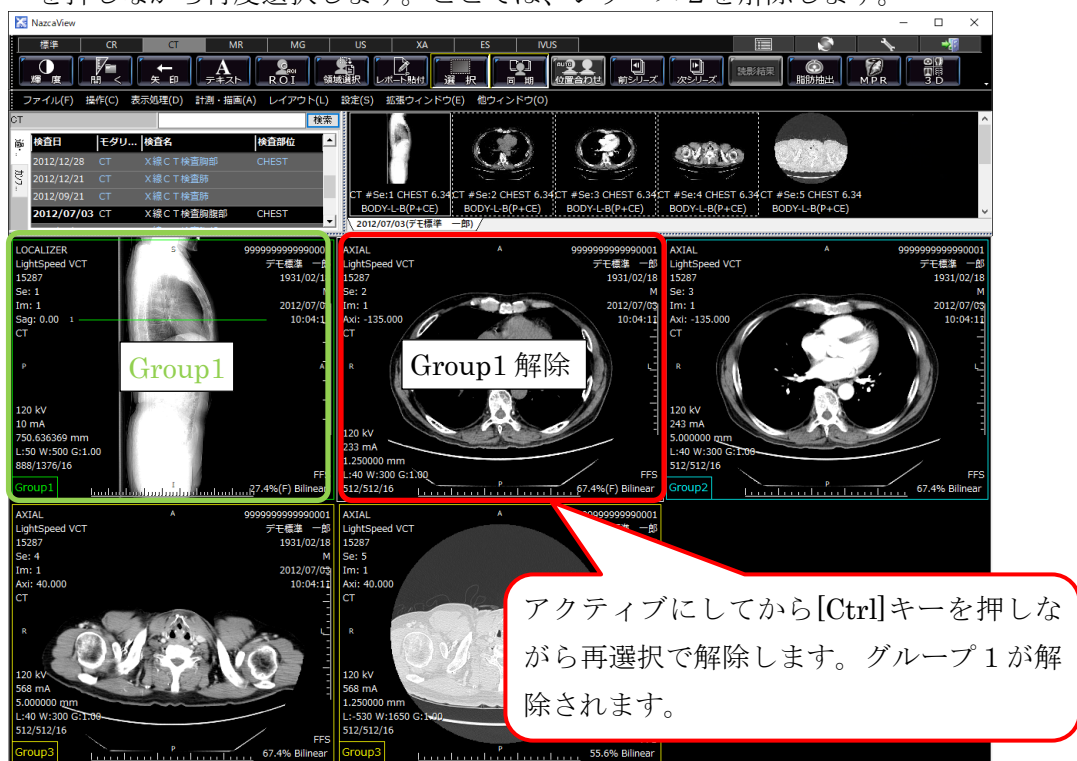
シリーズ 3 を[Ctrl]キーを押しながら再度選択すると、新しくグループ 2 に設定されます。その際にシリーズ 1、2 の枠左下には「Group1」、シリーズ 3 には「Group2」と表示されます。



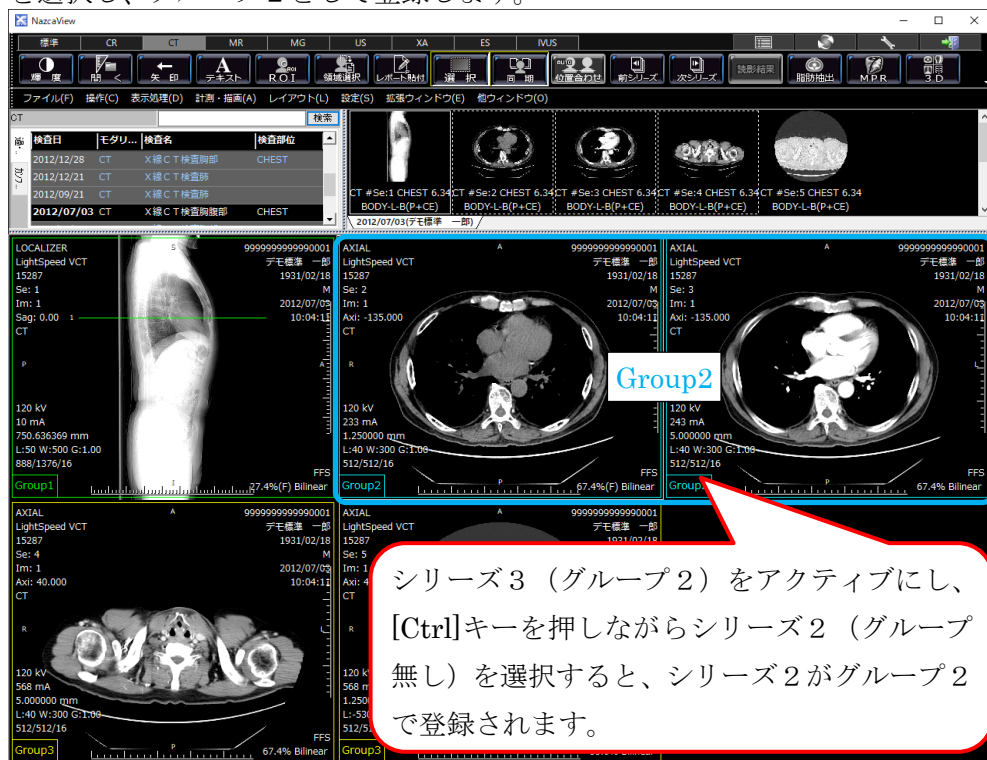
同様手順でグループ 3 も設定します。[Ctrl]キーを離しシリーズ 4 を選択しアクティブにします。[Ctrl]キーを押しながらシリーズ 4、5 を続けて選択すると「Group3」と表示されます。



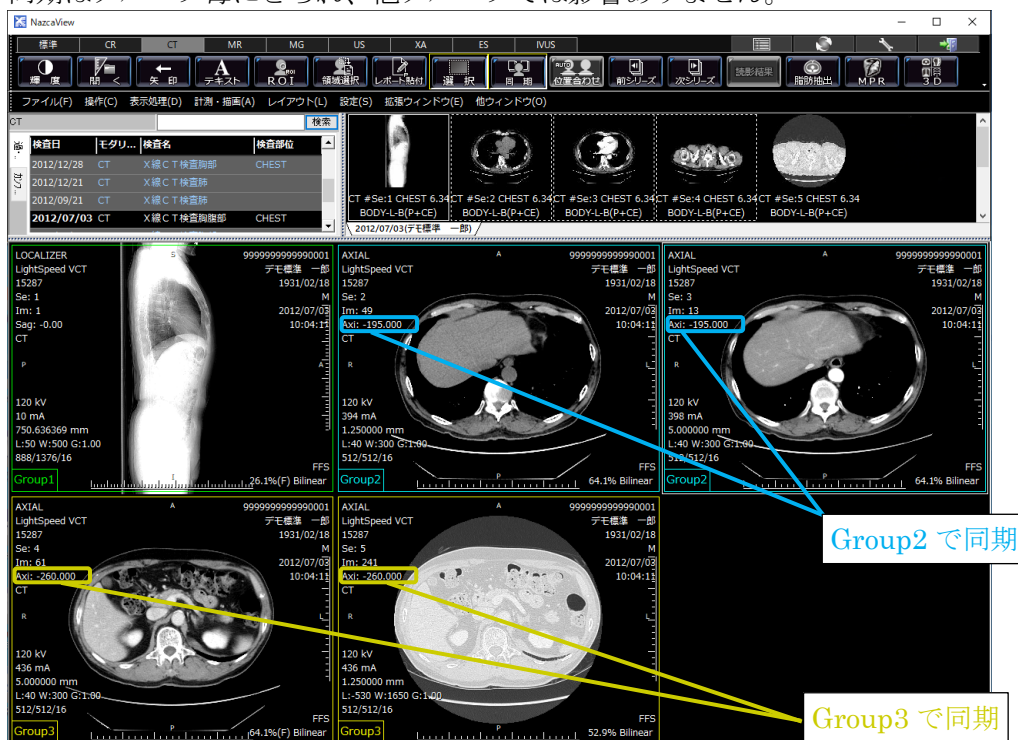
グループを解除するには、グループ化されているシリーズを選択しアクティブにしてから[Ctrl]キーを押しながら再度選択します。ここでは、シリーズ2を解除します。



[Ctrl]キーを押しながらクリックで選択する前にアクティブだったシリーズのグループ番号で登録します（アクティブだったシリーズが未選択だった場合は新規グループとして追加）。ここでは、シリーズ3（グループ2）を選択しアクティブにした状態でシリーズ2（グループ無し）を選択し、グループ2として登録します。



同期はグループ毎にとられ、他グループでは影響ありません。



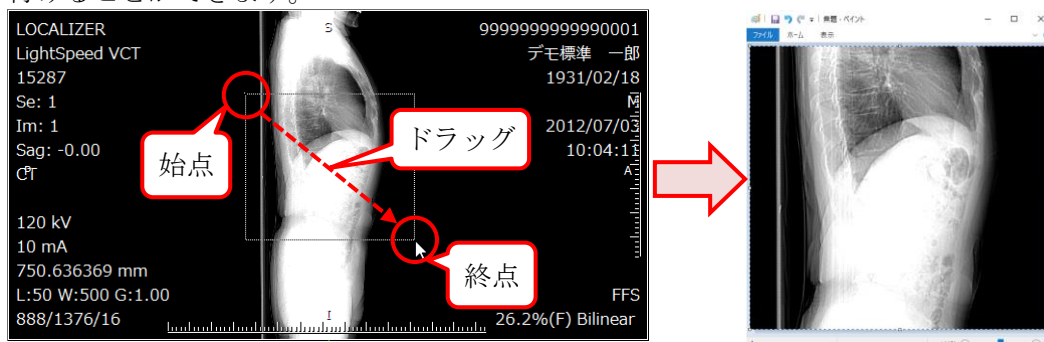
画像コピー

選択した画像をクリップボードにコピーし、ペイントアプリやレポート等に貼り付けることができます。



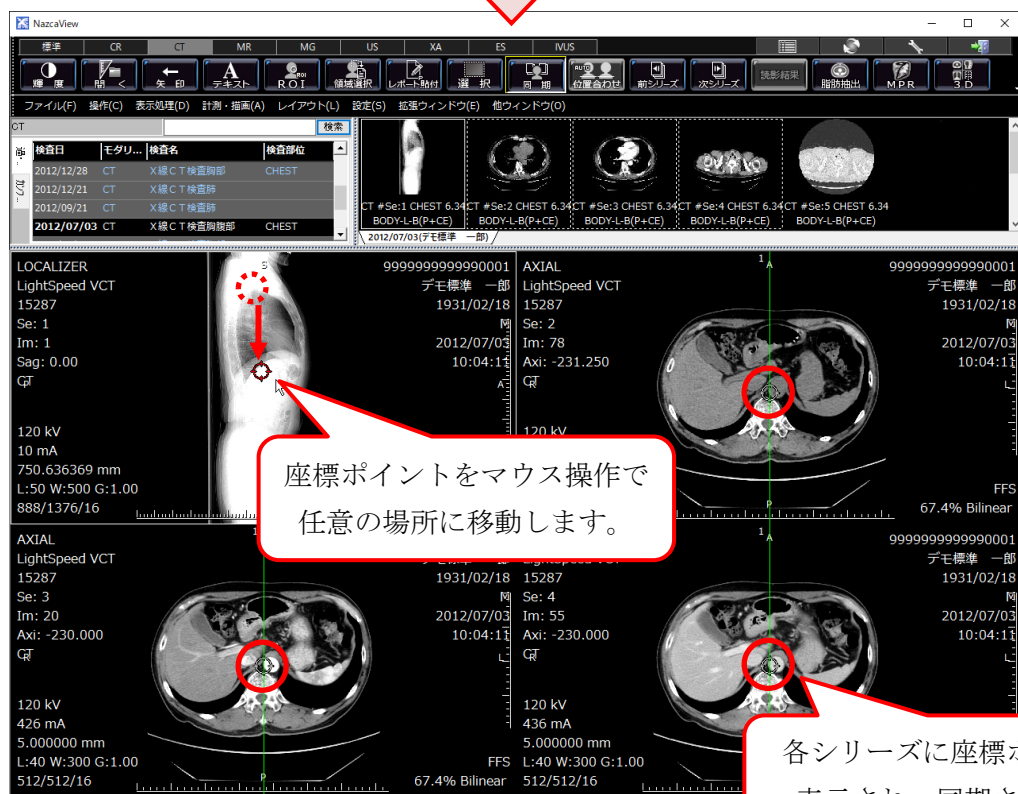
選択範囲をコピー

マウス操作で範囲選択するとクリップボードにコピーされ、ペイントアプリやレポート等に貼り付けることができます。



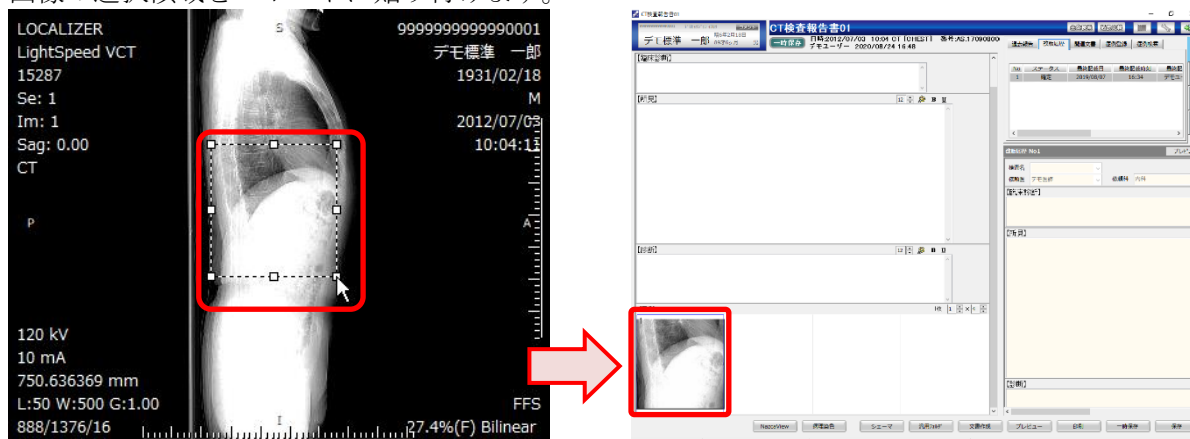
座標ポイント

座標ポイントを置いた位置に各シリーズが同期します。例では、シリーズ1に座標ポイントを配置することで、各シリーズが座標ポイントの位置で同期します。



領域選択

画像の選択領域をレポートに貼り付けます。

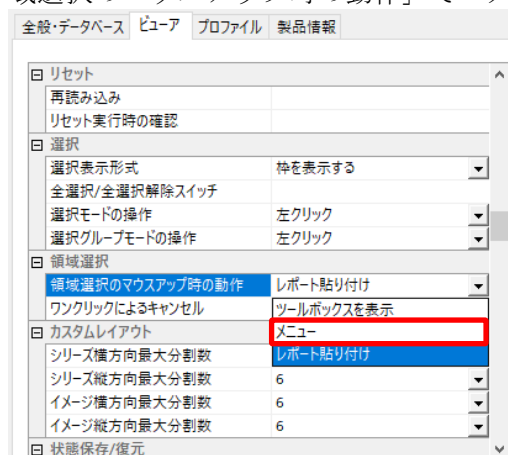


ワンポイント

設定を変更することで、領域選択時にレポート貼り付けではなく、表示されるメニューから画像出力やレポート貼り付け等の動作を選択することができます。

<設定方法>

ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[ビュー]タブ内の領域選択カテゴリ内の「領域選択のマウスアップ時の動作」で「メニュー」を選択します。



※初回選択時のみ自動でメニュー表示します。

キャンセル操作でメニューを閉じた場合、
選択領域枠内の右クリックで再表示が可能。

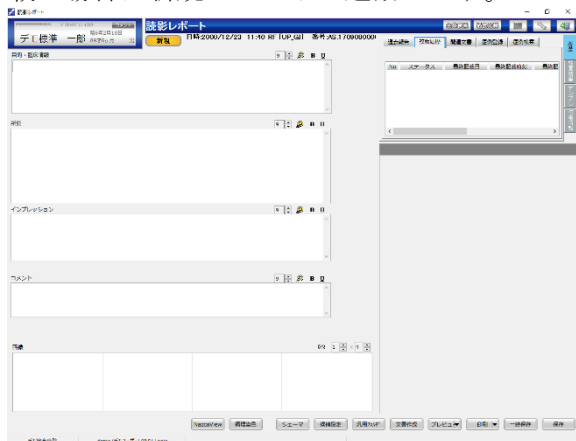
- ・キャンセル
メニューを閉じ、選択領域枠を修正できます
- ・コピー
選択領域をクリップボードにコピーします
- ・レポートへ貼り付け
画像の選択領域をレポートに貼り付けます
- ・画像出力
画像を出力します (JPG, bmp, tif)
- ・領域クリア
選択領域をクリアします

※選択領域枠外では、通常の右クリックメニューが表示されます。



レポート起動

対象検査に関連するレポートを起動します。レポート記載済みの場合は記載済みレポートが、未記載の場合は新規レポートが起動します。



ワンポイント

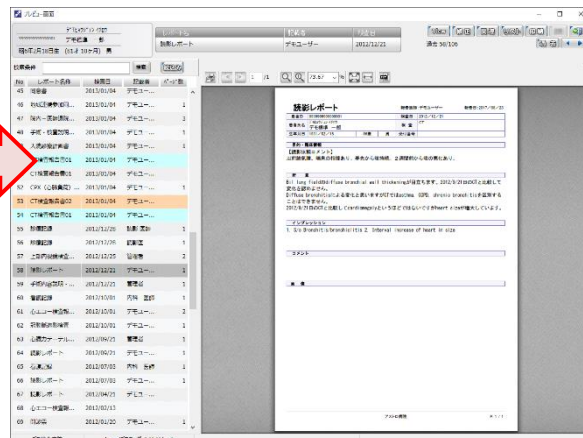
レポートがある場合、ビューワ上のレポートアイコンからもレポート起動ができます。

<設定方法>

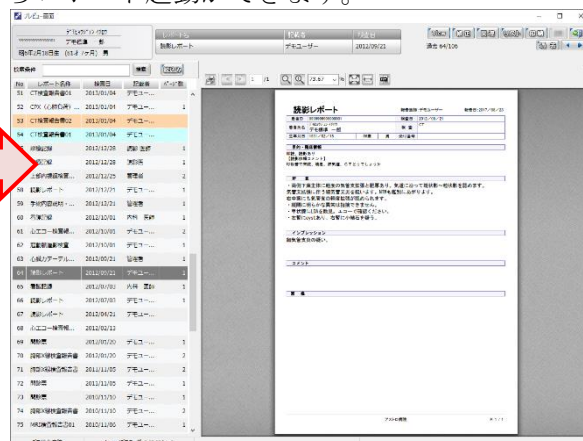
ビューワ画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[プロファイル]タブ内の表示カテゴリ内の「レポートアイコン表示」にチェックを入れます。 ※初期設定では表示する設定



レポート記載済みの場合に表示される、レポートアイコンからレポートを起動します。

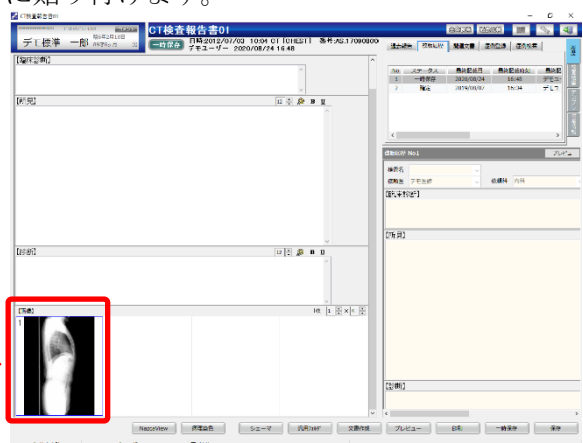
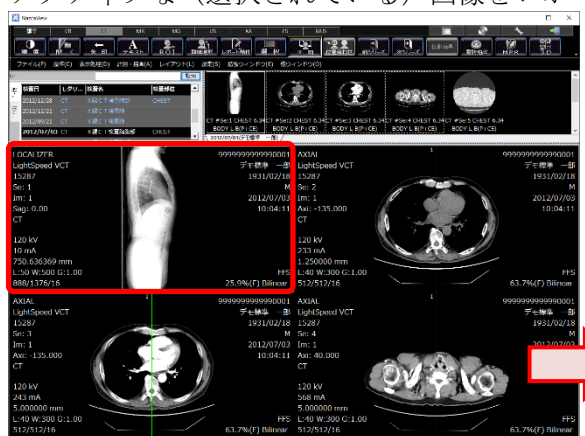


※過去検査の場合も同様に、レポートアイコンからレポート起動ができます。



レポートへ貼り付け

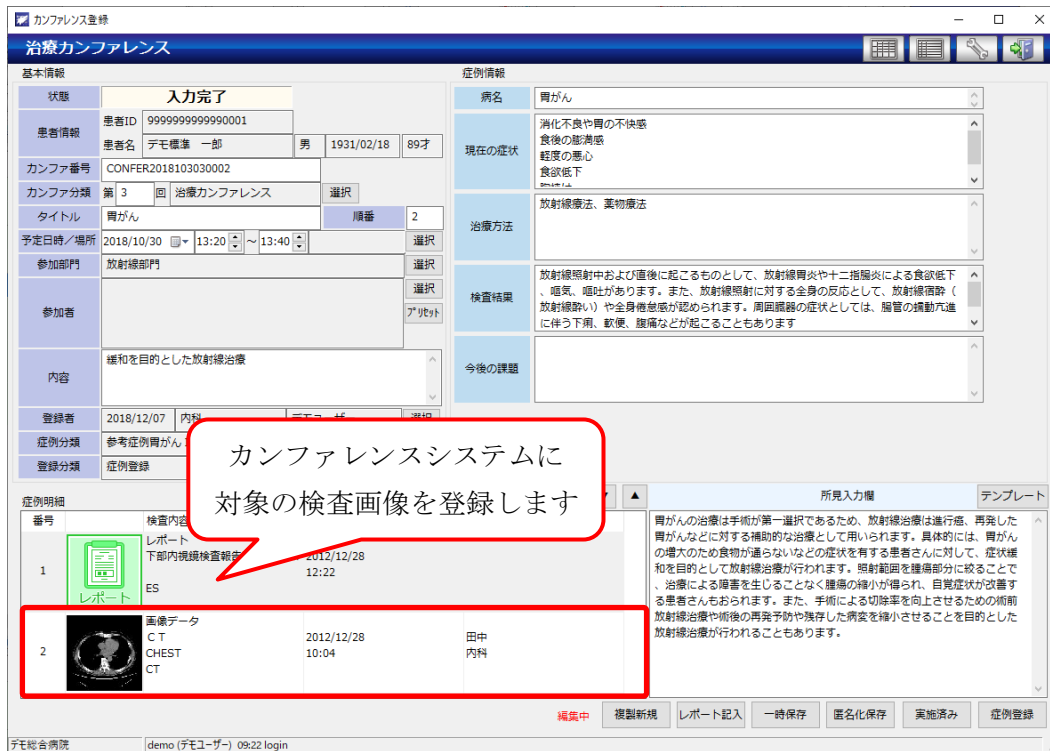
アクティブな（選択されている）画像をレポートに貼り付けます。



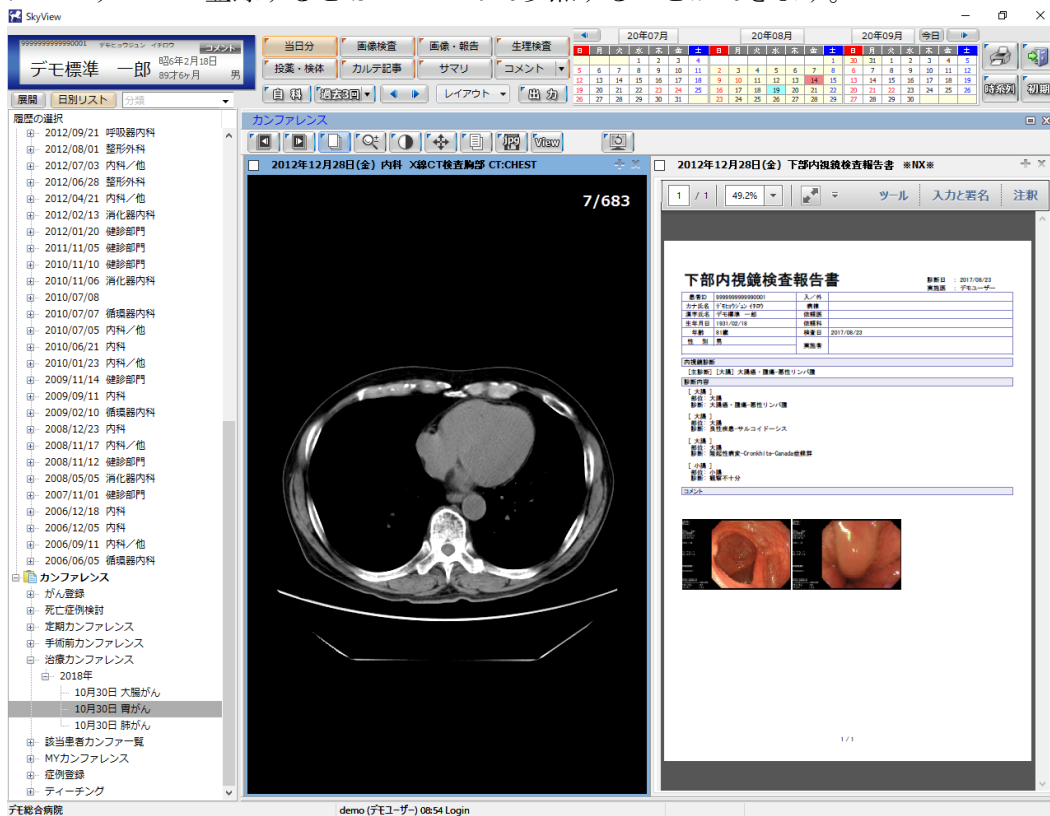
カンファレンス登録

対象検査をカンファレンスシステムに登録することができます。

カンファレンス登録画面が起動したらカンファ分類等の項目を選択し登録します。



カンファレンス登録すると STELLAR で参照することができます。



ワンポイント

カンファレンスシステムで症例分類を登録し、匿名化保存することでビュー画面の[カンファレンス]タブで症例ごとに参考画像として表示することができます。

カンファレンス登録

治療カンファレンス

基本情報

状態: 入力完了

患者情報

患者ID: 9999999999990001

患者名: デモ標準 一郎

性別: 男

生年月日: 1931/02/18

年齢: 89才

カンファ番号: CONFER2018103030002

カンファ分類: 第3回 治療カンファレンス

タイトル: 胃がん

予定日時/場所: 2018/10/30 13:20 ~ 13:40

参加部門: 放射線科

参加者: [空欄]

内容: 緩和を目的とした放射線治療

登録者: 2018/12/07 内科 デモユーザー

症例分類: 参考症例胃がんI

登録日時: 2018/12/07

明細記載日: [空欄]

症例情報

病名: 胃がん

現在の症状: 消化不良や胃の不快感、食後の膨満感、軽度の悪心、食欲低下

治療方法: 放射線療法、薬物療法

検査結果: 放射線造影中および造影後に起こるものとして、放射線胃炎や十二指腸炎による食欲低下、嘔気、嘔吐があります。また、放射線照射に対する全身の反応として、放射線潰瘍（放射線瘻）や全身倦怠感が認められます。周囲臓器の症状としては、腸管の蠕動亢進に伴う下痢、軟便、腰痛などが起こることもあります。

今後の課題: [空欄]

検査内容

検査日時

検査結果

検査表示

匿名化保存

カンファレンス登録

このデータを保存用データとして登録します。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

NasraView

標準 CR CT

ファイル(F) 操作(C) 表示処理(D) 計算

検査日: 2011/04/24

モタリディ: 参考症例胃がんI

コメント: [空欄]

検査内容: 下部内視鏡検査報告書 ※NX※

検査日時: 2012/12/28 12:22

検査結果: ES

検査表示: [空欄]

匿名化保存

ビュー画面

参考症例胃がんI

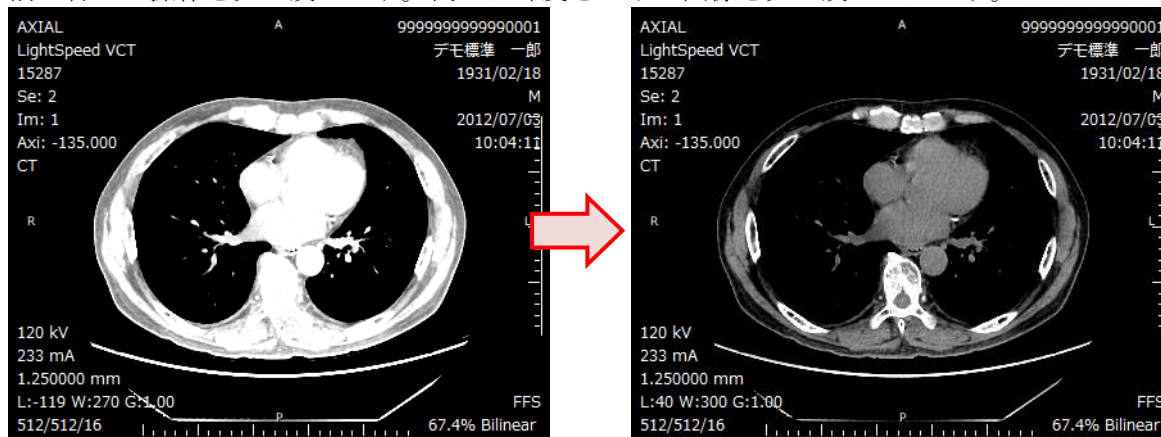
2011/04/24 09:39:19

AXIAL LightSpeed VCT 15287 Se: 2 Im: 1 Axi: -135.000 CT 120 kV 233 mA 1.250000 mm L:40 W:300 G:1.00 512/512/16 63.7%(F) Bilinear

AXIAL LightSpeed VCT 15287 Se: 3 Im: 1 Axi: -135.000 CT 120 kV 243 mA 5.000000 mm L:40 W:300 G:1.00 512/512/16 63.7%(F) Bilinear

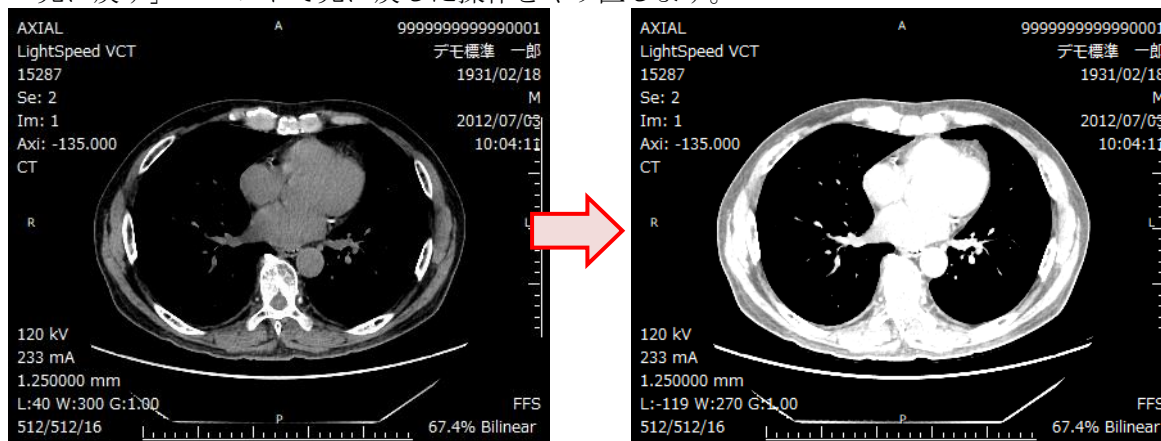
元に戻す

前に行った操作を元に戻します。例では輝度を上げた画像を元に戻しています。



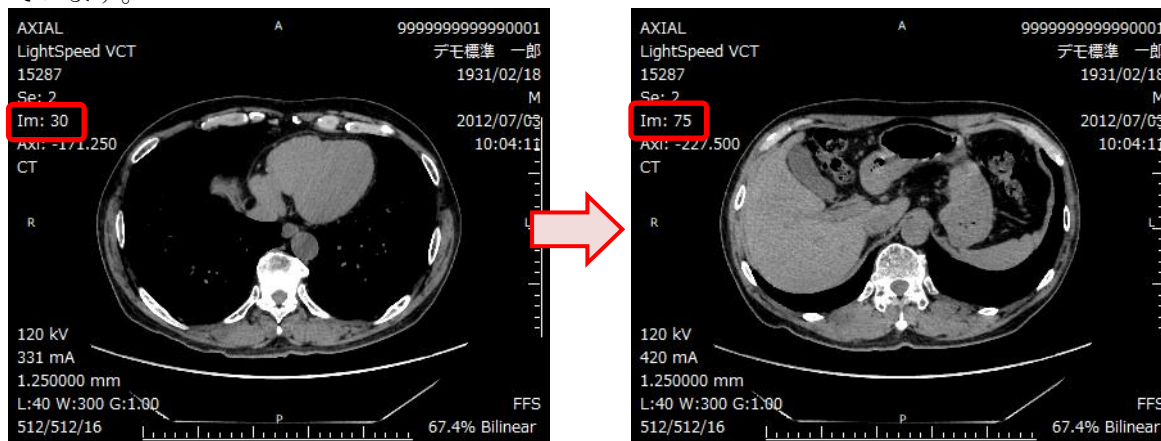
やり直し

「元に戻す」コマンドで元に戻した操作をやり直します。



更新

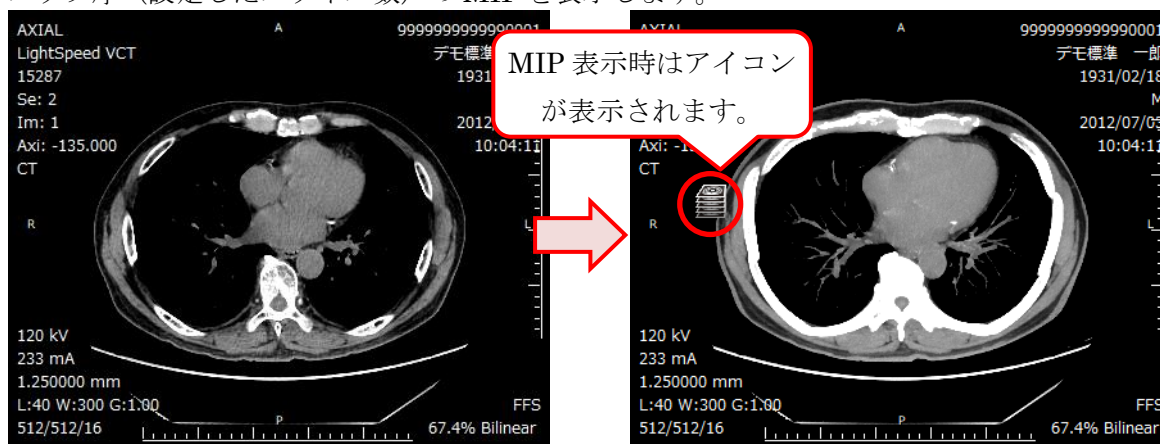
データベースの最新情報に更新します。例では、機器から検査画像受信中にビューワ起動をしていた場合、ビューワ起動時は 30 枚目までしか反映していませんが、更新すると 75 枚目まで反映しています。



4.3 表示処理

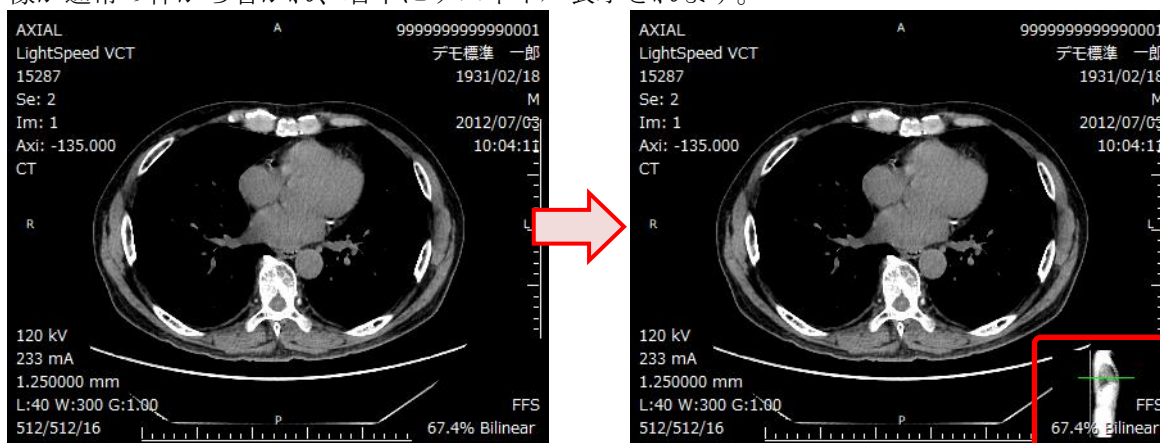
スラブ厚表示

スラブ厚（設定したスライス数）の MIP を表示します。



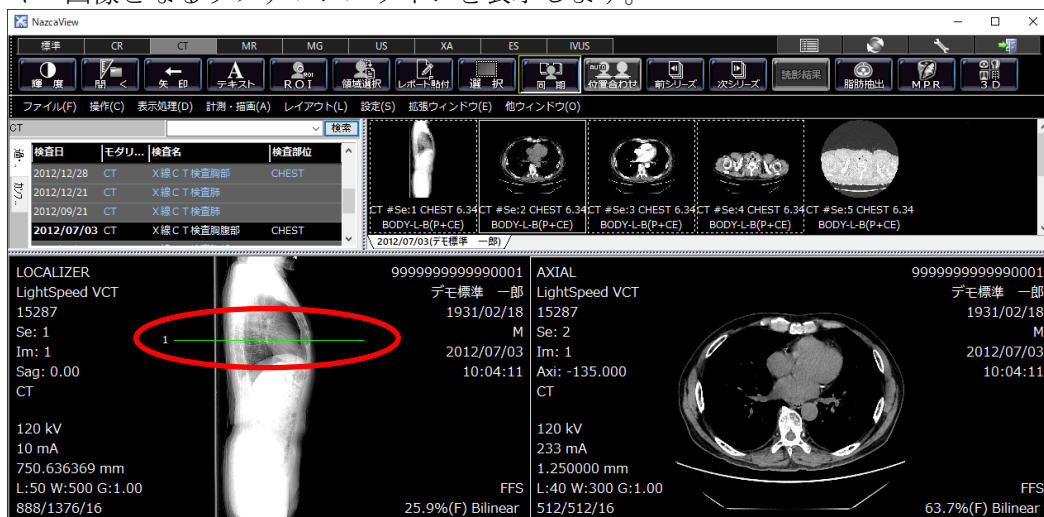
ローカライザビュー

ローカライザビューの有効無効を切り替えます。ローカライザビューを有効にすると、スカウト画像が通常の枠から省かれ、右下にサムネイル表示されます。



リファレンスライン A（キー画像）

キー画像となるリファレンスラインを表示します。



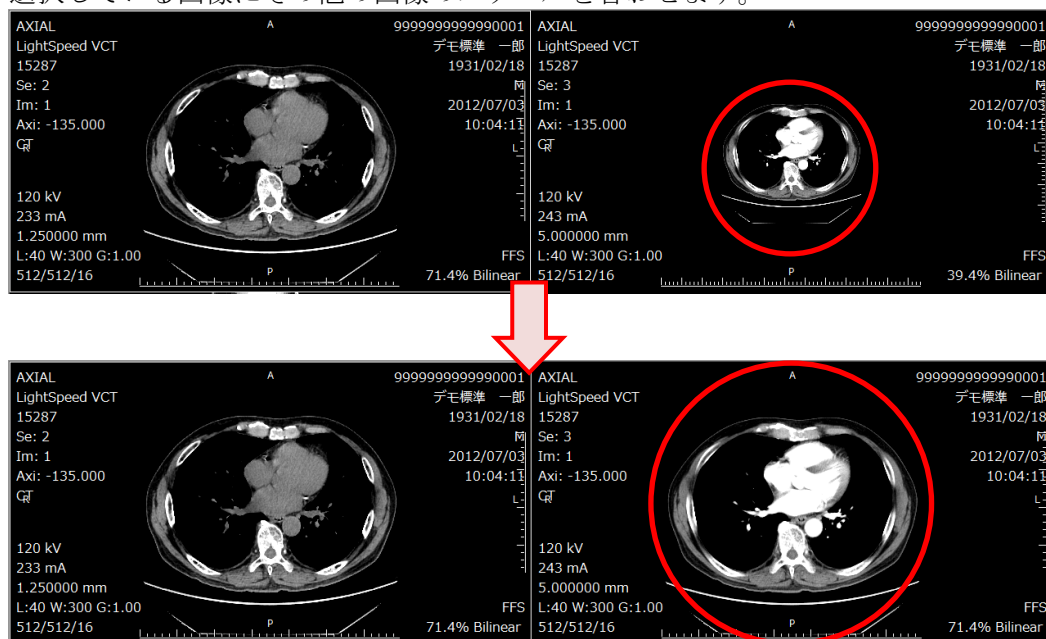
リファレンスライン B (運動)

最初と最後のリファレンスラインを表示します。スカウト画像をクリックすると、関連するシリーズがその位置のイメージを表示します。



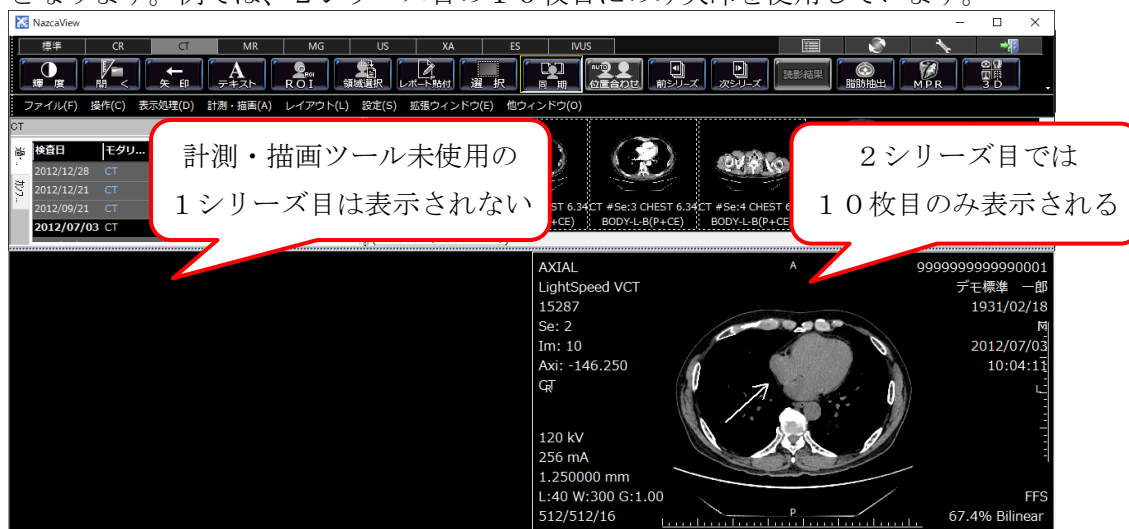
FOV

選択している画像にその他の画像のスケールを合わせます。



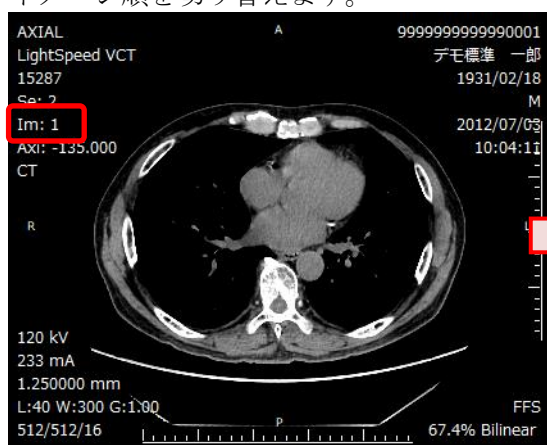
キーイメージのみ表示

キーイメージのみ表示します。矢印や距離等、計測・描画ツールが使用された画像がキーイメージとなります。例では、2シリーズ目の10枚目にのみ矢印を使用しています。

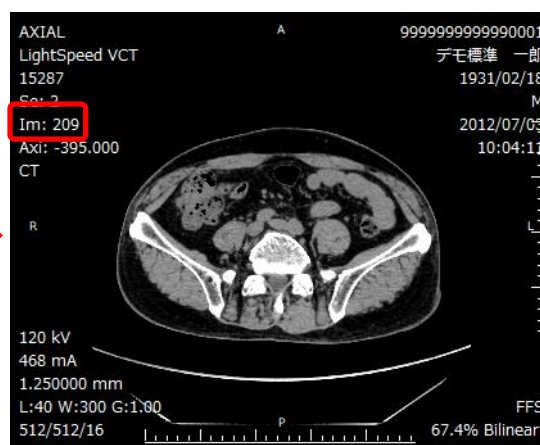


イメージ順

イメージ順を切り替えます。



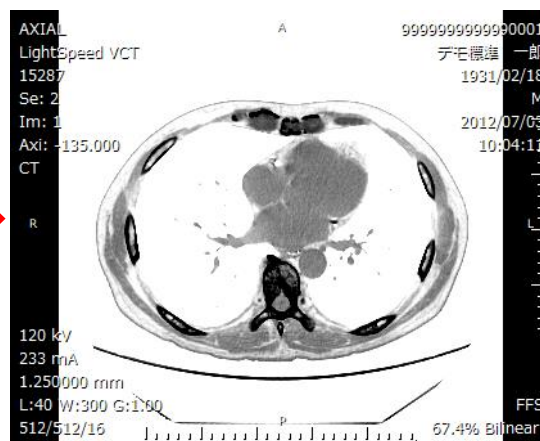
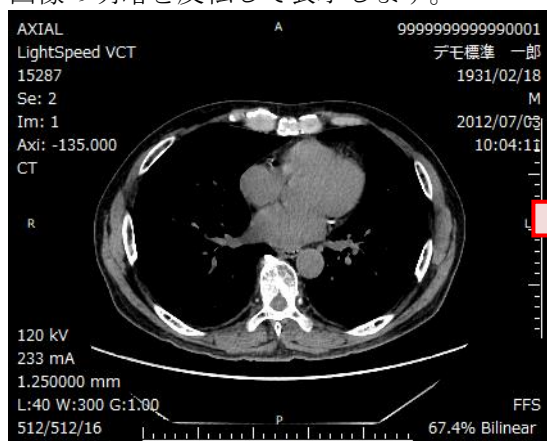
通常、イメージ番号は昇順で表示されます。



切り替えると降順で表示されます。

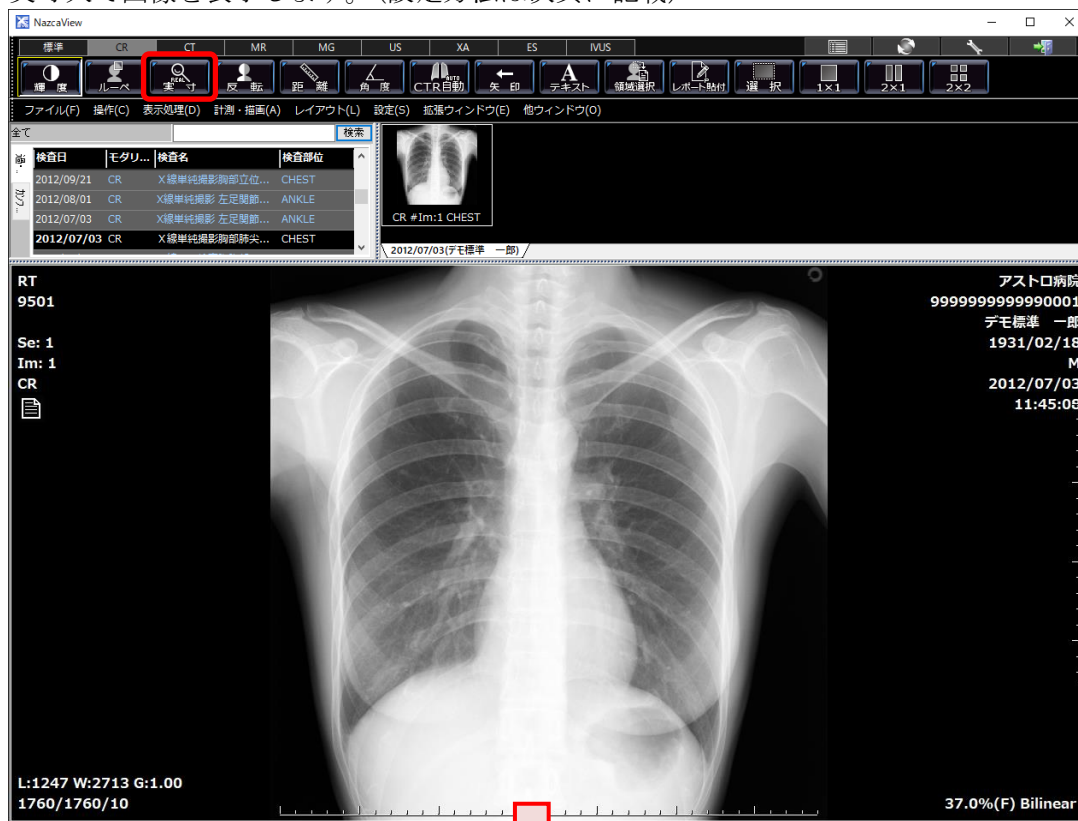
反転

画像の明暗を反転して表示します。



実寸表示

実寸大で画像を表示します。(設定方法は次頁に記載)

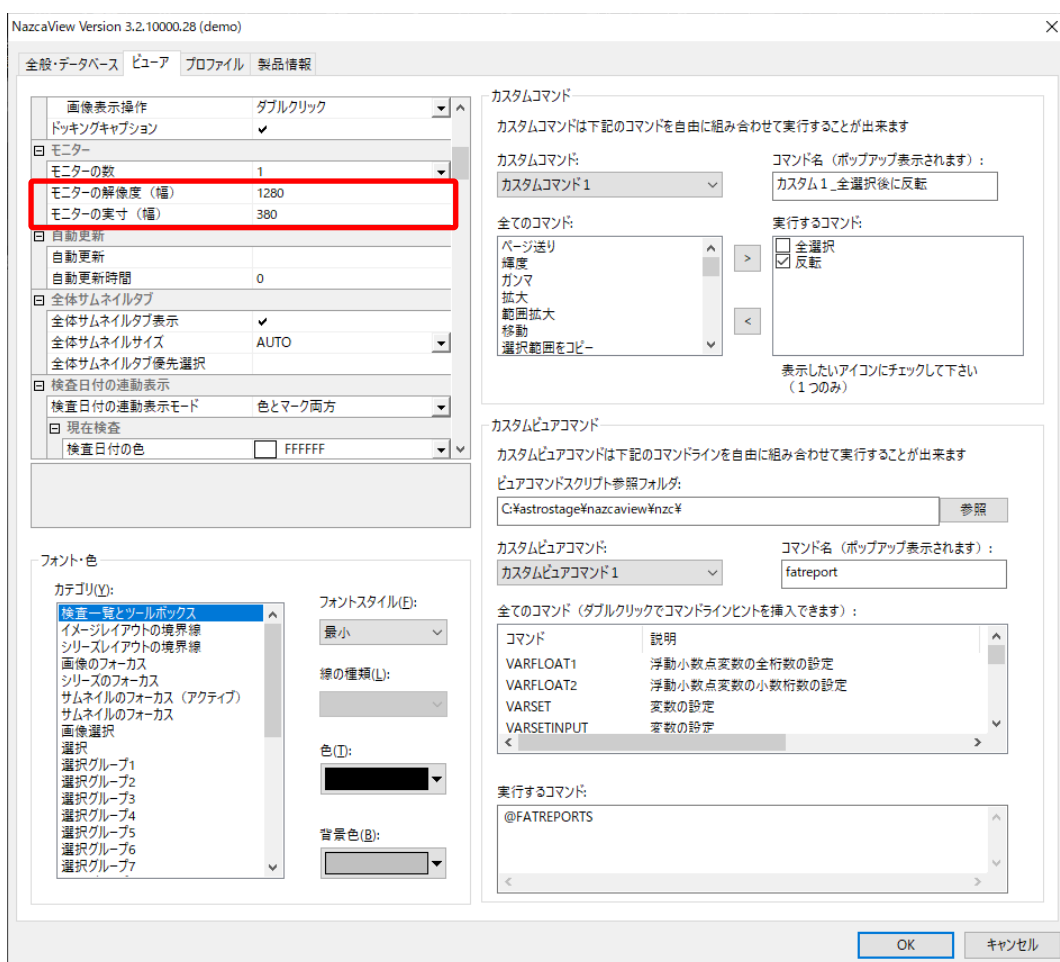


<設定方法>

ビューワ画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[ビューア]タブ内の「モニター」を設定します。

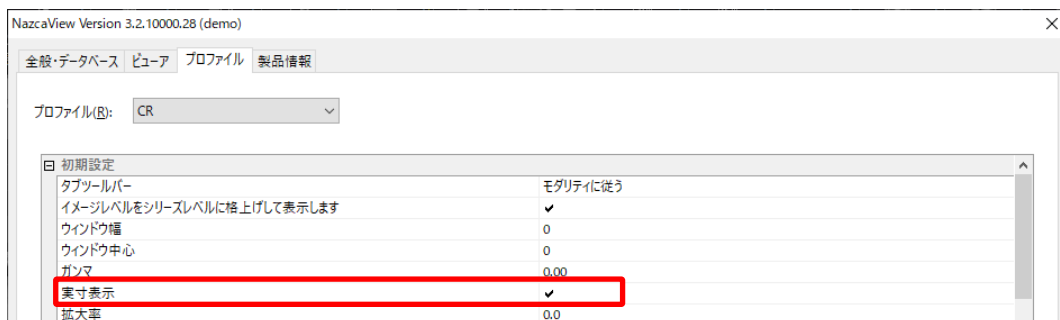
モニター

- モニターの解像度（幅） ディスプレイの解像度（幅）を登録します。
例）「1280×1024」の場合「1280」
- モニターの実寸（幅） 実際の画面サイズ（幅）を登録します（単位：mm）



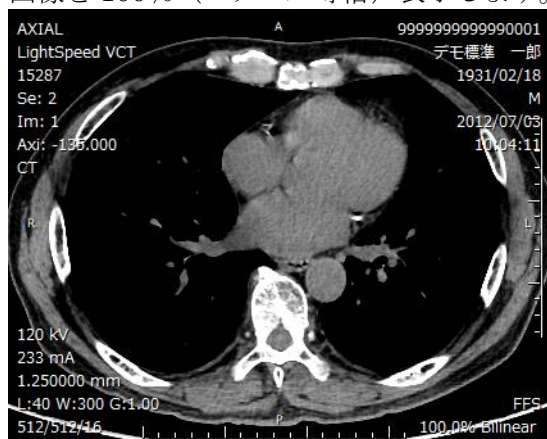
ワンポイント

[プロファイル]タブ内の初期設定で「実寸表示」にチェックを入れ設定保存した場合、次回起動時から実寸表示の状態で起動します。（モダリティごとに設定が必要）



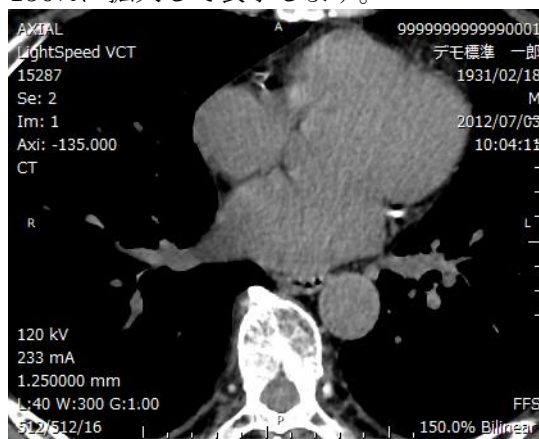
100%（ピクセル等倍）

画像を 100%（ピクセル等倍）表示します。



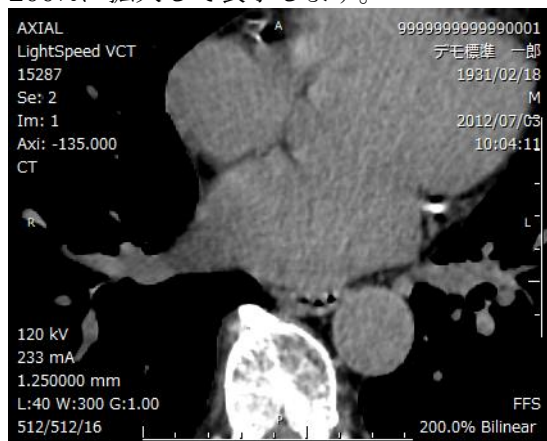
150%

150%に拡大して表示します。



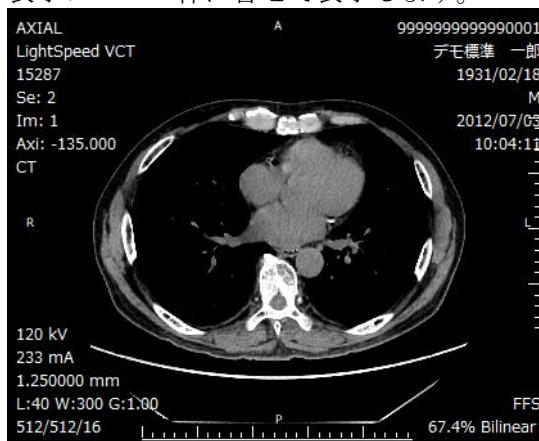
200%

200%に拡大して表示します。



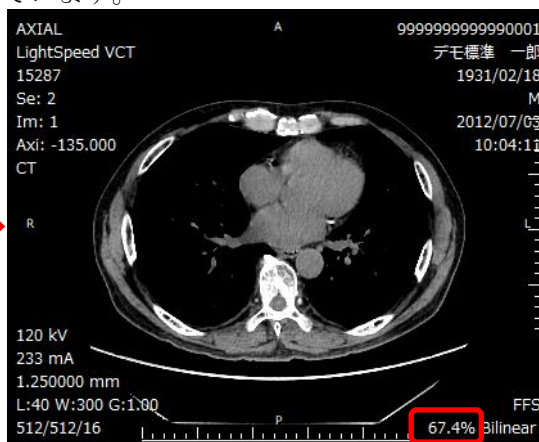
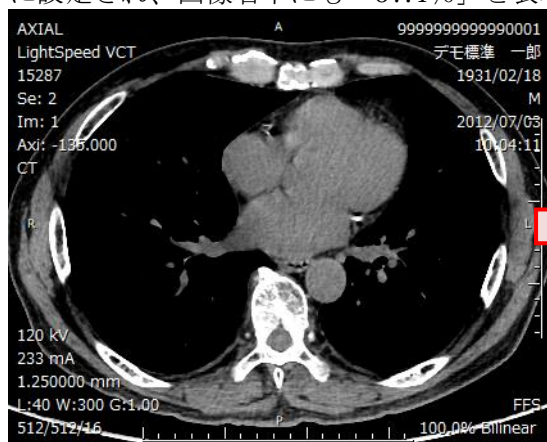
フィット

表示フレーム枠に合せて表示します。



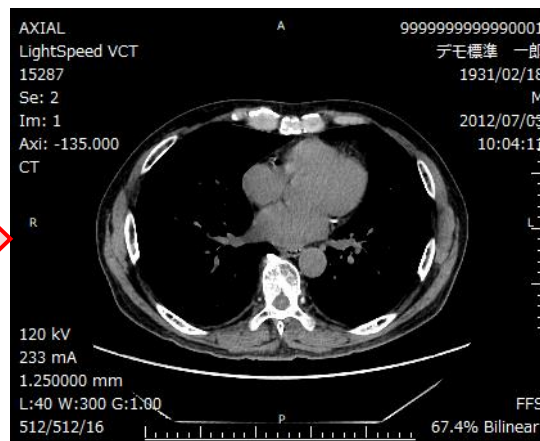
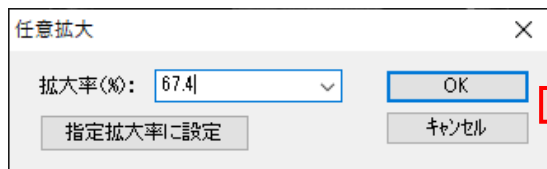
指定拡大

指定の拡大率で表示します。後述の『任意拡大』で拡大率を設定できます。例では拡大率：「67.4%」に設定され、画像右下にも「67.4%」と表示されています。



任意拡大

任意の拡大率を設定します。プルダウンからの項目（FIT、10～200 が選択可能）を選択するか、フリーテキスト入力も可能です。また、[指定拡大率に設定]ボタンをクリックすると、上述の『指定拡大』の拡大率に設定することができます。

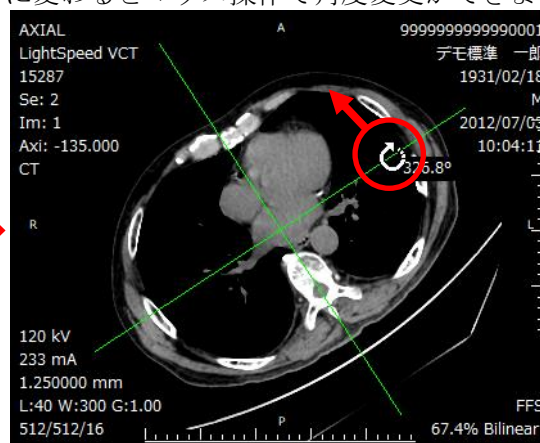
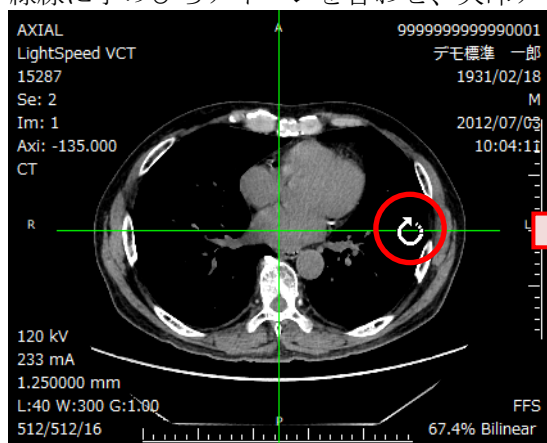


任意回転_移動

マウス操作により、画像の角度変更および平行移動します。

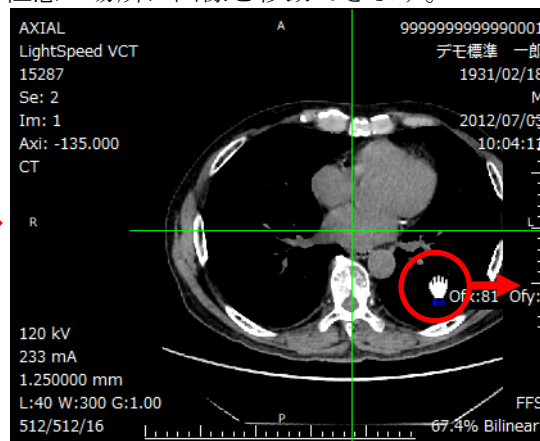
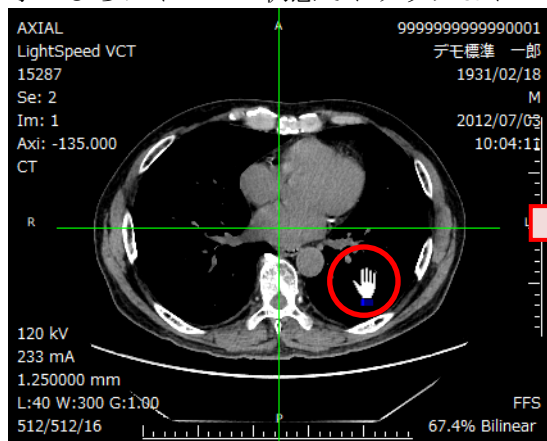
角度変更

緑線に手のひらアイコンを合わせ、矢印アイコンになるとマウス操作で角度変更ができます。



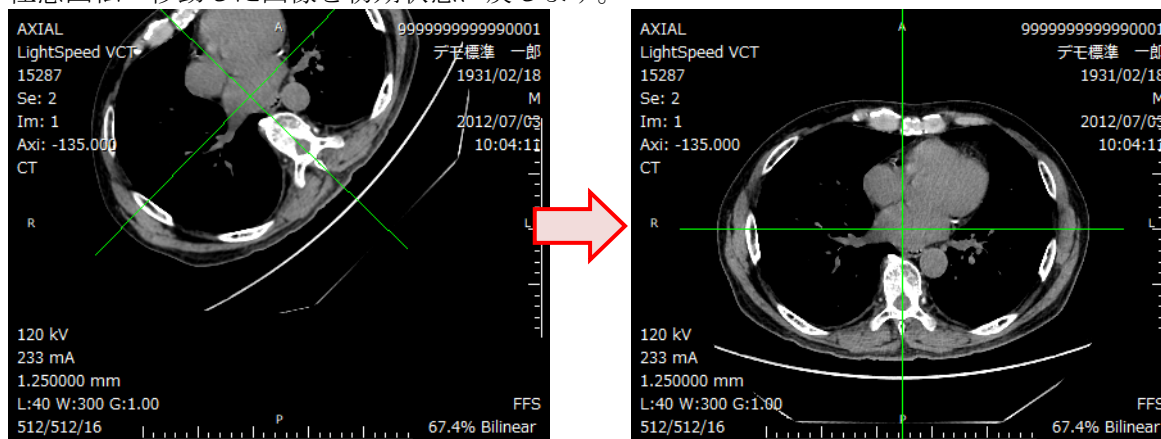
平行移動

手のひらアイコンの状態ドラッグ&ドロップで任意の場所に画像を移動できます。



任意回転_移動：リセット

任意回転・移動した画像を初期状態に戻します。



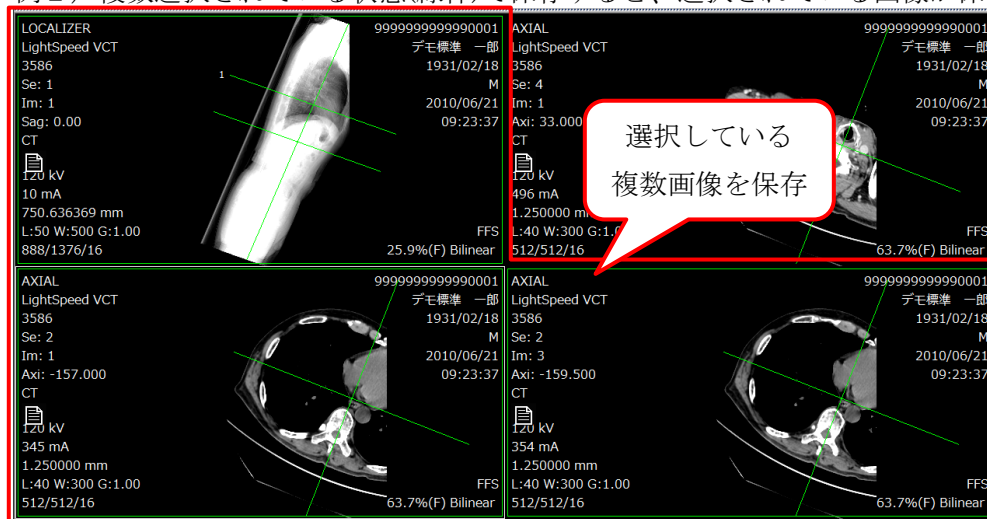
任意回転_移動：保存

任意回転・移動した画像のうち、選択されている画像を保存します。（複数選択可）

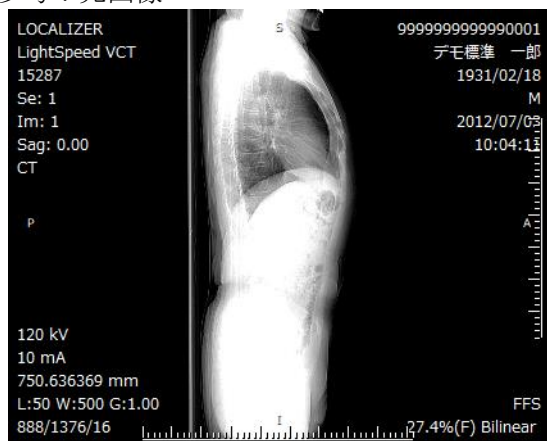
例１）右上の画像が選択された状態(白枠)で保存すると、右上の画像のみ保存されます。



例２）複数選択されている状態(緑枠)で保存すると、選択されている画像が保存されます。

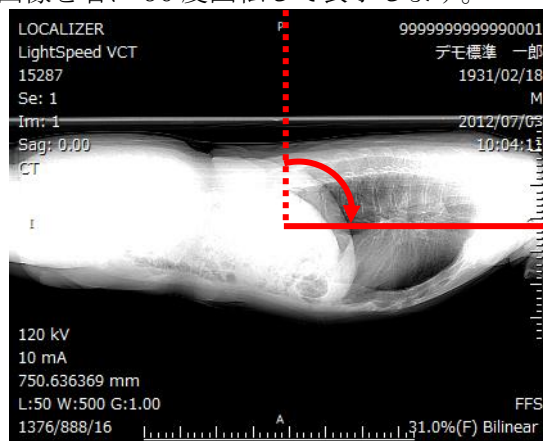


参考：元画像



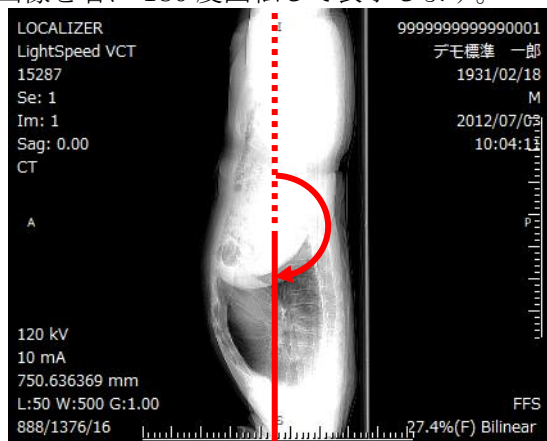
90 度回転

画像を右に 90 度回転して表示します。



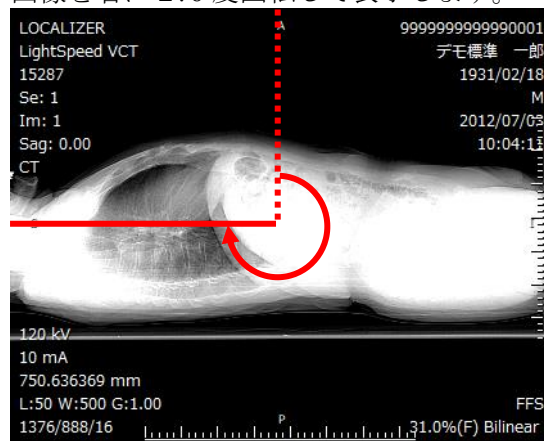
180 度回転

画像を右に 180 度回転して表示します。



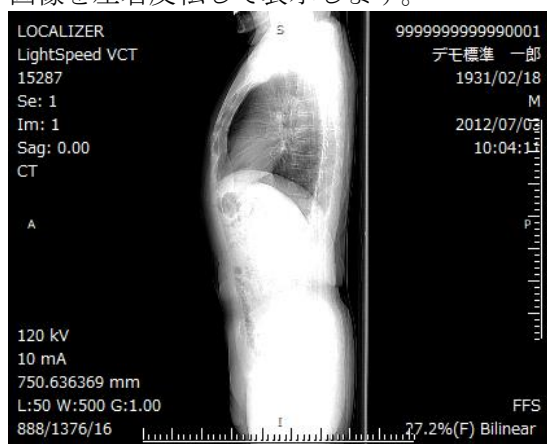
270 度回転

画像を右に 270 度回転して表示します。



左右反転

画像を左右反転して表示します。



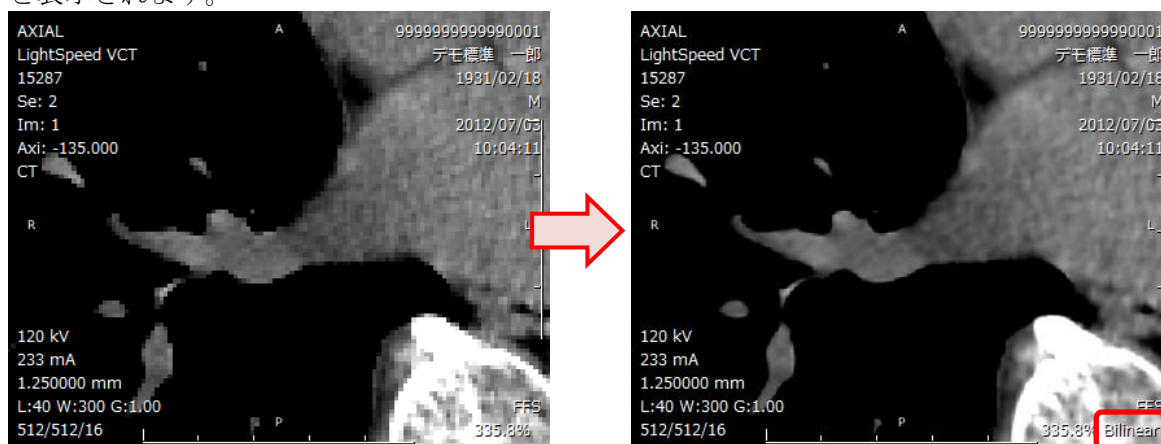
上下反転

画像を上下反転して表示します。



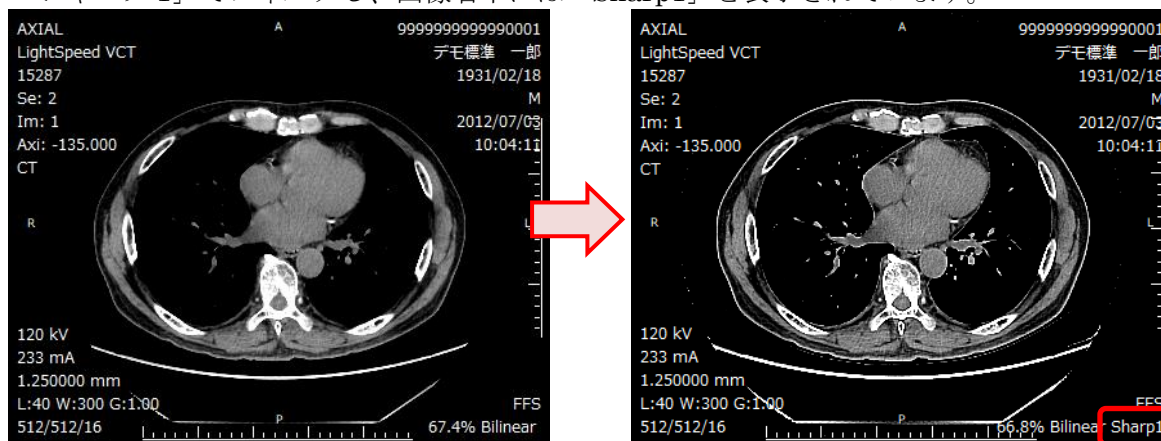
補正表示

画素をバイリニア補間し滑らかに表示します。補正表示されている場合は画像右下に「Bilinear」と表示されます。



フィルタ

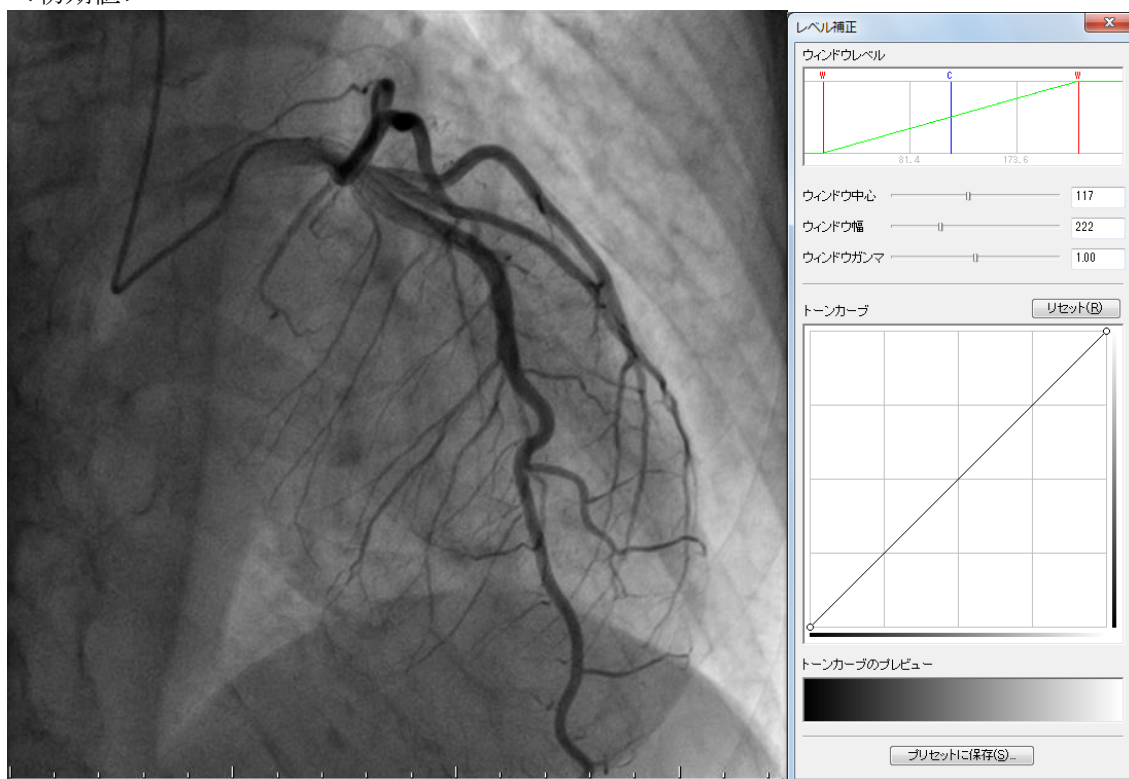
画像をフィルタ表示します。シャープ 1～6、スムーズ 1～6、エッジ強調から選択します。例では「シャープ 1」でフィルタし、画像右下には「Sharp1」と表示されています。



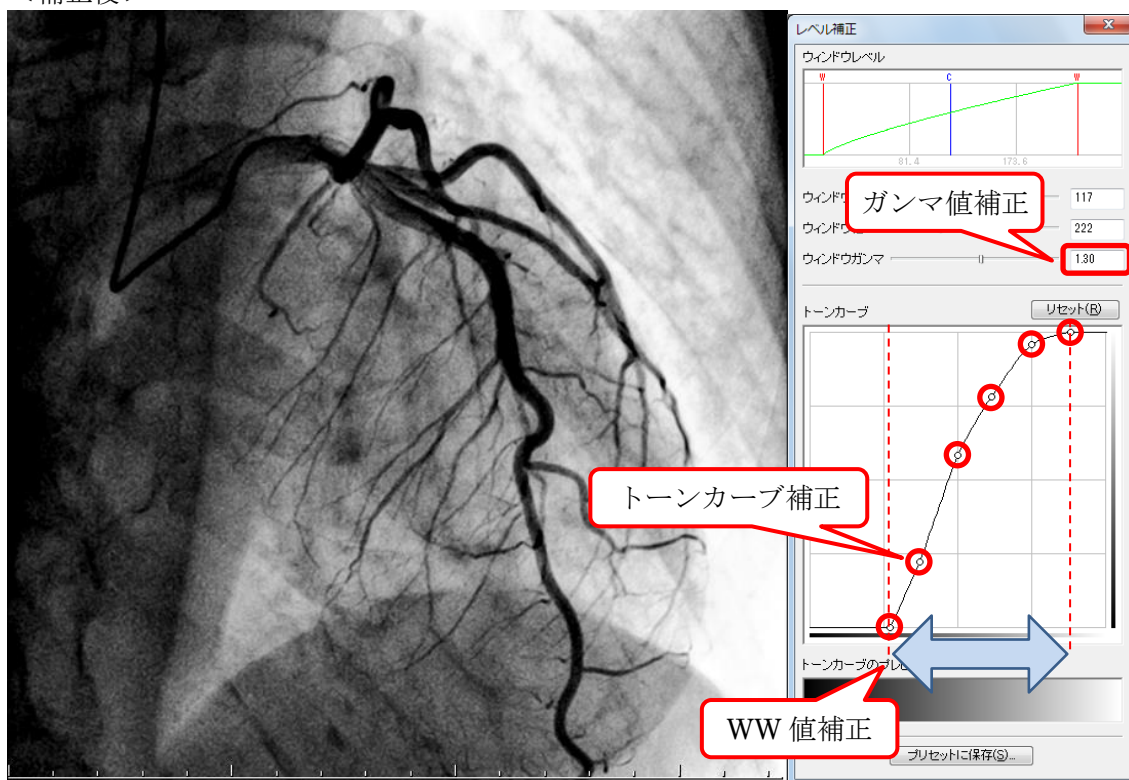
レベル補正

レベル補正ダイアログで WW/WL、ガンマを変更します。

<初期値>



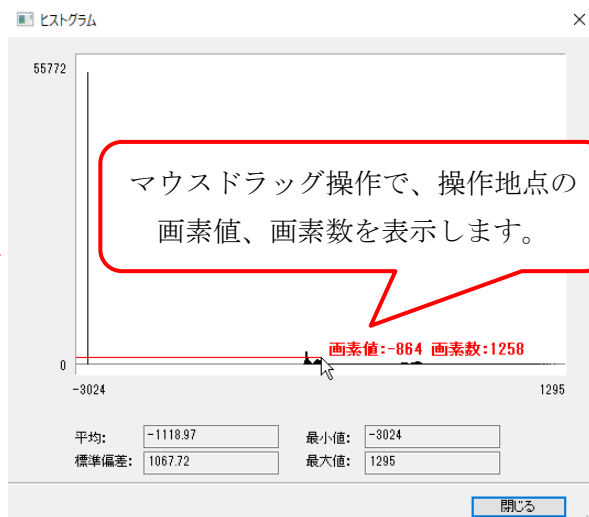
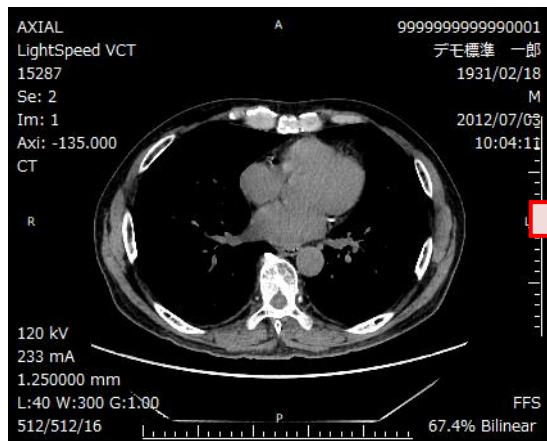
<補正後>



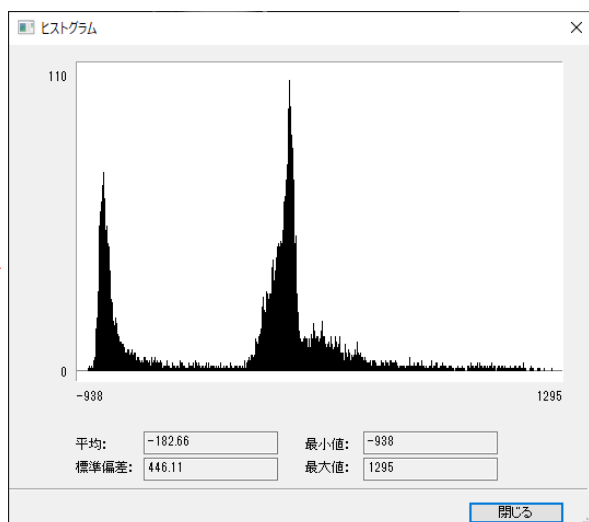
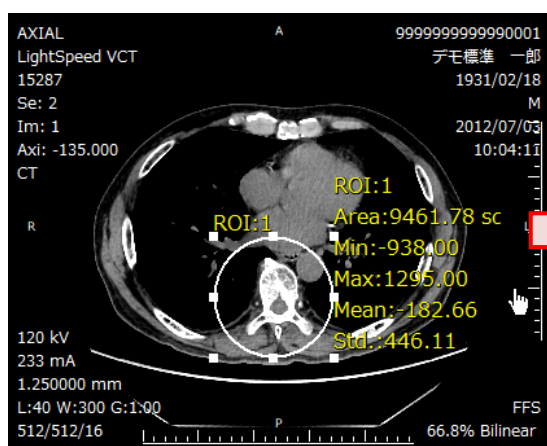
ヒストグラム

画像のヒストグラムを表示します。横軸に画素値（階調値）、縦軸にその画素数を表示します。

■選択した画像全体のヒストグラム



■ROI 範囲内のヒストグラム



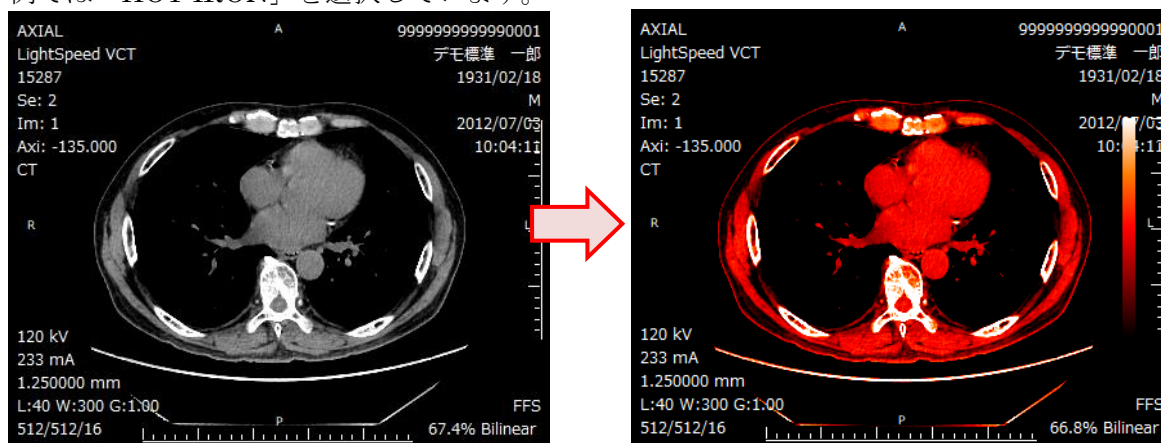
楕円 ROI のみで使用可能。ポリゴン、自由線、スタンプ ROI ではヒストグラムに反映しません。

カラーLUT

カラーLUT を選択して表示します。



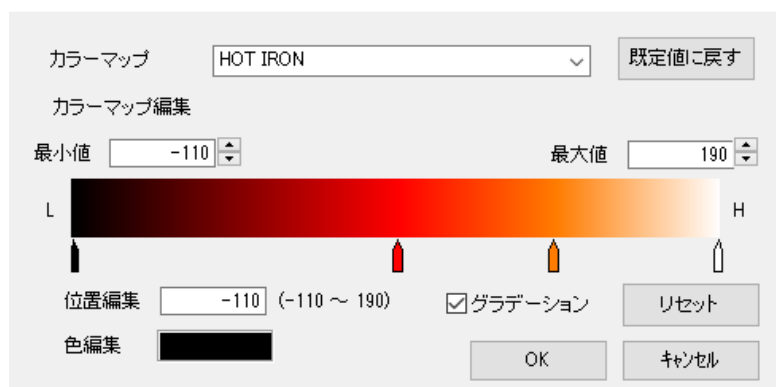
例では「HOT IRON」を選択しています。



■ カラーマップ編集

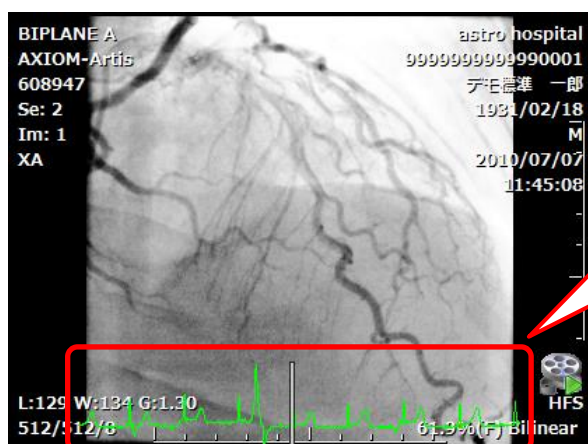
[カラーLUT 設定...]ボタンを選択すると、カラーマップ編集画面が起動し、カラーマップごとに色の編集をすることができます。

カラーマップ編集



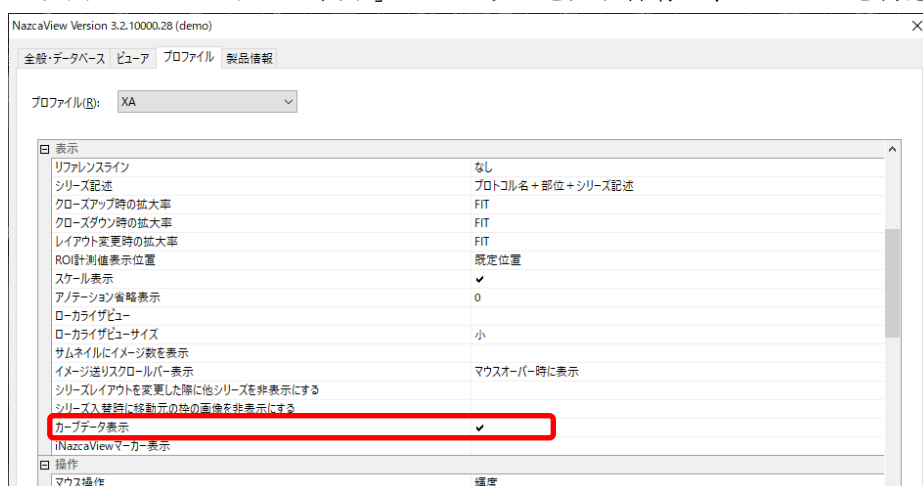
カーブデータ

DICOM データに心電図の波形データが存在する場合、動画下部に波形を表示します。カーブデータを表示するためには、後述の設定が必要になります。



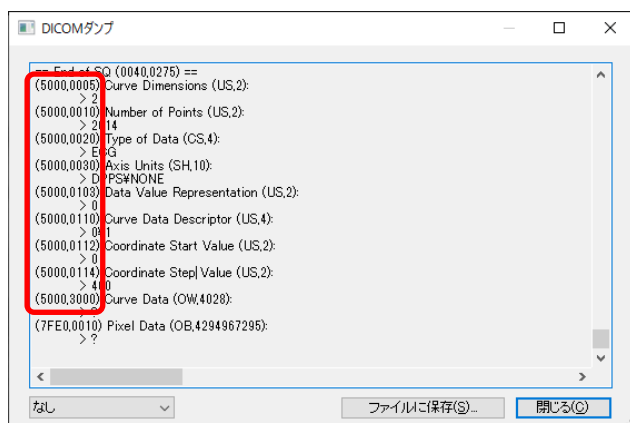
カーブデータのアイコンで表示／非表示の切り替えはできますが、波形表示の大きさは変更できません。

＜設定方法＞ ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）＞[プロファイル]タブ＞表示カテゴリ内の「カーブデータ表示」にチェックを入れ保存し、ビューを再起動します。



ワンポイント

カーブデータは、DICOM タグ (5000,0010) 等、5000 番台の必要なタグデータが存在することで表示されます。



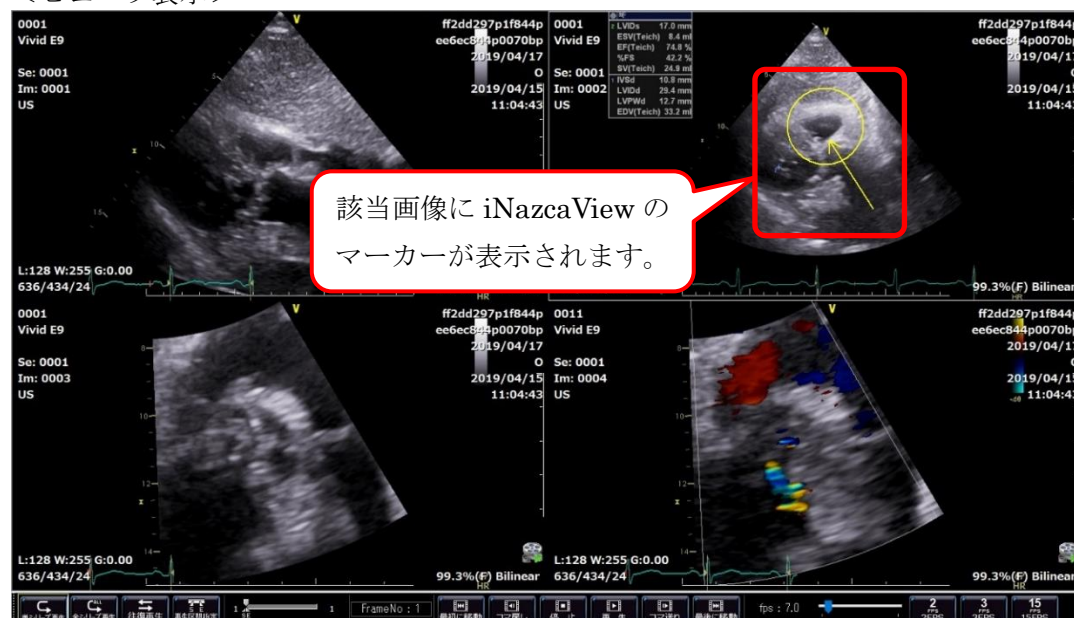
iNazca マーカー表示

iNazcaView マーカー表示機能で登録したマーカーをビューワに表示します。

<iNazcaView 側の操作>

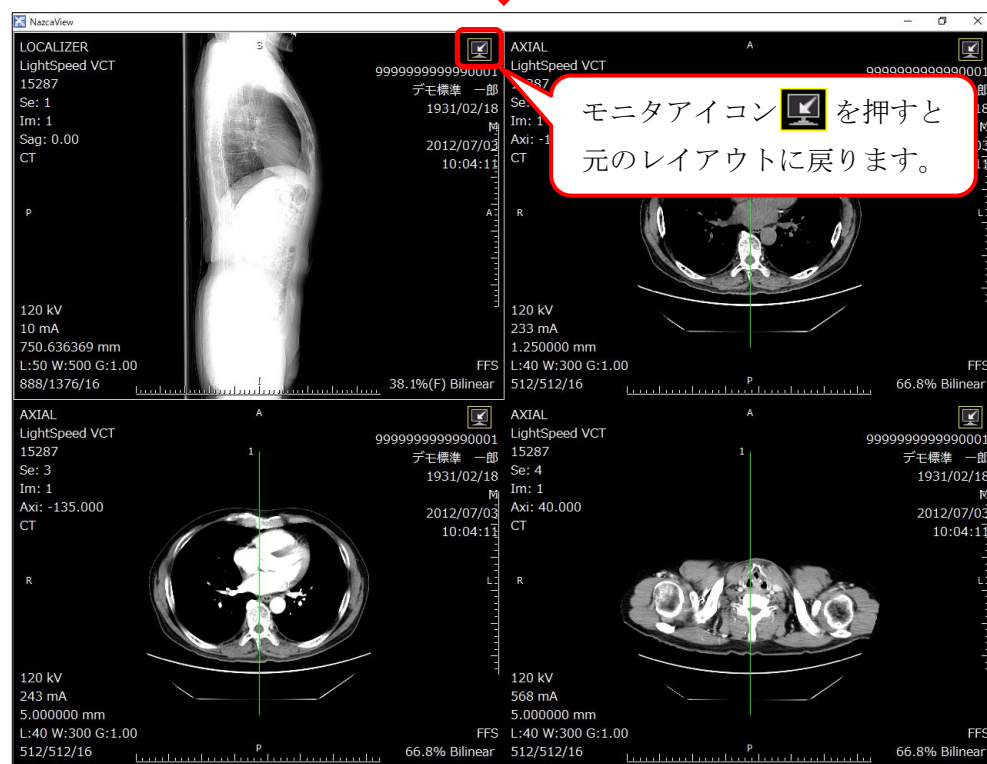
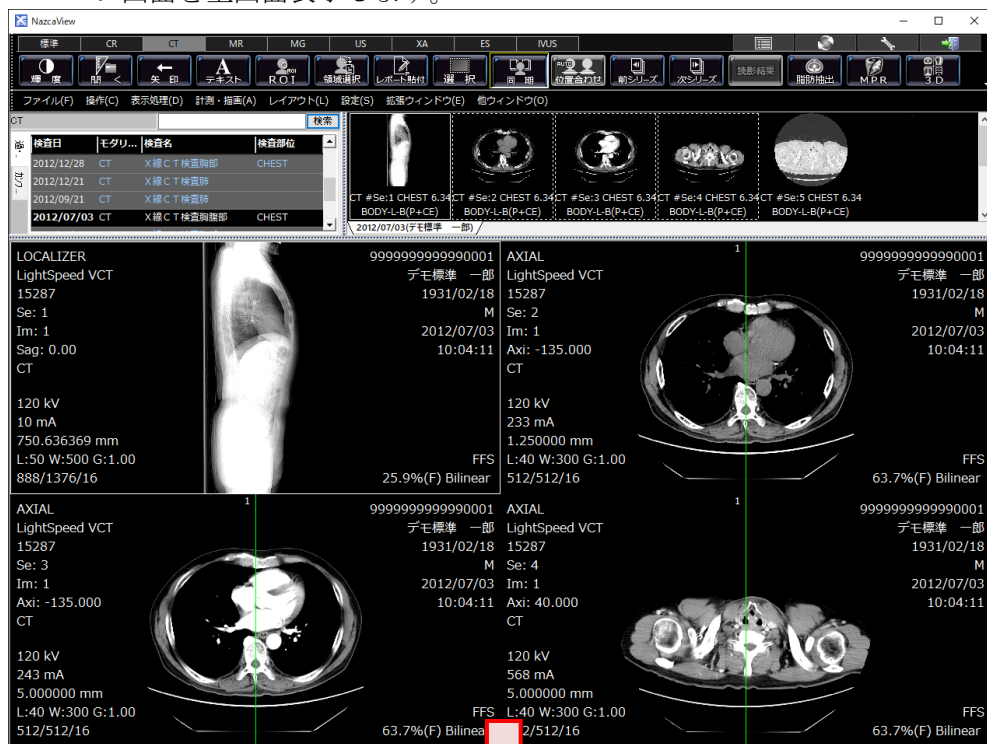


<ビューワ表示>



全画面表示

ビューワ画面を全画面表示します。



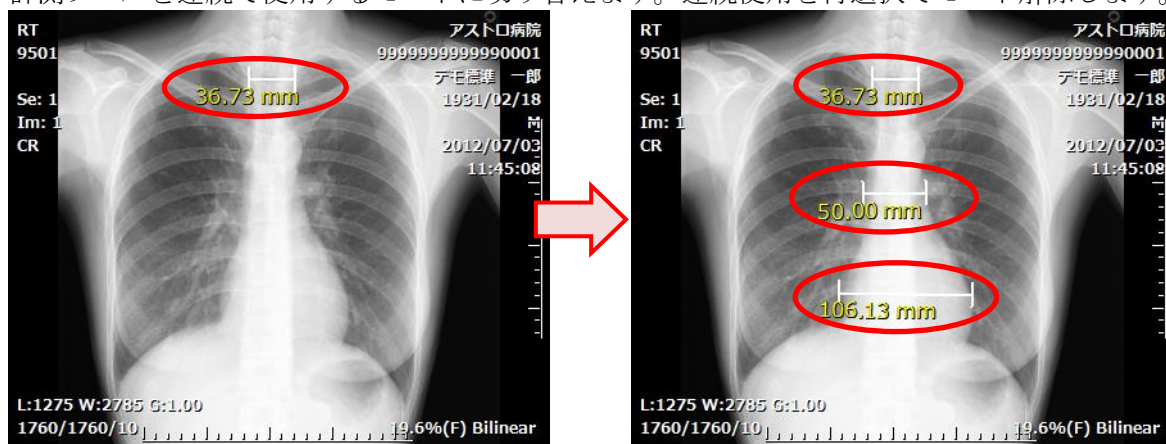
リセット

初期状態に戻します。

4.4 計測・描画

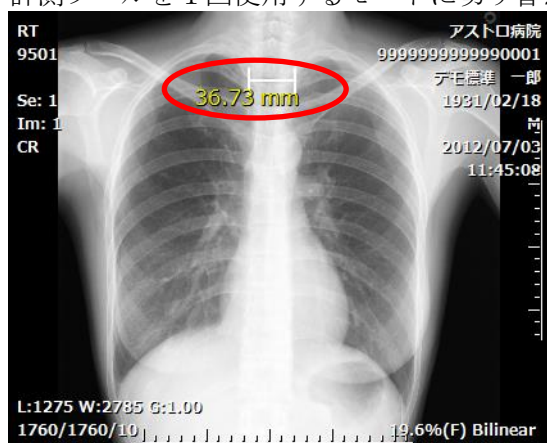
連続使用

計測ツールを連続で使用するモードに切り替えます。連続使用を再選択でモード解除します。



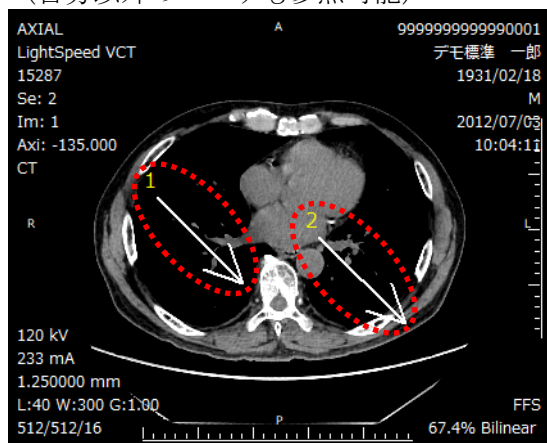
1 回使用

計測ツールを1回使用するモードに切り替えます。



保存

図形を保存します。ビューワ画面を再起動後も図形を参照することができます。
(自分以外のユーザも参照可能)



計測コピー

計測値をコピーします。

計測貼り付け

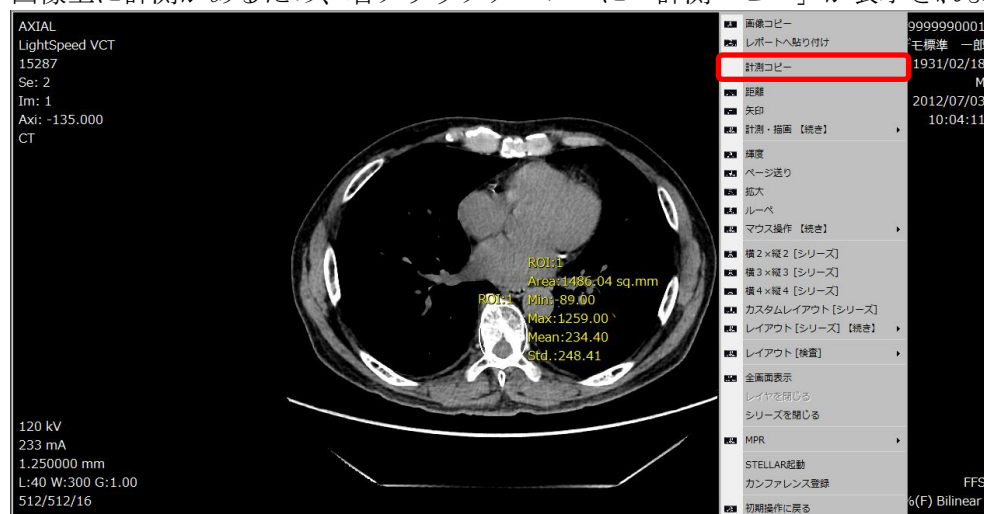
コピーした計測値を貼り付けます。

ワンポイント

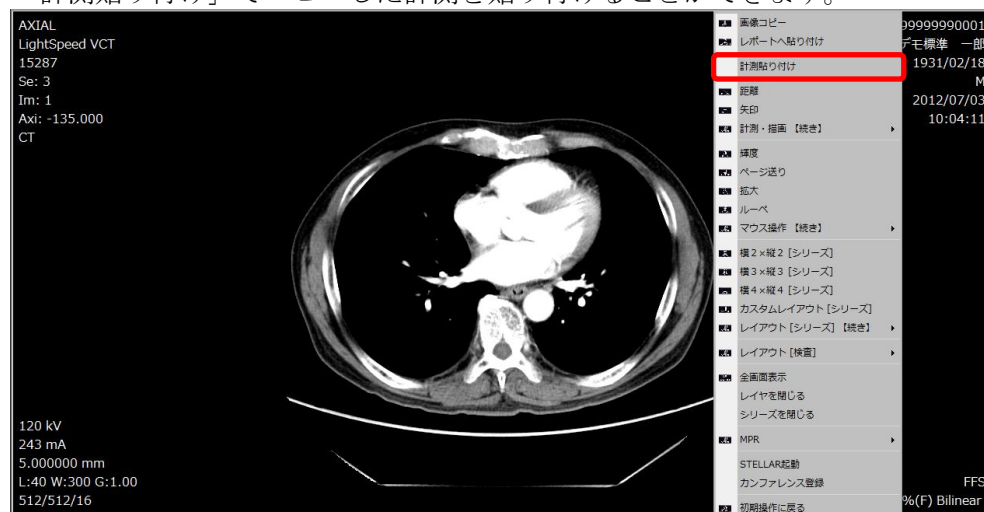
画像上に計測がある場合、右クリックメニューに「計測コピー」が表示されます。

コピーした計測は、右クリックメニューの「計測貼り付け」で貼り付けることができます。

画像上に計測があるため、右クリックメニューに「計測コピー」が表示されます。



「計測貼り付け」でコピーした計測を貼り付けることができます。

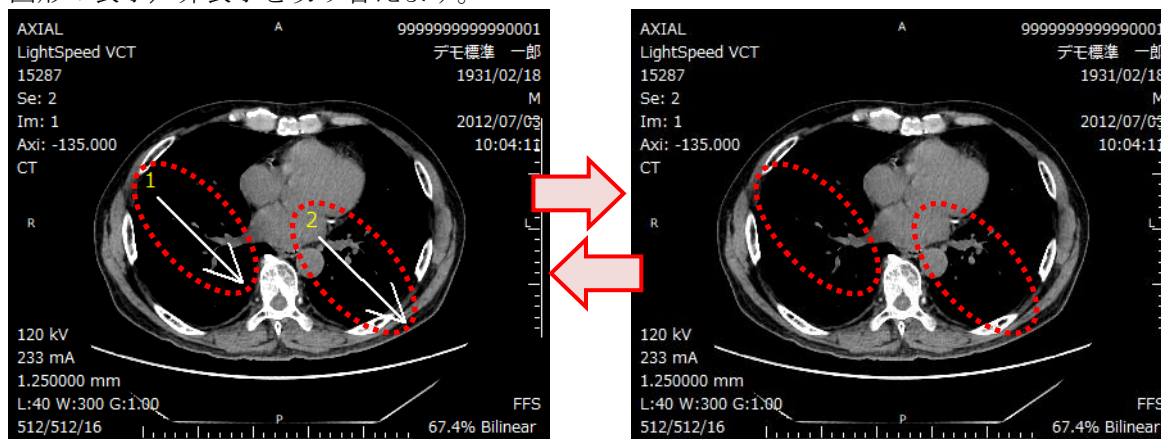


計測終了

計測を終了します。

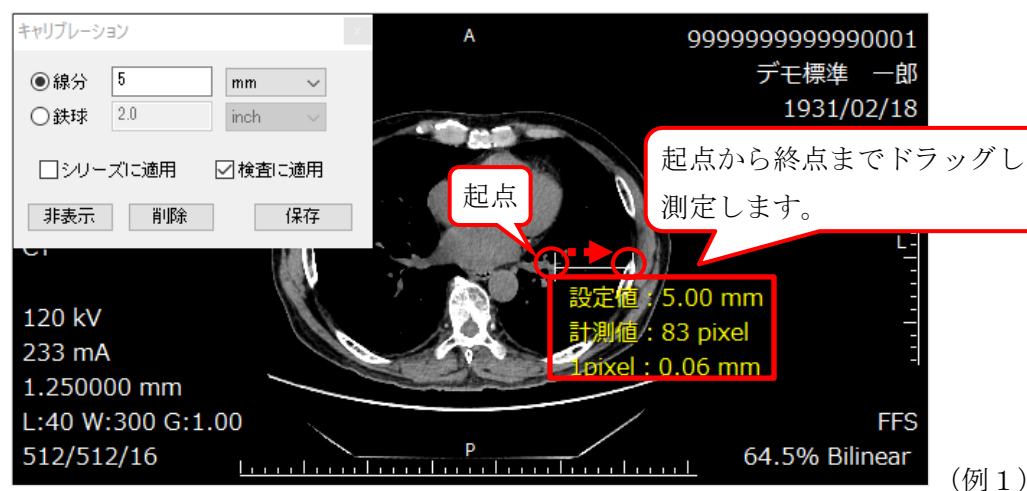
表示／非表示切替

図形の表示／非表示を切り替えます。



キャリブレーション

画像のキャリブレーションを行います。例 1 では線分 5mm、例 2 では鉄球 1.0inch で行います。



シリーズに適用／検査に適用：適用するほうにチェックを入れます。

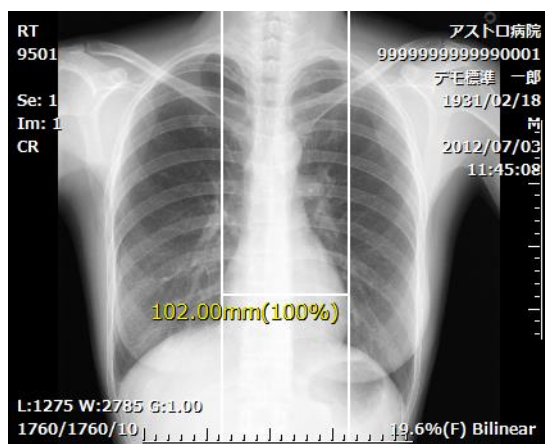
[非表示]／[表示]ボタン：非表示／表示を切り替えます。

[削除]ボタン：キャリブレーション値を削除します。

[保存]ボタン：キャリブレーション値を保存します。

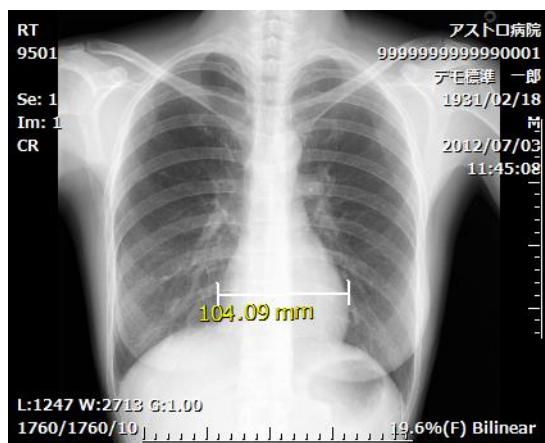
CTR

CTR 計測を行い、計測値を表示します。



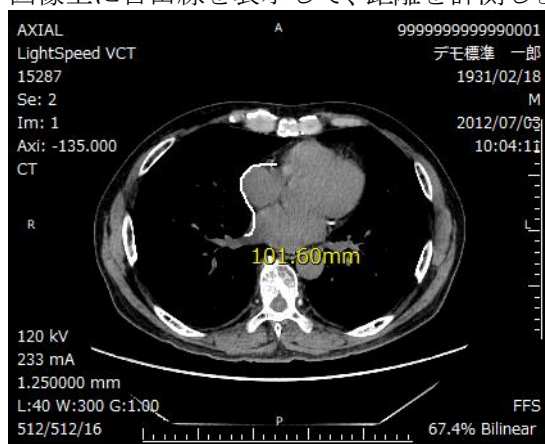
距離

2 点間の距離を表示します。



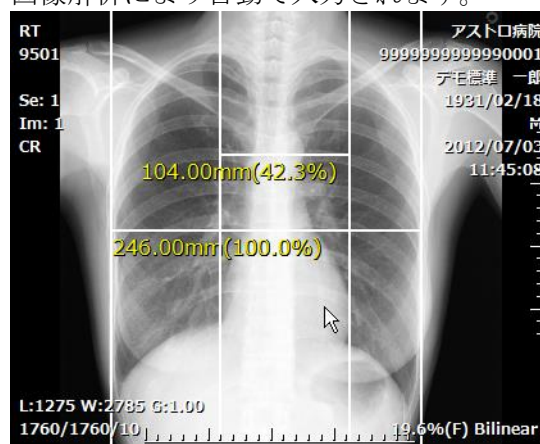
自由線計測

画像上に自由線を表示して、距離を計測します。



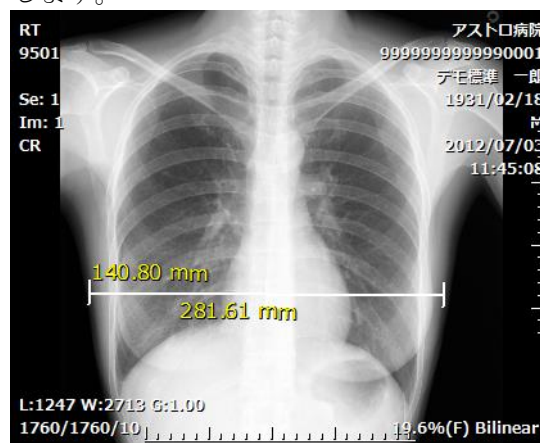
CTR 自動

CTR 計測を行い、計測値を表示します。
画像解析により自動で入力されます。



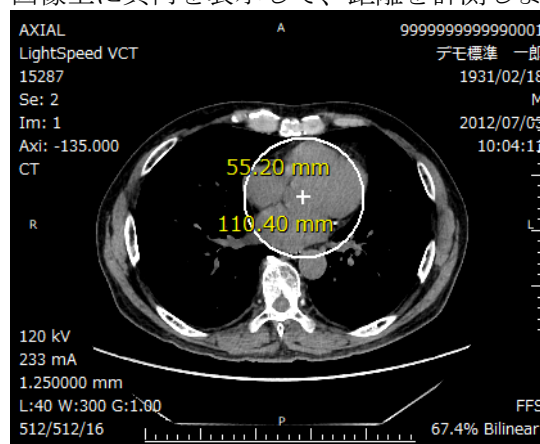
距離 (中間点)

2 点間の距離およびその中点までの距離を表示します。



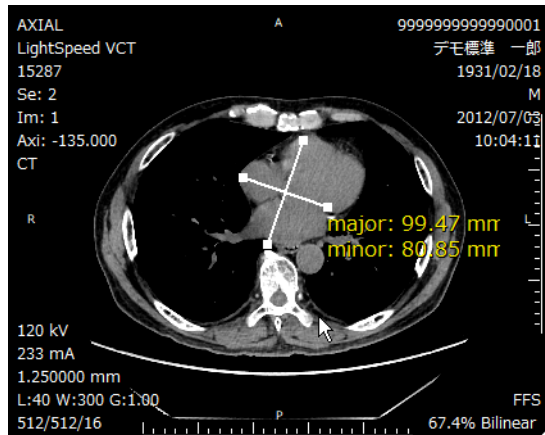
真円計測

画像上に真円を表示して、距離を計測します。



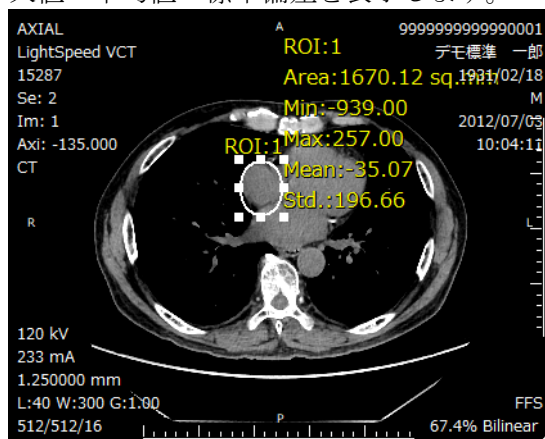
長短径

長径、短径を表示して、距離を計測します。



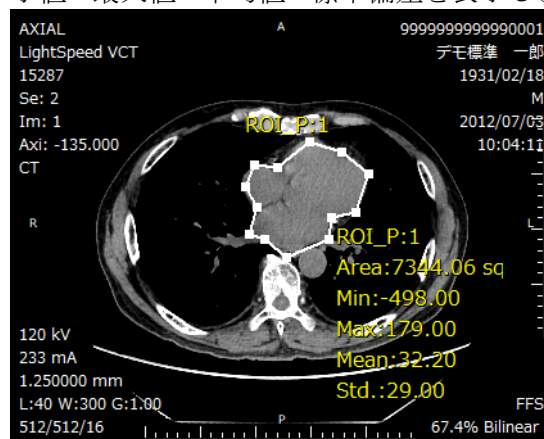
ROI

ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。



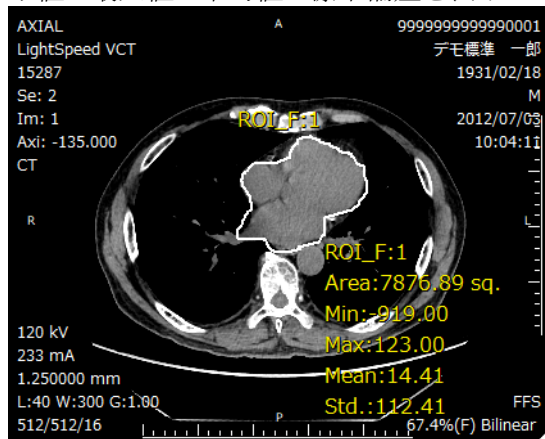
ポリゴン ROI

ポリゴン ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。



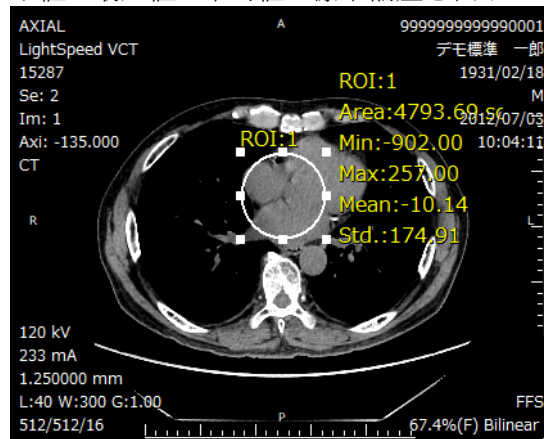
自由線 ROI

自由線で ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。



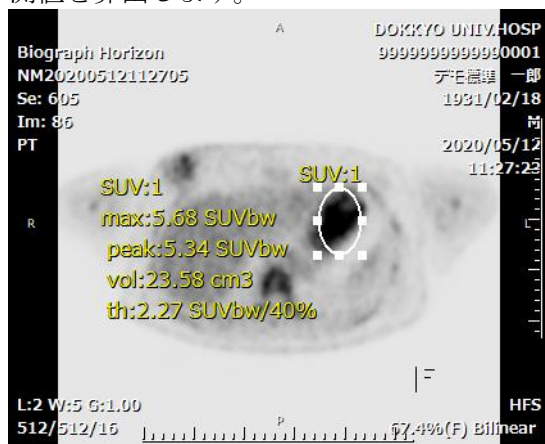
スタンプ ROI

スタンプ ROI を指定して、その内部の面積・最小値・最大値・平均値・標準偏差を表示します。



SUV

PET-CT で ROI 計測を行う場合に SUV 値で計測値を算出します。



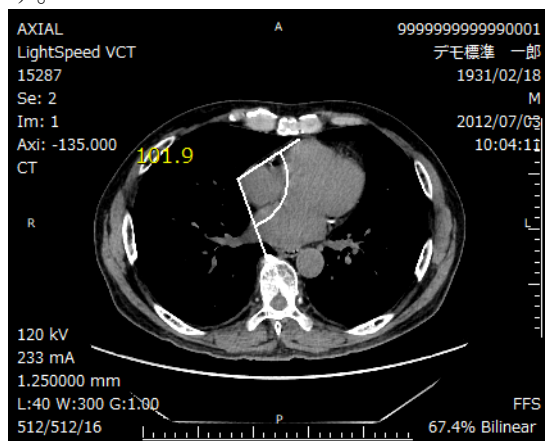
SUV MTV

ROI 内の SUV 最大値の関心領域を抽出した領域内の SUV 値で計測値を算出します。



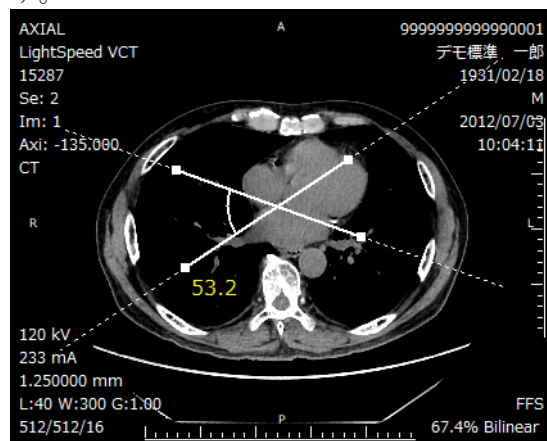
角度

2つの線分を指定して、そのなす角を計測します。



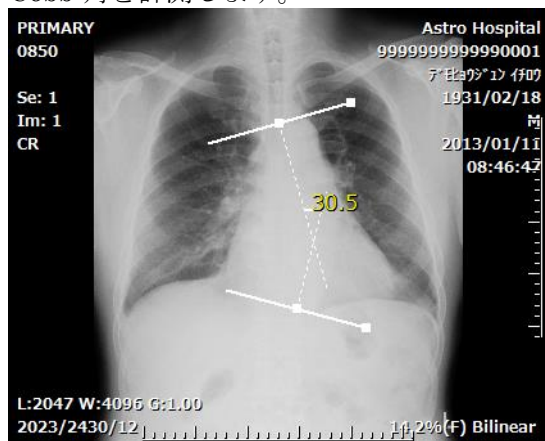
角度 (2 線分)

2つの線分を指定して、そのなす角を計測します。



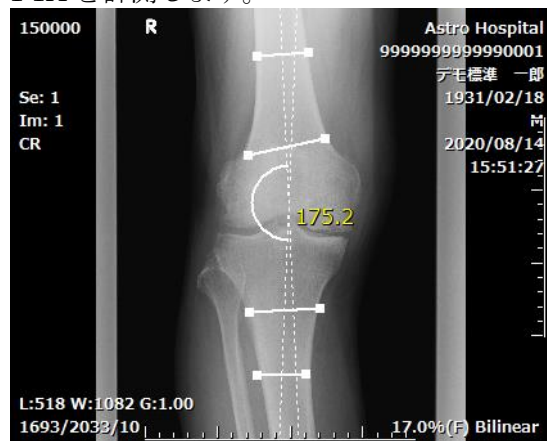
Cobb 角

Cobb 角を計測します。



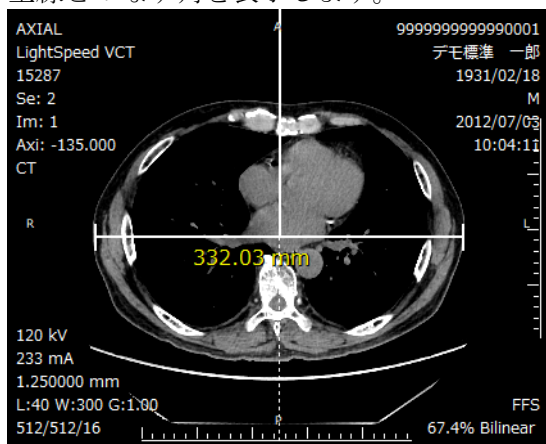
FTA

FTA を計測します。



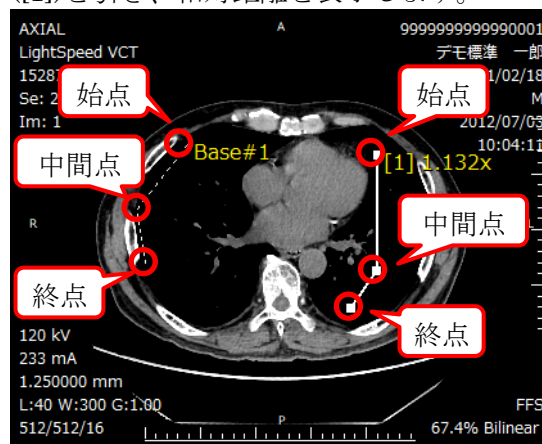
中心線

画像上の直線を引き、その中点から垂線および垂線とのなす角を表示します。



相対距離

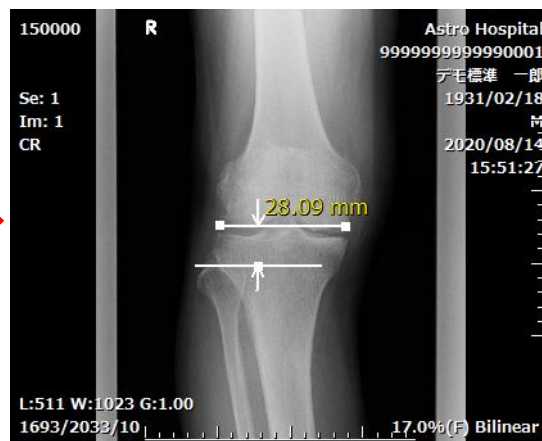
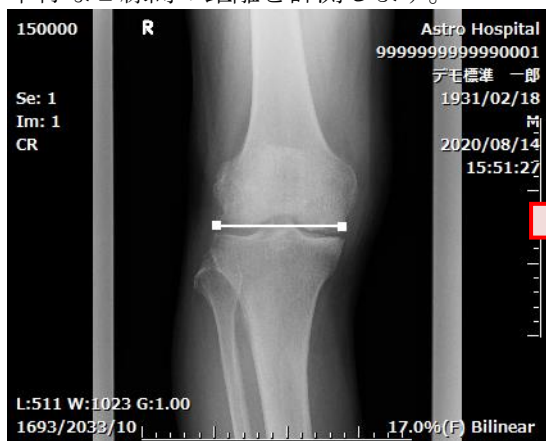
基準線(Base#1) に対し相対距離を求める線 ([1])を引き、相対距離を表示します。



※ダブルクリックで終点となります。

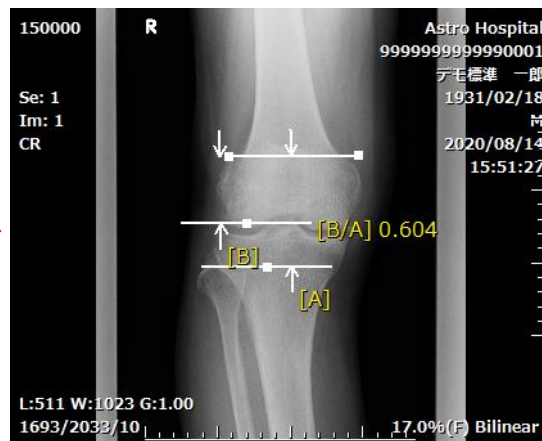
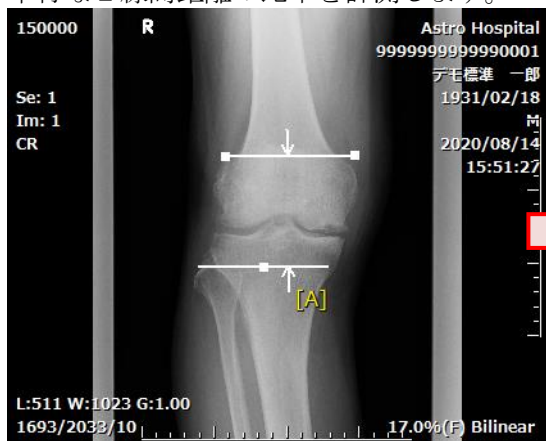
平行線間距離

平行な 2 線間の距離を計測します。



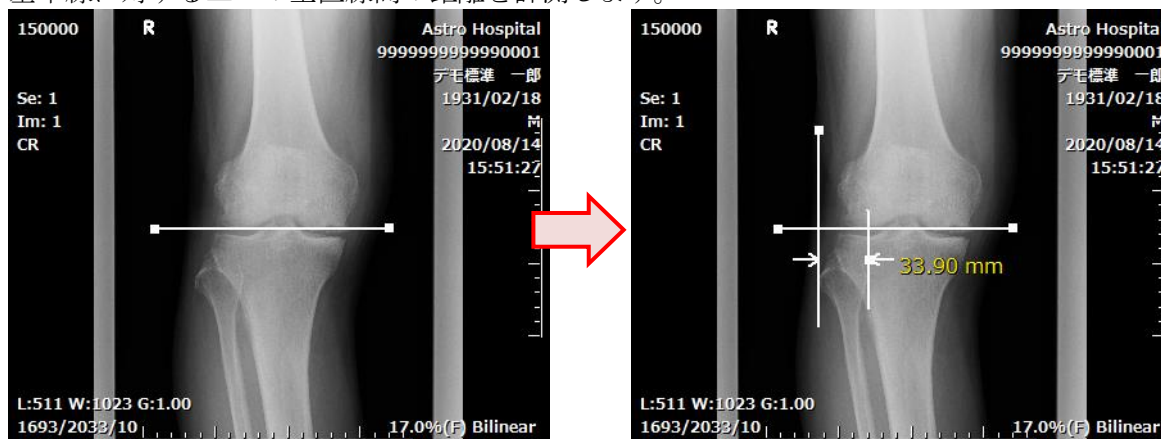
平行線間距離比

平行な 2 線間距離の比率を計測します。



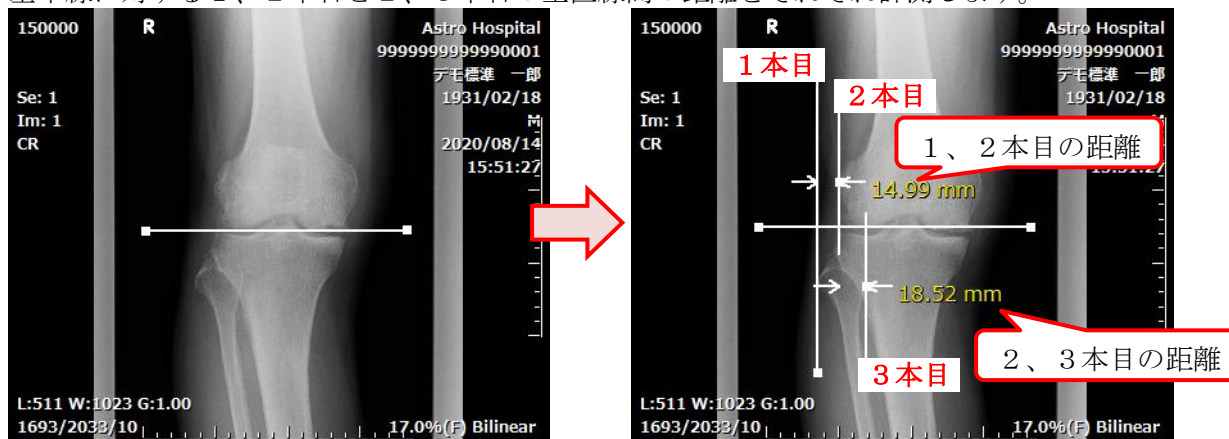
垂線間距離

基準線に対する二つの垂直線間の距離を計測します。



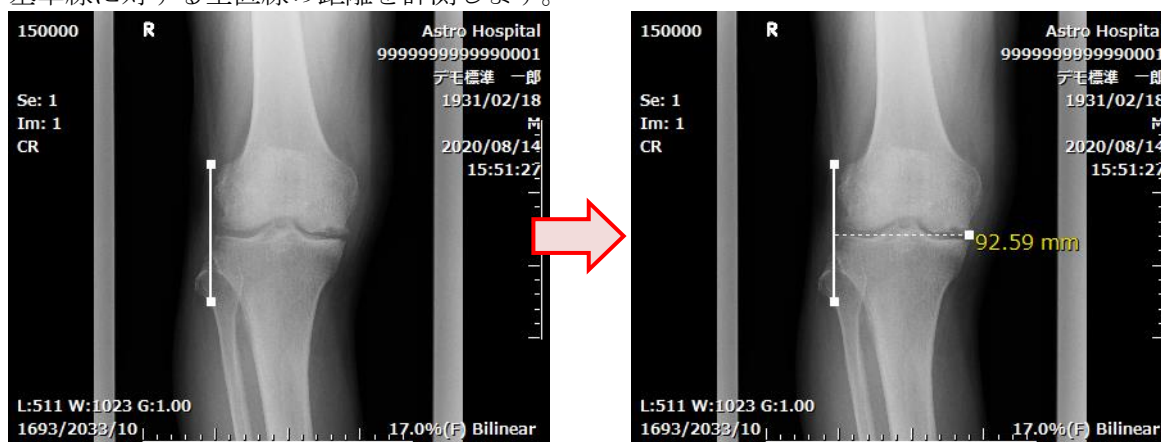
垂線間距離 2

基準線に対する 1、2 本目と 2、3 本目の垂直線間の距離をそれぞれ計測します。



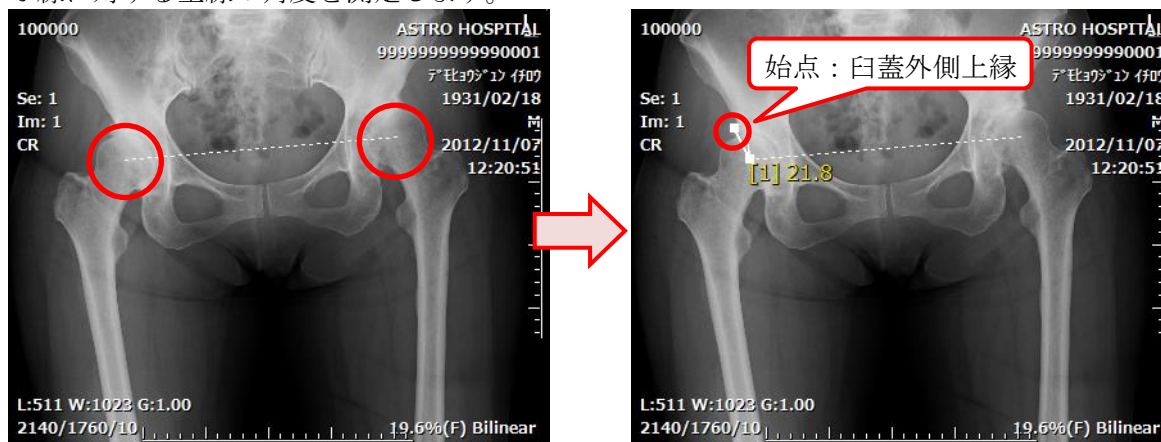
垂線距離

基準線に対する垂直線の距離を計測します。

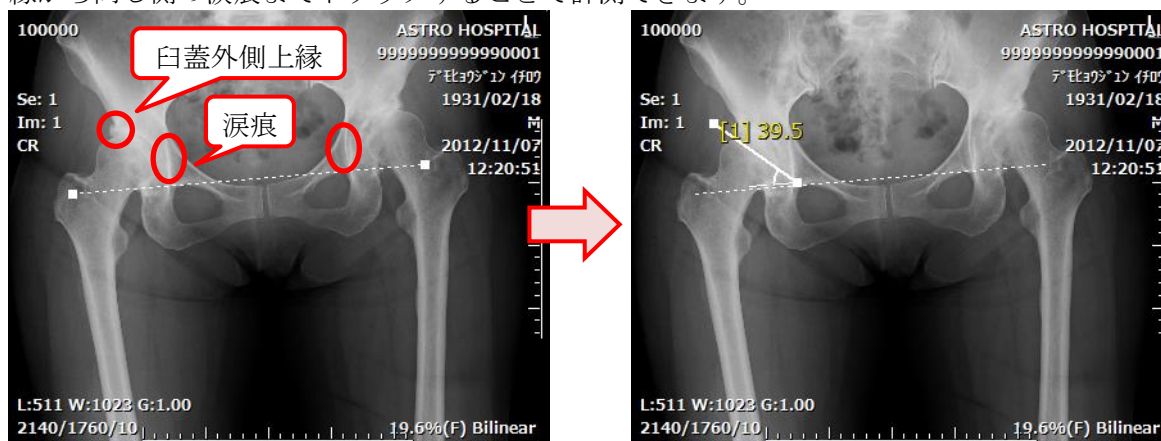


CE/Sharp 角

CE 角の測定では、両側大腿骨頭の中心と、臼蓋外側上縁を結ぶ線と、両方の大腿骨頭の中心を結ぶ線に対する垂線の角度を測定します。

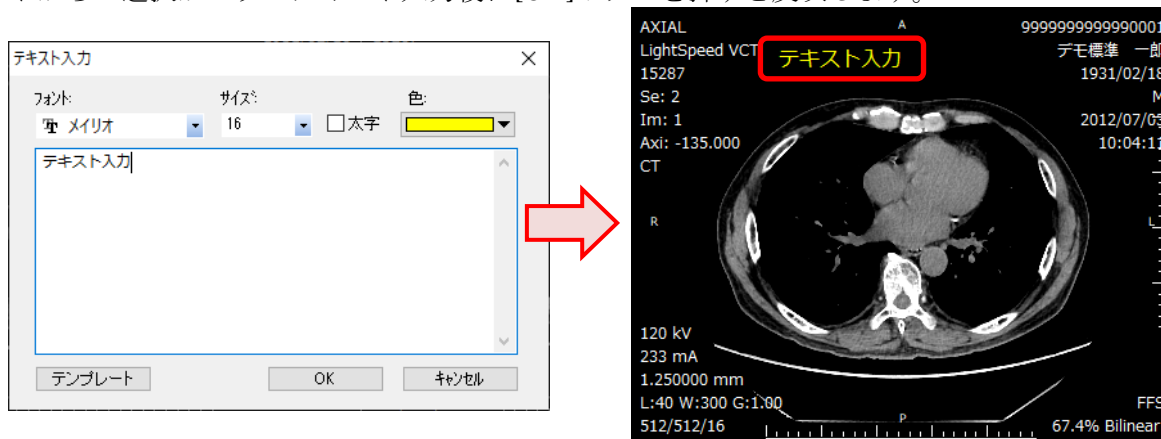


Sharp 角では、左右の涙痕（Y 軟骨）を結ぶ線を引いた後に、[Shift]キーを押しながら臼蓋外側上縁から同じ側の涙痕までドラッグすることで計測できます。



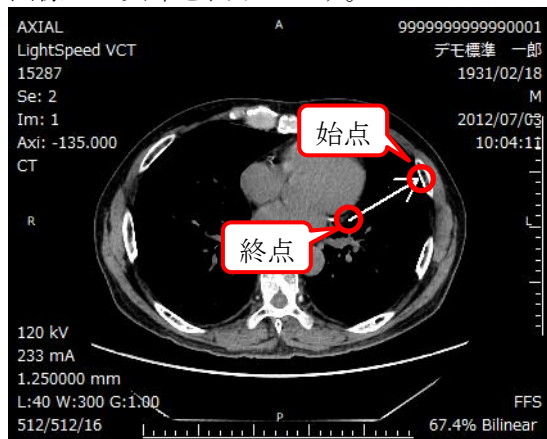
テキスト

画像上にテキストを表示します。画像上で任意箇所をクリックし、テキスト入力画面でテンプレートからの選択かフリーテキスト入力後に[OK]ボタンを押すと反映します。



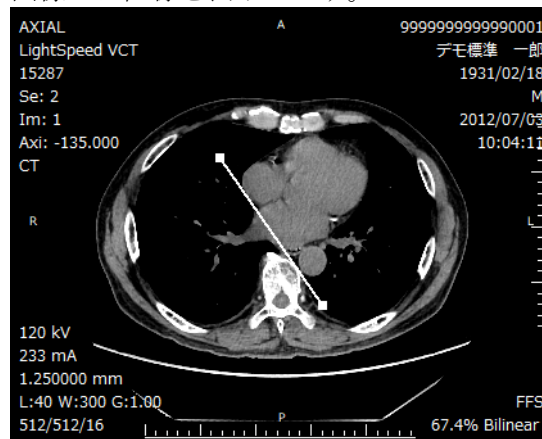
矢印

画像上に矢印を表示します。



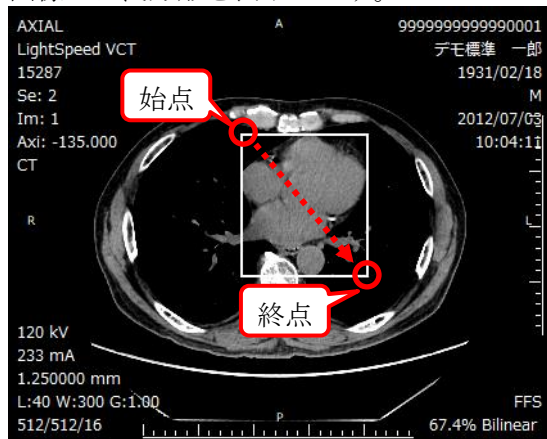
直線

画像上に直線を表示します。



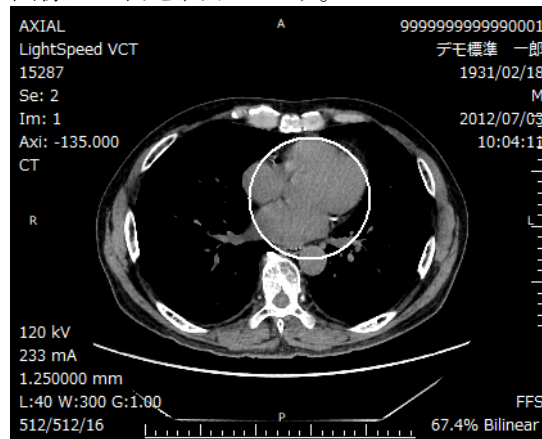
長方形

画像上に長方形を表示します。



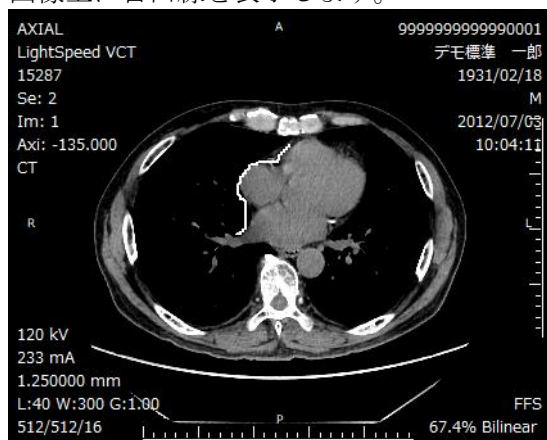
円

画像上に円を表示します。



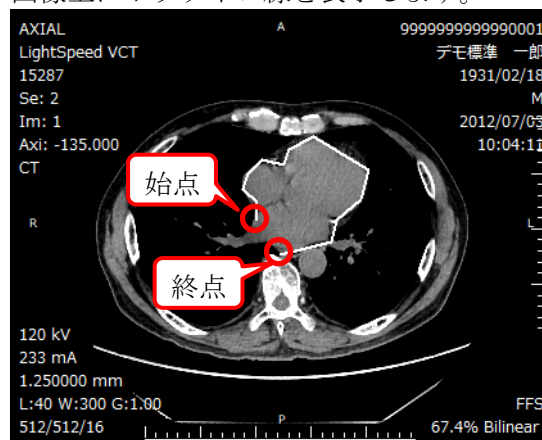
自由線（矩形編集）

画像上に自由線を表示します。



ポリライン

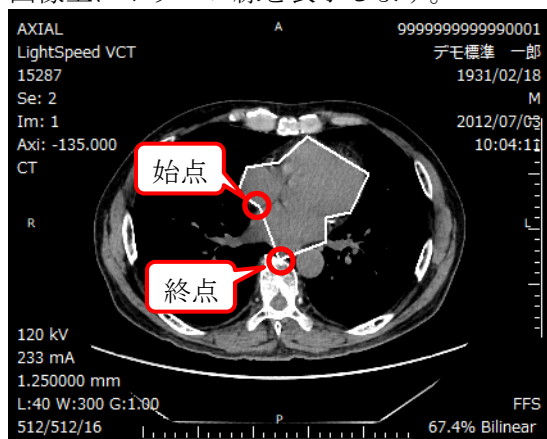
画像上にポリライン線を表示します。



※ダブルクリックで終点となります。

ポリゴン

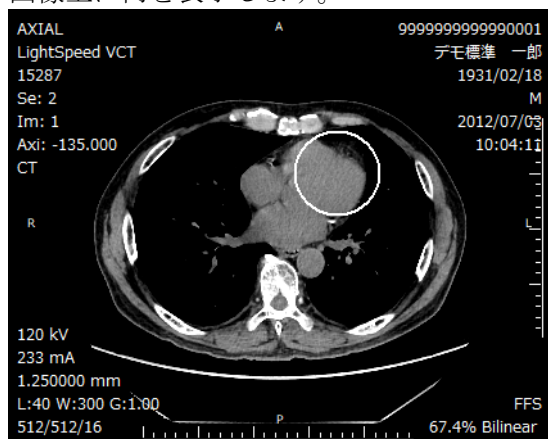
画像上にポリゴン線を表示します。



ダブルクリックで終点となり、始点と終点が結びられます。

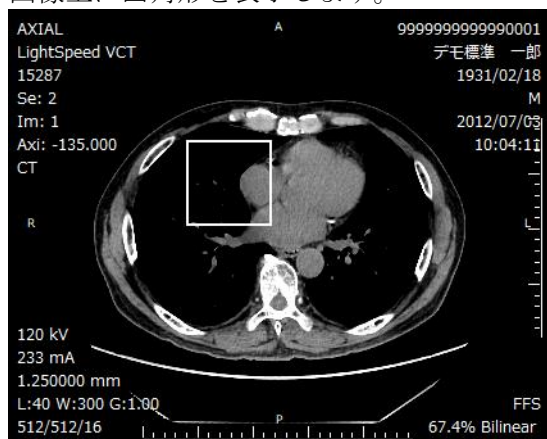
スタンプ円

画像上に円を表示します。



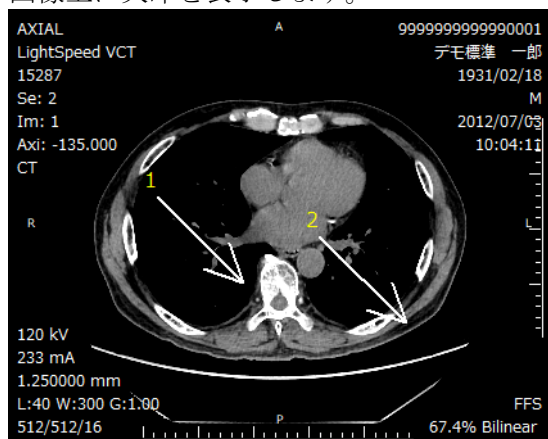
スタンプ四角

画像上に四角形を表示します。



スタンプ矢印

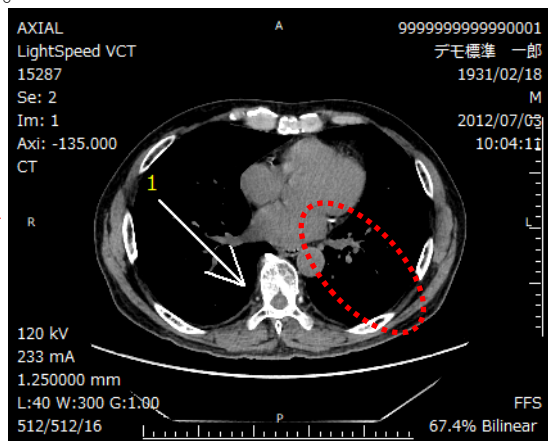
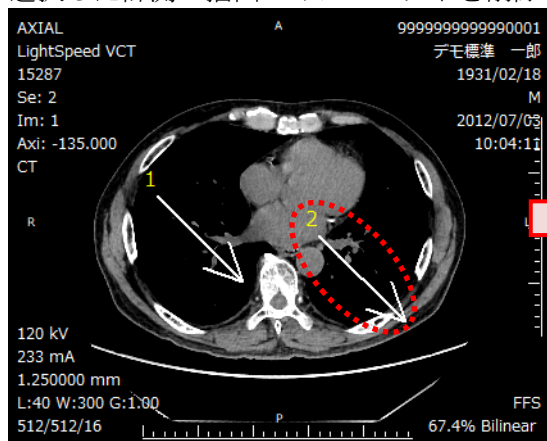
画像上に矢印を表示します。



※矢印には、番号が自動で割り振られます。

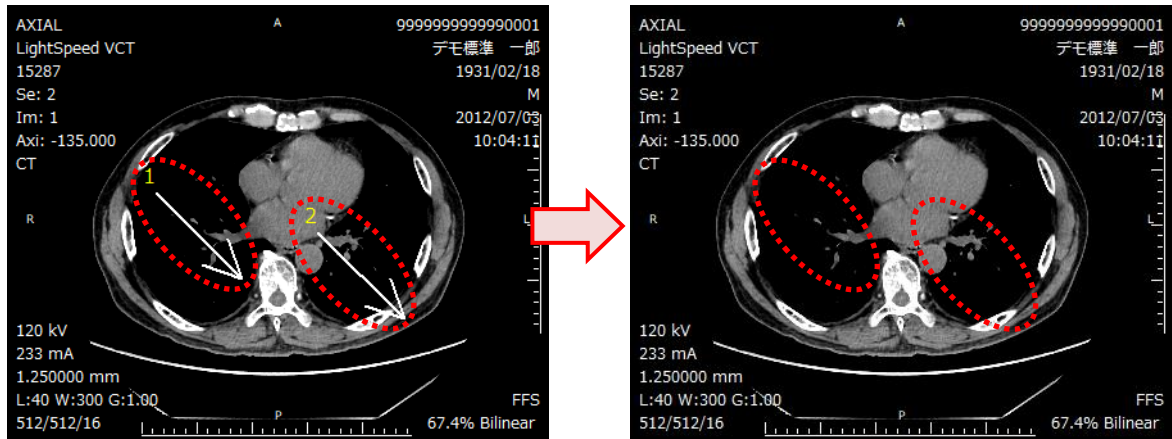
削除

選択した計測・描画のオブジェクトを削除します。



全削除

計測・描画のオブジェクトをすべて削除します。



4.5 レイアウト

4.5.1 シリーズレイアウト

横1×縦1シリーズ

シリーズレイアウトを1×1に変更します。



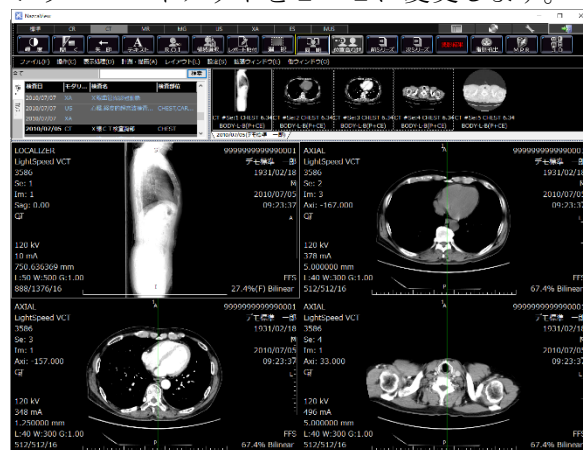
横2×縦1シリーズ

シリーズレイアウトを2×1に変更します。



横2×縦2シリーズ

シリーズレイアウトを2×2に変更します。



横2×縦3シリーズ

シリーズレイアウトを2×3に変更します。

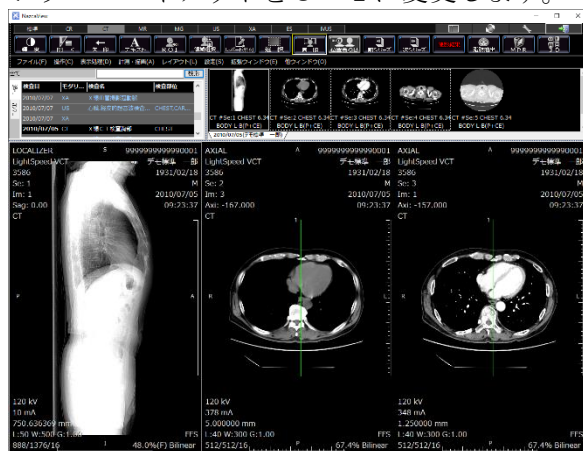


横2×縦4シリーズ

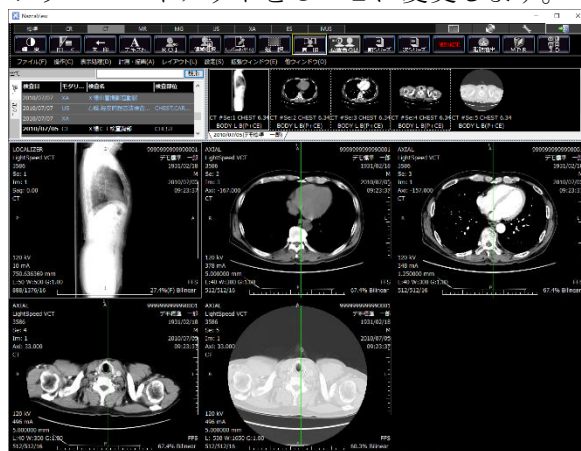
シリーズレイアウトを2×4に変更します。



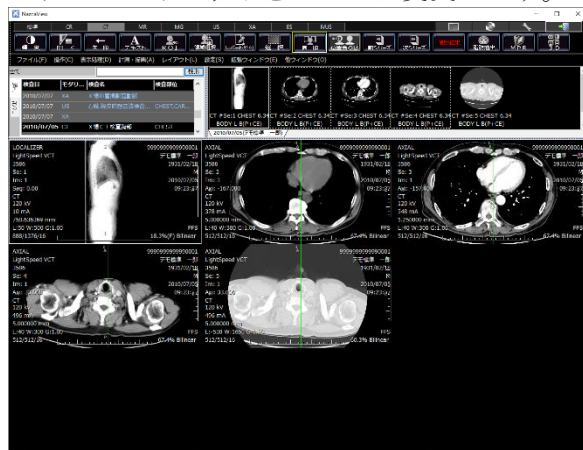
横3×縦1シリーズ
シリーズレイアウトを3×1に変更します。



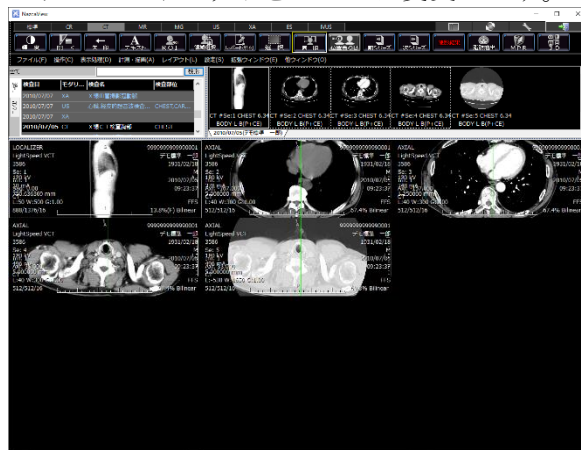
横3×縦2シリーズ
シリーズレイアウトを3×2に変更します。



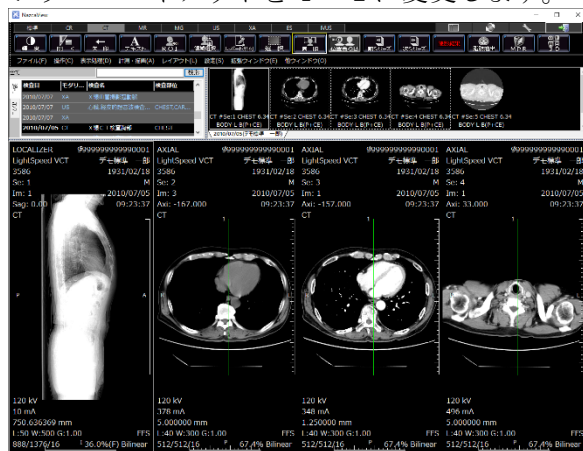
横3×縦3シリーズ
シリーズレイアウトを3×3に変更します。



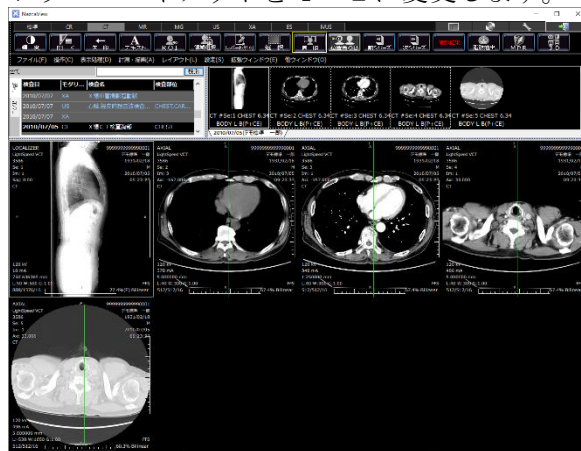
横3×縦4シリーズ
シリーズレイアウトを3×4に変更します。



横4×縦1シリーズ
シリーズレイアウトを4×1に変更します。



横4×縦2シリーズ
シリーズレイアウトを4×2に変更します。



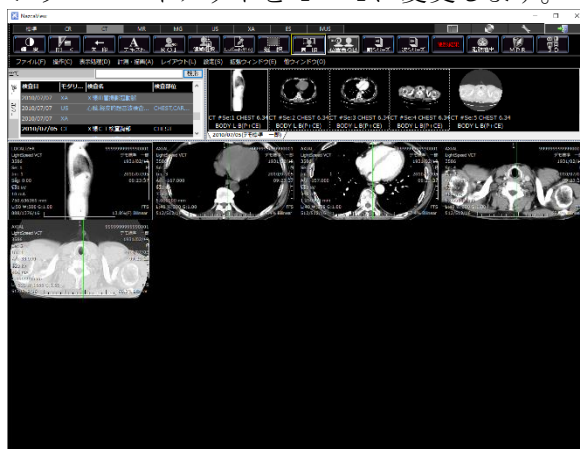
横4×縦3シリーズ

シリーズレイアウトを4×3に変更します。



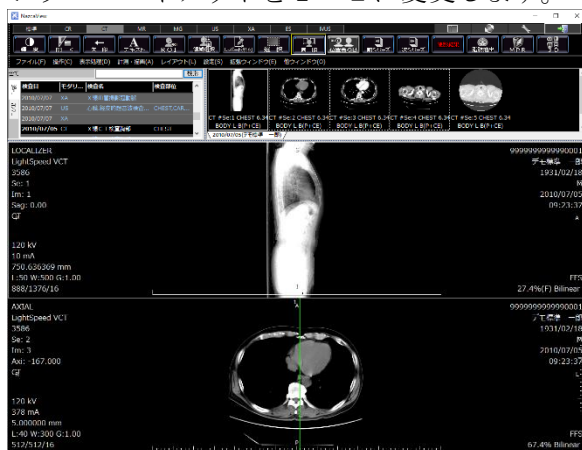
横4×縦4シリーズ

シリーズレイアウトを4×4に変更します。



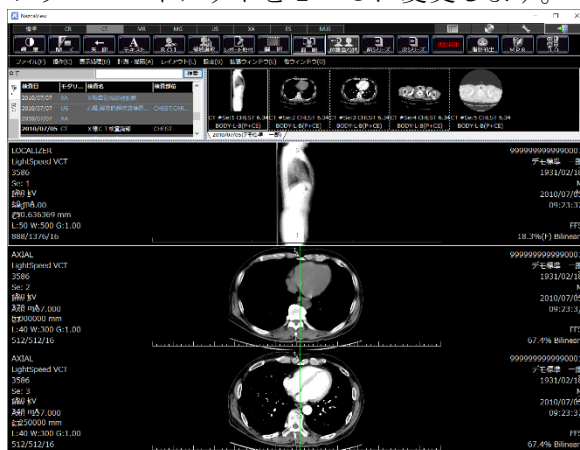
横1×縦2シリーズ

シリーズレイアウトを1×2に変更します。



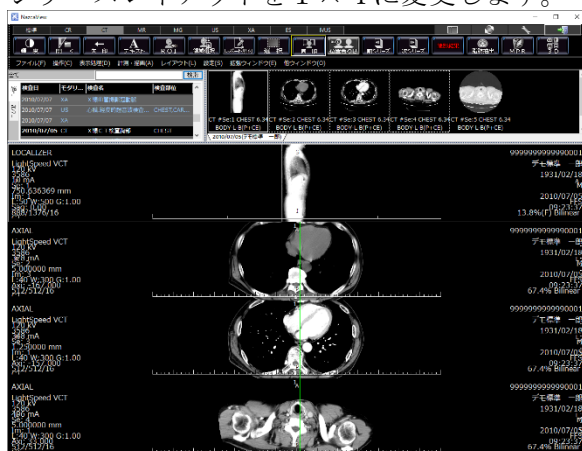
横1×縦3シリーズ

シリーズレイアウトを1×3に変更します。



横1×縦4シリーズ

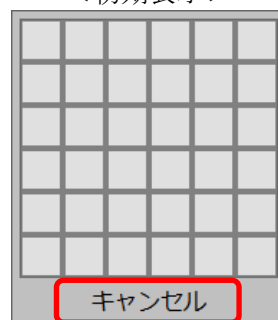
シリーズレイアウトを1×4に変更します。



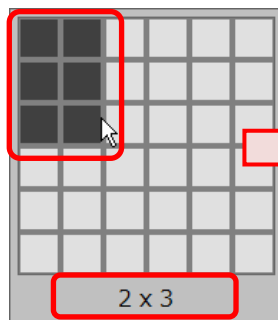
カスタムレイアウト シリーズ

シリーズレイアウトを任意のレイアウトに変更します。

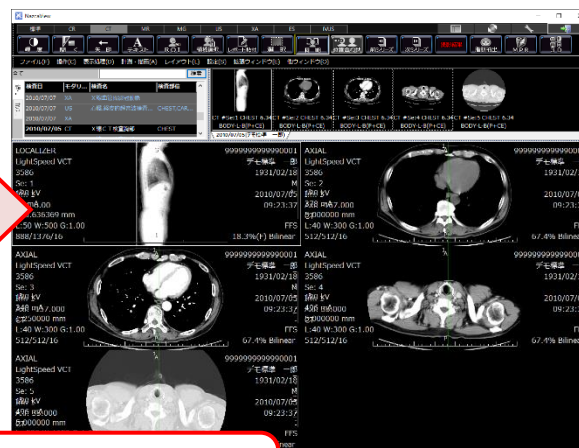
＜初期表示＞



タイル未選択の場合、キャンセルできます。

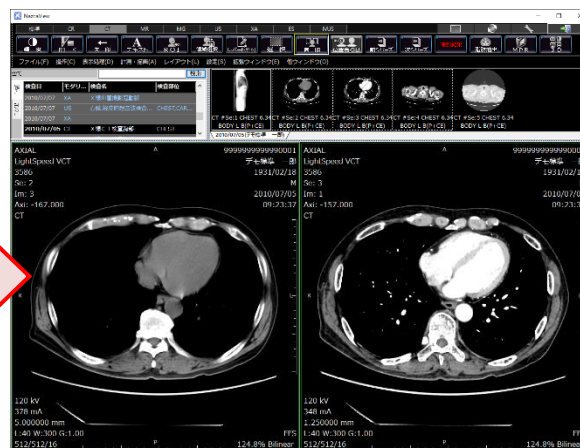


今回は2×3を選択。ビュー画面にレイアウトが反映されます。



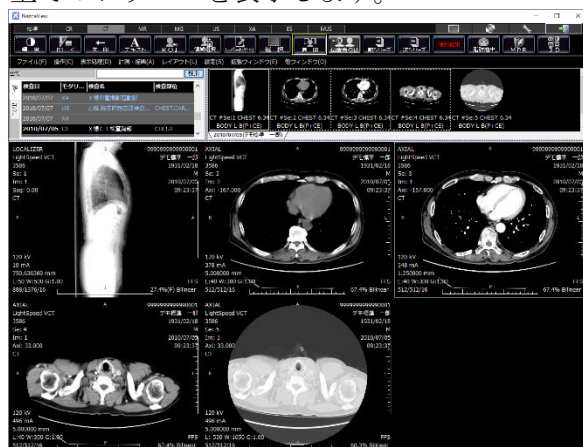
選択シリーズ表示

選択したシリーズを表示します。



全シリーズ表示

全てのシリーズを表示します。



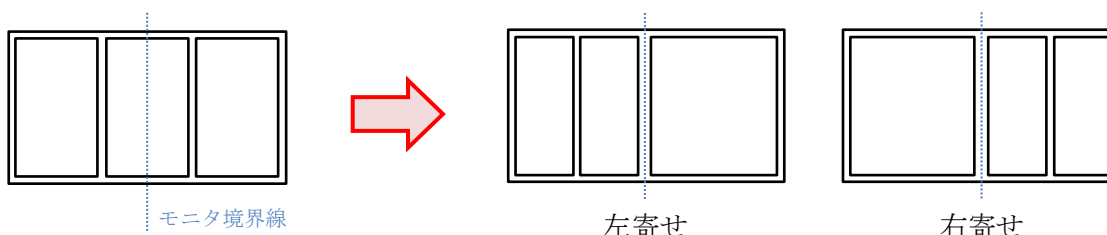
💡 ワンポイント

モニタ 2 面にまたがって表示する際に、シリーズレイアウトを調整することができます。

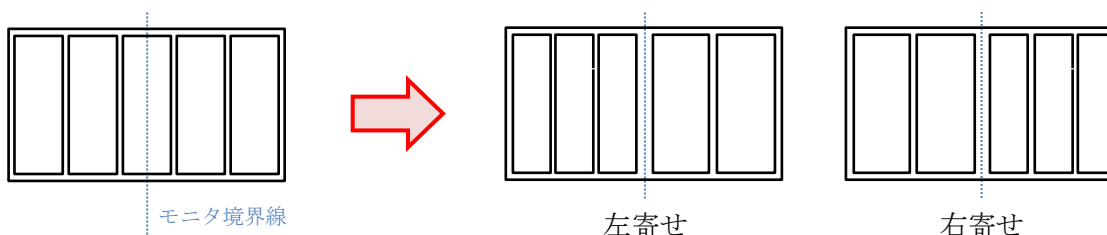
モニタ 2 面にまたがってビューアを表示する際に、シリーズレイアウトの横が奇数の場合にモニタをまたがって表示されるレイアウト枠が発生してしまうため、設定によりシリーズレイアウト枠を左寄せ、または右寄せで調整します。

例)

- ・シリーズレイアウト横 3 × 縦 1



- ・シリーズレイアウト横 5 × 縦 1



※同様に、シリーズレイアウト横が 7、9 の場合も左寄せ、右寄せが適用されます。

<NazcaView.ini の設定箇所>

端末毎の設定なので、NazcaView.ini で設定します。

NazcaView.ini の[Nazca]セクションに下記のように設定します。

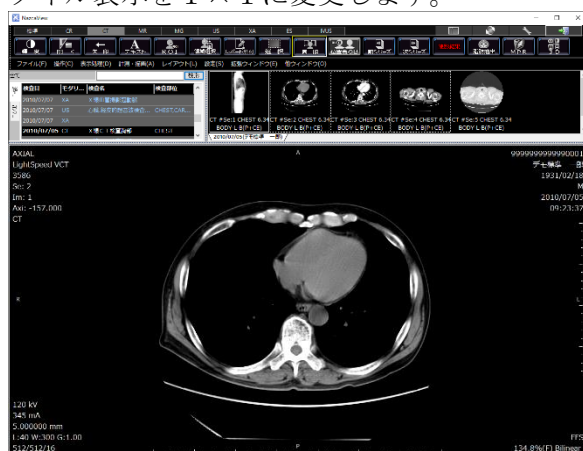
AdjustSeriesLayoutToMonitor=1

設定値 0 : 調整なし(初期値) 1 : 左寄せ 2 : 右寄せ

4.5.2 イメージレイアウト

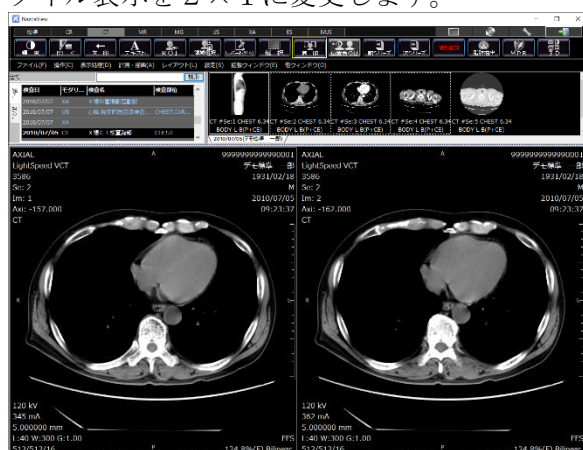
横1×縦1 イメージ

タイル表示を1×1に変更します。



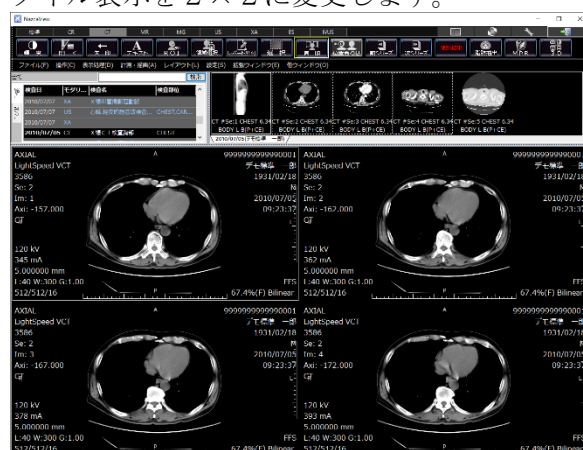
横2×縦1 イメージ

タイル表示を2×1に変更します。



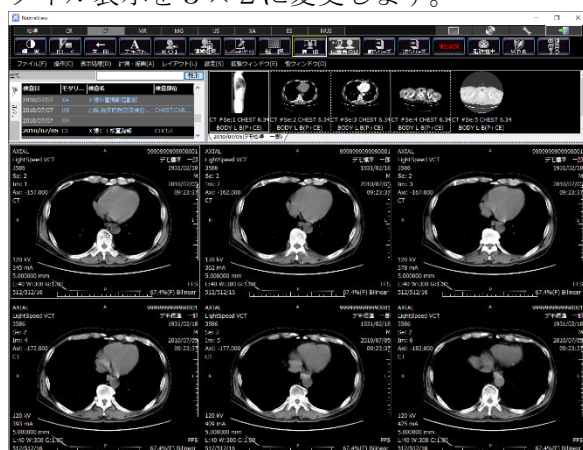
横2×縦2 イメージ

タイル表示を2×2に変更します。



横3×縦2 イメージ

タイル表示を3×2に変更します。



横3×縦3 イメージ

タイル表示を3×3に変更します。



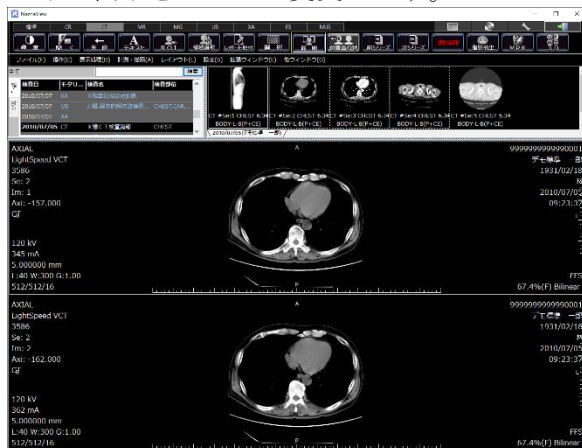
横4×縦4 イメージ
タイル表示を4×4に変更します。



横4×縦5 イメージ
タイル表示を4×5に変更します。

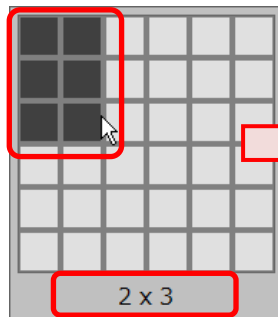
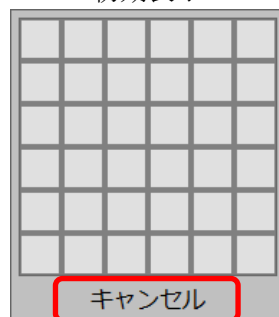


横1×縦2 イメージ
タイル表示を1×2に変更します。



カスタムレイアウト イメージ
タイル表示を任意のレイアウトに変更します。

＜初期表示＞



タイル未選択の場合、
キャンセルできます。

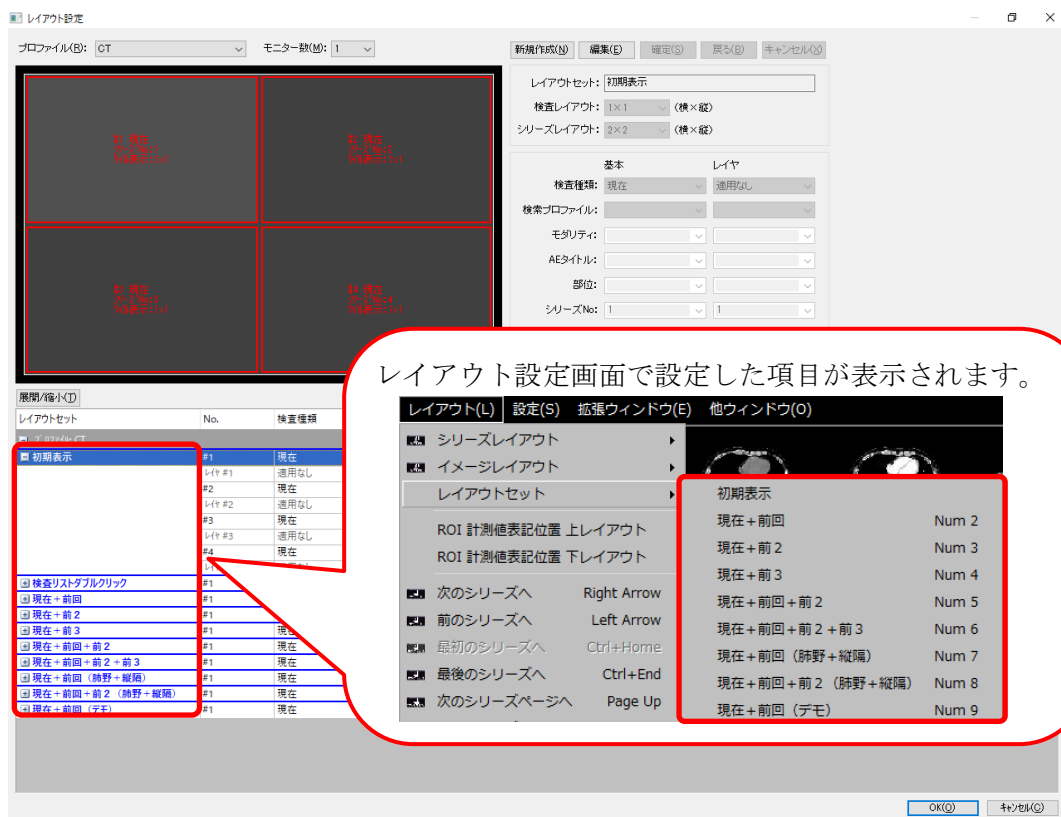
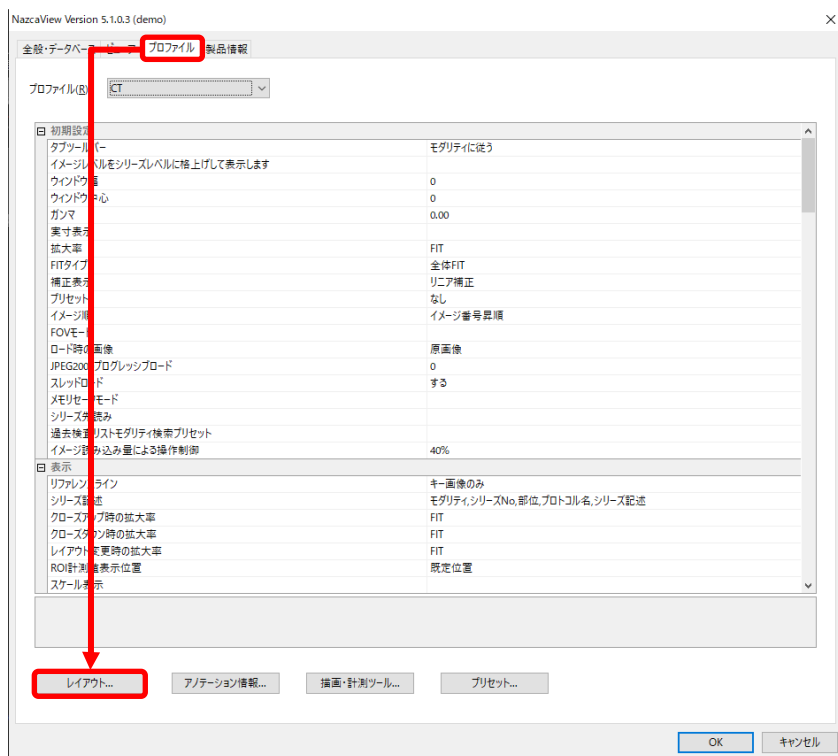
今回は2×3を選択。ビュー画面に
レイアウトが反映されます。



4.5.3 レイアウトセット

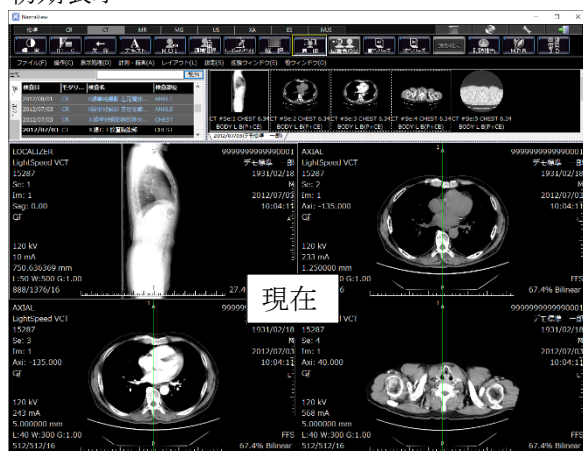
レイアウトセットには、レイアウト設定画面で登録したセットが表示されます。

ビューワ画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[プロファイル]タブ>[レイアウト...]ボタンの順に選択するとレイアウト設定画面が表示されます。

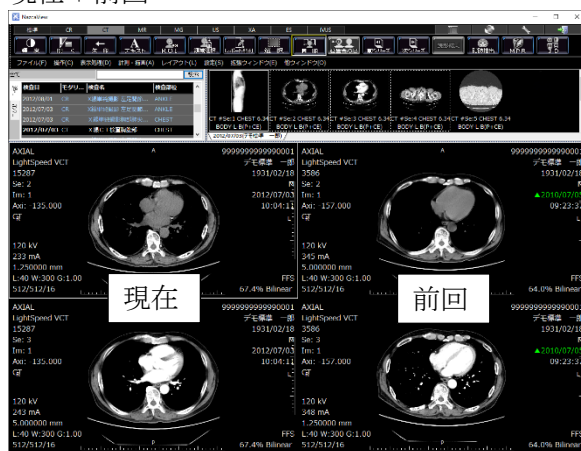


モダリティ CT のレイアウト設定例を一部記載します。

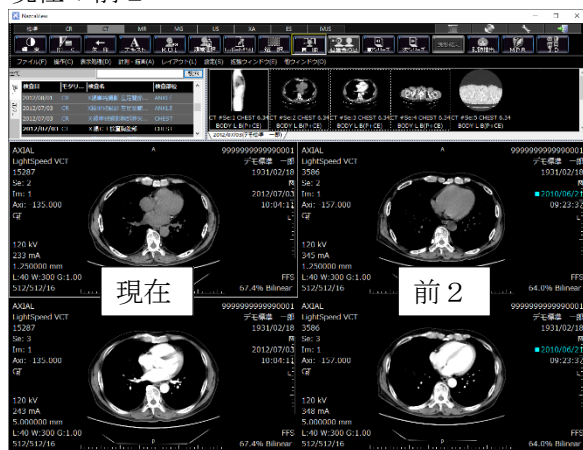
初期表示



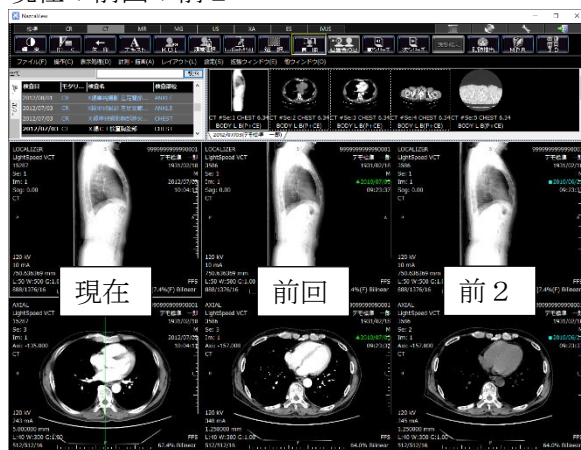
現在+前回



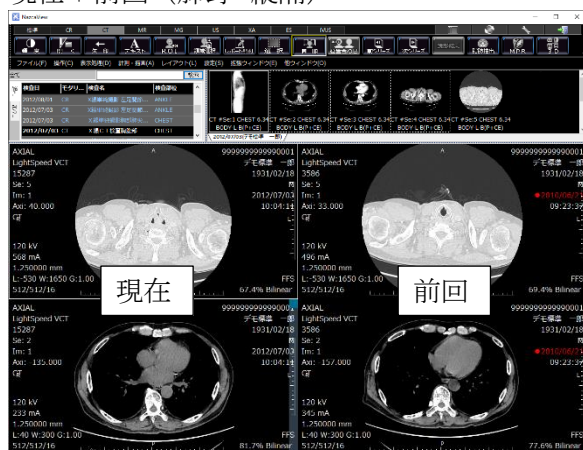
現在+前2



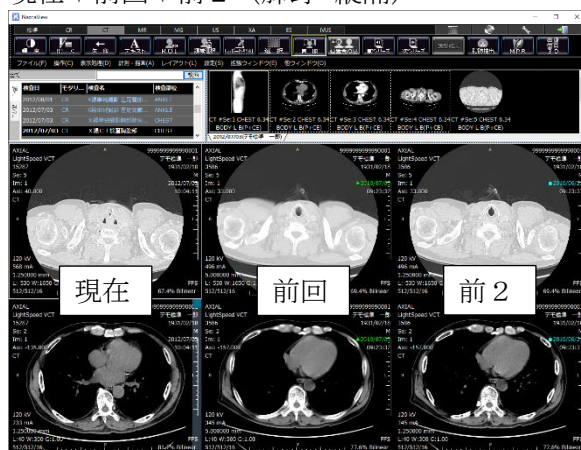
現在+前回+前2



現在+前回（肺野+縦隔）

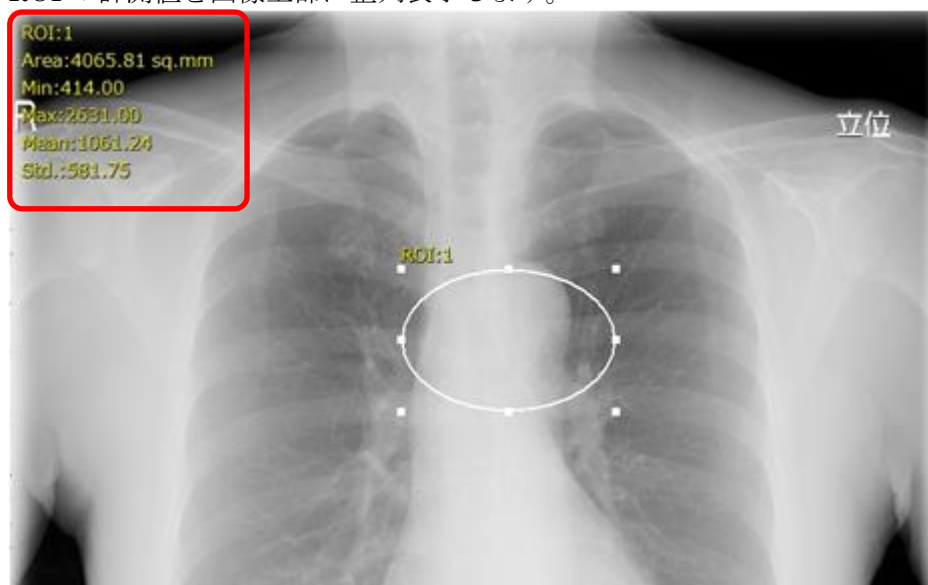


現在+前回+前2（肺野+縦隔）



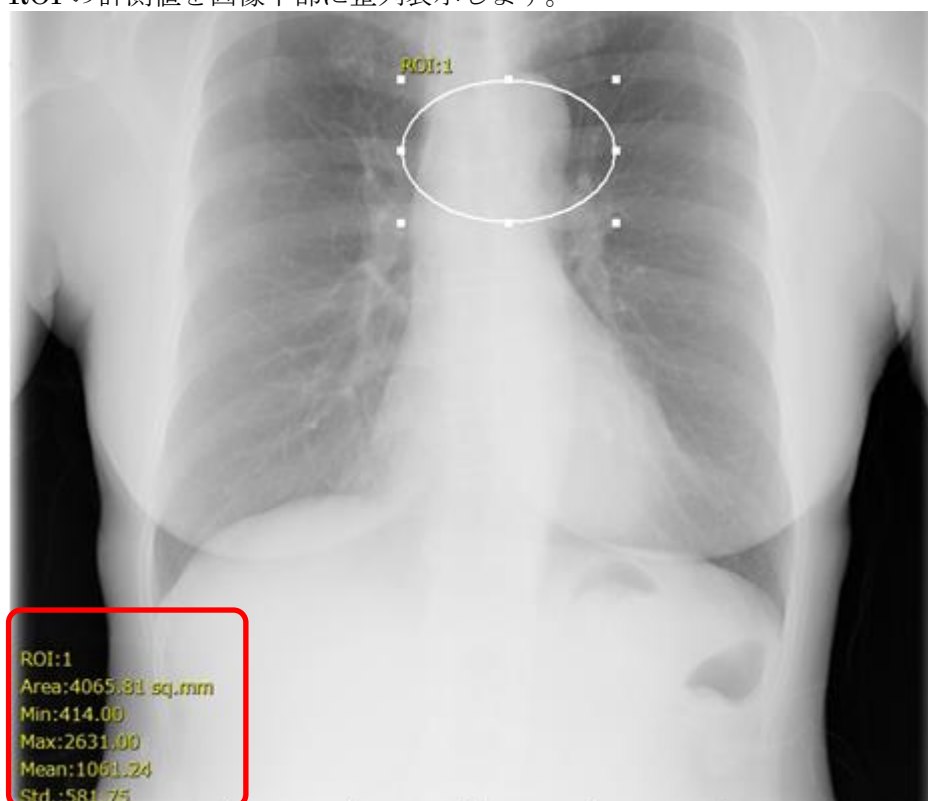
ROI 計測値表記位置上レイアウト

ROI の計測値を画像上部に整列表示します。



ROI 計測値表記位置下レイアウト

ROI の計測値を画像下部に整列表示します。



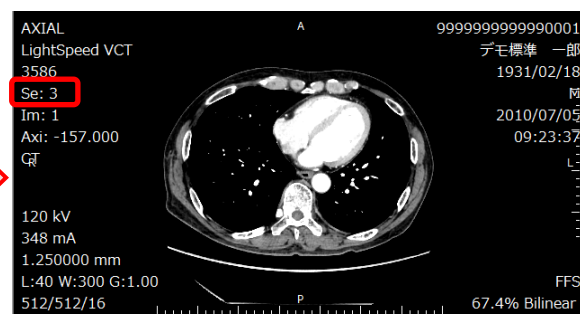
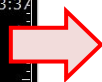
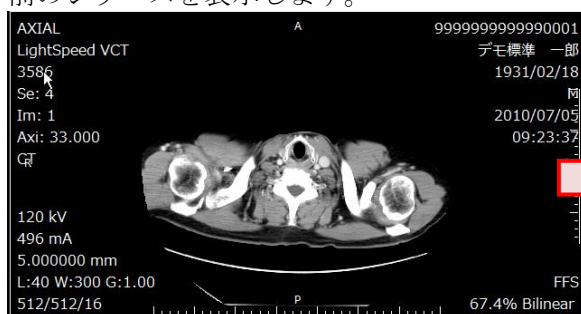
次のシリーズへ

次のシリーズを表示します。



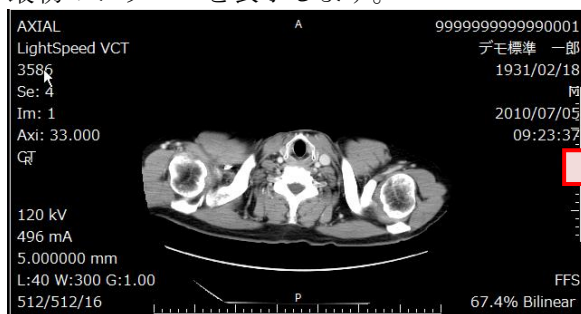
前のシリーズへ

前のシリーズを表示します。



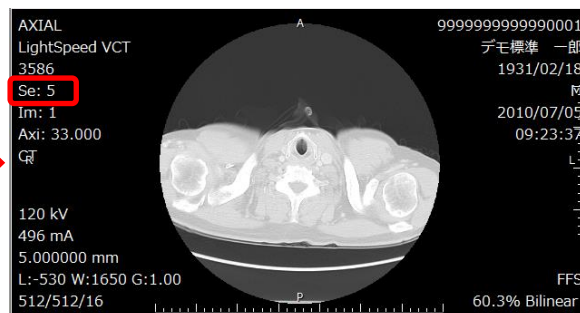
最初のシリーズへ

最初のシリーズを表示します。



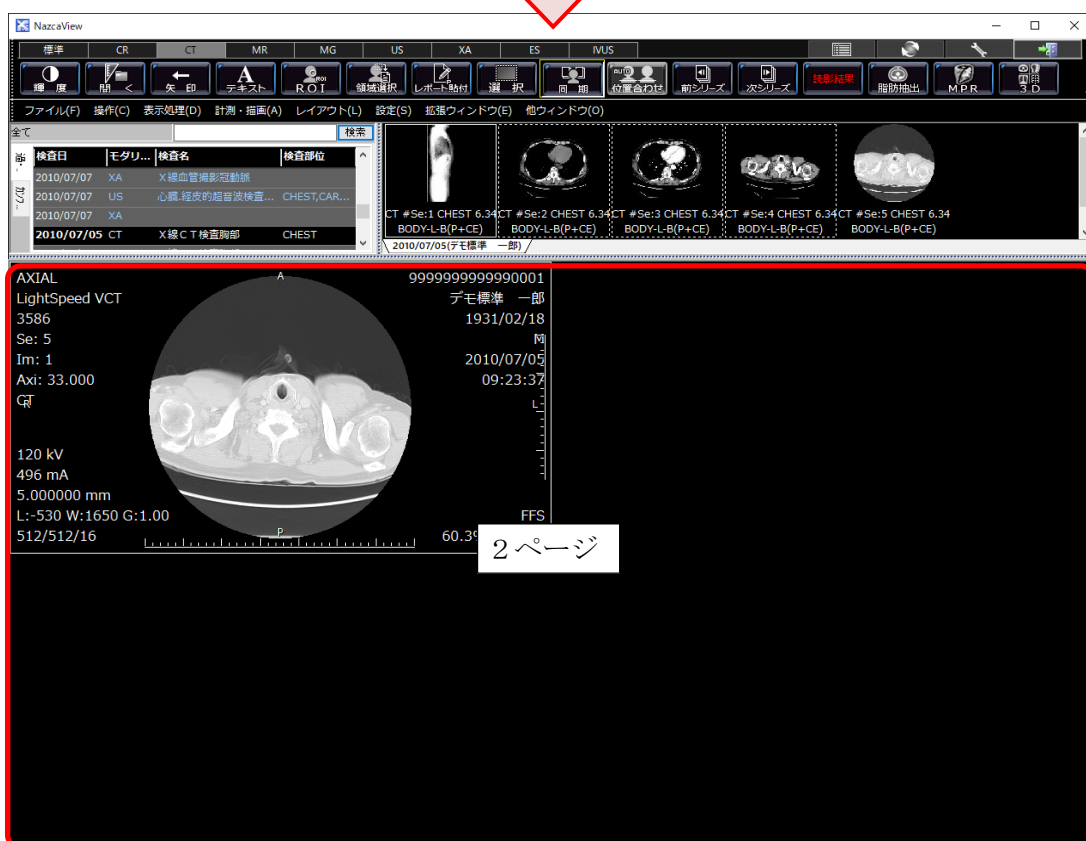
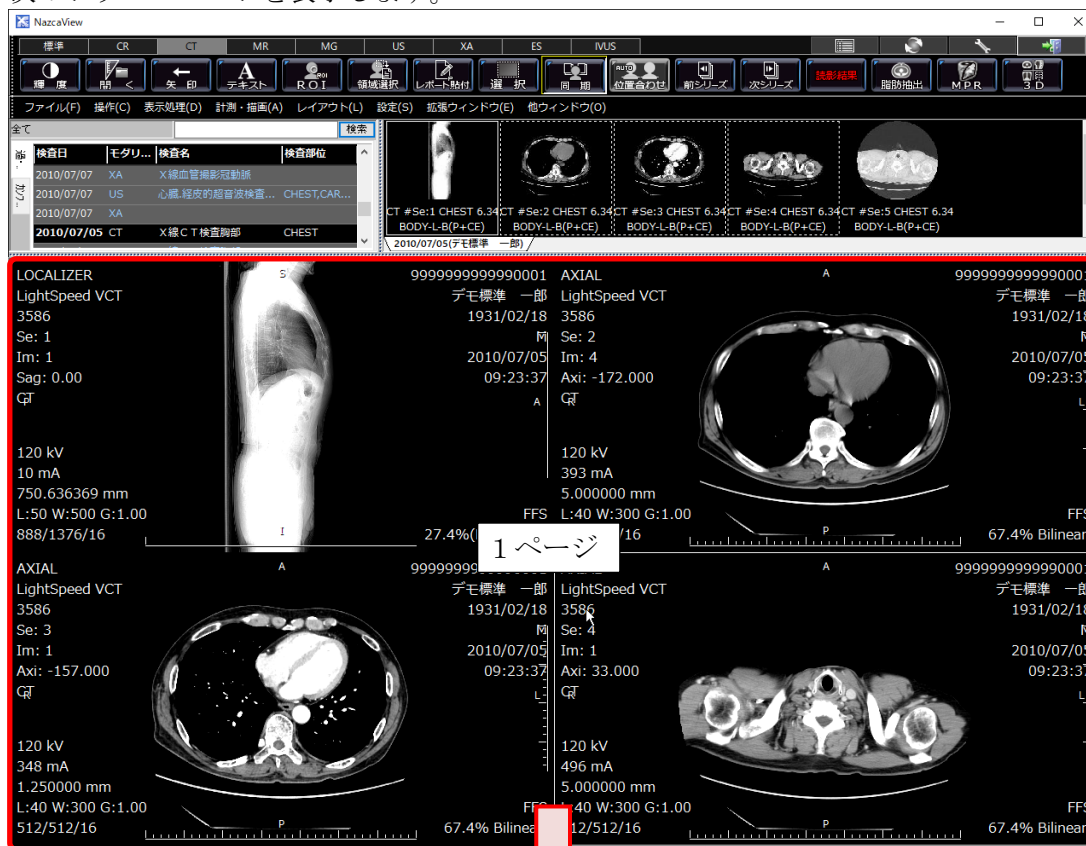
最後のシリーズへ

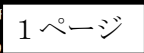
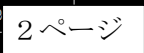
最後のシリーズを表示します。



次のシリーズページへ

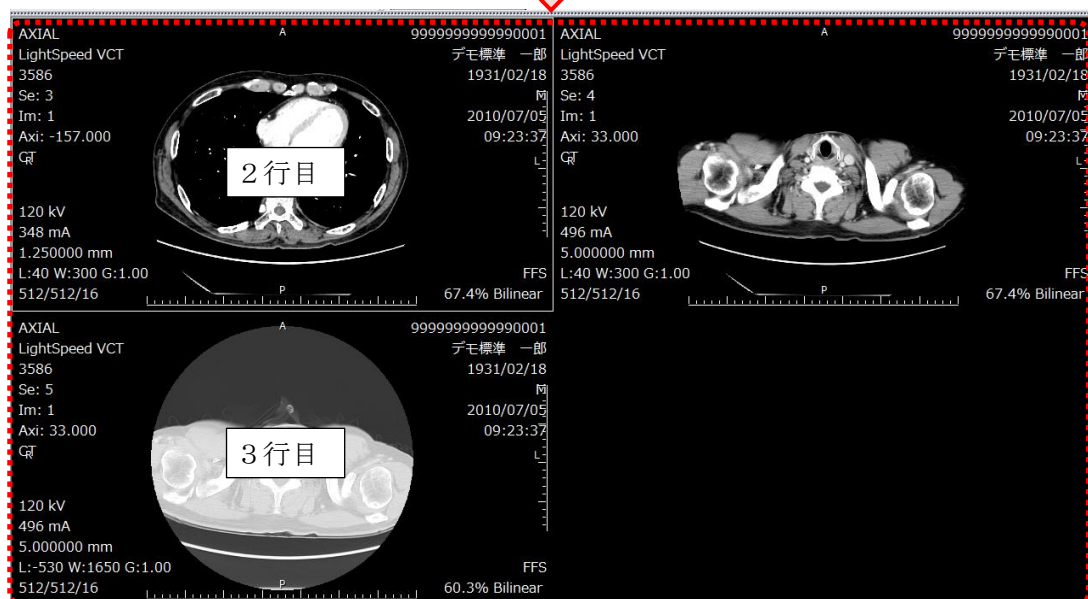
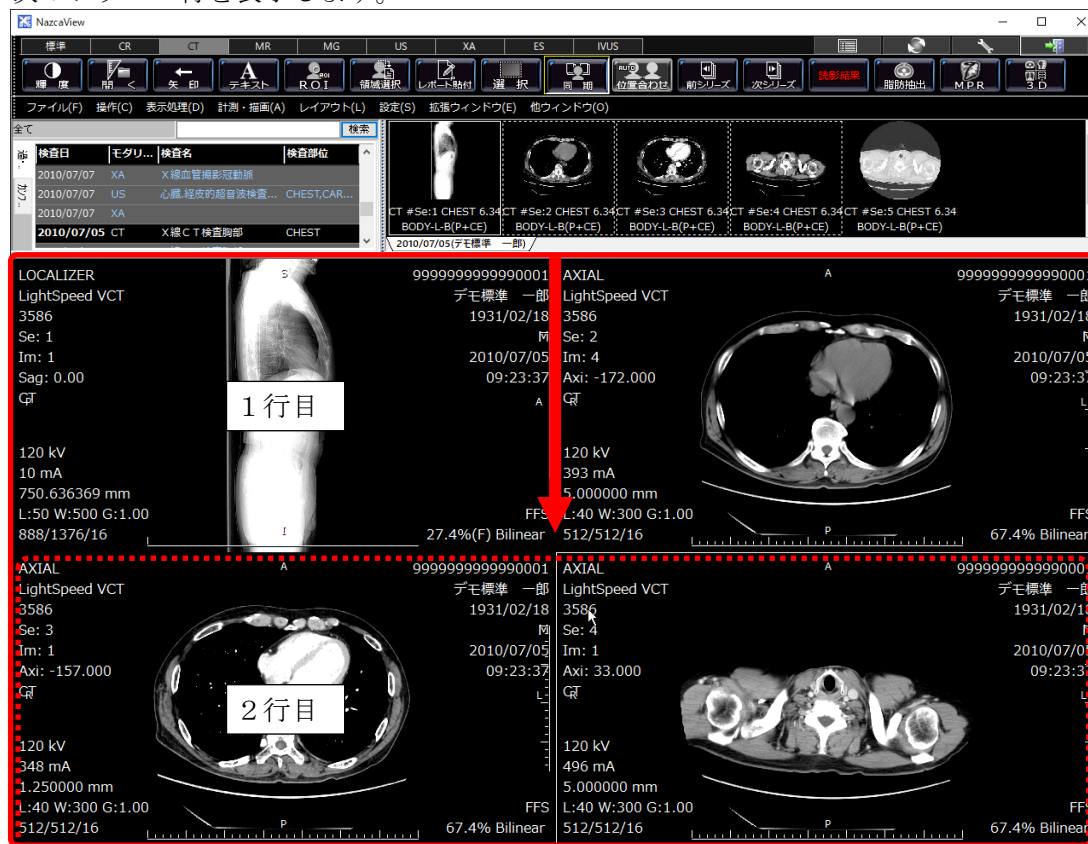
次のシリーズページを表示します。





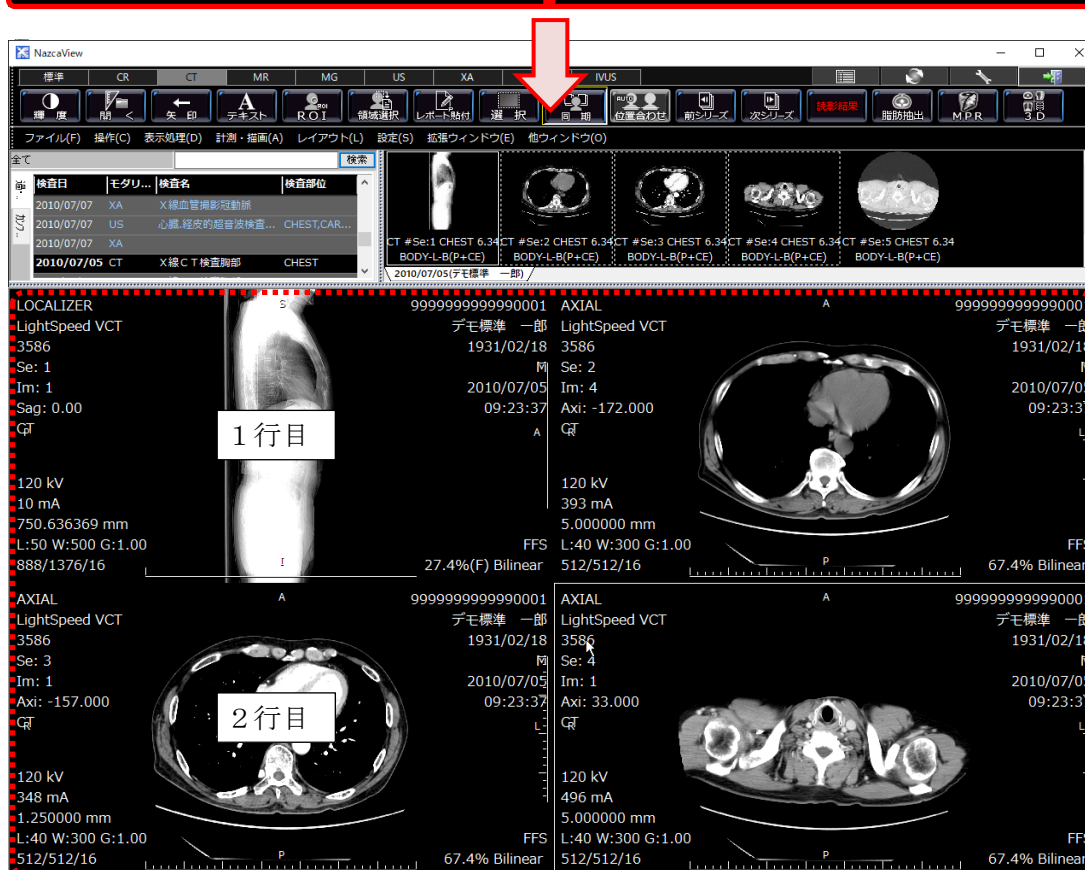
次のシリーズ行へ

次のシリーズ行を表示します。



前のシリーズ行へ

前のシリーズ行を表示します。



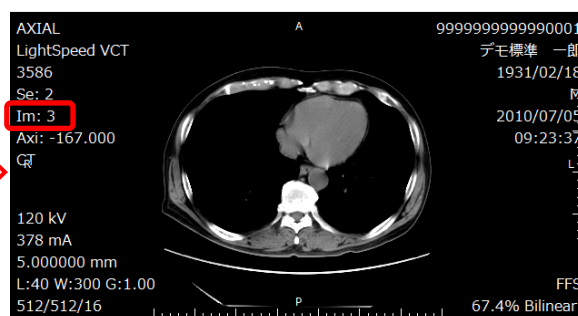
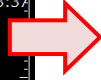
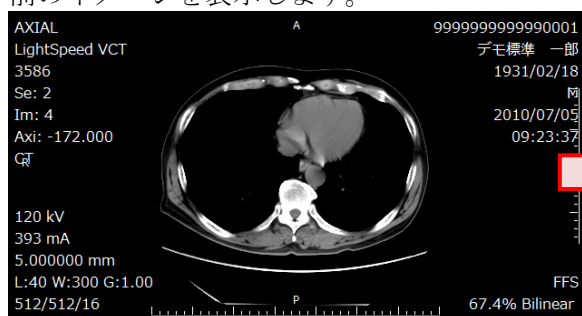
次のイメージへ

次のイメージを表示します。



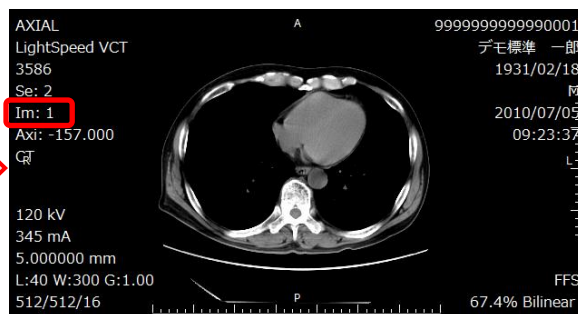
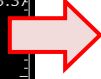
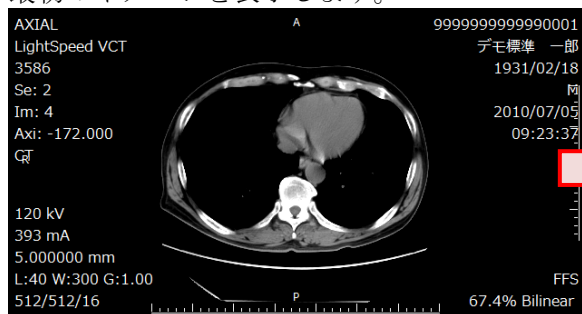
前のイメージへ

前のイメージを表示します。



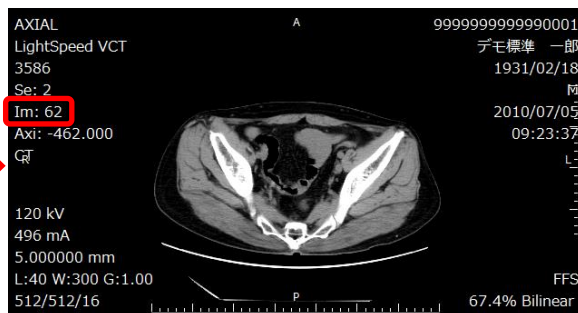
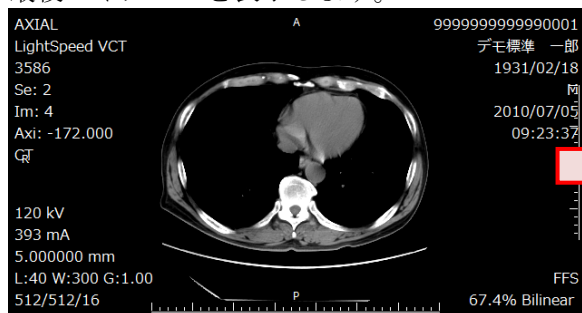
最初のイメージへ

最初のイメージを表示します。



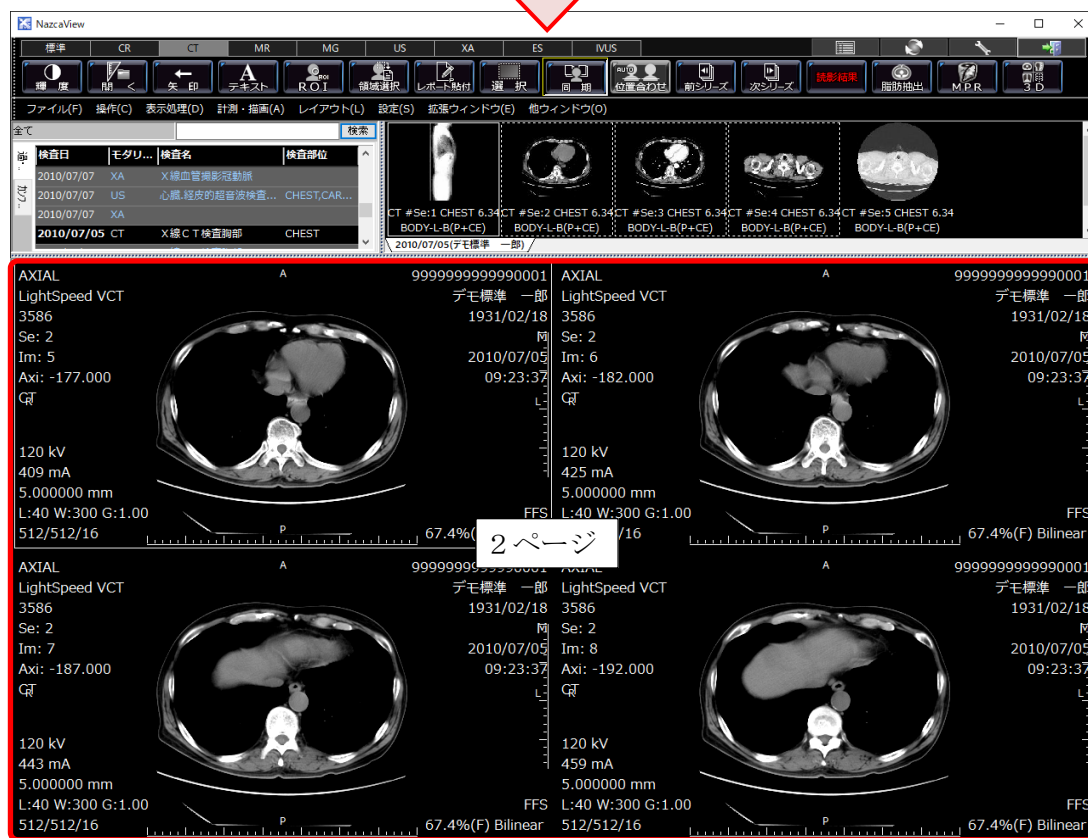
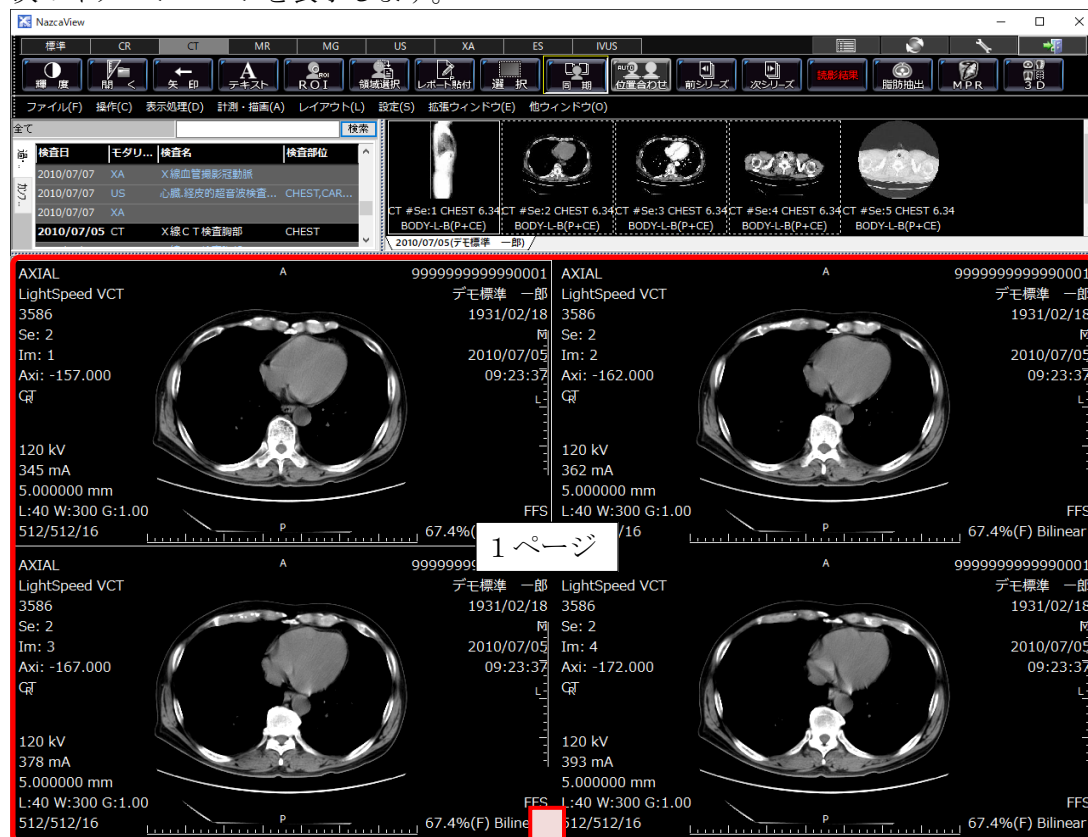
最後のイメージへ

最後のイメージを表示します。



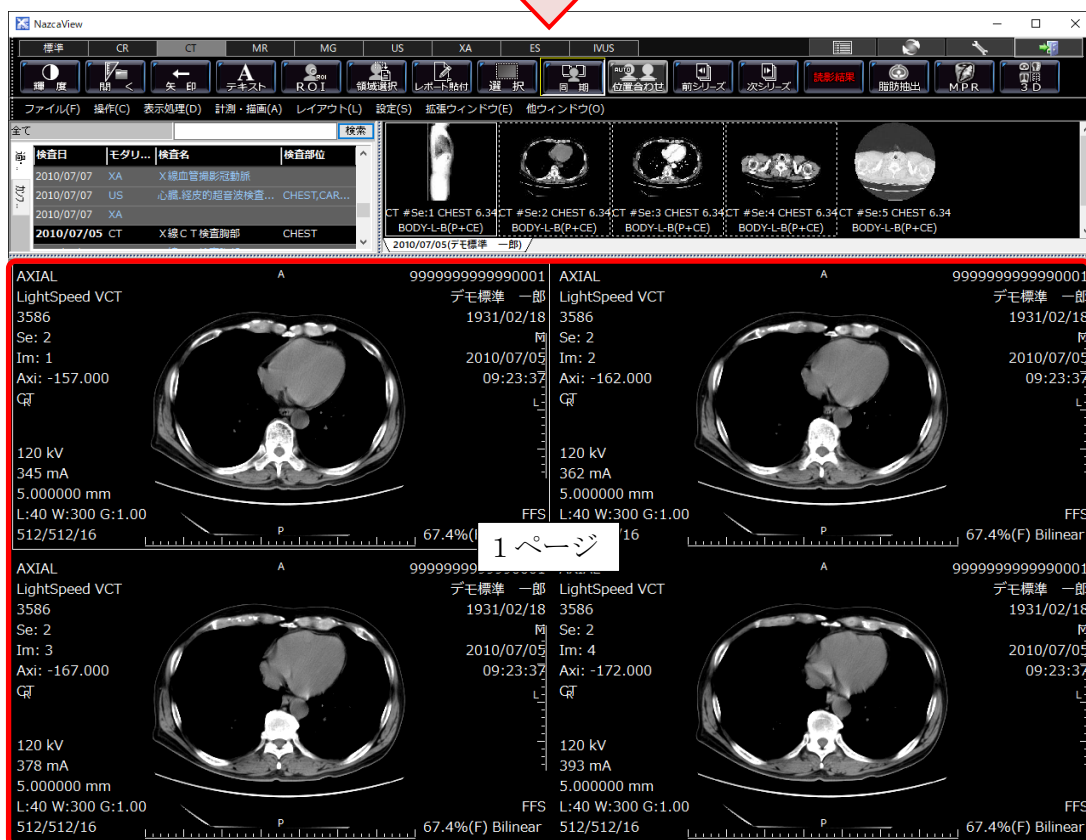
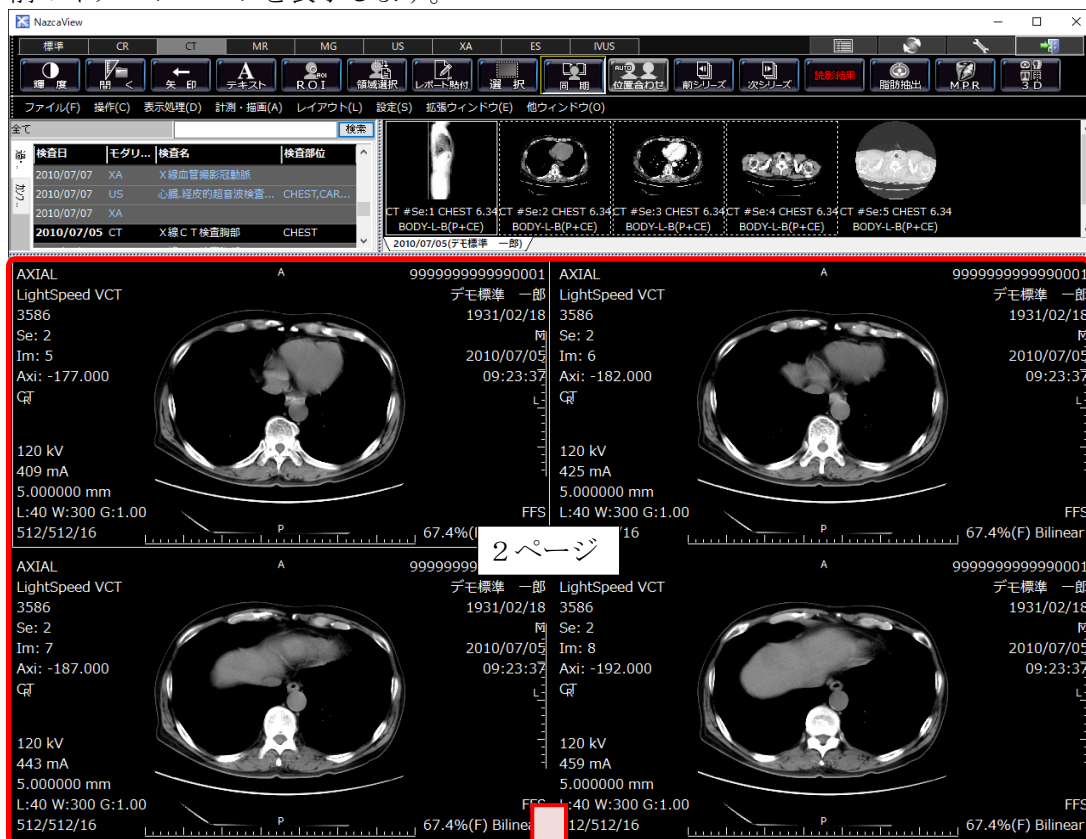
次のページへ

次のイメージページを表示します。



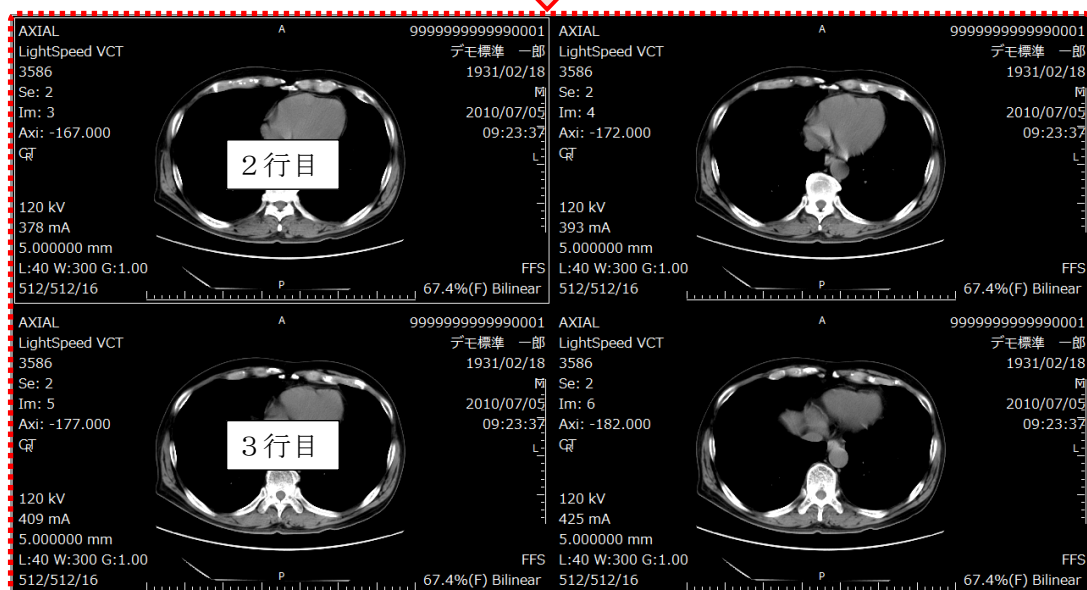
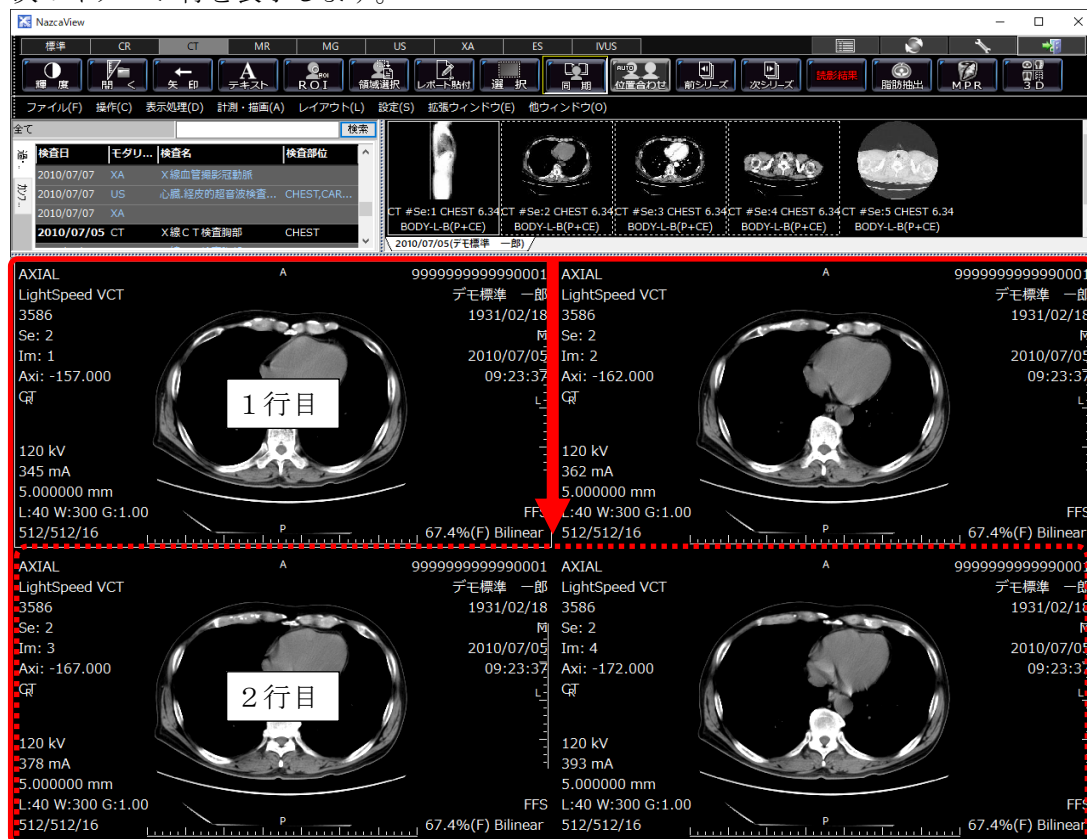
前のページへ

前のイメージページを表示します。



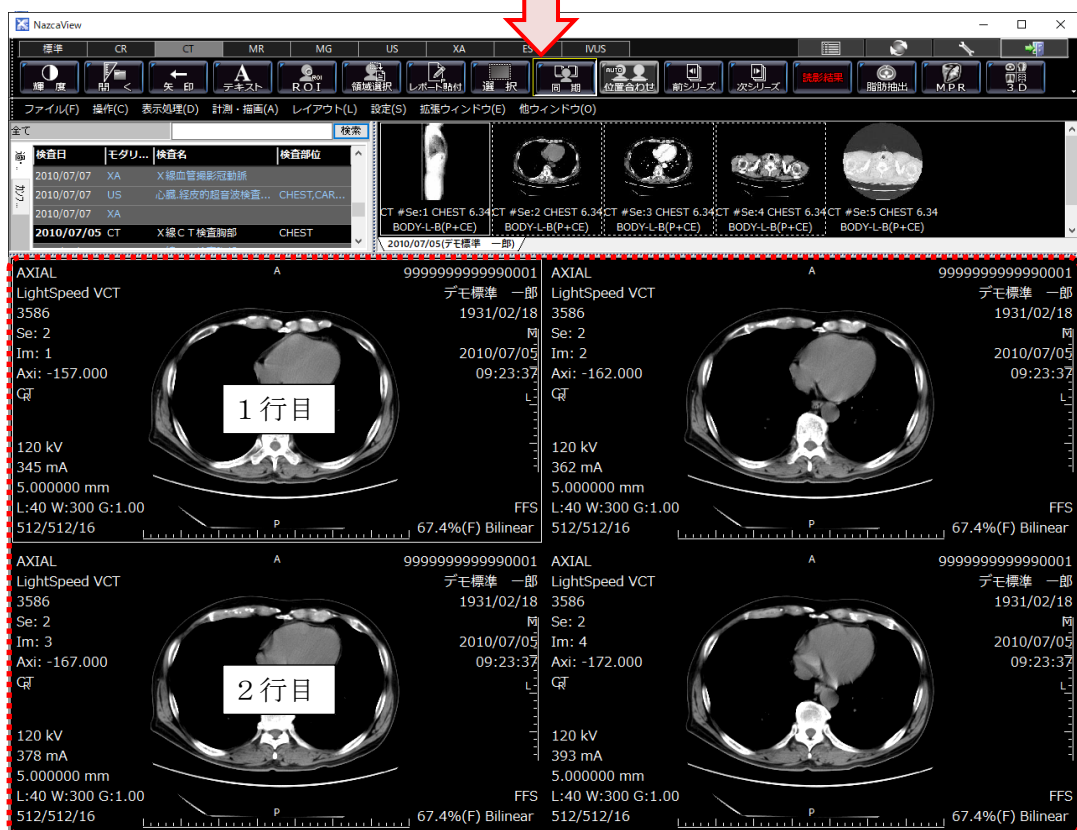
次の行へ

次のイメージ行を表示します。



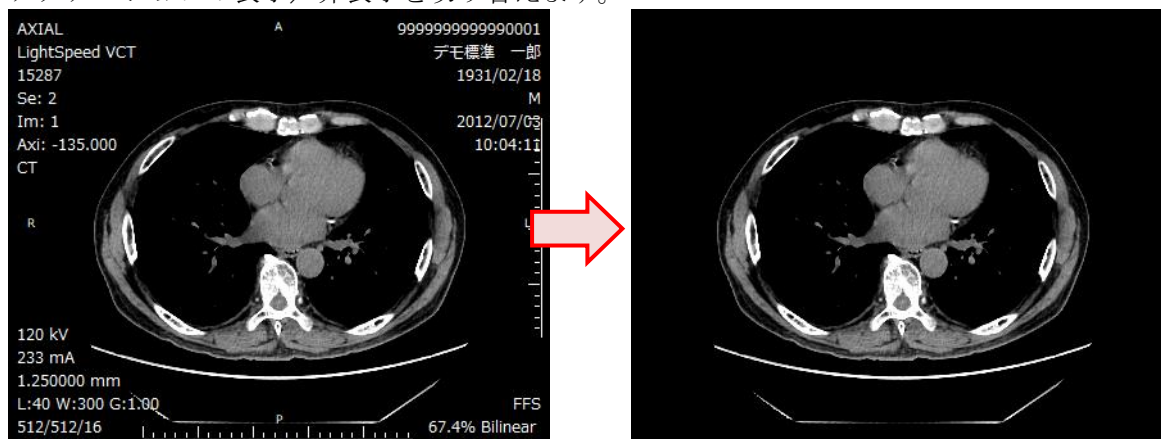
前の行へ

前のイメージ行を表示します。



アノテーション

アノテーションの表示／非表示を切り替えます。



DICOM タグ表示

DICOM タグ情報の一覧を表示します。



タググループのフィルタ

グループごとにフィルタリングができます。

[ファイルに保存]ボタン

名前を付けて保存のダイアログボックスが表示され任意場所にタグ情報を保存できます。

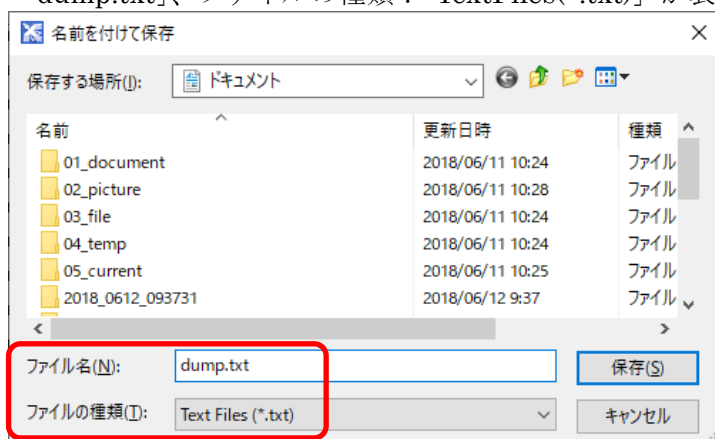
[閉じる]ボタン

DICOM ダンプ画面を閉じます。

例では、検査情報が格納されているグループ：(0008,****)でフィルタをかけています。

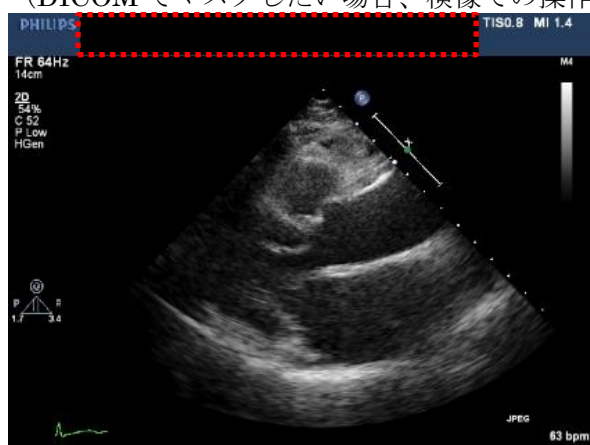


[ファイルに保存]ボタンを押すとダイアログボックスが表示されます。規定ではファイル名：「dump.txt」、ファイルの種類：「TextFiles(*.txt)」が表示されます。

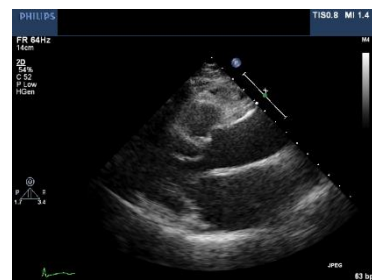


文字マスク設定

選択範囲にマスクシートを設定します。例では、機器からの患者情報部分をマスクしています。マスクシートはシリーズ内の画像に反映され、画像出力で JPEG で保存ができます。
(DICOM でマスクしたい場合、検像での操作となります)



JPEG 出力



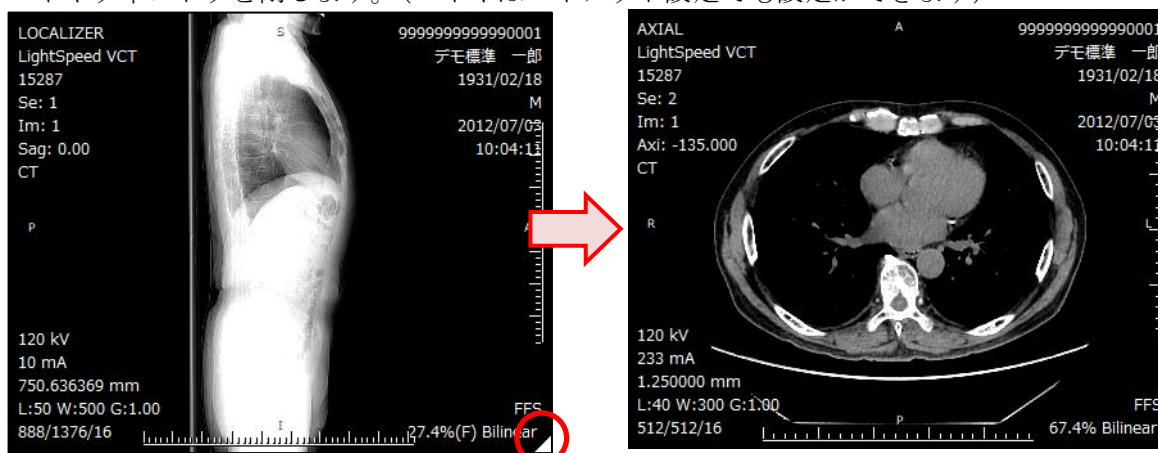
文字マスク表示

マスクシートの表示／非表示を切り替えます。



レイヤを閉じる

画像をレイヤ表示している場合、レイヤウィンドウを閉じます。例では、サムネイルから追加したレイヤウィンドウを閉じます。(レイヤはレイアウト設定でも設定ができます)

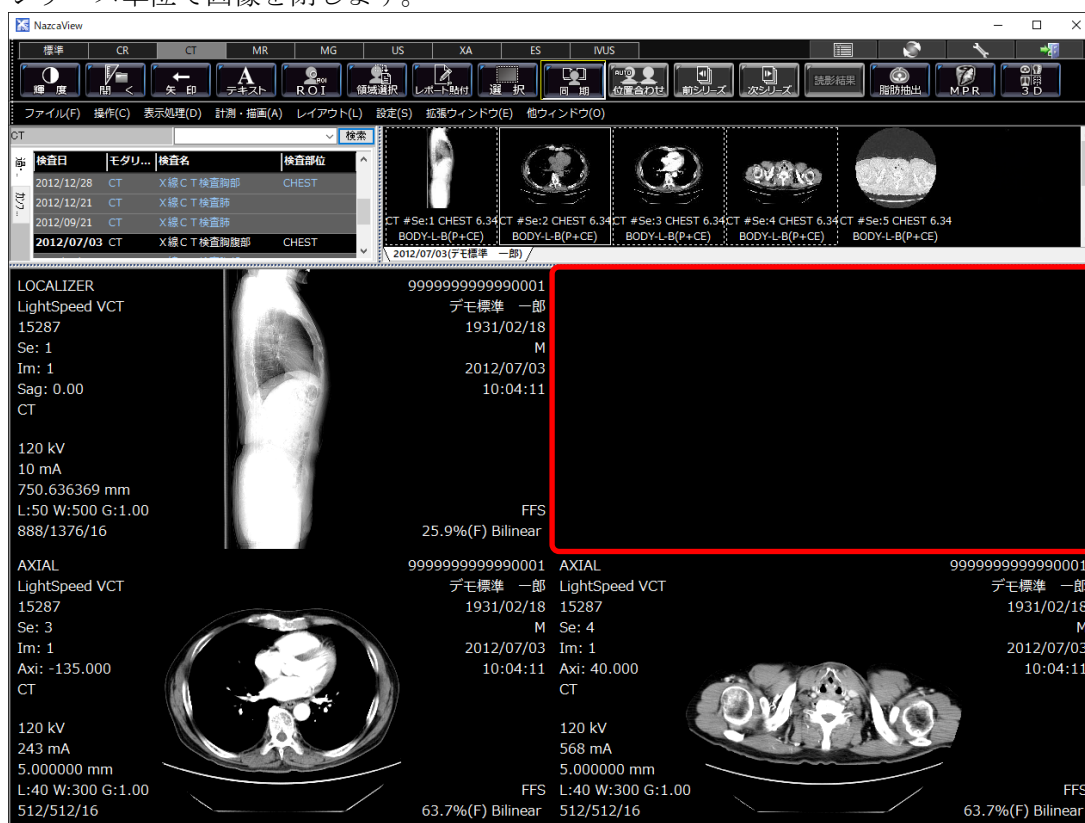


サムネイルからドラッグ&ドロップでビューワに追加した場合、赤丸で囲んだ部分のようにレイヤマークが表示されます。

レイヤウィンドウを閉じることでレイヤ画像が消え、元の画像が表示されます。

シリーズを閉じる

シリーズ単位で画像を閉じます。



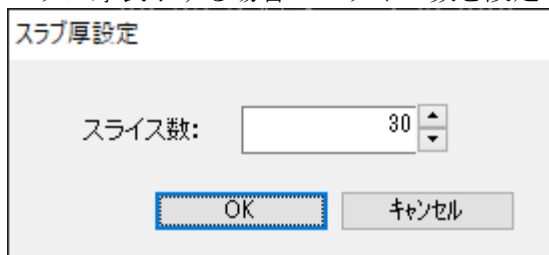
検査を閉じる

検査単位で画像を閉じます。

4.6 設定

スラブ厚設定

スラブ厚表示する場合のスライス数を設定します。



スラブ厚設定ダイアログボックスのスクリーンショット。タイトルは「スラブ厚設定」。スライス数: 30 と入力されたテキストボックスと上下の矢印ボタン。下部には「OK」と「キャンセル」のボタンがある。

スライス数

1 以上のスライス数を入力します。

[OK]ボタン

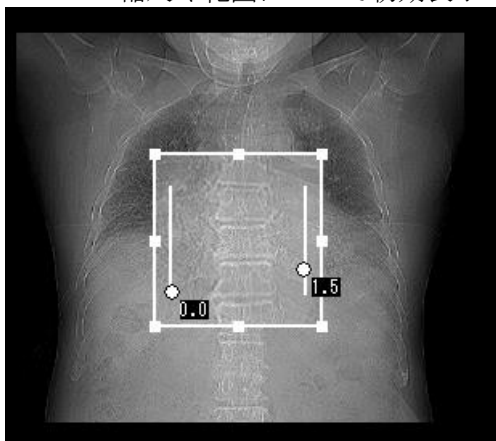
スライス数を保存し画面を閉じます。

[キャンセル]ボタン

スライス数を保存せずに画面を閉じます。

ルーペ設定

ルーペの縮尺や範囲について初期表示の設定ができます。



左側のスライドバー

魚眼レンズの倍率を設定します。

右側のスライドバー

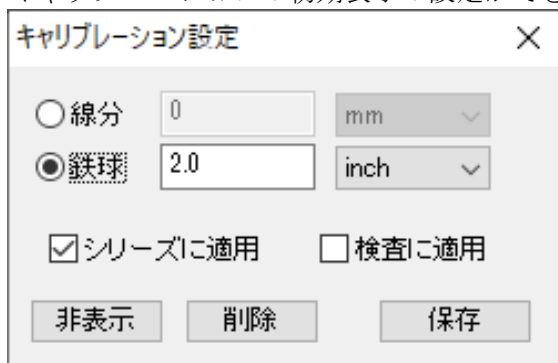
拡大率を設定します。

ルーペ設定枠全体

範囲を設定します。

キャリブレーション設定

キャリブレーションの初期表示の設定ができます。



キャリブレーション設定ダイアログボックスのスクリーンショット。タイトルは「キャリブレーション設定」。ラジオボタンで「線分」(0 mm)と「鉄球」(2.0 inch)を選択可能。下部には「シリーズに適用」(チェック済み)と「検査に適用」(未チェック)のチェックボックス。最下部には「非表示」、「削除」、「保存」のボタンがある。

線分・鉄球のラジオボタン

線分、鉄球の選択を切り替えます。

線分・鉄球の数値

計測値を入力します。また、それぞれ mm, cm, inch, fr に単位を変更できます。

シリーズに適用・検査に適用のチェック

シリーズ、検査の適用を切り替えます。

[非表示]/[表示]ボタン

非表示/表示を切り替えます。

[削除]ボタン

キャリブレーション値を削除します。

[保存]ボタン

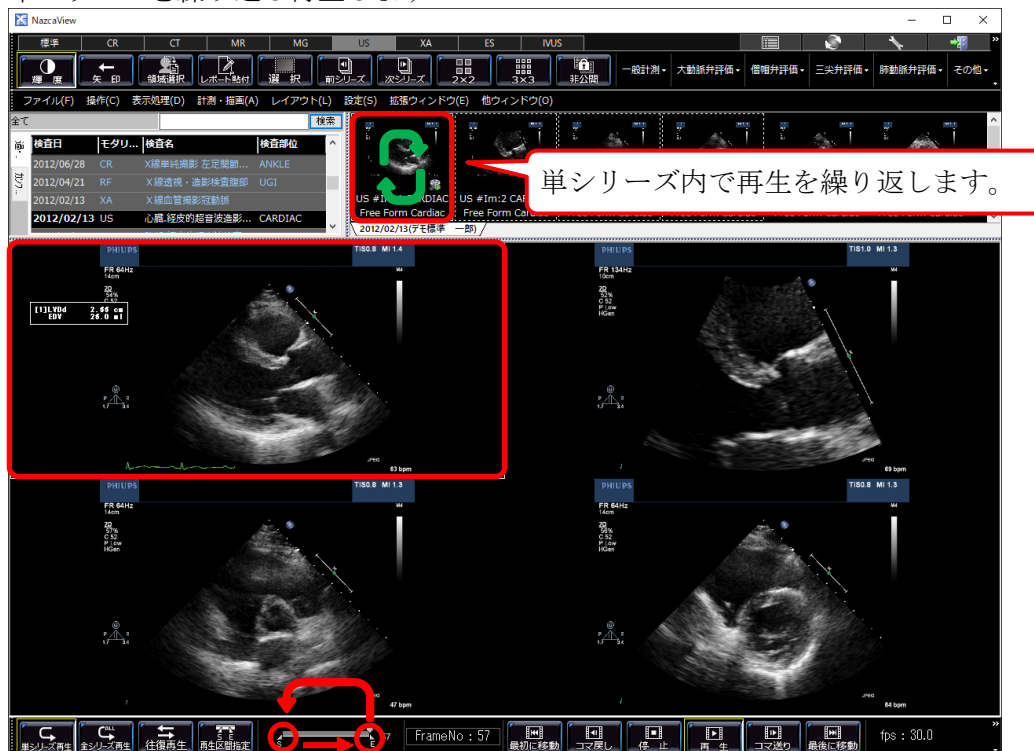
キャリブレーション値を保存します。

4.7 拡張ウィンドウ

4.7.1 シネモード

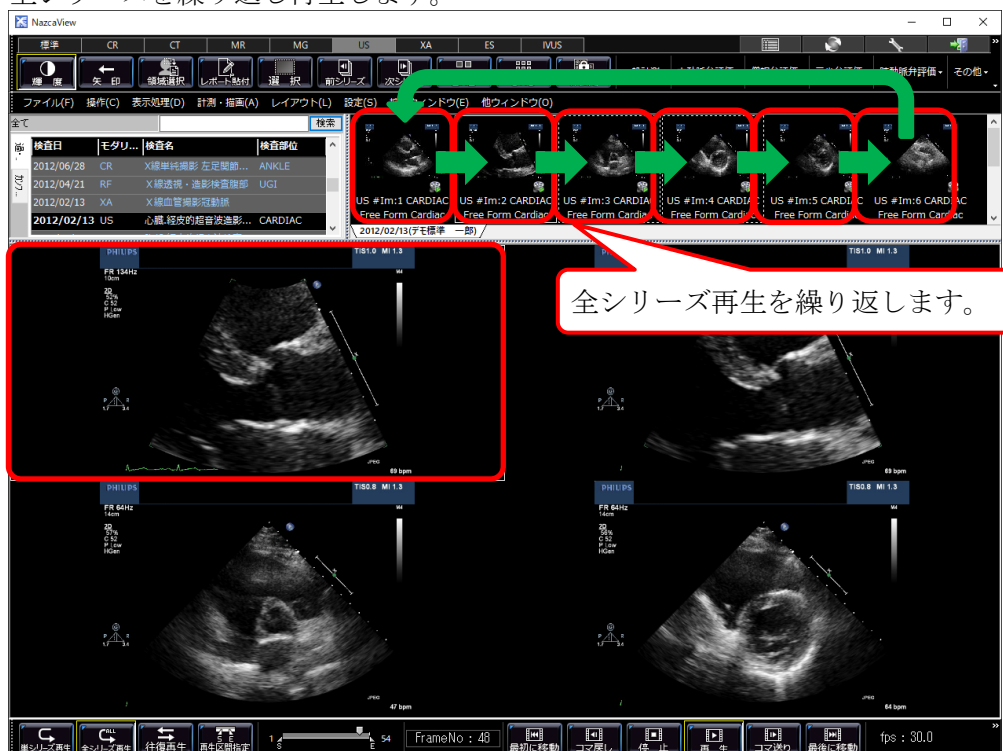
単シリーズ再生

単シリーズを繰り返し再生します



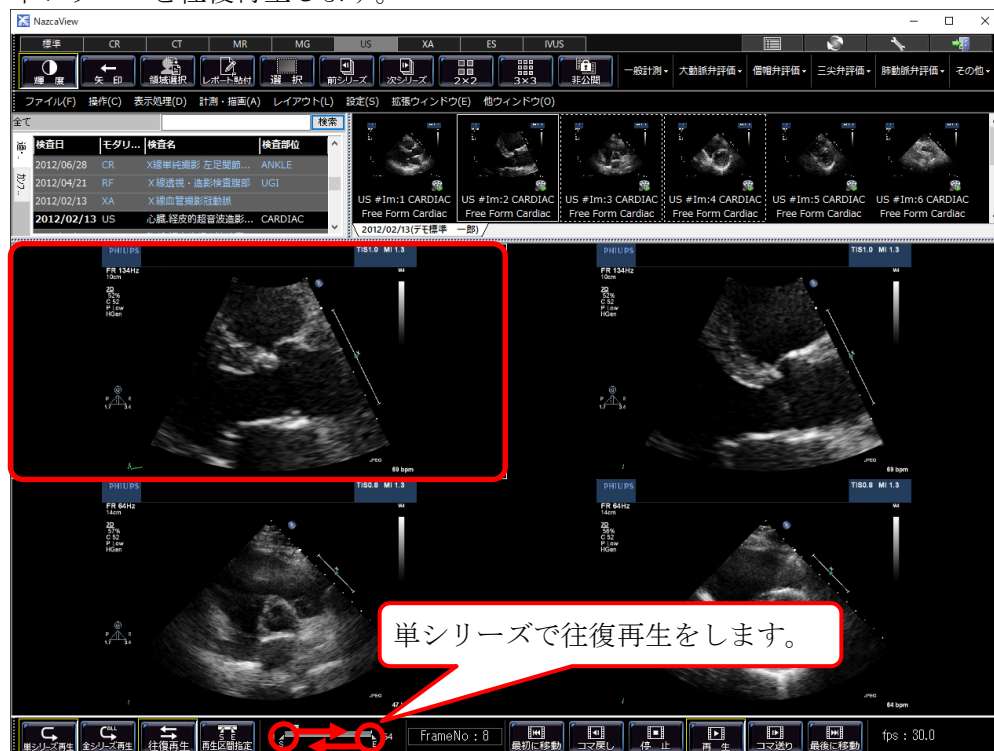
全シリーズ再生

全シリーズを繰り返し再生します。



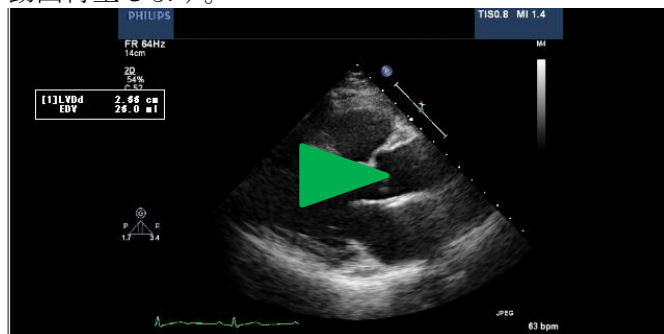
往復再生モード

単シリーズを往復再生します。



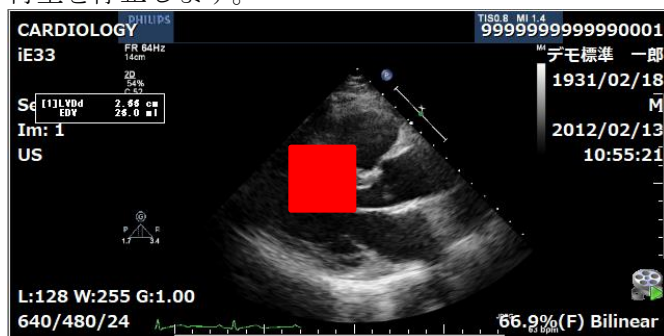
再生

動画再生します。



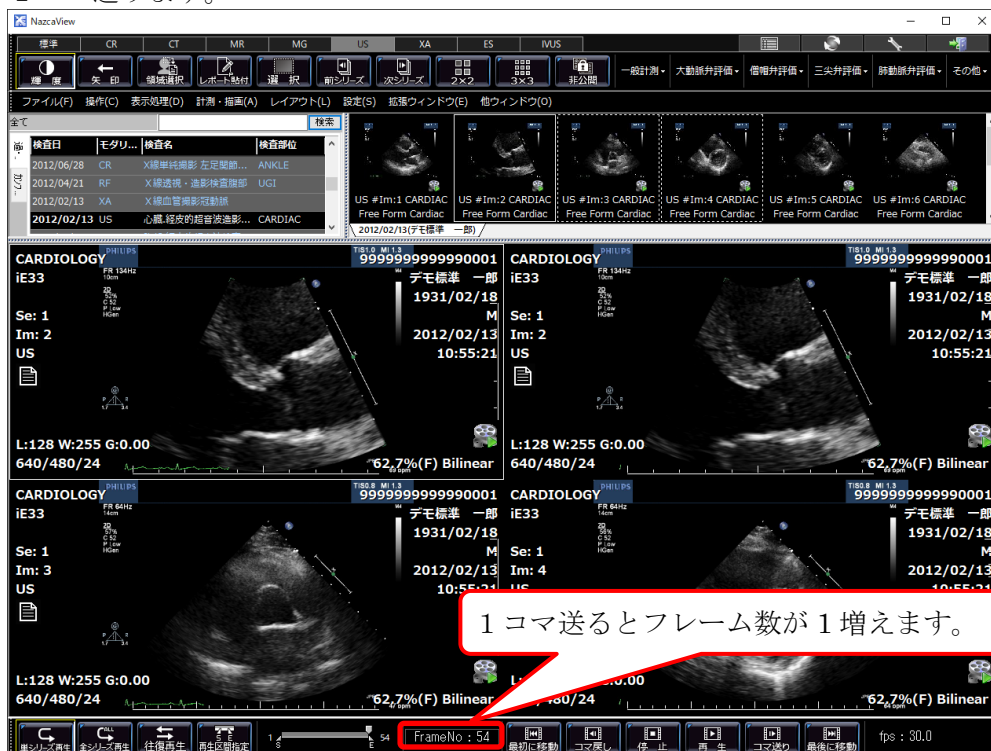
停止

再生を停止します。



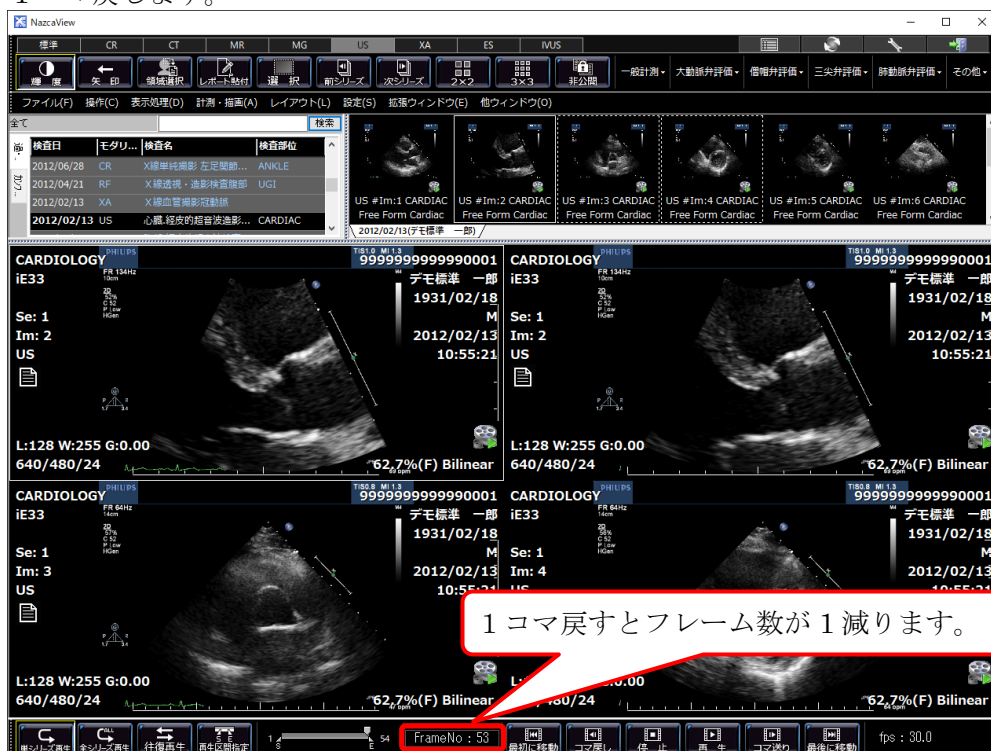
コマ送り

1コマ送ります。



コマ戻し

1コマ戻します。



1FPS

再生速度を 1FPS にします。

2FPS

再生速度を 2FPS にします。

3FPS

再生速度を 3FPS にします。

7FPS

再生速度を 7FPS にします。

15FPS

再生速度を 15FPS にします。

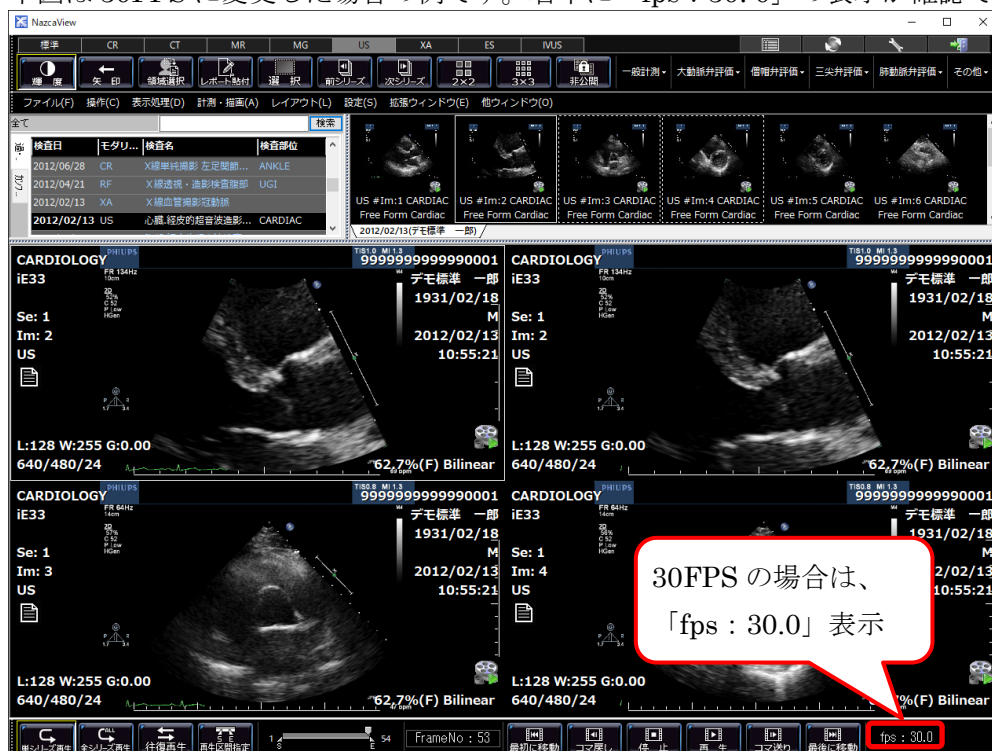
30FPS

再生速度を 30FPS にします。

60FPS

再生速度を 60FPS にします。

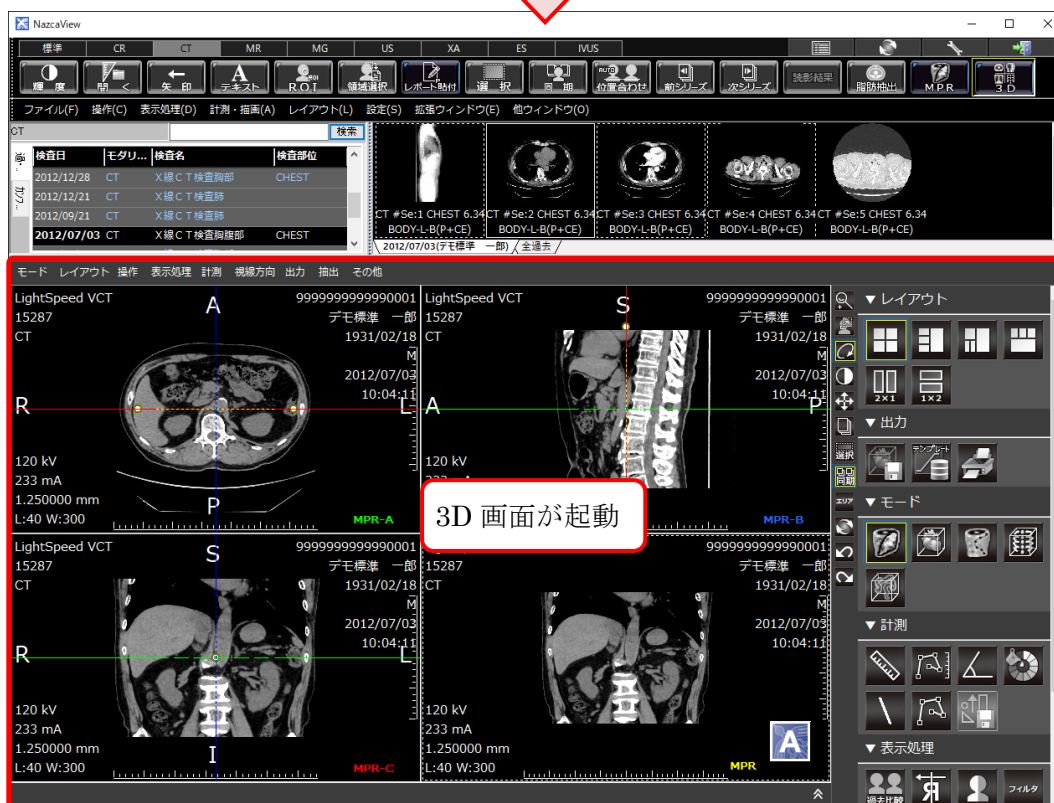
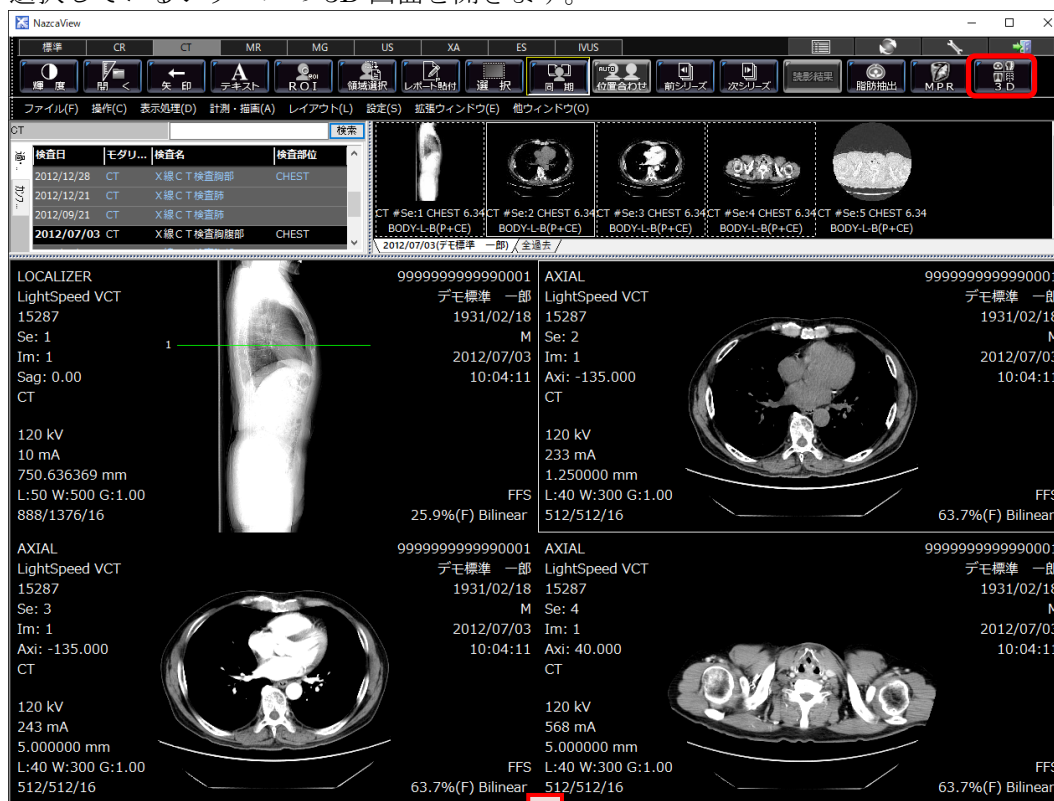
下図は 30FPS に変更した場合の例です。右下に「fps : 30.0」の表示が確認できます。



4.7.2 レンダリング

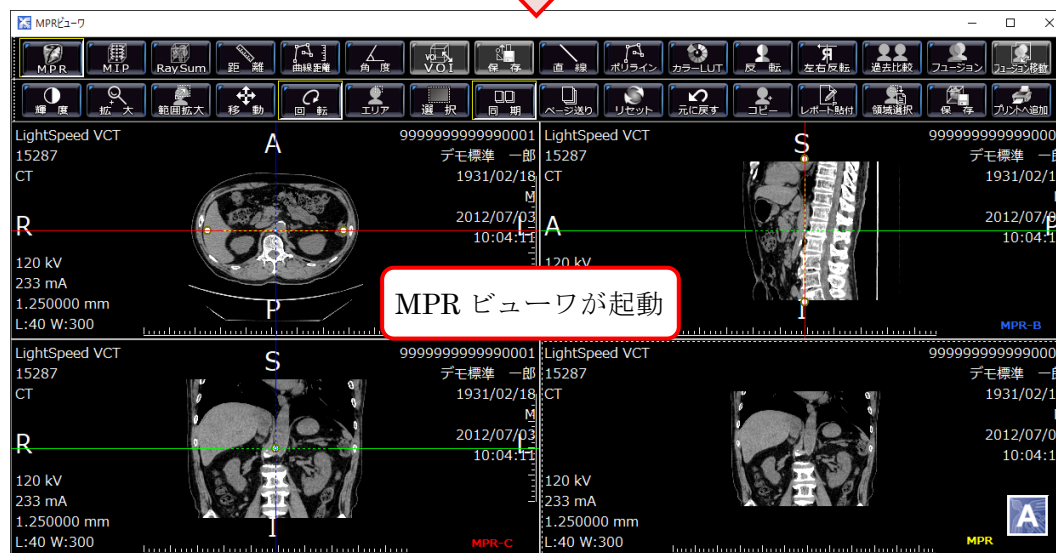
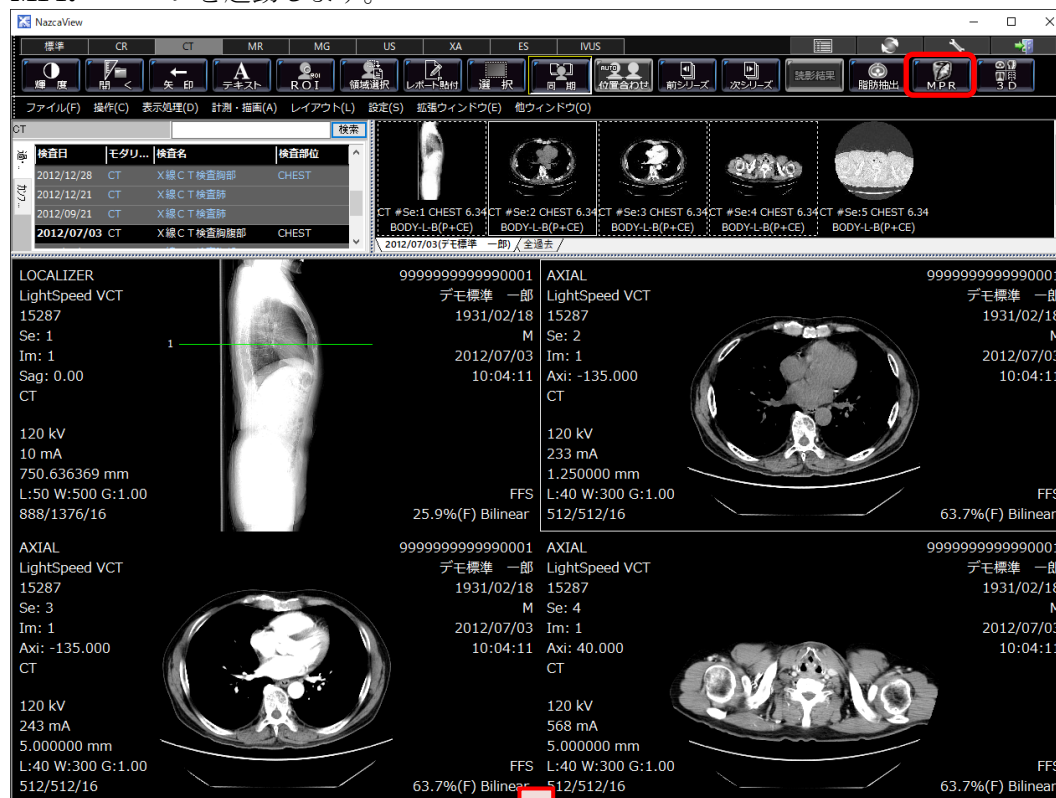
3D を開く

選択しているシリーズの 3D 画面を開きます。

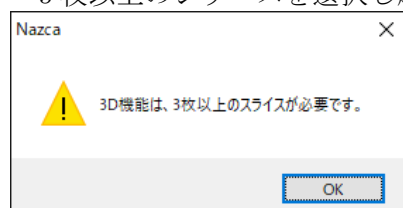


MPR を開く

MPR ビューワを起動します。



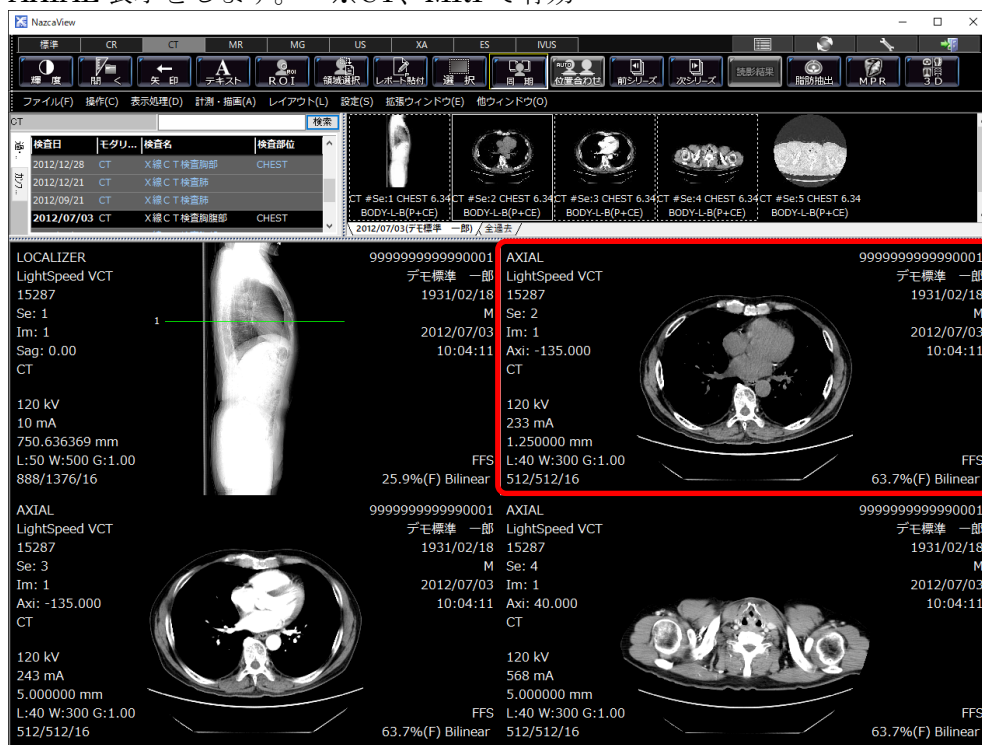
※3D、MPR 起動時にシリーズ内のイメージ枚数が3枚未満の場合にメッセージが表示されます。
3枚以上のシリーズを選択し起動してください。



3D を閉じる
3D 画面を閉じます。

AXIAL

AXIAL 表示をします。 ※CT、MRI で有効



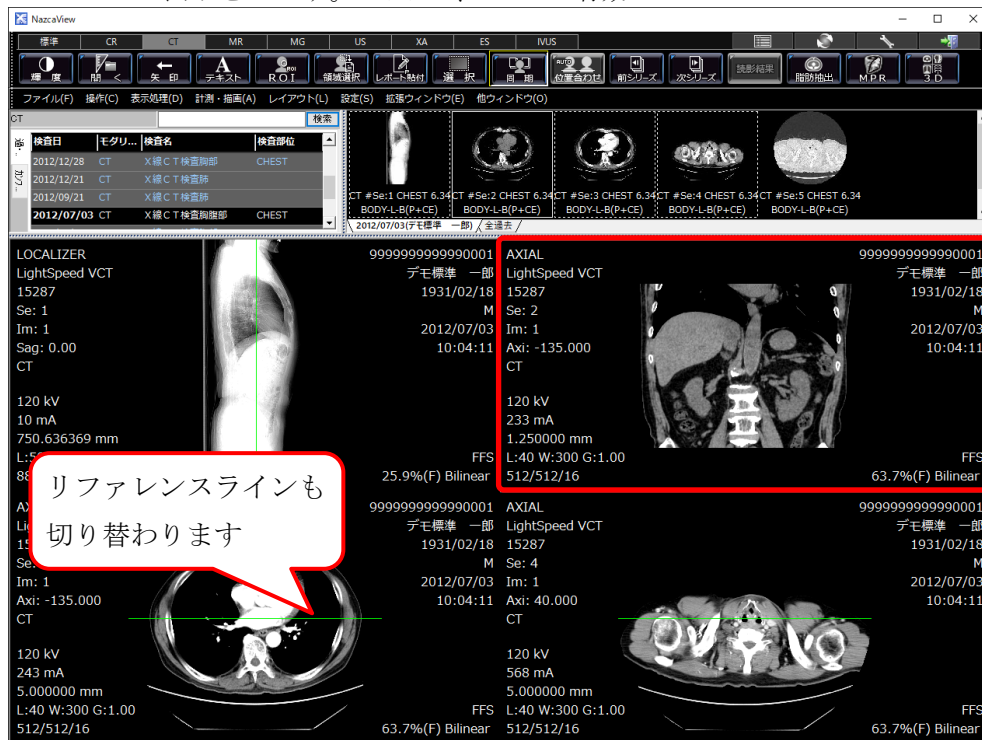
SAGITTAL

SAGITTAL 表示をします。 ※CT、MRI で有効



CORONAL

CORONAL 表示をします。 ※CT、MRI で有効

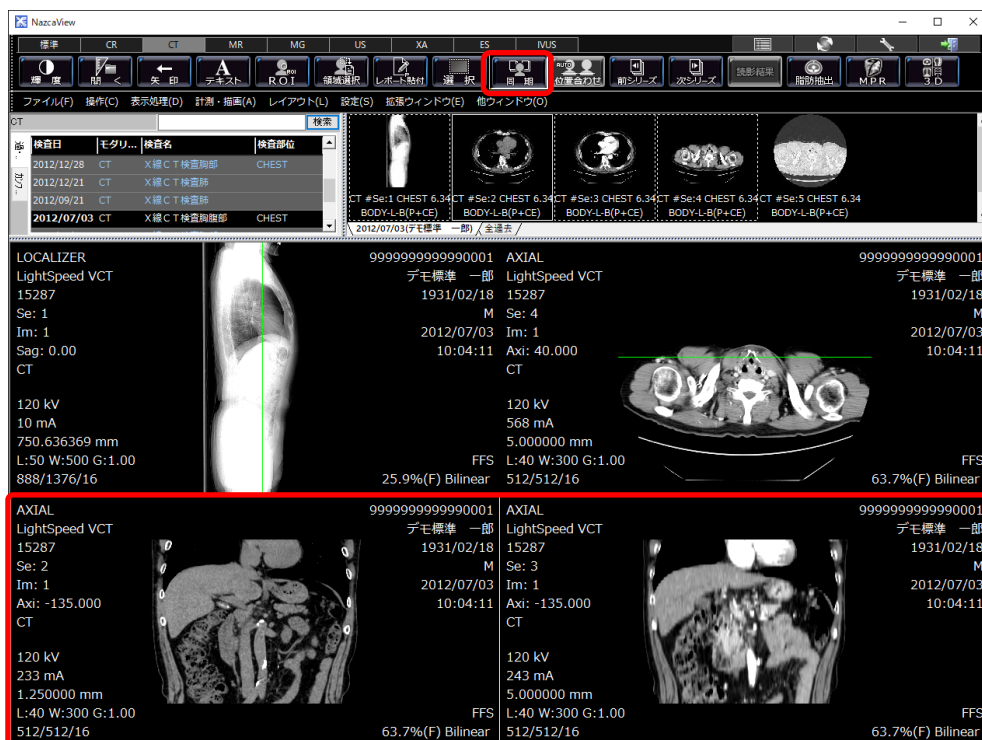


ワンポイント

MPR 像に切り替えて表示した場合も、同期モードでは同断面で同期します。

例では、下段の2シリーズを MPR 像の CORONAL で表示しています。

ホイールおよびページングで他の MPR 像も同期して更新します



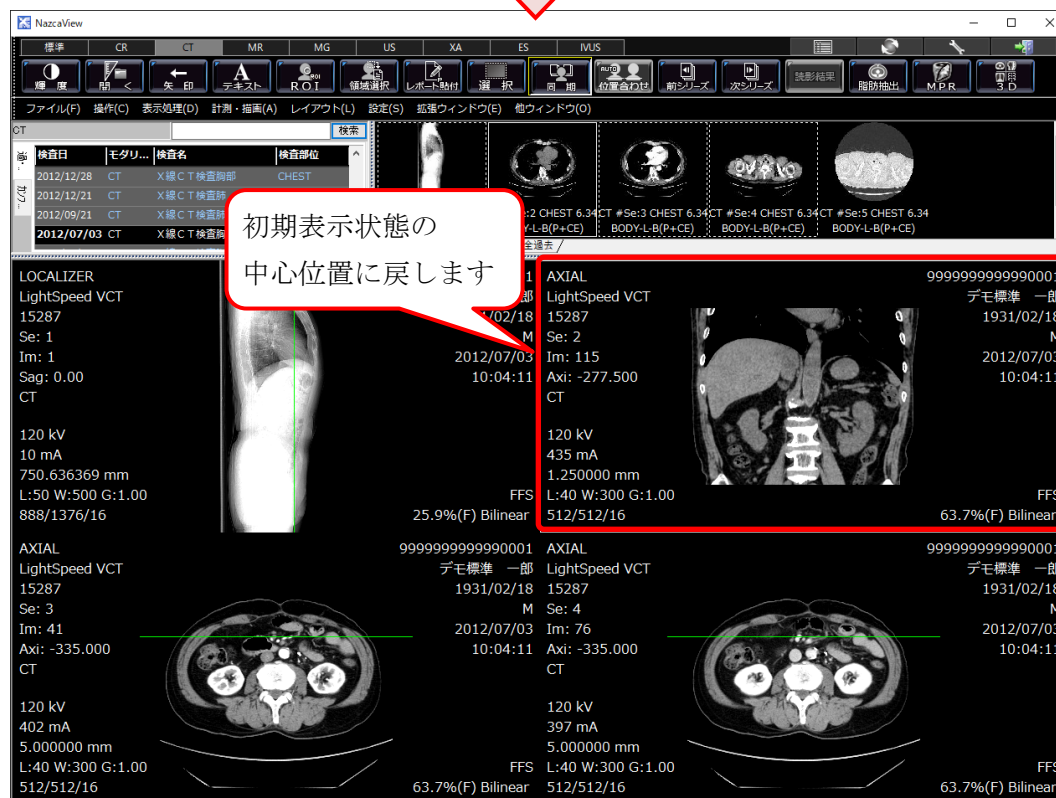
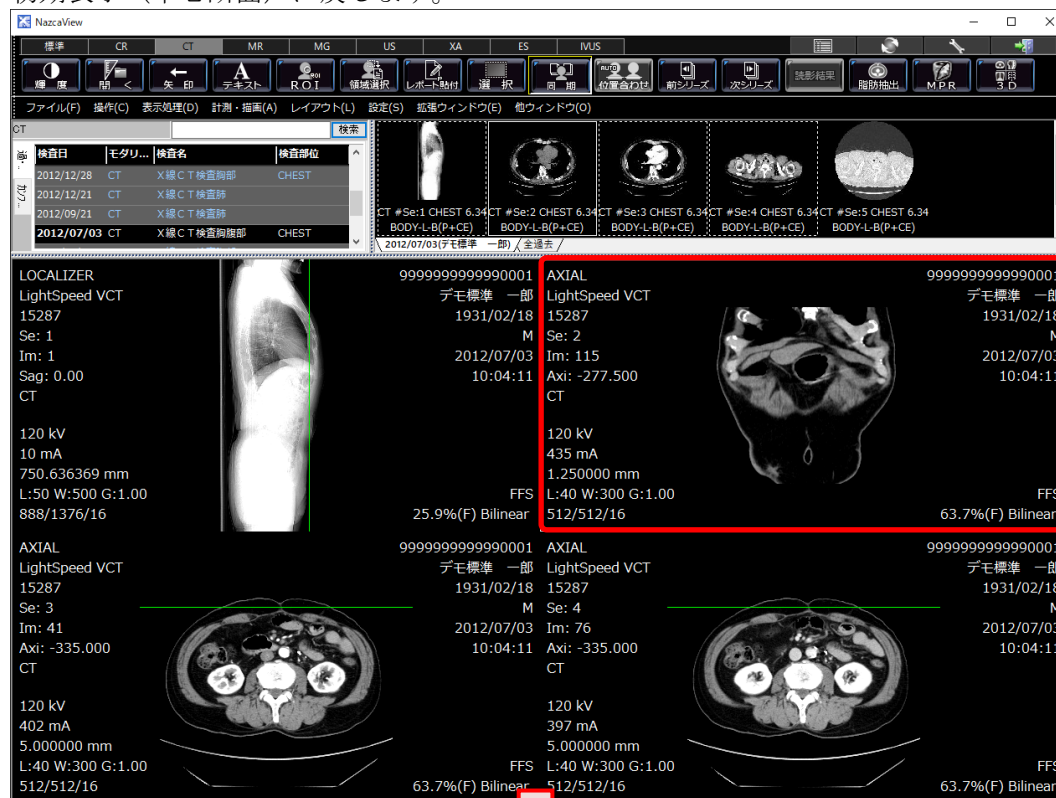
MPR 移動量

ページング移動量を調整します。 ※初期値：移動方向のピクセルサイズ



MPR リセット

初期表示（中心断面）に戻します。

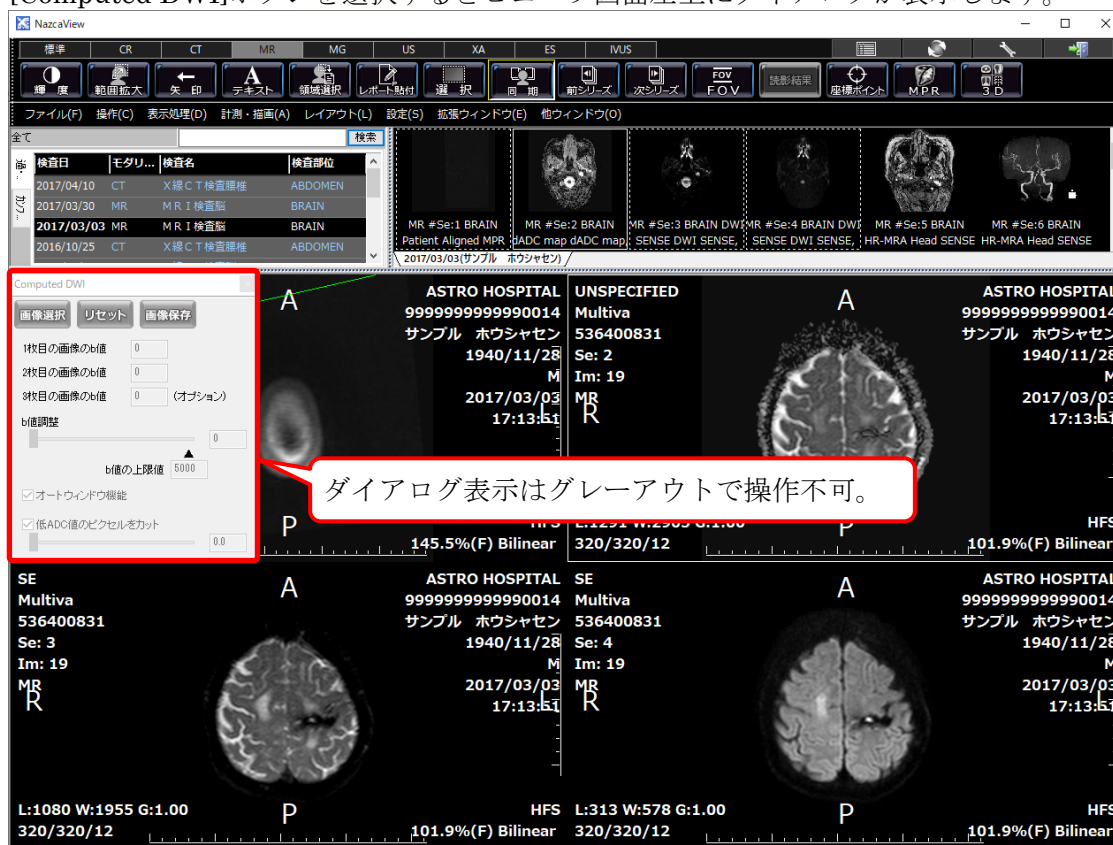


4.7.3 Computed DWI

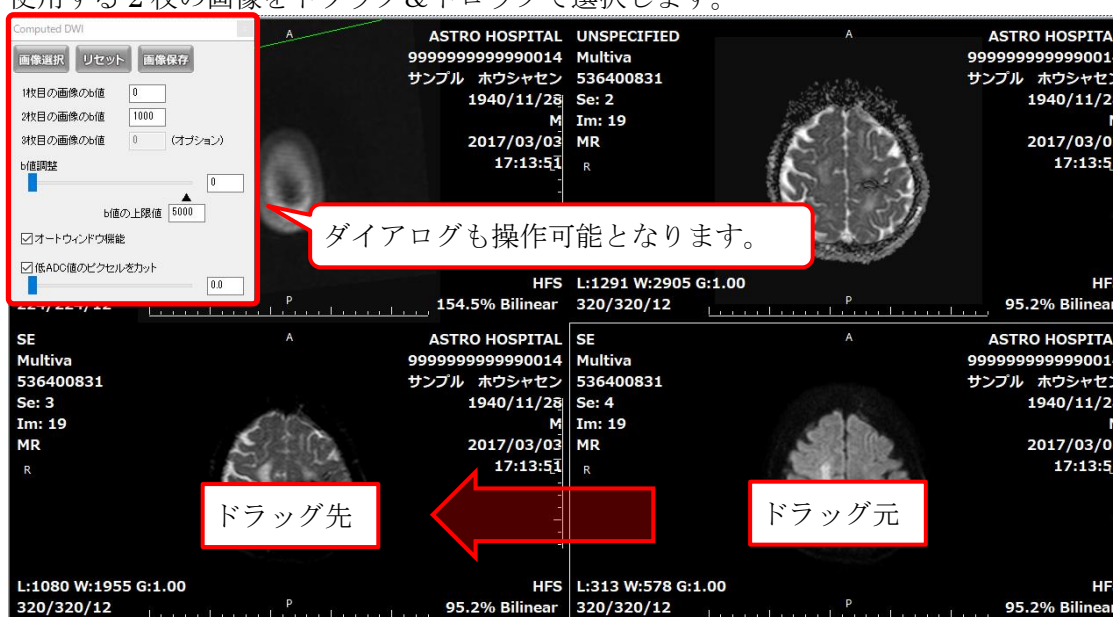
Computed DWI（計算拡散強調画像）

Computed DWI のパラメータ調整用のダイアログを起動します。
検査モダリティが MR の場合のみ起動可能。

[Computed DWI]ボタンを選択するとビュー画面左上にダイアログが表示します。



使用する 2 枚の画像をドラッグ&ドロップで選択します。



ワンポイント

Computed DWI に適した拡散強調画像(DWI)である必要があります。

DWI かの区別は DICOM タグで確認できます。

(0018,1030) プロトコル名 (DWI であること)

(0018,9087) 拡散 b 値 (装置で撮像された際の b 値が登録されている)

(0008,103e) シリーズ記述

赤枠：

[画像選択]ボタン

マウスモードを Computed DWI の画像の選択モードに切り替えます。

[リセット]ボタン

パラメータをリセットします。

[画像保存]ボタン

既存機能の「DICOM 保存」を呼び出し生成した画像を保存します。

青枠：

- ・画像の b 値

それぞれの画像から取得した b 値

- ・b 値調整

b 値を変更し、リアルタイムに画像を変化させます。

緑枠：

- ・オートウィンドウ機能

b 値が大きくなると画素値が小さくなり画像が全体的に暗くなるため、b 値の変化に追従して輝度を自動調整する機能です。

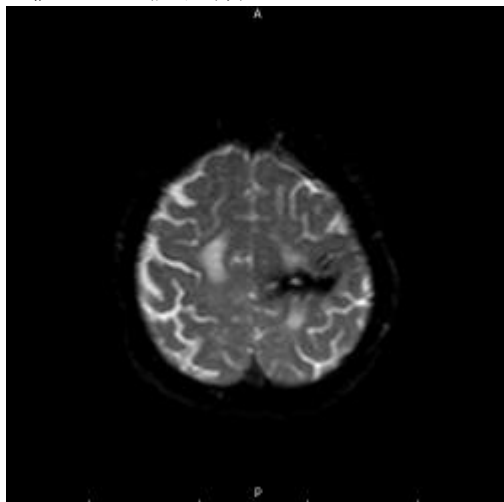
- ・低 ADC 値のピクセルをカット

ノイズとなる低 ADC 値のピクセルのカット機能とそのしきい値です。

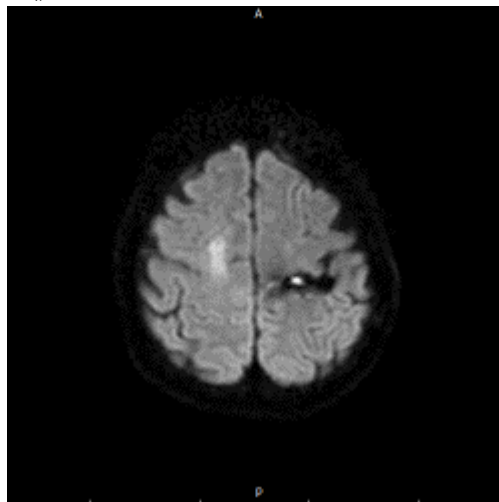
各パラメータは終了時に保存され、次回同じ画像を選択した際に自動で適用されます。
ユーザ毎に検査単位で記憶します。

ここでは b 値をパラメータ調整した場合の例を記載します。

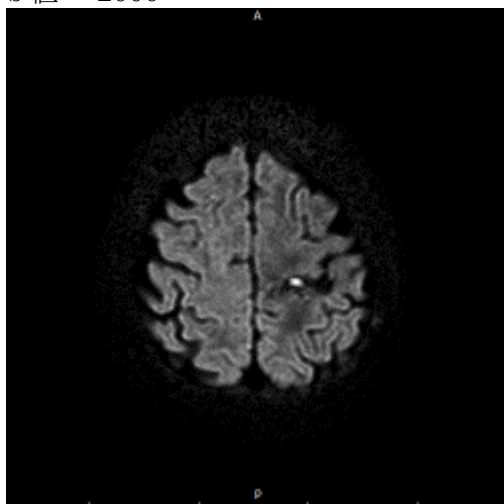
b 値 = 0 (元画像)



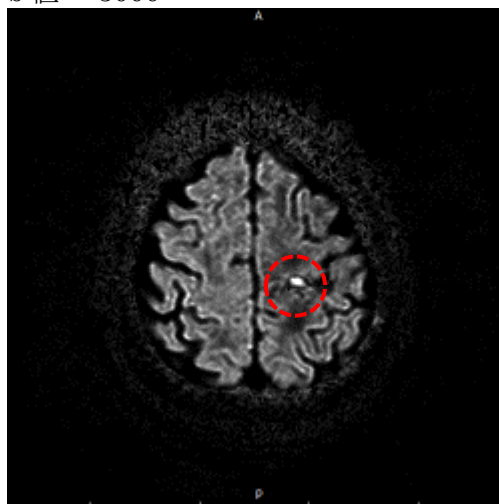
b 値 = 1000



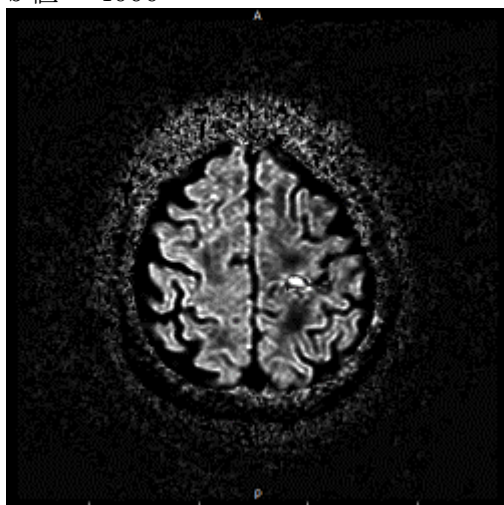
b 値 = 2000



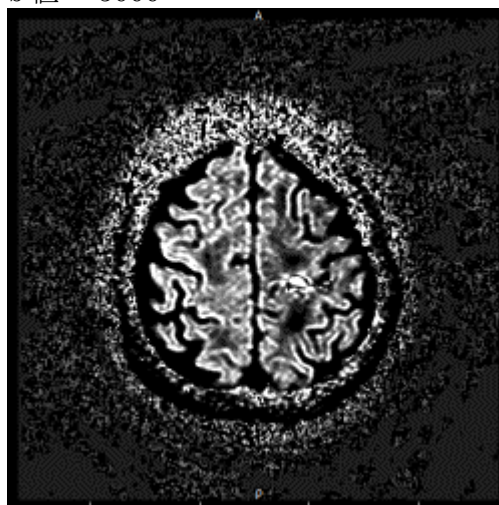
b 値 = 3000



b 値 = 4000



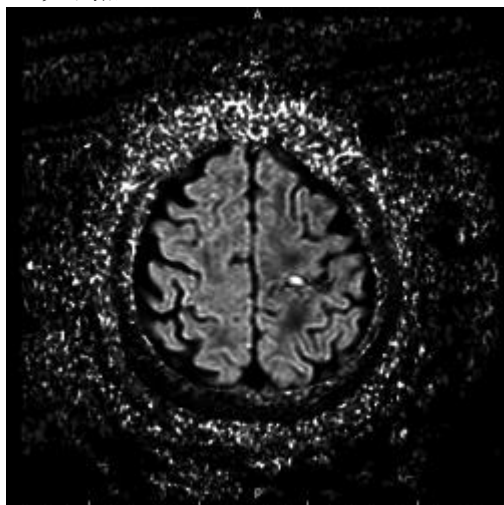
b 値 = 5000



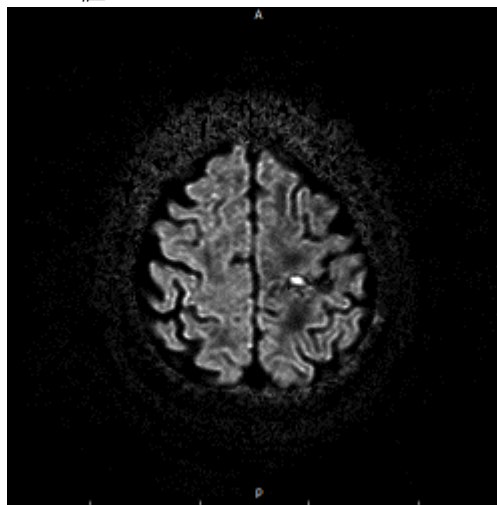
次に、ノイズとなる高輝度のピクセルをカットする例を記載します。

「低 ADC 値のピクセルをカット」のパラメータを調整します。

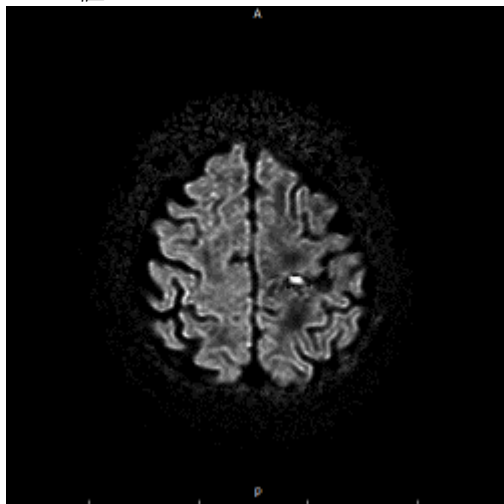
カット無し



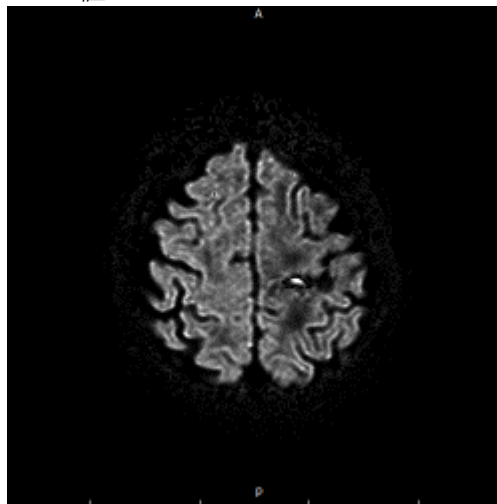
ADC 値 < 0.0



ADC 値 < 0.2



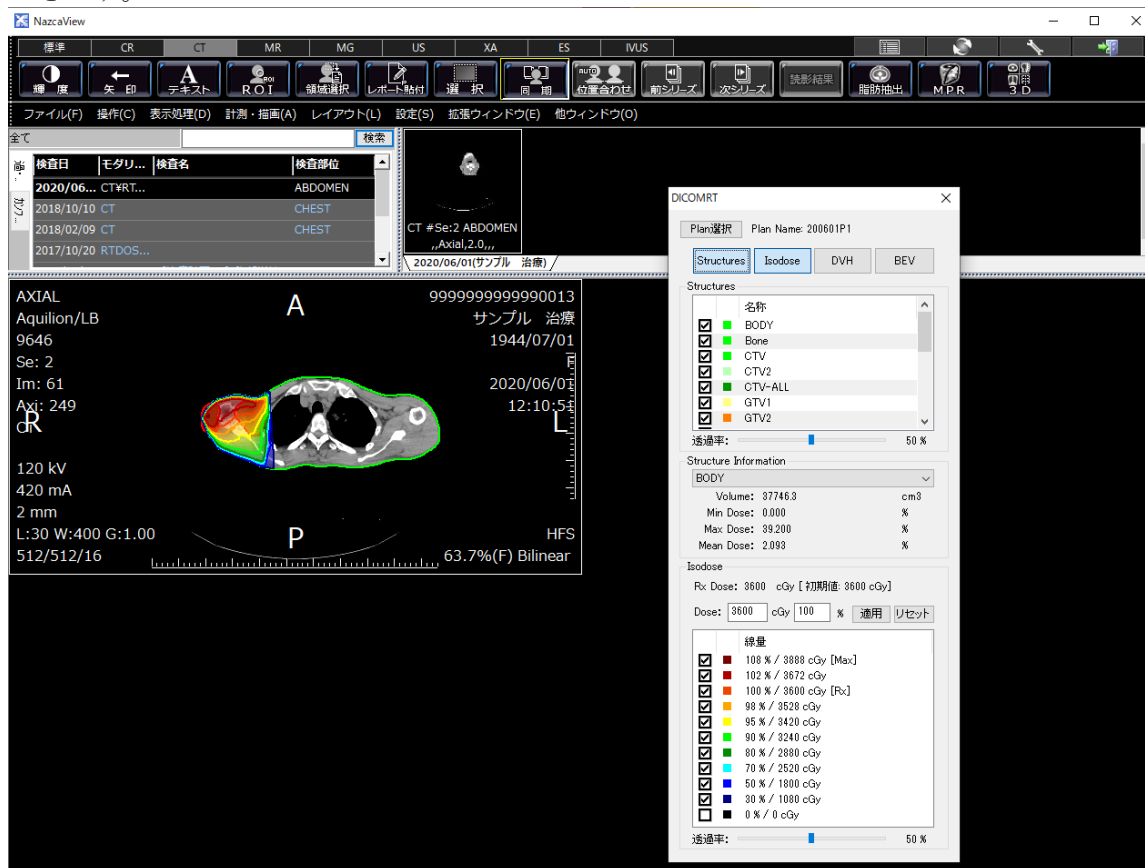
ADC 値 < 0.4



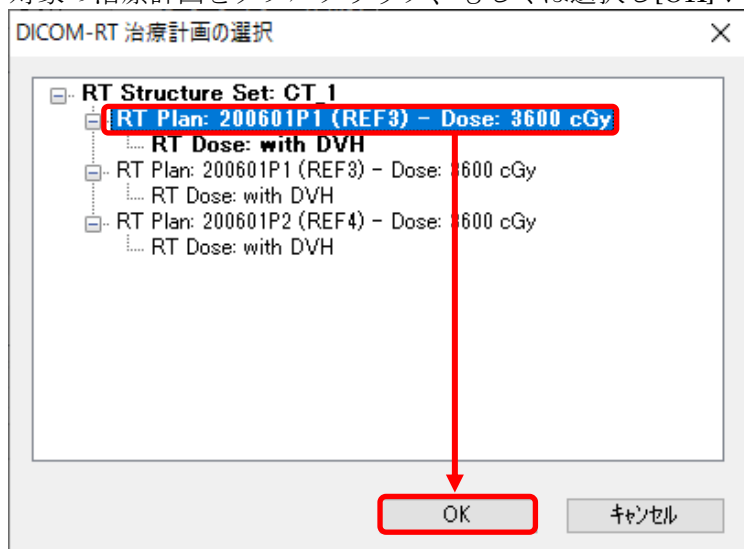
4.7.4 DICOMRT

DICOMRT

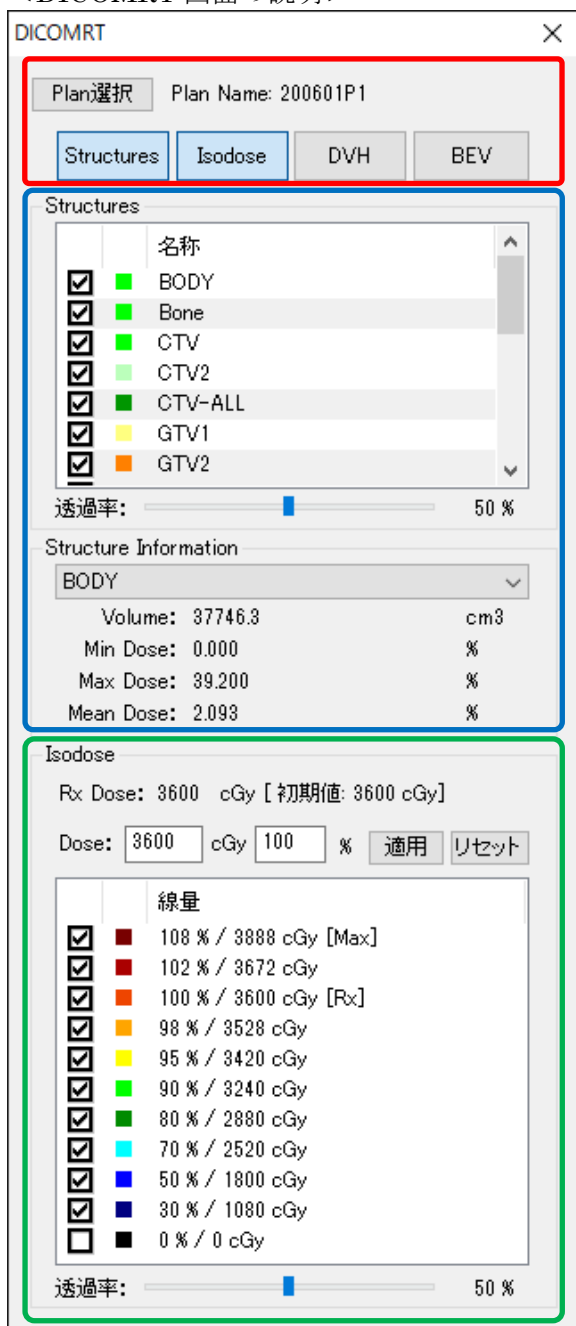
DICOMRT のダイアログを表示します。ビューワ画面には Structures、Isodose を表示することができます。



複数の治療計画がある場合は、治療計画の選択画面が表示されます。
対象の治療計画をダブルクリック、もしくは選択し[OK]ボタンをクリックします。



<DICOMRT 画面の説明>



【赤枠】

[Plan 選択]ボタン

複数プラン存在する場合に切り替えます。

[Structures]ボタン

Structures の表示／非表示を切り替えます。

[Isodose]ボタン

Isodose の表示／非表示を切り替えます。

[DVH]ボタン

DVH グラフを表示します。

[BEV]ボタン

ビーム入射位置、範囲を視覚的に表示します。

【青枠】

Structures チェック枠

チェックが付いている項目の Structures を表示します。

透過率

ビューワに表示する際の透過率を設定します。

Structure Information

プルダウンで選択している項目の詳細情報 (Volume, Min Dose, Max Dose, Mean Dose) を表示します。

【緑枠】

Isodose チェック枠

チェックの付いた項目の Isodose を表示します。

Rx Dose

リスト上 100%に当たる値。DICOM 情報の値

Dose 値

初期値は DICOM 情報の RxDose 値

割合[%]

Dose 値が何%の値であることを示す割合

[適用]ボタン

線量の変更が必要な場合、数値を変更し[適用]ボタンを選択すると反映します。

[リセット]ボタン

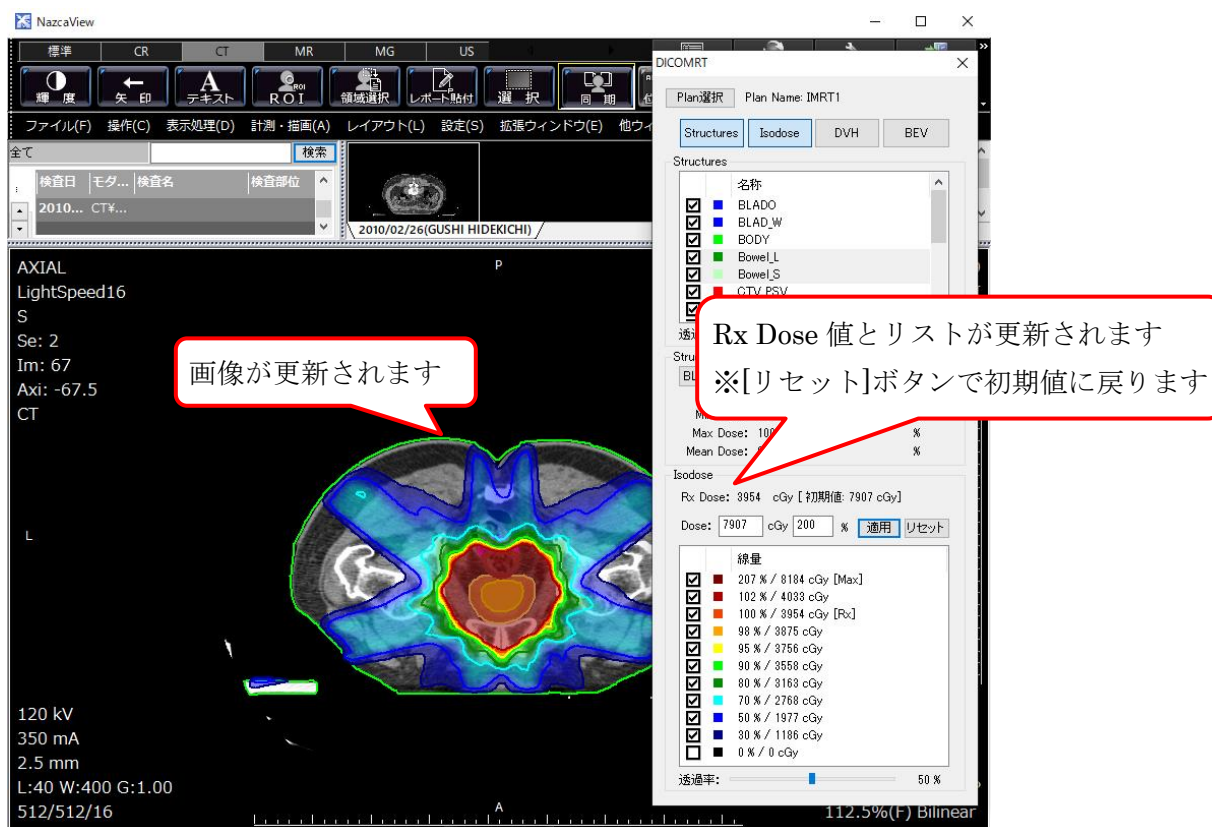
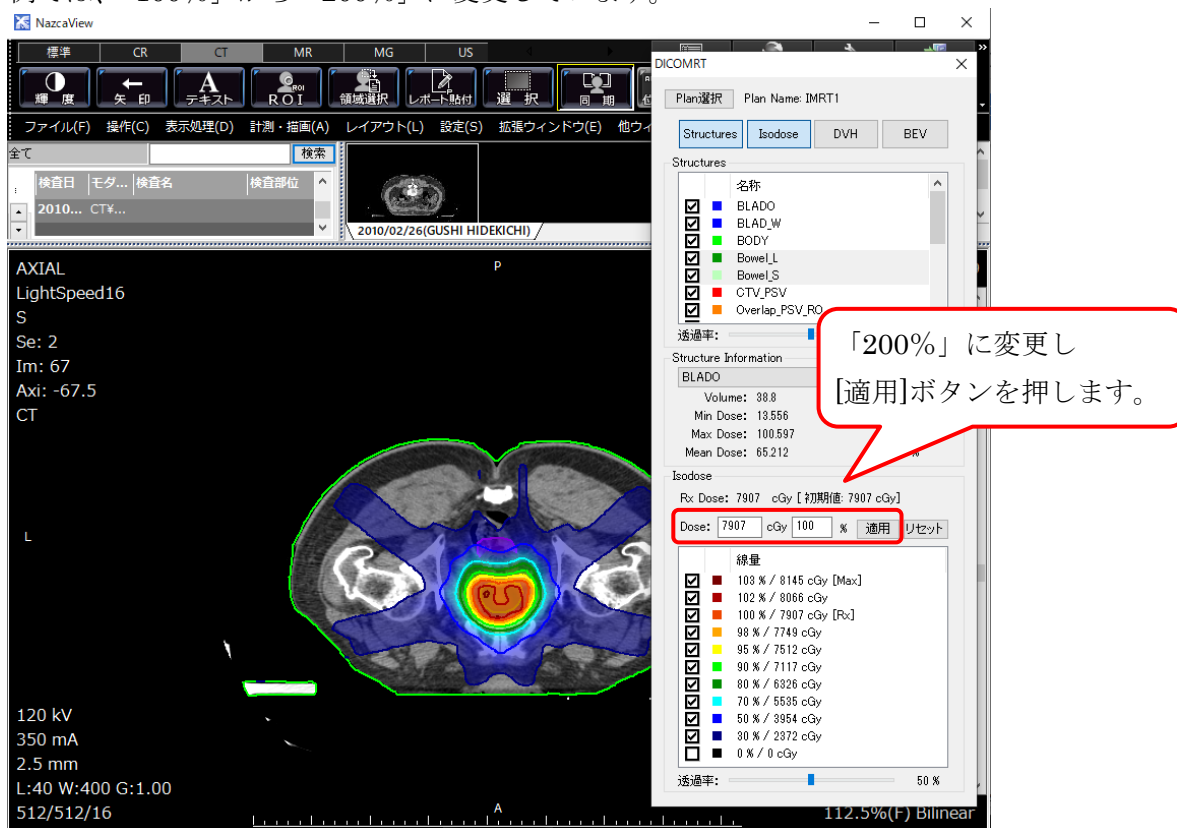
各項目および画像を初期起動の状態にして表示

透過率

ビューワに表示する際の透過率を設定します。

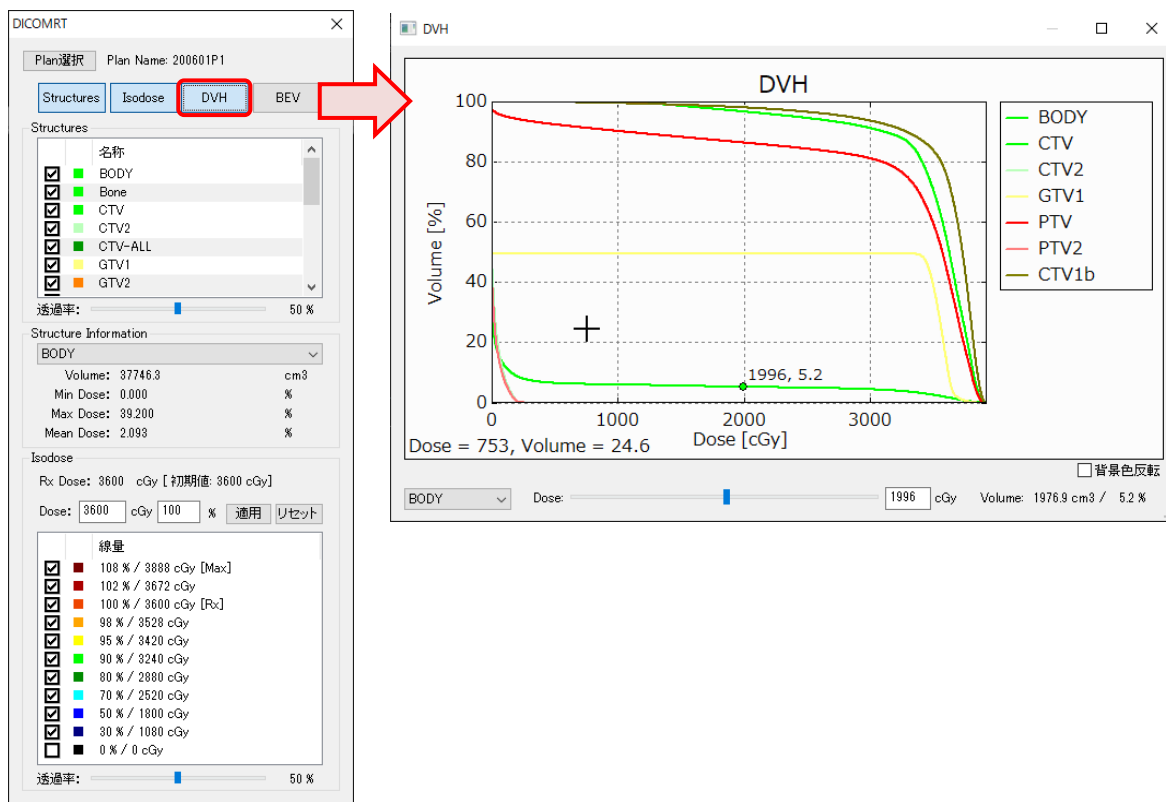
<DICOMRT の RxDose 値に対する割合入力>

Dose 値に対する割合 [%] を入力して[適用]ボタンを押すと、リストおよび画像を更新します。例では、「100%」から「200%」に変更しています。



<DVH グラフ>

ダイアログから[DVH]ボタンを選択すると、RT Structure（腫瘍や臓器などの ROI）ごとの被曝線量を表す DVH（線量体積ヒストグラム）グラフを表示します。

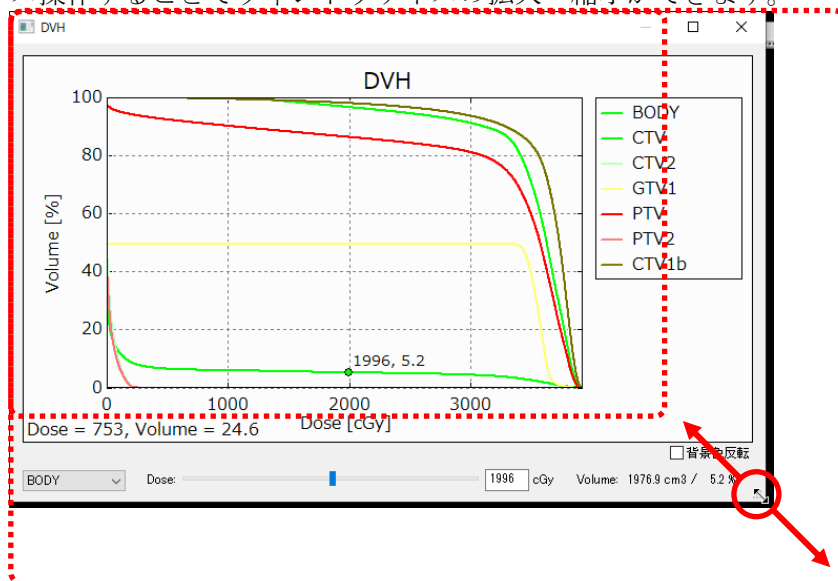


横軸：臓器の被曝線量

縦軸：その臓器の体積全体の何%が被曝しているか

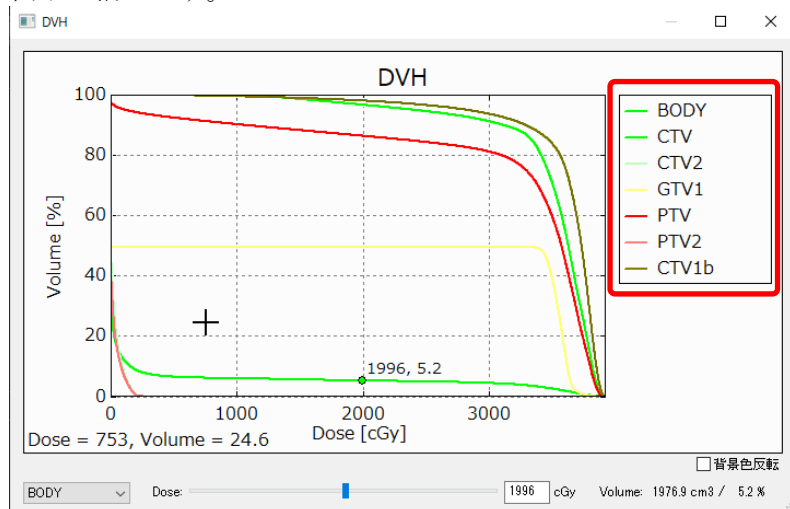
- ・ウィンドウサイズの変更

DVH グラフ画面の右下の枠にマウスカーソルを合わせると矢印になります。その状態でマウス操作することでウィンドウサイズの拡大・縮小ができます。

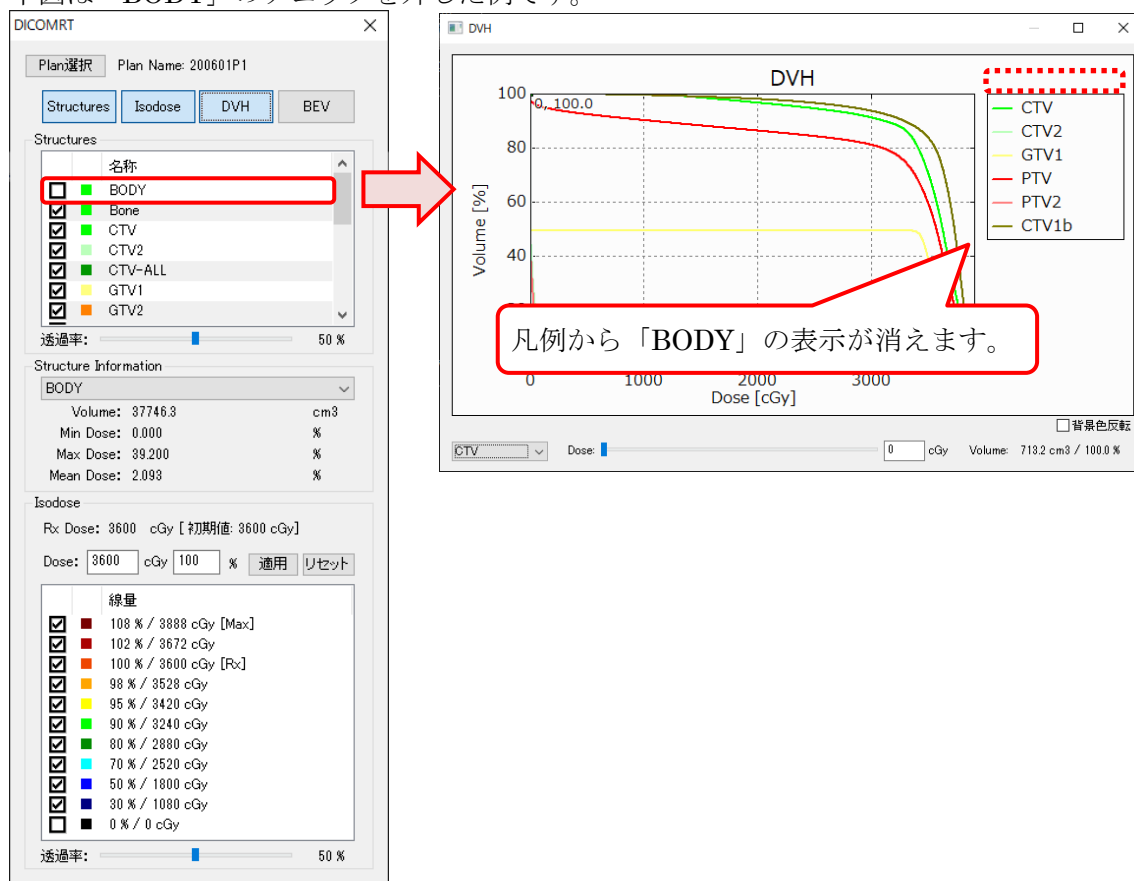


・ 凡例の表示

Structures のチェックが入っている項目が凡例に表示されます。チェックを外すと凡例からも表示が消えます。

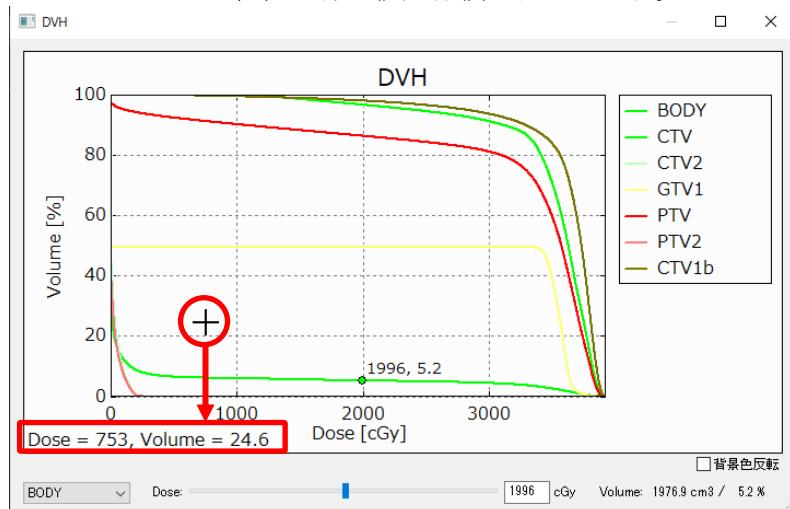


下図は「BODY」のチェックを外した例です。



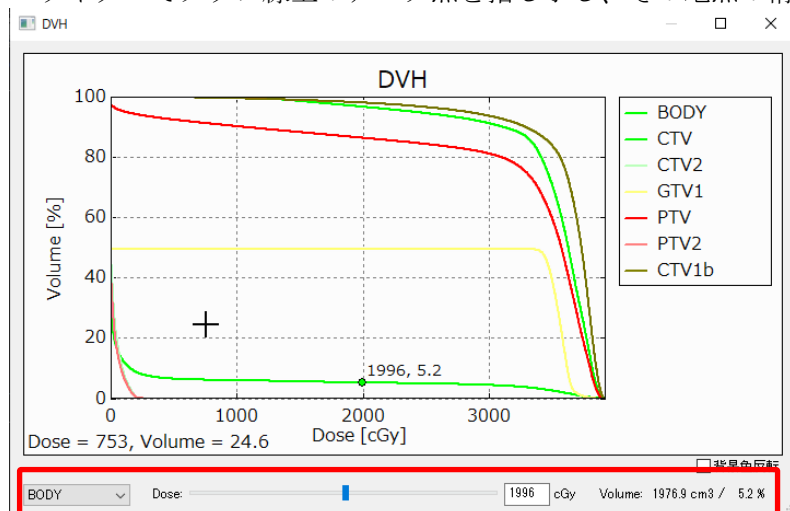
・線量値／体積の表示

カーソルを当てた位置の線量値／体積を表示します。



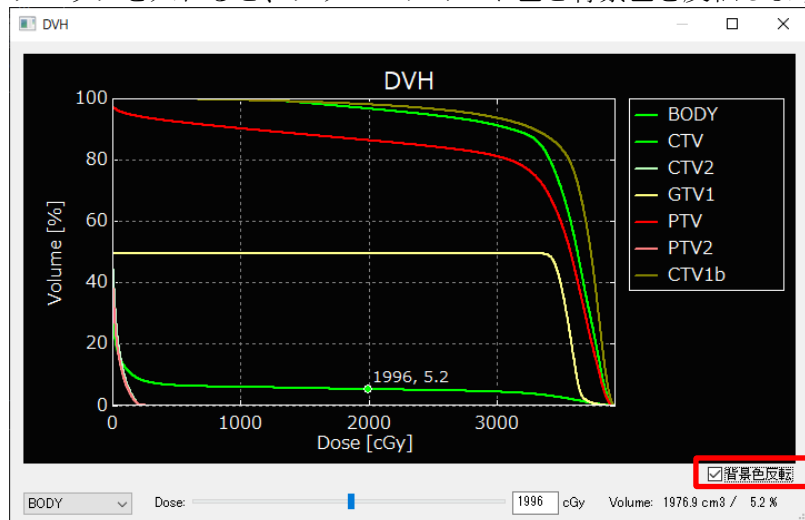
・グラフ下部のスライダー

スライダーでグラフ線上のデータ点を指し示し、その地点の情報を表示します。



・背景色反転

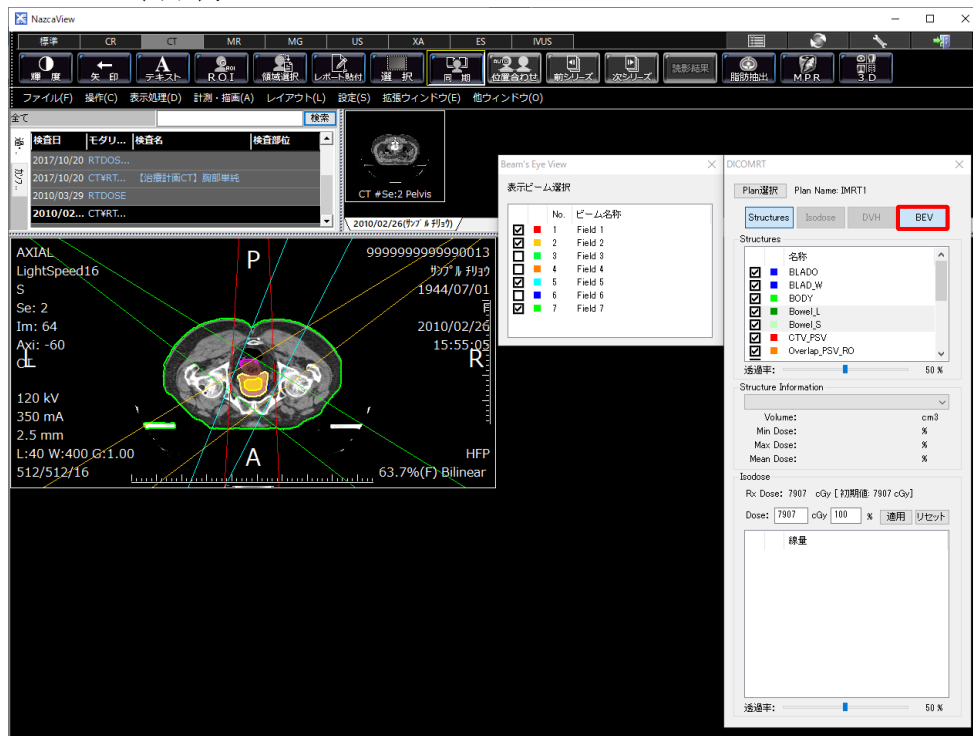
チェックを入れると、グラフのテキスト色と背景色を反転します。



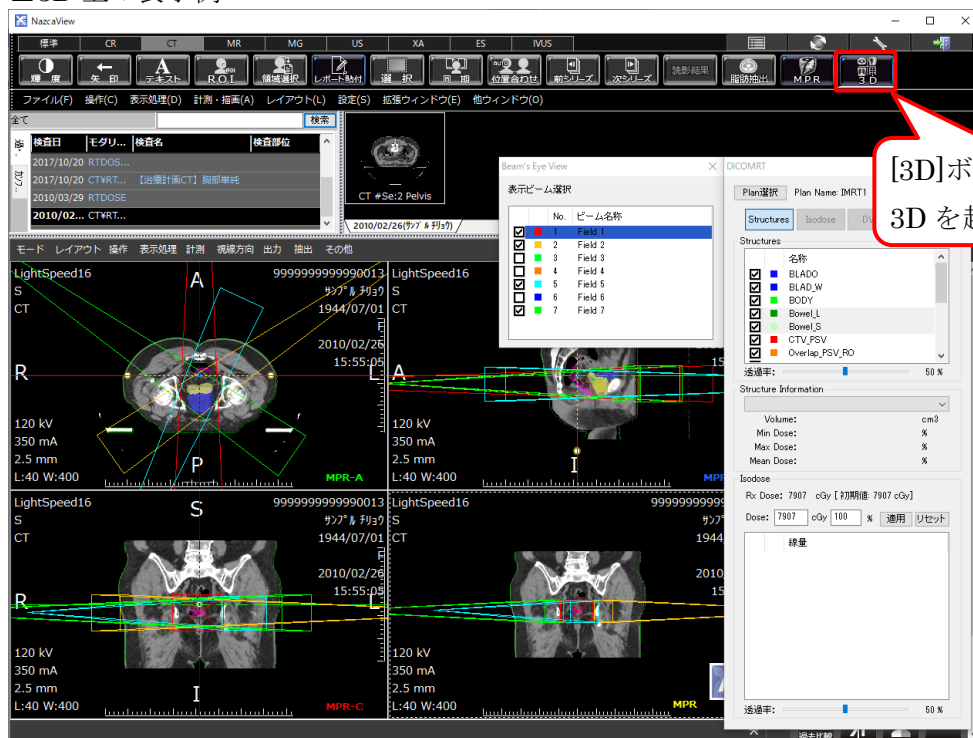
<BEV>

ダイアログから[BEV]ボタンを選択すると、Beam's Eye View 画面を起動し、照射方向から見た視野範囲（BEV）を表示します。照射方向が視線にある場合は矩形で表示します。

■ 2D 上の表示例



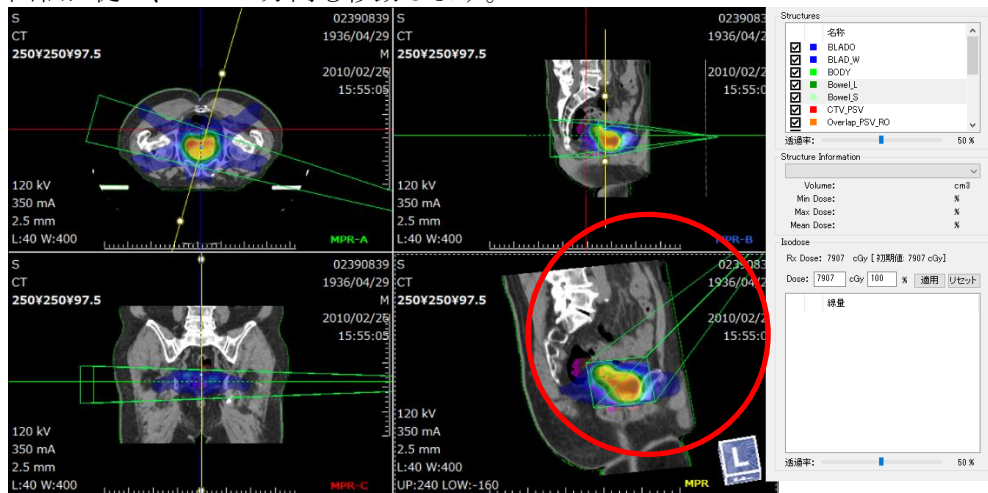
■ 3D 上の表示例



リスト上の選択状態のビームを視線とした画像を表示します。(青色背景が選択状態)

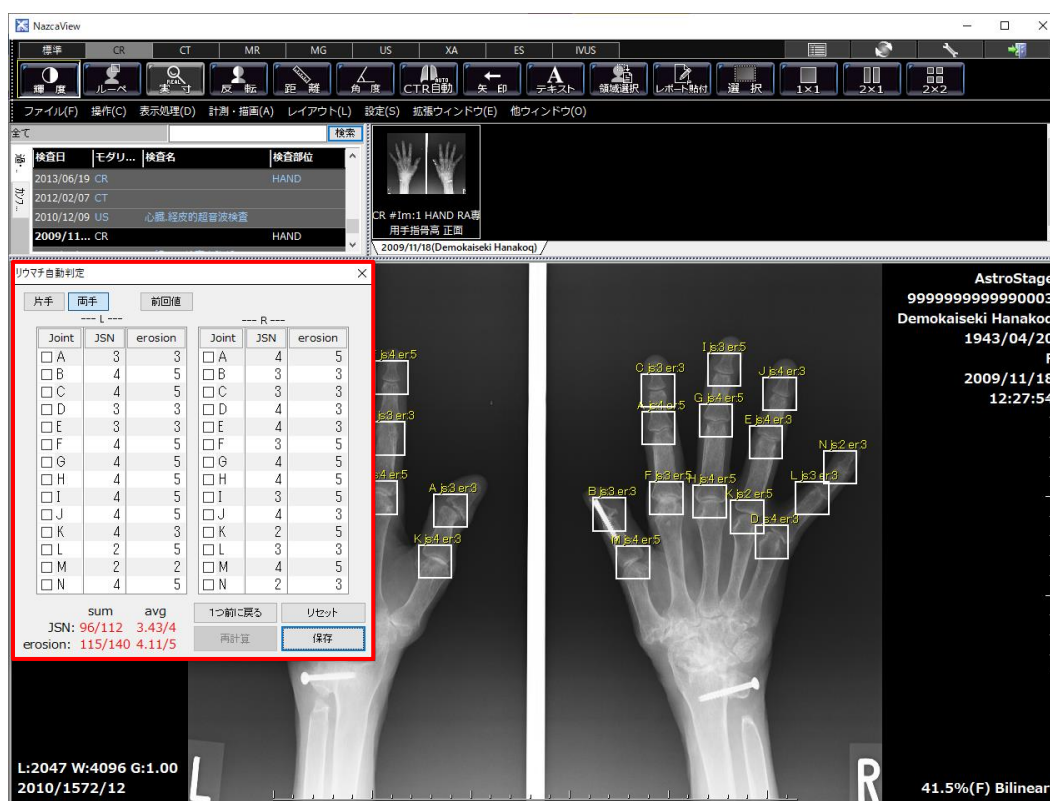


回転に従い、ビーム方向も移動します。



4.7.5 リウマチ自動判定

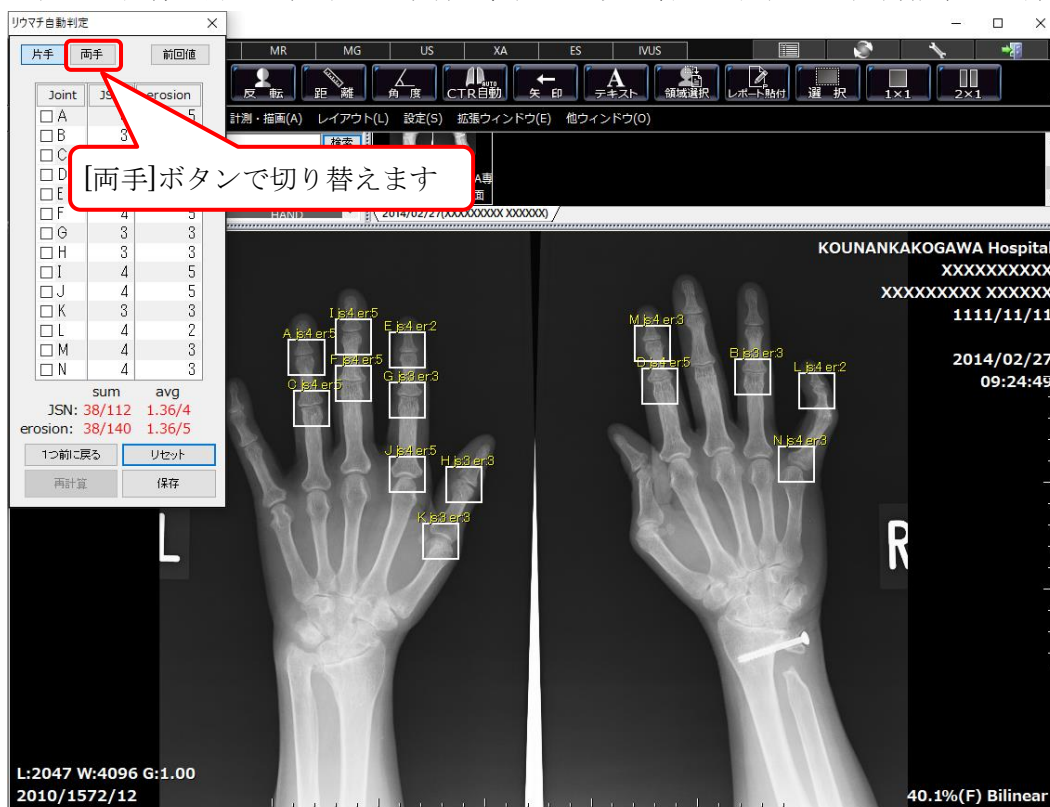
リウマチ画像診断支援（HandRA）のダイアログを起動します。



※片手の場合も自動判別します。



※両手の画像を片手と認識した場合は、両手に切り替えて画面上の計測結果を更新します。



<解析結果画面の説明>

リウマチ自動判定
×

片手
両手
前回値

--- L ---

Joint	JSN	erosion
☐ A	3	3
☐ B	4	5
☐ C	4	5
☐ D	3	3
☐ E	3	3
☐ F	4	5
☐ G	4	5
☐ H	4	5
☐ I	4	5
☐ J	4	5
☐ K	4	3
☐ L	2	5
☐ M	2	2
☐ N	4	5

--- R ---

Joint	JSN	erosion
☐ A	4	5
☐ B	3	3
☐ C	3	3
☐ D	4	3
☐ E	4	3
☐ F	3	5
☐ G	4	5
☐ H	4	5
☐ I	3	5
☐ J	4	3
☐ K	2	5
☐ L	3	3
☐ M	4	5
☐ N	2	3

sum avg

JSN: 96/112 3.43/4

erosion: 115/140 4.11/5

1つ前に戻る
再計算

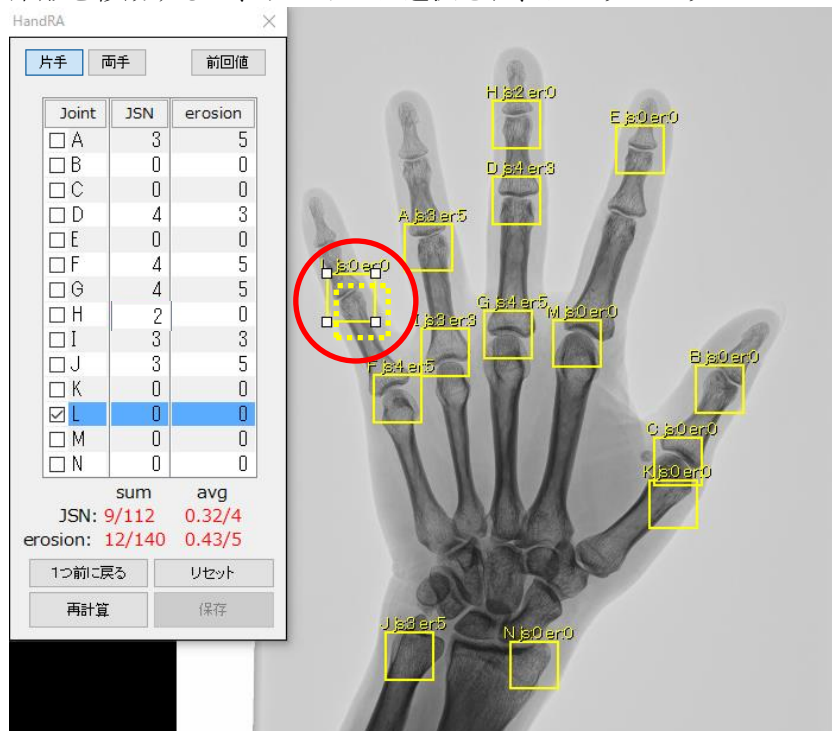
リセット
保存

項目名	説明
[片手]ボタン [両手]ボタン	画像処理で片手・両手を自動判断しますが、判断に誤りがあった場合に手動で切り替えることができます。
[前回値]ボタン	過去に保存した結果を表示します。データベースから値を取得するか、保存した CSV ファイルを選択し反映するか設定ができます。 <NazcaView.ini の設定箇所> HandRResultLoad=0…DB から値を取得し結果反映 HandRResultLoad=1…保存した CSV ファイルを選択して結果反映 ※初期状態・データベースから値を取得の場合は、起動時に前回値が反映されて表示されます。 ※ [リセット] ボタンで自動計算値が反映されます。
[1つ前に戻る]ボタン	1つ前の編集内容を表示します。
[リセット]ボタン	自動計算の結果を表示します。
[再計算]ボタン	矩形（座標）を編集した場合に、その位置の解析計算を再度行います。矩形を移動すると、チェックボックスは ON になります。
[保存]ボタン	データベースおよび画像と CSV ファイルに解析結果を保存します。

<編集・再計算について>

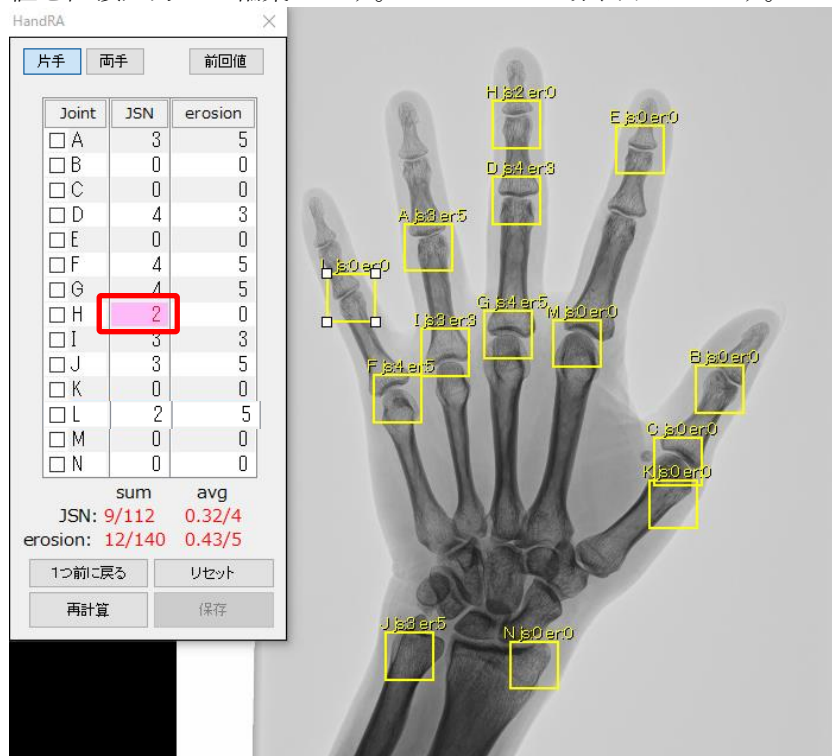
・矩形の移動

矩形を移動すると、リスト上に選択され、チェックボックスが ON になります。



・値入力

値を直接入力して編集します。Enter キーで赤表示にします。



・再計算

チェックがある位置の情報を更新します。

HandRA

片手 両手 前回値

Joint	JSN	erosion
☐ A	3	5
☐ B	0	0
☐ C	0	0
☐ D	4	3
☐ E	0	0
☐ F	4	5
☐ G	4	5
☐ H	2	0
☐ I	3	3
☐ J	3	5
☐ K	0	0
☒ L	3	2
☐ M	0	0
☐ N	0	0

sum avg
JSN: 12/112 0.32/4
erosion: 12/140 0.43/5

1つ前に戻る 再計算

[再計算]ボタンを押すと、チェックが ON の項目を更新します。
再計算した項目は、赤文字で背景色を変えて表示します。
再計算後は、リスト上のチェックが OFF になります

・選択位置の移動

テンキーの上下で選択位置を移動します。

HandRA

片手 両手 前回値

Joint	JSN	erosion
☐ A	3	5
☐ B	0	0
☐ C	0	0
☐ D	4	3
☐ E	0	0
☐ F	4	5
☐ G	4	5
☐ H	2	0
☐ I	3	3
☐ J	3	5
☒ K	0	0
☒ L	0	0
☐ M	0	0
☐ N	0	0

sum avg
JSN: 9/112 0.32/4
erosion: 12/140 0.43/5

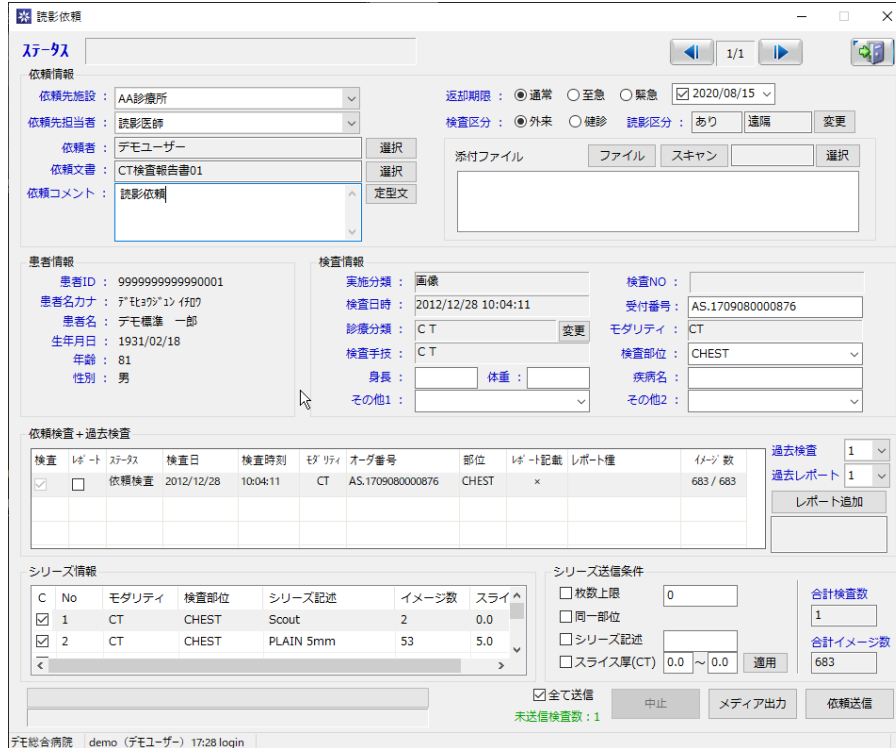
1つ前に戻る リセット
再計算 保存

↑ ↓

4.7.6 読影依頼

読影依頼

ビューワ表示している検査を読影依頼することができます。読影依頼画面（Miras）が起動するため、依頼先や検査詳細等の必要事項を入力し[依頼先送信]ボタンで依頼作成します。



4.7.7 読影結果

読影結果

読影依頼した検査の読影結果が返ってきている場合、[読影結果]ボタンを押すことができます。レポート画面で読影結果を確認できます。



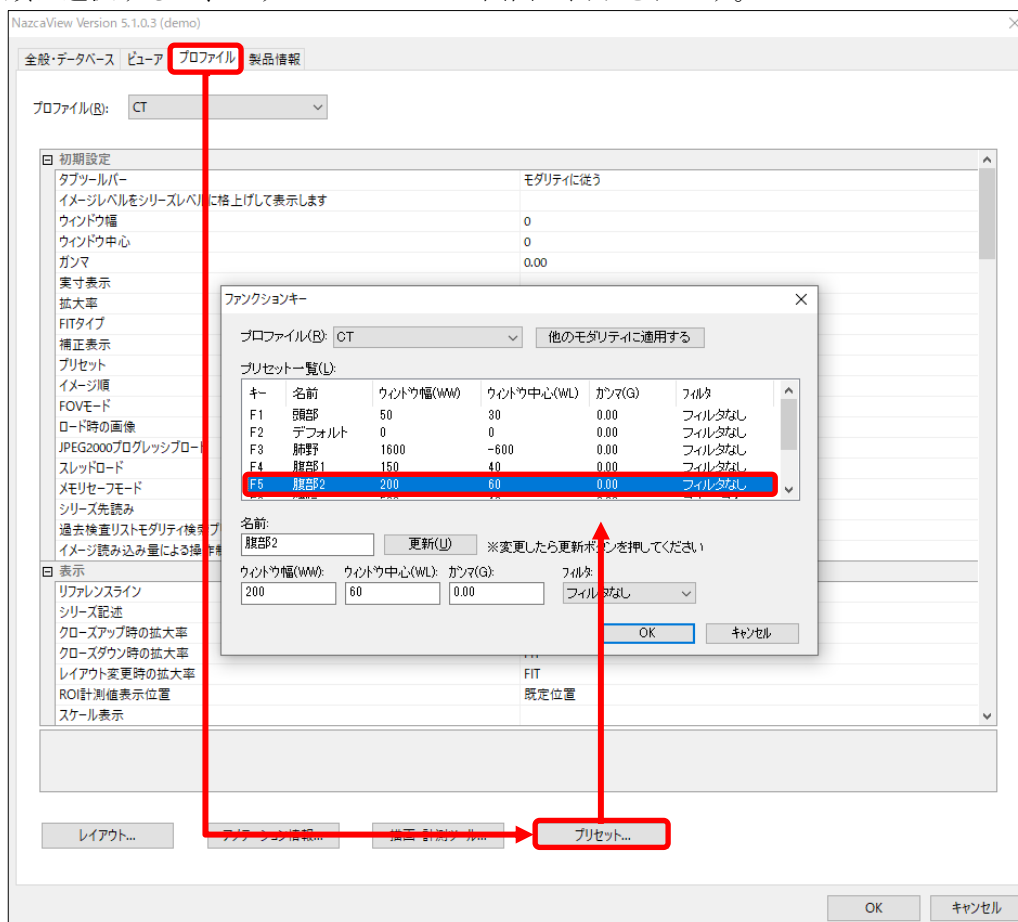
4.8 他ウィンドウ

4.8.1 プリセット

F1 キー～F12 キー

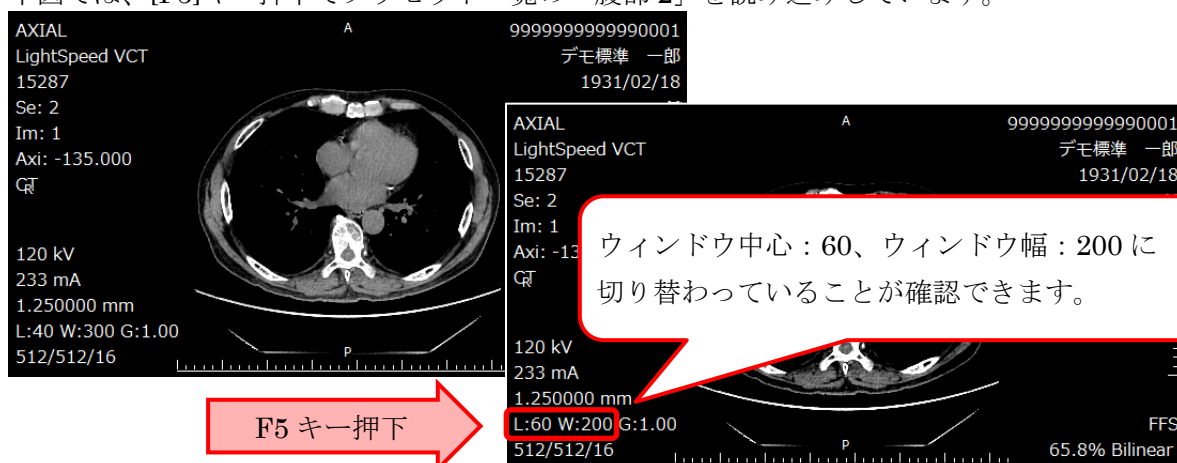
モダリティごとに作成したプリセットをファンクションキーに割り当てます。

ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）＞[プロファイル]タブ＞[プリセット...]ボタンの順に選択すると、ファンクションキー画面が表示されます。



プロファイルでモダリティの切り替え、プリセットの名前、ウィンドウ幅、ウィンドウ中心、ガンマ等を入力したら[更新]ボタンで登録します。設定したプリセットは、[他のモダリティに適用する]ボタンで別モダリティにコピーすることもできます。

下図では、[F5]キー押下でプリセット一覧の「腹部 2」を読み込みしています。

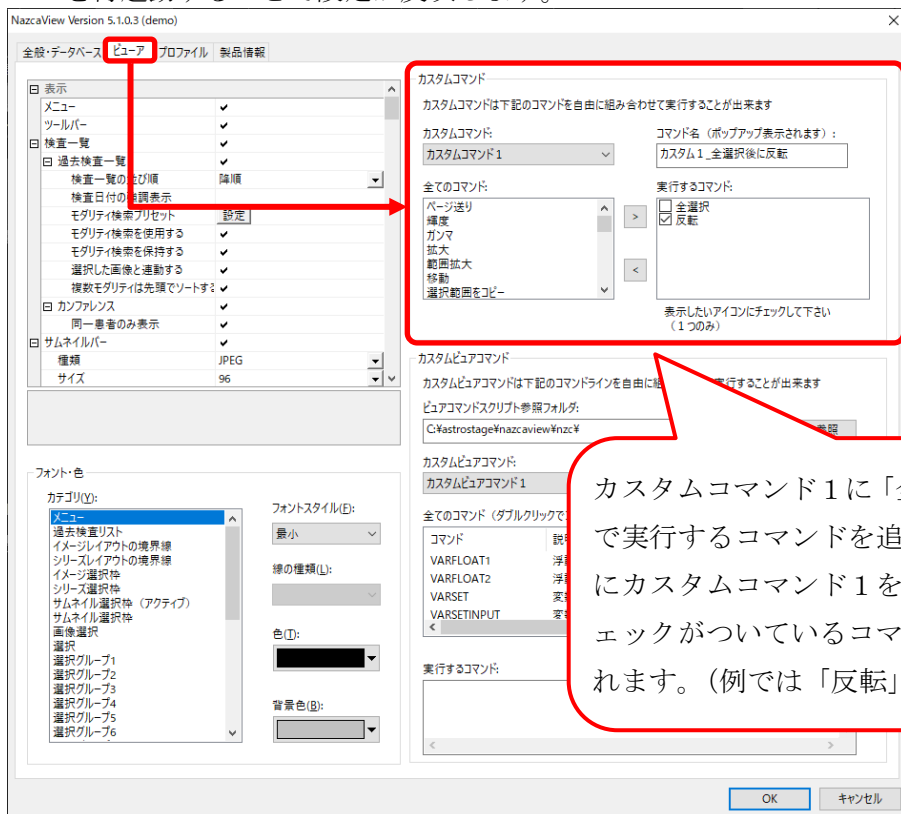


4.8.2 カスタムコマンド

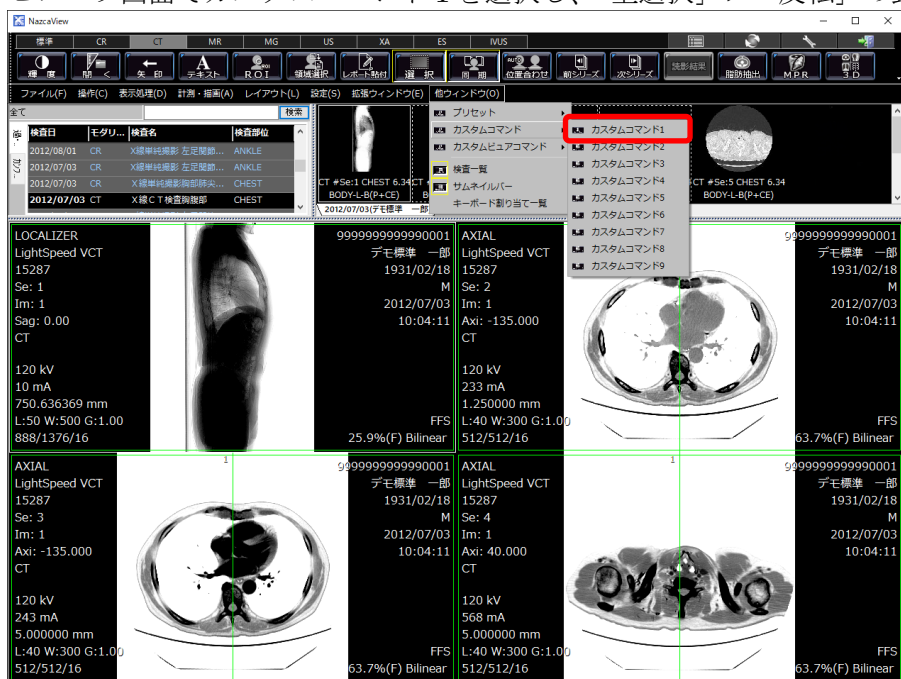
カスタムコマンド1～9

コマンドを組み合わせて実行することができます。

ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[ビュー]タブの順に選択し、カスタムコマンド欄でコマンド名、実行するコマンドを登録します。登録後は[OK]ボタン押下後にアプリケーションを再起動することで設定が反映します。



ビュー画面でカスタムコマンド1を選択し、「全選択」>「反転」の動作が確認できます。

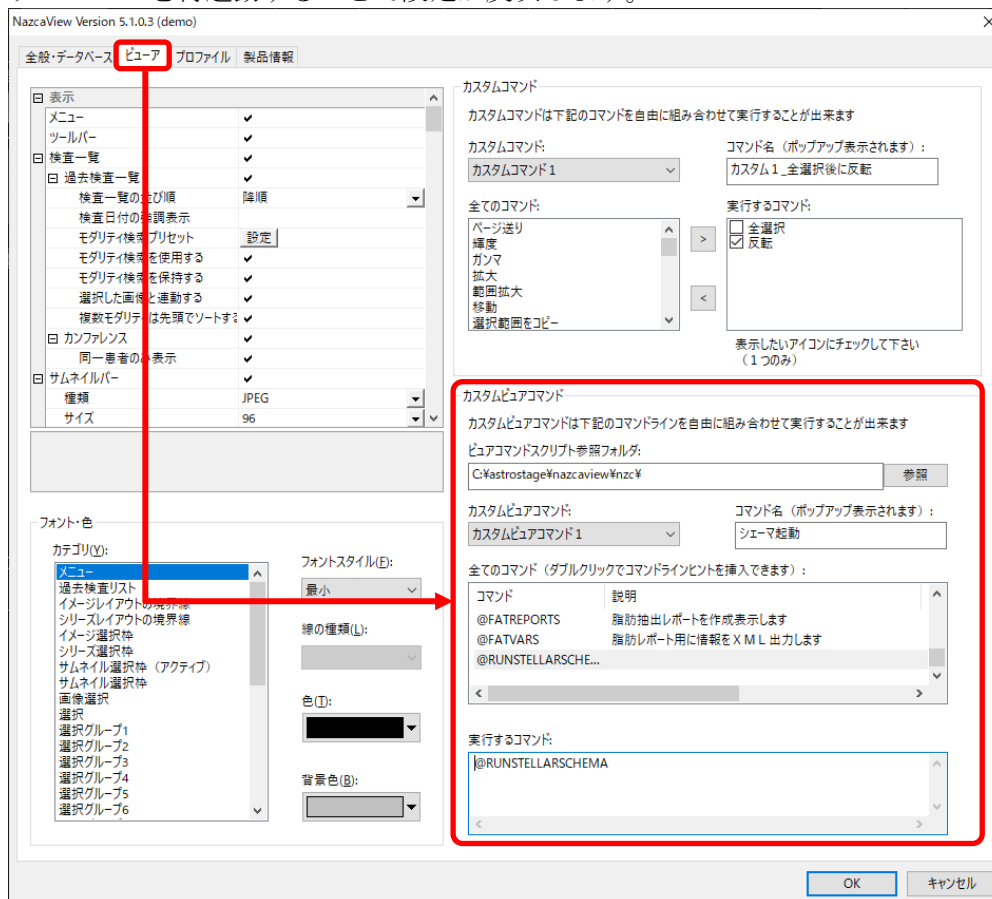


4.8.3 カスタムビューコマンド

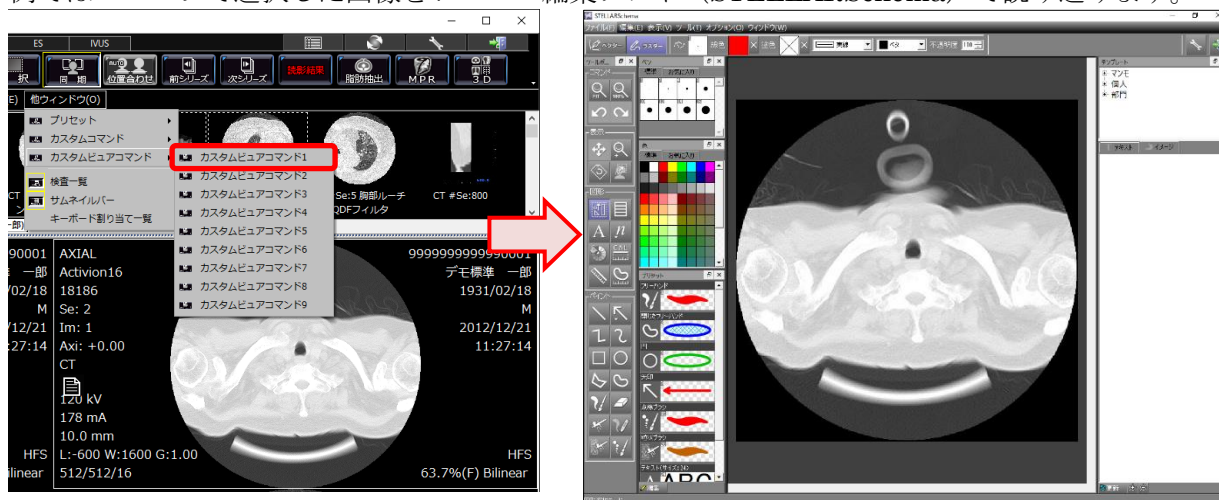
カスタムビューコマンド 1～9

コマンドラインを組み合わせて実行することができます。

ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[ビュー]タブの順に選択し、カスタムビューコマンド欄でコマンド名、実行するコマンドを登録します。登録後は[OK]ボタン押下後にアプリケーションを再起動することで設定が反映します。



例ではビューで選択した画像をシエマ編集ソフト（STELLARSchema）で読み込みます。

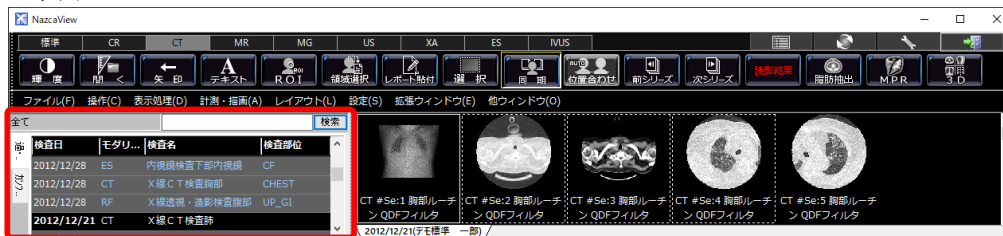


4.8.4 検査一覧

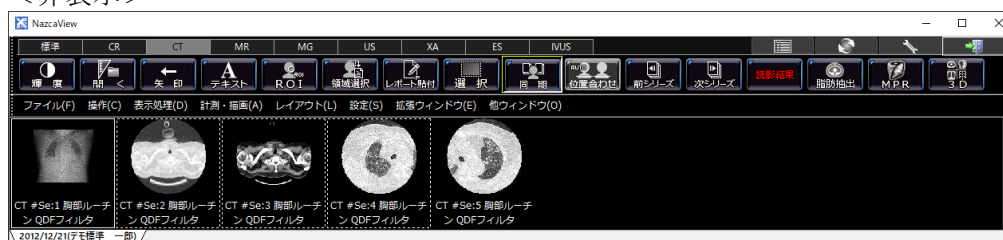
検査一覧

検査一覧の表示／非表示を切り替えます。

<表示>



<非表示>

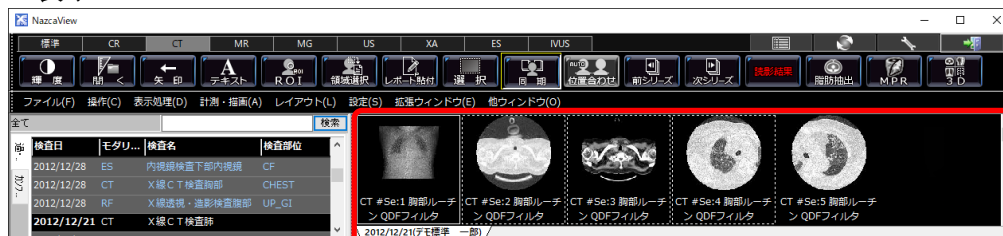


4.8.5 サムネイルバー

サムネイルバー

サムネイルバーの表示／非表示を切り替えます。

<表示>



<非表示>



4.8.6 キーボード割り当て一覧

キーボード割り当て一覧

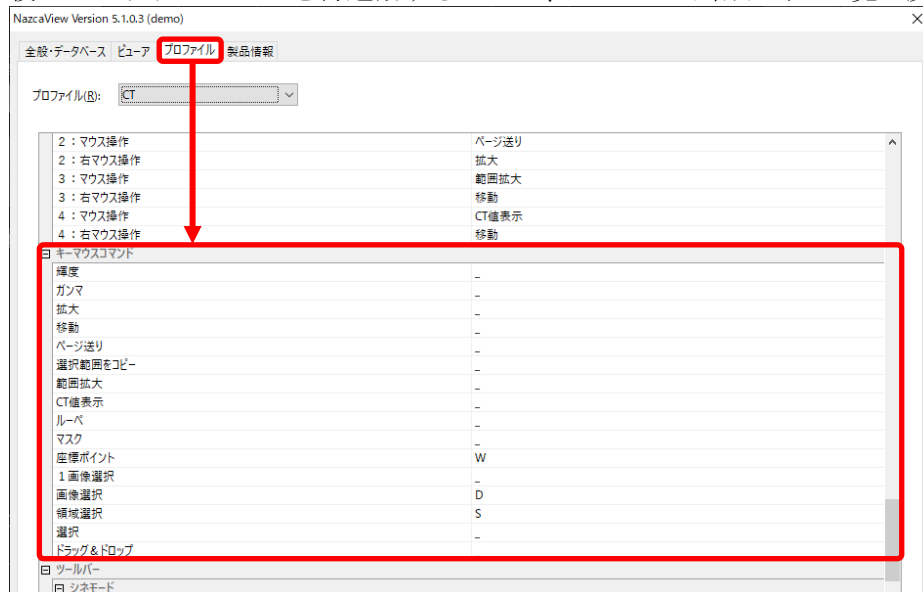
設定されているキーマウスコマンド、キーボードコマンドをプロファイルごとに表示します。ビュー画面左側に表示し、右上の[閉じる]ボタンで画面を閉じます。

例では、プロファイル：CT の場合の割り当て一覧を表示しています。



■ キーマウスコマンドの設定

ユーザ単位の設定です。ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[プロファイル]タブの「キーマウスコマンド」カテゴリでモダリティごとに設定します。登録後は[OK]ボタン押下後にアプリケーションを再起動することで、キーボード割り当て一覧に反映します。



■ キーボードコマンドの設定

ユーザで共通となります。キーボードコマンドはユーザー設定ダイアログから変更可能です。
(参考：後述の「6.2.4 [キーボード]タブ」)

例として、キーマウスコマンドの距離：[R]キーを押しながら、マウス操作すると距離計測が使用できます。キーボードコマンドのアイテムの削除：[Del]キーで選択した計測結果を削除できます。



5. 設定（スパナボタン）

設定（スパナボタン）では[全般・データベース]、[ビューワ]、[プロフィール]の各タブで詳細設定の変更ができます。

5.1 [全般・データベース]タブ

NazcaView Version 5.1.0.3 (demo)

全般・データベース | ビューワ | プロファイル | 製品情報

全般

ウィンドウ

☒ タイトルを表示する(T)
 ☒ ドッキングバーを固定する(D)
 ☒ 終了した位置を記憶する(E)

ユーザー設定参照先: ¥¥192.168.1.116¥¥AsShared¥¥NazcaView¥¥Users¥¥demo¥¥NazcaView.xml

データベース

フォント・色

カテゴリ(Y):

データベースリストのタイトル
 データベースリスト
 データベースリストの奇数行
 データベースリストの偶数行
 データベースリストの選択行
 ソートの列(ソートをかけた列)

フォントスタイル(E):

小

テキスト色(I):

背景色(B):

検索

☐ 検索結果が多くても警告のメッセージを出さない(N)
 ☐ データベース画面に戻る時再問合せを行う(Q)

患者ID前置文字

患者ID後置文字

自動更新

☐ 自動更新を有効にする(A)
 0 秒毎に更新する

ダイレクト検索 (項目を切り替える毎に検索を実行します)

☐ 医療機関コード(H)
 ☐ モグリティ(M)
 ☐ 検査日(S)

リストをデフォルトに戻す(D)

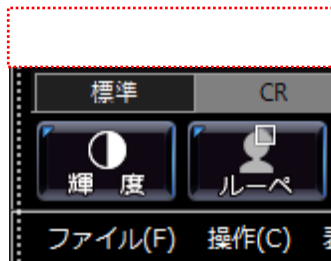
OK | キャンセル

ページ 140

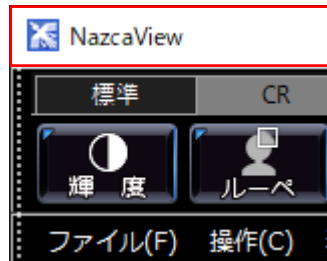
5.1.1 全般

ウィンドウ

タイトルを表示する ☒ (表示する)
(チェック無)



(チェック有)



チェックを外すことにより、タイトルバーなしに全画面表示ができます。



ドッキングバーを固定する ☒ (固定する)

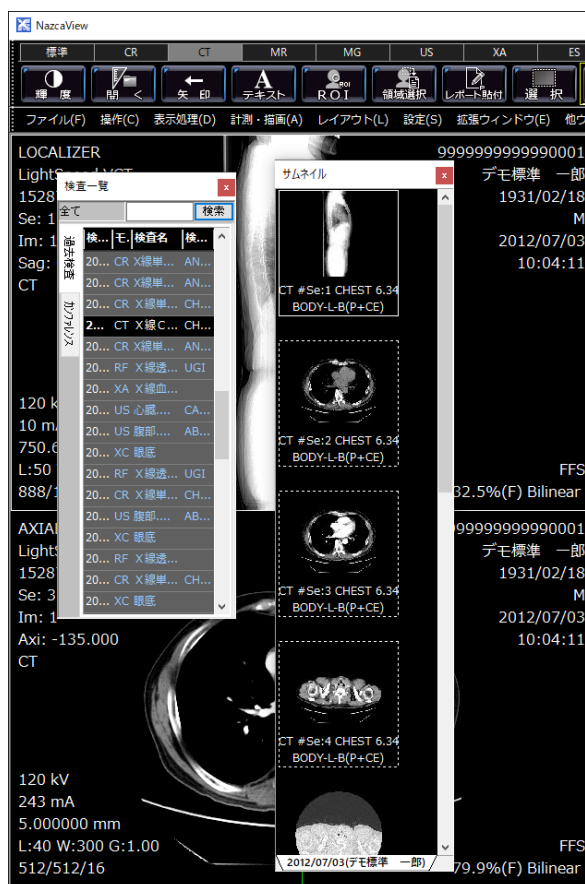
チェックを外すとドッキングバー (赤枠部) を別ウィンドウで配置することができます。
(チェック無) (チェック有)



タブをドラッグすることにより浮動可能



位置固定



タブをドラッグし、別ウィンドウとして配置することもできます。

別ウィンドウの状態から元の位置に戻したい場合は、[検査一覧]と[サムネイル]のタイトルバーをダブルクリックすると、元の位置に戻ります。

[×]ボタンで閉じてしまうので頻繁に使用される場合は注意してください。

閉じてしまった場合は、[メニュー]バーの[他ウィンドウ]から[検査一覧]と[サムネイル]を選択してください。

終了した位置を記憶する。 ☒ (記憶する)

前回終了時のウィンドウの位置とサイズを記憶して、次回起動時に同じウィンドウ位置とサイズで表示します。

ユーザー設定先参照先

ユーザ単位の設定参照先を表示します。

5.1.2 データベース

フォント・色

[検索一覧]タブ内のデータベースに使用される文字サイズ・文字色・背景色をカテゴリ別に指定できます。

カテゴリ	フォントスタイル	テキスト色	背景色
データベースリストのタイトル	小（選択可）	（選択可）	（選択可）
データベースリスト	小（選択可）	（選択可）	（選択可）
データベースリストの奇数行	小（固定）	（固定）	（選択可）
データベースリストの偶数行	小（固定）	（固定）	（選択可）
データベースリストの選択行	小（固定）	（選択可）	（選択可）
ソートの列（ソートをかけた列）	小（固定）	（固定）	（選択可）

5.1.3 検索・ダイレクト検索・[リストをデフォルトに戻す]ボタン

検索

内容	説明	初期値
検索結果が多くても警告のメッセージを出さない	検索結果が多い場合、警告メッセージを表示しません	☐ （出さない）
データベース画面に戻る時再問合せを行う	データベース画面に戻る時に再問合せを行いません	☐ （行わない）
患者 ID 前置文字	患者検索を行う際に必要な「先頭の文字列」を入力します。	空欄
患者 ID 後置文字	患者検索を行う際に必要な「後尾の文字列」を入力します	空欄

自動更新

内容	説明	初期値
自動更新を有効にします	自動更新を有効にします	☐ （無効）
（指定）秒毎に更新する	更新間隔を指定秒にします	0（グレー反転）

ダイレクト検索（項目を切り替える毎に検索を実行します）

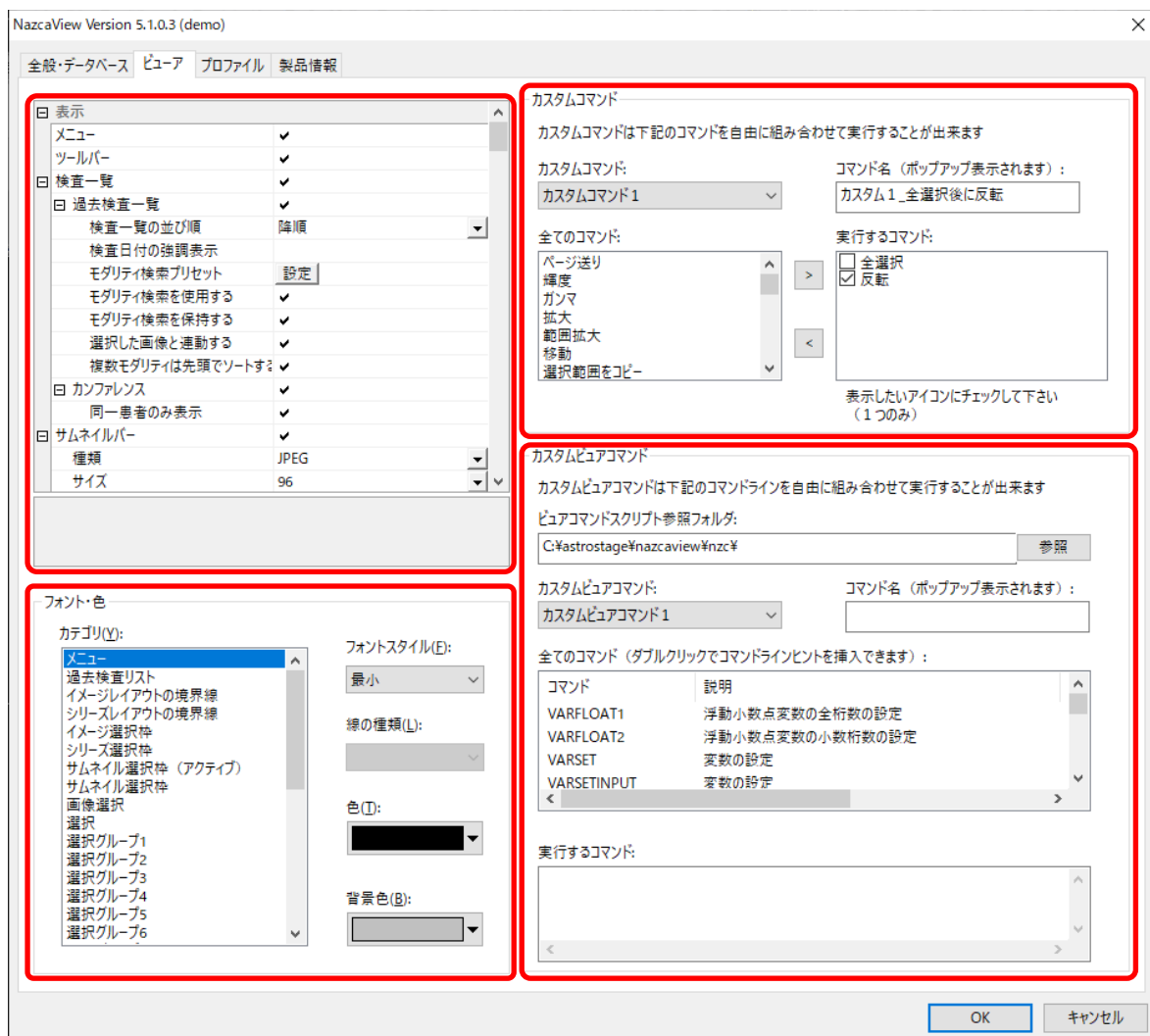
内容	初期値
医療機関コード	☐ （実行しない）
モダリティ	☐ （実行しない）
検査日	☐ （実行しない）

[リストをデフォルトに戻す]ボタン

リストを全てデフォルト（初期値）に戻します

5.2 [ビューア]タブ

NazcaView 全体の表示設定、カスタム設定などを行います。



5.2.1 表示設定

内容	説明	初期値
表示		
メニュー	ビューアにメニューを表示します	☒ (表示)
ツールバー	ビューアにツールバーを表示します	☒ (表示)
検査一覧	ビューアに検査一覧を表示します	☒ (表示)
過去検査一覧	過去検査一覧を表示します	☒ (表示)
検査一覧の並び順 (プルダウン)	検査日付の並び順を設定します	降順
検査日付の強調表示	検査一覧で本日の検査の検査日付を強調表示します	☐ (強調なし)

内容	説明	初期値
モダリティ検索プリセット (別ウィンドウ表示)	モダリティ検索のプリセットを設定します	※下図参照
 [新規作成]ボタン： プリセットを新規に作成します [編集]ボタン： 選択したプリセットを編集します [削除]ボタン： 選択したプリセットを削除します [↑]・[↓]ボタン： 選択したプリセットの順番を入れ替えます		
モダリティ検索を使用する	モダリティ検索を使用します	☒ (使用)
モダリティ検索を保持する	モダリティ検索を保持します	☒ (保持)
選択した画像と連動する	選択した画像に併せて、選択表示をします	☒ (表示)
複数モダリティは先頭でソートする	複数モダリティの場合、先頭のモダリティでソートします	☒ (ソート)
カンファレンス	カンファレンスを表示します	☒ (表示)
同一患者のみ表示	同一患者のみを表示します	☒ (表示)
サムネイルバー	ビューアにサムネイルバーを表示します	☒ (表示)
種類 (プルダウン)	サムネイルの種類を設定します	JPEG
サイズ (プルダウン)	サムネイルのサイズを設定します	96
画像表示操作 (プルダウン)	サムネイルの画像表示操作を選択します。	ダブルクリック
ドッキングキャプション	ドッキングウィンドウのキャプションを表示します	☒ (表示)

内容	説明	初期値
モニター		
モニターの数 (プルダウン)	モニタ数を設定します (モニタ数はビューア単位の設定です。※ユーザ毎の設定ではありません)	1
モニターの解像度	モニタの解像度 (幅) を設定します [単位: ピクセル]	0
モニターの実寸	モニタの実寸 (幅) を設定します [単位: mm]	0
自動更新		
自動更新	自動更新を有効にします	☐ (無効)
自動更新間隔	自動更新時間を設定します (秒)	0
全体サムネイルタブ		
全体サムネイルタブ表示	全体サムネイルタブを表示します	☒ (表示)
全体サムネイルサイズ (プルダウン)	サムネイルのサイズを設定します	AUTO
全体サムネイルタブ優先選択	全体サムネイルタブを優先選択にします	☐ (しない)
検査日付の連動表示		
検査日付の連動表示モード (プルダウン)	過去検査リスト、アノテーション、全体サムネイルの検査日付を連動で表示します	色とマーク両方
現在検査		
現在日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	FFFFFFFF
現在日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	なし
比較検査 1		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	☒ FF0000
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	●
比較検査 2		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	☒ 00FF00
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	▲
比較検査 3		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	☒ 00FFFF
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	■
比較検査 4		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	☒ FFFF00
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	◆

内容	説明	初期値
比較検査 5		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	 FF0080
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	▼
比較検査 6		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	 FF8000
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	○
比較検査 7		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	 FF00FF
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	△
比較検査 8		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	 FF8080
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	□
比較検査 9		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	 80FF80
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	◇
比較検査 10		
比較日付の色 (プルダウン)	検査日付の色を設定します	 8080FF
比較日付のマーク (プルダウン)	検査日付のマークを設定します	▽
リセット		
再読み込み	「リセット」で再読み込みします	□ (再読み込みしない)
リセット実行時の確認	リセット実行時に確認メッセージを表示します	□ (非表示)
選択		
選択表示形式 (プルダウン)	選択表示形式を設定します	枠を表示する
全選択／選択解除スイッチ	「全選択」で全選択／全選択解除をスイッチします	□ (しない)
選択モードの操作 (プルダウン)	「選択」ボタンでの選択モード時の操作を設定します	左クリック
選択グループモードの操作 (プルダウン)	「選択グループ」ボタンでの選択モード時の操作を設定します	左クリック

内容	説明	初期値
領域選択		
領域選択のマウスアップ時の動作 (プルダウン)	領域選択のマウスアップ時の動作	レポート貼り付け
ワンクリックによるキャンセル (プルダウン)	ワンクリック（領域未設定）の場合は 領域選択モードをキャンセルします (前のマウスモードに戻ります)	☐ （しない）
カスタムレイアウト		
シリーズ横方向最大分割数 (プルダウン)	カスタムレイアウトのシリーズの横方向最大分割数	6
シリーズ縦方向最大分割数 (プルダウン)	カスタムレイアウトのシリーズの縦方向最大分割数	6
イメージ横方向最大分割数 (プルダウン)	カスタムレイアウトのイメージの横方向最大分割数	6
イメージ縦方向最大分割数 (プルダウン)	カスタムレイアウトのイメージの縦方向最大分割数	6
状態保存／復元		
参照履歴の自動保存	参照履歴を自動で保存します	☐ （しない）
最大保存件数	最大保存件数	30（件）
最大保存日数	最大保存日数	7（日）
同一検査上書き保存	同一検査の場合上書きで保存します	☐ （しない）
輝度変更		
マウス操作による輝度変更の方向 (プルダウン)	マウス操作による輝度変更の方向設定をします	横
輝度変更数値（左）	チェック有りの場合、左に行くほど数値が小さくなります	☒
輝度変更数値（上）	チェック有りの場合、上に行くほど数値が小さくなります	☒
輝度情報クリックによりウィンドウレベルダイアログ表示	輝度情報アノテーションをクリックするとウィンドウレベルダイアログが表示されます	☒
拡大縮小操作		
マウス操作による拡大縮小の方向 (プルダウン)	マウス操作による拡大縮小の方向を設定します	上：拡大 下：縮小
ドラッグ&ドロップ		
ドラッグ&ドロップ	画像選択モード時にドラッグ&ドロップを使用します	☐ （使用しない）

内容	説明	初期値
ドラッグ&ドロップ XML 出力	ドラッグ&ドロップ時に XML を出力します	☐ (出力しない)
ドラッグ&ドロップ XML 出力パス (フォルダ参照)	ドラッグ&ドロップ時の XML 出力パスを指定します	(空欄)
コピー		
最小コピーサイズ	-1 : コピーしたサイズで出力 -1 以外 : 設定サイズより小さい場合は設定サイズまで拡大します	128
最大コピーサイズ	-1 : コピーしたサイズで出力 -1 以外 : 設定サイズより大きい場合は設定サイズまで縮小します	512
選択コピー枠の色 (プルダウン)	選択コピー枠の色を設定します	FFFFFFFF
選択コピー範囲の表示	選択コピー範囲を表示します	☐ (非表示)
選択コピー後のマウスモード設定	選択コピー後に元のマウス操作に戻ります	☒ (元に戻る)
コピーモード (プルダウン)	コピーモードを設定します	描画領域 (図形 : 描画サイズ)
アノテーション描画	アノテーションを描画します	☐ (描画しない)
スケール描画	スケールを描画します	☐ (描画しない)
画像出力		
出力最小コピーサイズ	-1 : コピーしたサイズで出力 -1 以外 : 設定サイズより小さい場合は設定サイズまで拡大します	-1
出力最大コピーサイズ	-1 : コピーしたサイズで出力 -1 以外 : 設定サイズより大きい場合は設定サイズまで縮小します	-1
出力コピーモード	出力コピーモードを設定します	原画 (図形 : ピクセルサイズ)
出力 JPEG ファイル名	出力 JPEG ファイル名のフォーマットを設定します	#id_#studydate_ #modality_ #seriesno_ #imageno_ #frameno
アノテーション描画	アノテーションを描画します	☐ (描画しない)
スケール描画	スケールを描画します	☐ (描画しない)

内容	説明	初期値
レポート貼り付け		
矢印図形レポート貼付時の文字列	矢印 1 図形に対して 1 文字列です。 置き換え文字 [N] : 図形登録番号 [R] : 改行 例) 病変[N]は、[R]	(空欄)
画像選択順でレポート貼り付け	複数画像選択時に画像選択順でレポートに貼り付けます	☐ (貼り付けない)
アノテーション貼り付け	レポート貼り付け時にアノテーションを描画します	☐ (描画しない)
スケール貼り付け	レポート貼り付け時にスケールを描画します	☐ (描画しない)
マウ斯卡ーソル		
計測時のカーソル (プルダウン)	計測時のカーソルの種類を選択します	十字
ページ送りのカーソル (プルダウン)	ページ送りのカーソルの種類を選択します	アイコン
距離計測		
計測線の両端に垂線を表示	測定線の両端に垂線を表示にします	☒ (表示)
計測値を常に水平に表示	計測値を常に水平に表示します	☐ (非表示)
CTR 計測		
CTR 入力時に計測値を非表示	CTR 入力時に計測値を非表示にします	☐ (非表示)
CTR の計測表示位置 (プルダウン)	CTR 計測値表示位置を選択します	横線の中央
計測値連携		
出力先		
データベース	データベースに出力します	☒ (出力する)
XML	XML ファイルを出力します	☐ (出力しない)
XML 出力パス (フォルダ参照)	XML ファイル出力パスを設定します	(空欄)
脂肪抽出		
脂肪 CT 値設定 (フォルダ参照)	脂肪 CT 値を設定します	脂肪 CT 値自動算出
最小脂肪 CT 値	脂肪 CT 値の最小を設定します	0
最大脂肪 CT 値	脂肪 CT 値の最大を設定します	0

内容	説明	初期値
脂肪レポート		
脂肪レポートアプリ連携	脂肪レポートはレポートシステムと連携するかどうか（チェックしない場合は簡易レポート）	☒ （連携する）
脂肪レポート身長入力	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合に身長を入力させるかどうか	☒ （入力させる）
脂肪レポート体重入力	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合に体重を入力させるかどうか	☒ （入力させる）
脂肪レポート内臓脂肪警告面積 (sq.cm)	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪警告面積	100.0
脂肪レポート内臓脂肪危険面積 (sq.cm)	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪危険面積	150.0
脂肪レポート内臓脂肪正常面積テキスト ※（テキストボックス）	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪正常面積時の文言	あなたの内臓脂肪面積値は、正常範囲内です。今のところ心配はありません。これからもバランスの良い食事や、適度な運動を維持しましょう。
脂肪レポート内臓脂肪警告面積テキスト ※（テキストボックス）	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪警告面積時の文言	あなたの内臓脂肪面積値は、やや多いです。適度な運動を心がけ、カロリー制限を行い、適正体重に向けて減量をはかりましょう。

内容	説明	初期値
脂肪レポート内臓脂肪危険面積テキスト ※ (テキストボックス)	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪危険面積時の文言	あなたの内臓脂肪面積値は、非常に多いです。積極的な運動や食事制限による減量が必要です。医学的な診断については、医師にご相談下さい。
※ (テキストボックス) テキストボックス内で編集可能		
脂肪レポート内臓脂肪正常判定画像	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪正常判定画像ファイル名\$(SharedRoot)使用可	metabo_norm.jpg
脂肪レポート内臓脂肪警告判定画像	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪警告判定画像ファイル名\$(SharedRoot)使用可	metabo_warn.jpg
脂肪レポート内臓脂肪危険判定画像	脂肪レポートがレポートシステムと連携する場合の内臓脂肪危険判定画像ファイル名\$(SharedRoot)使用可	metabo_dang.jpg
超音波計測		
入力補助テキストの表示 (プルダウン)	入力補助テキストの表示設定します	表示する
入力補助テキストの文字サイズ (プルダウン)	入力補助テキストの文字サイズを設定します	最小
入力補助テキストの文字スタイル (プルダウン)	入力補助テキストの文字スタイルを設定します	標準
計測図形の登録番号の文字サイズ (プルダウン)	計測図形の登録番号の文字サイズを設定します	最小
計測図形の登録番号の文字スタイル (プルダウン)	計測図形の登録番号の文字スタイルを設定します	標準
計測図形のマーカのサイズ (プルダウン)	計測図形のマーカのサイズを設定します	小
レポート貼付時の計測アイテム描画 (プルダウン)	レポート貼付時の計測アイテム描画を設定します	描画する
心拍数計測の拍数 (プルダウン)	心拍数計測の拍数	2beat
計測結果表示順 (プルダウン)	計測結果表示順を設定します	上に追加

内容	説明	初期値
B モード LV Volume		
LV 周長	LV の周長を表示します	☐ (非表示)
LV 面積	LV の面積を表示します	☐ (非表示)
LV 軸長	LV の軸長を表示します	☒ (表示)
LV 体積	LV の体積を表示します	☒ (表示)
LV 軸の比率	LV 軸の比率を表示します	☐ (非表示)
B モード LA Volume		
LA 周長	LA の周長を表示します	☐ (非表示)
LA 面積	LA の面積を表示します	☐ (非表示)
LA 軸長	LA の軸長を表示します	☒ (表示)
LA 体積	LA の体積を表示します	☒ (表示)
LA 軸の比率	LA 軸の比率を表示します	☐ (非表示)
D モード VTI		
最小流速 (min Vel)	最小流速 (min Vel)を表示します	☐ (非表示)
最大流速 (max Vel)	最大流速 (max Vel) を表示します	☒ (表示)
平均流速 (mean Vel)	平均流速 (mean Vel) を表示します	☐ (非表示)
最小圧較差 (min PG)	最小圧較差 (min PG) を表示します	☐ (非表示)
最大圧較差 (max PG)	最大圧較差 (max PG) を表示します	☒ (表示)
平均圧較差 (mean PG)	平均圧較差 (mean PG) を表示します	☒ (表示)
時間速度積分値 (VTI)	時間速度積分値 (VTI) を表示します	☒ (表示)
3D		
MPR 画面 (プルダウン)	別のウィンドウで表示します	別画面
検像		
検像保存時の公開範囲 (プルダウン)	検像保存時の公開範囲を設定します	院内公開
IVUS 設定		
長軸像を逆順に表示する	長軸像の表示方向を逆順に表示します	☐ (非表示)
HandRA		
HandRA 片手・両手 (プルダウン)	HandRA の片手・両手の判定方法を設定します	自動

内容	説明	初期値
骨密度レポート		
骨塩定量検査（DIP 法）レポート正常テキスト ※（テキストボックス）	骨塩定量検査（DIP 法）レポートの正常時の文言	今回の結果では問題ないようです。今後も注意して骨粗しょう症の予防に努めましょう。
骨塩定量検査（DIP 法）レポート骨量減少テキスト ※（テキストボックス）	骨塩定量検査（DIP 法）レポートの骨量減少時の文言	注意が必要です。医師の指示に従って、食事や運動に心がけましょう。
骨塩定量検査（DIP 法）レポート骨粗鬆症テキスト ※（テキストボックス）	骨塩定量検査（DIP 法）レポートの骨粗鬆症時の文言	治療の対象になります。医師の指導を受けるようにして下さい。
骨塩定量検査（DIP 法）レポート次回検査の月数 (プルダウン)	骨塩定量検査（DIP 法）レポートの次回検査の月数	次回検査の月数
DICOMRT		
DICOMRT 削除機能	DICOMRT 選択画面での削除機能を有効にします	☐ （しない）

5.2.2 フォント・色

NazcaView で使用されるフォントスタイル・線の種類・色・背景色をカテゴリ別に変更できます。

カテゴリ	フォントスタイル	線の種類	色	背景色
メニュー	最小			
過去検査リスト	最小			
イメージレイアウトの境界線				
シリーズレイアウトの境界線				
イメージ選択枠		実線		
シリーズ選択枠		実線		
サムネイル選択枠 (アクティブ)				
サムネイル選択枠		実線		
画像選択				
選択		実線		
選択グループ 1		実線		
選択グループ 2		実線		
選択グループ 3		実線		
選択グループ 4		実線		
選択グループ 5		実線		
選択グループ 6		実線		
選択グループ 7		実線		
選択グループ 8		実線		
選択グループ 9		実線		
選択グループ 10		実線		
サムネイルの文字情報	最小			
スケール (目盛り)	最小			
リファレンスライン		点線		
リファレンスライン (アクティブ)				
ローカライズビューリファレンスライン		なし		
ローカライズビューリファレンスライン (アクティブ)				
CT 値	小			
カーソル情報	小			
脂肪抽出 (皮下脂肪)	最小			
脂肪抽出 (内臓脂肪)				
ルーペ				
選択アイコン背景色				
サムネイルの DICOM タグ情報	最小			
カーブデータ		実線		

5.2.3 カスタムコマンド

カスタムコマンドは、主に別々のアイコンで操作するものを1つにまとめて処理を行います。

カスタムコマンド

カスタムコマンドは下記のコマンドを自由に組み合わせて実行することが出来ます

① カスタムコマンド:

カスタムコマンド1

② コマンド名 (ポップアップ表示されます):

カスタム1_全選択後に反転

- ① 「カスタムコマンド」から、登録する場所（1～10）をプルダウンから選択します。
- ② 「コマンド名」（登録名称）を入力します。

全てのコマンド:

- 検査を閉じる
- イメージ順の切替
- 座標ポイント
- 反転
- アフォーメーション
- 100%
- 150%

実行するコマンド:

☐ 全選択
☒ 反転

表示したいアイコンにチェックして下さい
(1つのみ)

- ③ 「全てのコマンド」から、コマンドを選択し、[>]ボタンをクリックすると「実行するコマンド」に登録されます。1個以上登録した場合、アイコン表示用に1つのみチェックを入れます。
- ④ 「実行するコマンド」から削除する場合は、[<]ボタンをクリックします。

画面右下の[OK]ボタンをクリックすると、別ウィンドウで「設定を有効にする為にビューアを再起動して下さい[OK]」と表示されるので、[OK]ボタンをクリックし再起動をします。

5.2.4 カスタムビューアコマンド

カスタムビューアコマンドは、主に NazcaView 内部のコマンドラインで処理を行います。

カスタムビューアコマンド

カスタムビューアコマンドは下記のコマンドラインを自由に組み合わせて実行することが出来ます

① ビューアコマンドスクリプト参照フォルダ:
 参照

② カスタムビューアコマンド:

③ コマンド名 (ポップアップ表示されます):

④ 全てのコマンド (ダブルクリックでコマンドラインヒントを挿入できます):

コマンド	説明
@FATREPORTP	脂肪抽出レポートを作成表示します
@FATREPORTS	脂肪抽出レポートを作成表示します
@FATVARS	脂肪レポート用に情報をXML出力します
@RUNSTELLARSCH...	

⑤ 実行するコマンド:

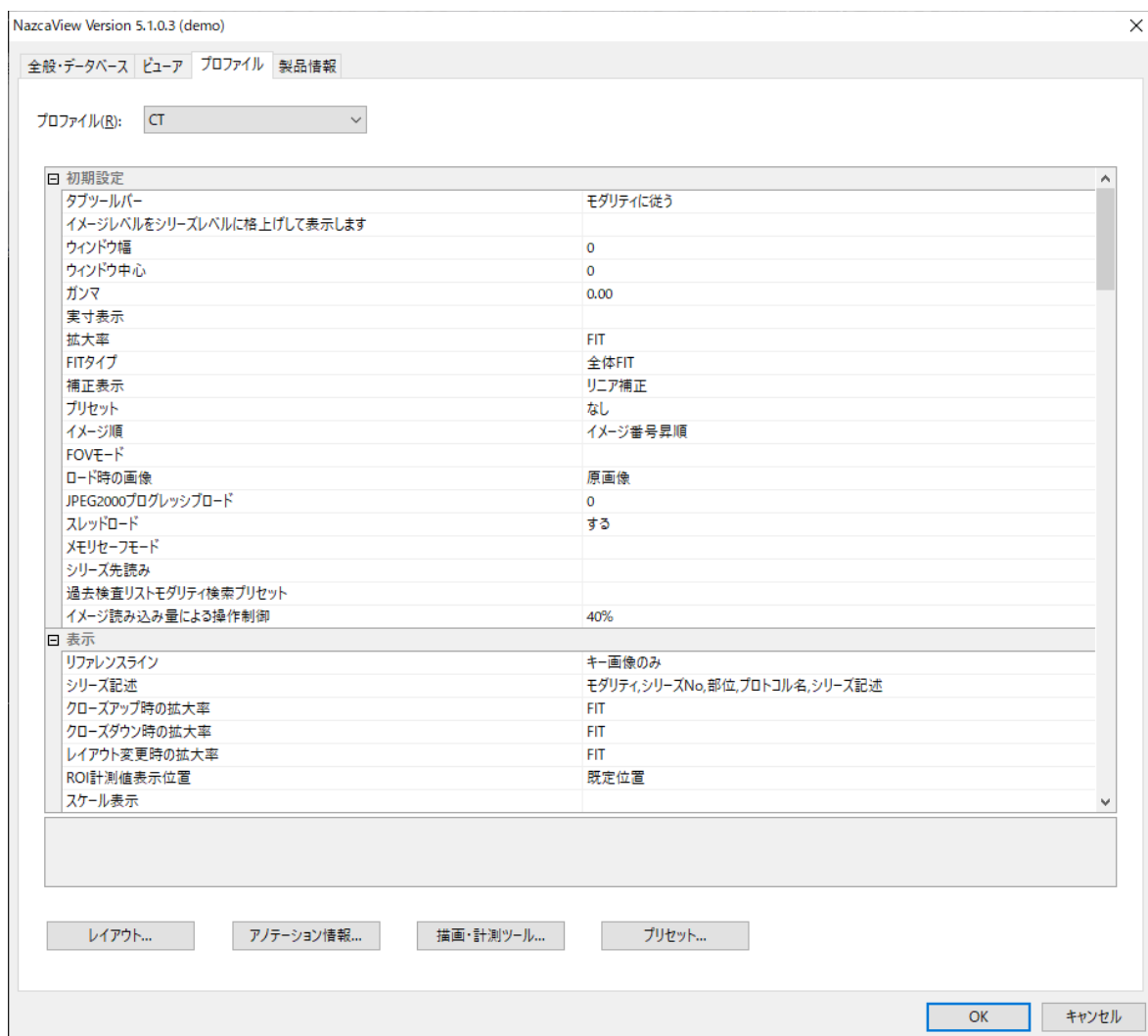
- ① 「ビューアコマンドスクリプト参照フォルダ」にスクリプトファイルが保存されます。
- ② 「カスタムビューアコマンド」から、登録する場所（1～10）をプルダウンから選択します。
- ③ 「コマンド名」（ファイル名）を入力します。
- ④ 「全てのコマンド」から使用するコマンドをダブルクリックします。
- ⑤ 「実行するコマンド」はテキストで編集可能です。

画面右下の[OK]ボタンをクリックすると、別ウィンドウで「設定を有効にする為にビューアを再起動して下さい[OK]」と表示されるので、[OK]ボタンをクリックし再起動をします。

5.3 [プロファイル]タブ

5.3.1 プロファイルおよび初期設定

ここではモダリティ毎の初期設定を設定することができます。



内容	説明
プロファイル	モダリティを選択します

内容	説明
初期設定	
タブツールバー	画像初期表示にタブツールバーで選択されるタブを設定します
イメージレベルをシリーズレベルに格上げして表示します	
ウィンドウ幅	初期表示のウィンドウ幅を設定します
ウィンドウ中心	初期表示のウィンドウ中心を設定します
ガンマ	初期表示のガンマを設定します

内容	説明
実寸表示	実寸表示します
拡大率	初期表示の拡大率を設定します
FIT タイプ	画像の表示枠への FIT 処理の種類を設定します 全体 FIT：画像の縦または横サイズの大きい方で表示枠に FIT します。画像全体が表示枠におさまります 横 FIT：画像の横サイズで表示枠に FIT します
補正表示	初期表示の補正表示を設定します
プリセット	なし, F1, F2 (デフォルト), F3, F4, F5, F6, F7, F8
イメージ順	ロード時のイメージ順を選択します
FOV モード	
ロード時の画像	原画像 参照画像
JPEG2000 プログレッシブロード	JPEG2000 プログレッシブロードする際の初期ロードサイズ：1～99(%) 0：プログレッシブなし -1：NazcaView.ini の設定に従う
スレッドロード	しない 動画のみ する
メモリセーフモード	ロードした画像をメモリにキャッシュしません
シリーズ先読み	シリーズを先読みします
過去検査リストモダリティ検索プリセット	過去検査リストのモダリティ検索の初期表示のプリセットを設定します
イメージ読み込み量による操作制御	操作可能になるイメージ読み込み量の割合を設定します 制御しないの場合はイメージ読み込み量による操作制御は行いません。
表示	
リファレンスライン	ロード時のリファレンスラインモードを選択します
シリーズ記述	シリーズ表示される時に使用する記述を指定します
クローズアップ時の拡大率	クローズアップ時の拡大率を選択してください 任意の拡大率を設定することもできます

内容	説明
クローズダウン時の拡大率	クローズダウン時の拡大率を選択してください 任意の拡大率を設定することもできます
レイアウト変更時の拡大率	レイアウト変更時の拡大率を選択してください 任意の拡大率を設定することもできます
ROI 計測値表示位置	既定位置：既定の位置に表示します 上レイアウト：画像上部にレイアウトします 下レイアウト：画像下部にレイアウトします
スケール表示	スケールの表示／非表示を設定します
アノテーション省略表示	アノテーション省略表示 0：省略なし 1<：指定文字長さ以上を省略表示します
ローカライザビュー	ロード時にローカライザビューを表示するか指定します
ローカライザビューサイズ	ローカライザビューサイズ
サムネイルにイメージ数を表示	サムネイル上にイメージ数を表示します
イメージ送りスクロールバー表示	イメージ送りスクロールバー表示
イメージ送りスクロールバーに再生ボタン表示	イメージ送りスクロールバーに再生ボタン表示します
シリーズレイアウトを変更した際に他シリーズを非表示にする	シリーズレイアウトを変更した際に他シリーズを非表示にします
シリーズ入替時に移動元の枠の画像を非表示にする	シリーズ入替時に移動元の枠の画像を非表示にします
カーブデータ表示	DICOM タグに格納されているカーブデータを表示します。カーブデータには XA の ECG 波形データ等があります
GSPS マーカー表示	GSPS マーカーを表示します
iNazcaView マーカー表示	iNazcaView で保存したマーカーを表示します
レポートアイコン表示	レポートが存在する場合にアイコンを表示します
検査履歴番号表示	設定した DICOM タグのアノテーションの末尾に検査履歴番号を表示します 現在検査から見て過去がマイナス、未来がプラスで現在検査と同一モダリティの検査履歴で番号が表示されます

内容	説明
操作	
マウス操作	ロード時のマウス操作を選択します
右マウス操作	ロード時の右マウス操作を選択します
左右マウス操作	左右マウス操作
中マウス操作	中マウス操作
マウスホイール	ホイールを回転した時にイメージ送りやページ送りを指定します
マウスホイール+[Shift]キー	ホイールを回転した時にイメージ送りやページ送りを指定します
マウス拡大動作	中心点拡大か指示点拡大かを選択します
マウス拡大スピード	マウス拡大スピードを選択します
マウスオーバー	マウスオーバーを使用します
マウスページ送り動作	自動：マウスが押されている間ページ送りを行います 手動：マウスドラッグに合わせてページ送りを行います
イメージ送り	ループしない 同一シリーズ内でループする 最後のイメージで次のイメージへ遷移する
シリーズ送り	ループしない ループする
シリーズページ送り	ループしない ループする
シリーズページ送り動作	全表示シリーズを送る 1シリーズずつ送る
シリーズページ送り適用	選択検査 全検査
テキストモード	テキストモードを設定します 0：通常 1：ユーザインターフェイス
プリセット適用	プリセット実行時に選択シリーズに適用するか、表示している全シリーズに適用するか選択します
範囲選択コピーの画像	選択した範囲を切り取り 選択した範囲のみ切り取り（外側は白塗り）
シリーズ分割タグ	シリーズ分割するタグを設定します （例）00200011

内容	説明
同期	
同期	ロード時の同期モードを選択します
同一検査のみ同期	同一検査のみ同期します
同期モード時の拡大縮小同期	しない 拡大率 FOV
同期モード時の移動同期	しない する
同期モード時の輝度同期	しない する
ページ送りマウスアップ同期	ページ送りはマウスアップ時に同期します
スライス位置	同期時に参照するスライス位置のタグを設定します
シリーズ単位の断面方向	シリーズ単位の断面方向を考慮するか設定します
グループ選択の簡易操作	グループ選択の簡易操作を設定します
[Shift]キー+マウスホイールのイメージ送り時の同期位置合わせ	[Shift]キー+マウスホイールのイメージ送り時の同期位置合わせを設定します

内容	説明
動画	
初期再生速度 (FPS)	初期表示時の再生速度を指定します (動画ファイル以外の場合および指定再生速度が優先の場合)
指定再生速度優先	指定した再生速度で動画を再生します
再生表示タイプ	再生する際の画像表示のタイプを設定します
アノテーション	動画再生中にアノテーションを表示します
動画アイコン	動画にアイコンを表示します
動画自動再生	動画のときに読み込みと同時に再生します
動画クリック再生	動画上をクリックすると再生します
動画再生開始同期	動画の再生開始を同期して再生します
動画再生フレーム同期	動画のフレーム位置を同期して再生します
動画の実フレームレート再生	動画を実際のフレームレートを保って再生します (注) 表示が追い付かない場合はコマとばしを行います
レイアウト変更時の動画再生	再生する 停止する
マンモグラフィ	
マンモモード	マンモモードで画像を表示します
左右画像の上下自動位置合わせ	画像表示時に左右画像の上下自動位置合わせを行います
MLO 右胸(R/MLO)のタグ条件	MLO 右胸(R/MLO)のタグ条件を設定します
MLO 左胸(L/MLO)のタグ条件	MLO 左胸(L/MLO)のタグ条件を設定します
CC 右胸(R/CC)のタグ条件	MLO 右胸(R/CC)のタグ条件を設定します
CC 左胸(L/CC)のタグ条件	MLO 左胸(L/CC)のタグ条件を設定します
マンモマーカ表示	DICOM SR のマーカを表示します
SIGMOID 適用	DICOM タグ (0028, 1056) VOI LUT Function が「SIGMOID」の場合に SIGMOID をします
マンモモード時にシリーズ選択枠を表示	マンモモード時にシリーズ選択枠を表示します
マンモモード時に画像拡大によりアノテーション非表示	マンモモード時に画像拡大表示によりアノテーションを非表示にします
胸領域外の黒化処理	胸領域外を黒化処理します
ナビゲーションウィンドウ	
ナビゲーションウィンドウ表示	ナビゲーションウィンドウの表示を設定します
ナビゲーションウィンドウ表示位置	ナビゲーションウィンドウの表示位置を設定します

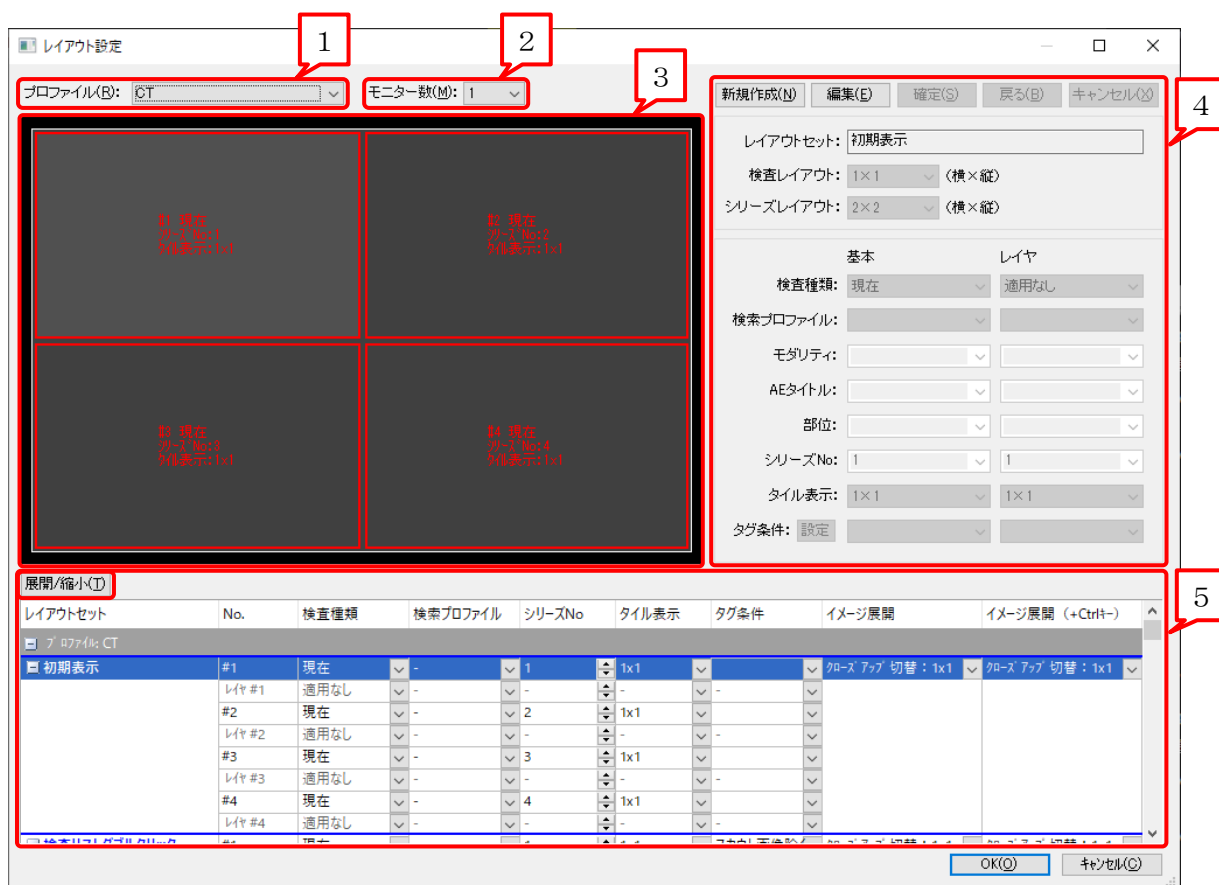
内容	説明
ナビゲーションウィンドウ幅	ナビゲーションウィンドウの幅を設定します
ナビゲーションウィンドウ高さ	ナビゲーションウィンドウの高さを設定します
ナビゲーションウィンドウタイトル	ナビゲーションウィンドウのタイトルを設定します。DICOM タグ番号を設定すると該当のDICOM タグ値がタイトルに表示されます
ナビゲーションビュー表示領域枠の色	ナビゲーションビュー表示領域枠の色を設定します
ナビゲーションウィンドウ表示領域枠の線種	ナビゲーションウィンドウ表示領域枠の線種を設定します
ウィンドウレベル	
マウス操作によるウィンドウレベルの下限	制限しない，定数値で制限， 画像毎の既定の値で制限
マウス操作によるウィンドウレベルの上限	制限しない，定数値で制限， 画像毎の既定の値で制限
マウス操作によるウィンドウレベルの下限值	0
マウス操作によるウィンドウレベルの上限値	0
マウス操作による輝度変化量	標準，自動調整
ウィンドウ幅を対象に移動	

内容	説明
クリックメニュー	
1 : マウス操作	クリックメニュー選択【1】のマウス操作を選択します
1 : 右マウス操作	クリックメニュー選択【1】の右マウス操作を選択します
2 : マウス操作	クリックメニュー選択【2】のマウス操作を選択します
2 : 右マウス操作	クリックメニュー選択【2】の右マウス操作を選択します
3 : マウス操作	クリックメニュー選択【3】のマウス操作を選択します
3 : 右マウス操作	クリックメニュー選択【3】の右マウス操作を選択します
4 : マウス操作	クリックメニュー選択【4】のマウス操作を選択します
4 : 右マウス操作	クリックメニュー選択【4】の右マウス操作を選択します
キーマウスコマンド	
輝度	キーマウスコマンドに「輝度」を割り当てます
ガンマ	キーマウスコマンドに「ガンマ」を割り当てます
拡大	キーマウスコマンドに「拡大」を割り当てます
移動	キーマウスコマンドに「移動」を割り当てます
ページ送り	キーマウスコマンドに「ページ送り」を割り当てます
選択範囲をコピー	キーマウスコマンドに「選択範囲をコピー」を割り当てます
範囲拡大	キーマウスコマンドに「範囲拡大」を割り当てます
CT 値表示	キーマウスコマンドに「CT 値表示」を割り当てます
ルーペ	キーマウスコマンドに「ルーペ」を割り当てます
マスク	キーマウスコマンドに「マスク」を割り当てます
座標ポイント	キーマウスコマンドに「座標ポイント」を割り当てます
1 画面選択	キーマウスコマンドに「1 画面選択」を割り当てます
画像選択	キーマウスコマンドに「画像選択」を割り当てます
領域選択	キーマウスコマンドに「領域選択」を割り当てます
選択	キーマウスコマンドに「選択」を割り当てます
ドラッグ&ドロップ	キーマウスコマンドに「ドラッグ&ドロップ」を割り当てます
ツールバー	
シネモード	
表示	ロード時にシネモードのツールバーを表示します
表示位置	表示位置を設定します
マンモグラフィ	
表示	ロード時にマンモグラフィのツールバーを表示します
表示位置	表示位置を設定します
整形テンプレート	
表示	ロード時に整形テンプレートのツールバーを表示します
表示位置	表示位置を設定します

内容	説明
レンダリング	
表示	ロード時にレンダリングのツールバーを表示します
表示位置	表示位置を設定します
超音波計測	
表示	ロード時に超音波計測のツールバーを表示します
表示位置	表示位置を設定します
心臓計測	
表示	ロード時に心臓計測のツールバーを表示します
表示位置	表示位置を設定します
IVUS 計測	
表示	ロード時に IVUS 計測のツールバーを表示します
表示位置	表示位置を設定します

5.3.2 レイアウト

[レイアウト]ボタンをクリックすると、レイアウト設定画面が別ウィンドウで表示されます。



1. プロファイル…モダリティ（全てもしくはいずれか1つ）を選択します。
2. モニター数…モニタ数を指定してモニタ1面用と2面用のレイアウトセットを選択します。
3. レイアウト画面…レイアウトセットの画面イメージを表示します。
4. レイアウトセット編集…レイアウトセットの新規作成・編集をします。
5. レイアウトセット一覧…レイアウトセットを一覧表示します。

[展開/縮小]ボタン…登録内容を詳細表示する（展開）もしくは簡易表示に切り替えます。

1. プロファイル

モダリティのプロファイルを選択します。「全て」を選択した場合、レイアウトセットには全てのプロファイルが表示され、単一のモダリティを選択すると、そのプロファイルのみ表示されます。

プロファイルで「全て」を選択した場合

レイアウトセット	No.	検査種類	検索プロファイル	シリーズNo	タイル表示	タグ条件	イメージ展開	イメージ展開 (+Ctrl+)
アロファイル: CR								
アロファイル: CT								
アロファイル: DX								
アロファイル: Default								
初期表示	#1	現在	-	1	1x1		クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
検査リストダブルクリック	#1	現在	-	1	1x1		クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
アロファイル: ES								
初期表示	#1	現在	-	1	1x1		クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1

※内容は一部縮小表示しています。レイアウトセットには全てのプロファイルが表示されます。

プロファイルで「CT」を選択した場合

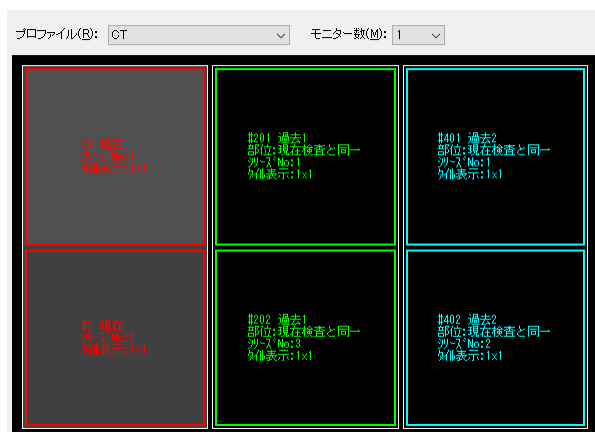
展開/縮小(D)								
レイアウトセット	No.	検査種類	検索プロファイル	シリーズNo	タイル表示	タグ条件	イメージ展開	イメージ展開 (+Ctrl+)
アロファイル: CT								
初期表示	#1	現在	-	1	1x1		クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
検査リストダブルクリック	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前回	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前2	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前3	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前回+前2	#1	現在	-	1	1x1		クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前回+前2+前3	#1	現在	-	1	1x1		クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前回(肺野+縦隔)	#1	現在	-	1	1x1	肺野	クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前回+前2(肺野...	#1	現在	-	1	1x1	肺野	クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1
現在+前回(デモ)	#1	現在	-	1	1x1		クロスアプ 切替: 1x1	クロスアプ 切替: 1x1

※内容は縮小表示しています。レイアウトセットには「CT」のプロファイルのみ表示されます。

2. モニタ数

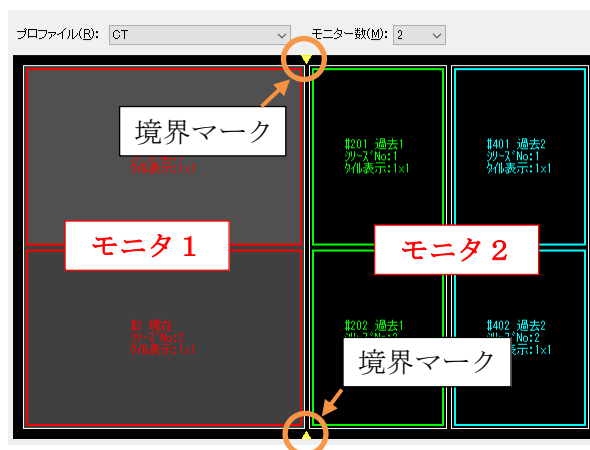
モニタ数は「1」の場合と「2」の場合で表示が違います。例としてプロフィール:「CT」で、レイアウトセットを「現在+前回+前々回」のものを使用して画面表示します。

モニタ数が1の場合



モニタを横長に設置した状態では、「現在」、「過去1」、「過去2」が均等に表示されます。

モニタが2台の場合



モニタを2台、それぞれ縦長に設置した状態では、「現在」がモニタ1に、「過去1」、「過去2」がモニタ2に表示されます。

3. レイアウト画面

作成したレイアウトセットの配置イメージを表示します。それぞれのイメージ枠には、後述の「4. レイアウトセット編集」で登録した点線部（基本、レイヤ）の内容が表示されます。



4. レイアウトセット編集

レイアウトセットの新規作成・編集をすることができます。

新規作成(N)
編集(E)
確定(S)
戻る(B)
キャンセル(X)

レイアウトセット:

検査レイアウト: 〈横×縦〉

シリーズレイアウト: 〈横×縦〉

基本

レイヤ

検査種類:

検索プロファイル:

モダリティ:

AEタイトル:

部位:

シリーズNo:

タイル表示:

タグ条件:

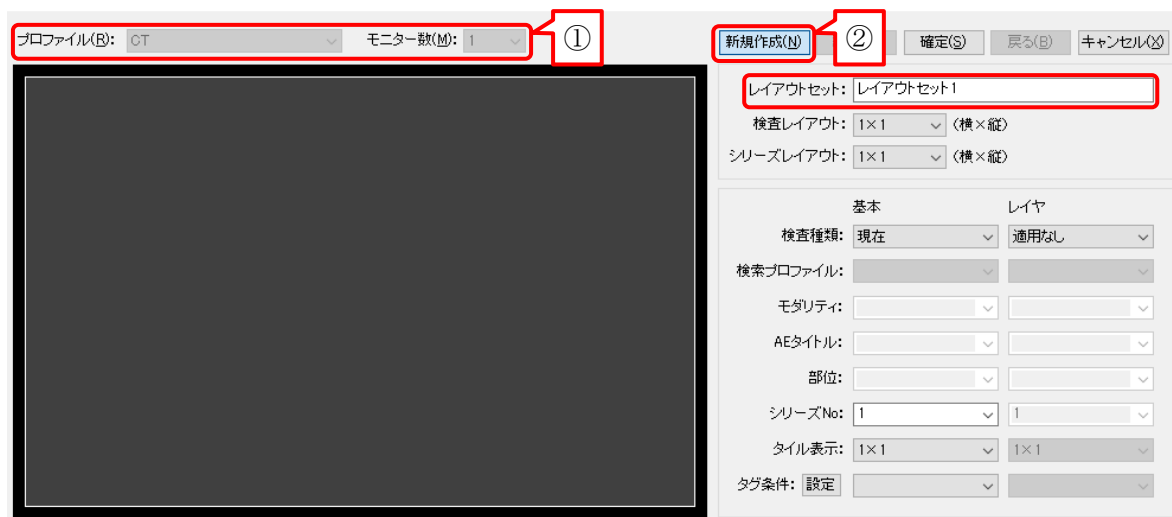
内容	説明
[新規作成]ボタン	レイアウトセットを新規作成します。
[編集]ボタン	レイアウトセットを編集します。
[確定]ボタン	新規作成・編集内容を確定します。
[戻る]ボタン	新規作成・編集時の操作を1つ前の状態に戻します。
[キャンセル]ボタン	新規作成・編集内容をキャンセルします。
レイアウトセット	レイアウトセットの名称を登録します。
検査レイアウト（縦×横）	検査レイアウトを設定します。過去検査の比較や、別検査を表示したい場合等に変更します。
シリーズレイアウト（横×縦）	シリーズレイアウトを設定します。
検査種類	検査種類を設定します（プルダウン）
検索プロファイル（※1）	検索プロファイルを設定します（プルダウン）
モダリティ（※1）	モダリティを設定します（プルダウン＋フリーテキスト）
AEタイトル（※1）	AEタイトルを設定します（プルダウン＋フリーテキスト）
部位（※1）	部位を設定します（プルダウン＋フリーテキスト）
シリーズNo	シリーズ番号を設定します（プルダウン＋フリーテキスト）
タイル表示	タイル表示を設定します（プルダウン）
タグ条件（※2）	登録したタグ条件を選択し設定します（プルダウン）

（※1）の項目は検査種類：「現在」の場合は設定不可

（※2）タグ条件の詳細設定は後述

ここでは、新規作成する場合を例に説明します。

- ①プロフィールとモニター数を確認・変更します。
- ②[新規作成]ボタンをクリックします。レイアウトセットに「レイアウトセット 1」と表示されるため、任意のセット名に変更します。



プロフィール(B): CT モニター数(M): 1

①

② 新規作成(N) 確定(S) 戻る(B) キャンセル(X)

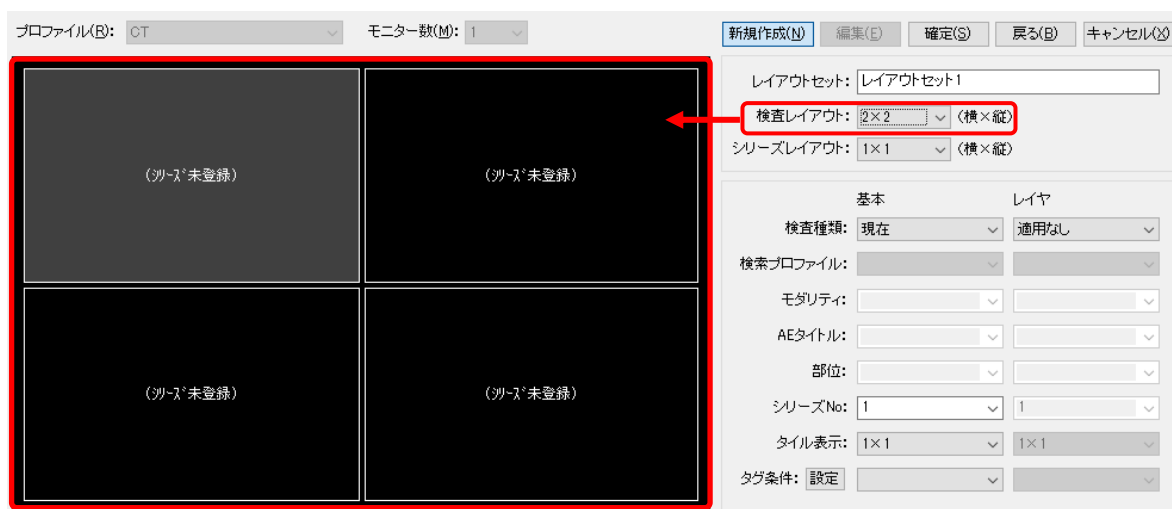
レイアウトセット: レイアウトセット1

検査レイアウト: 1×1 (横×縦)

シリーズレイアウト: 1×1 (横×縦)

基本	レイヤ
検査種類: 現在	適用なし
検索プロフィール:	
モダリティ:	
AEタイトル:	
部位:	
シリーズNo: 1	1
タイル表示: 1×1	1×1
タグ条件: 設定	

- ③検査レイアウトを指定します。例では「2×2」に設定し、レイアウト画面を4分割しています。



プロフィール(B): CT モニター数(M): 1

② 新規作成(N) 編集(E) 確定(S) 戻る(B) キャンセル(X)

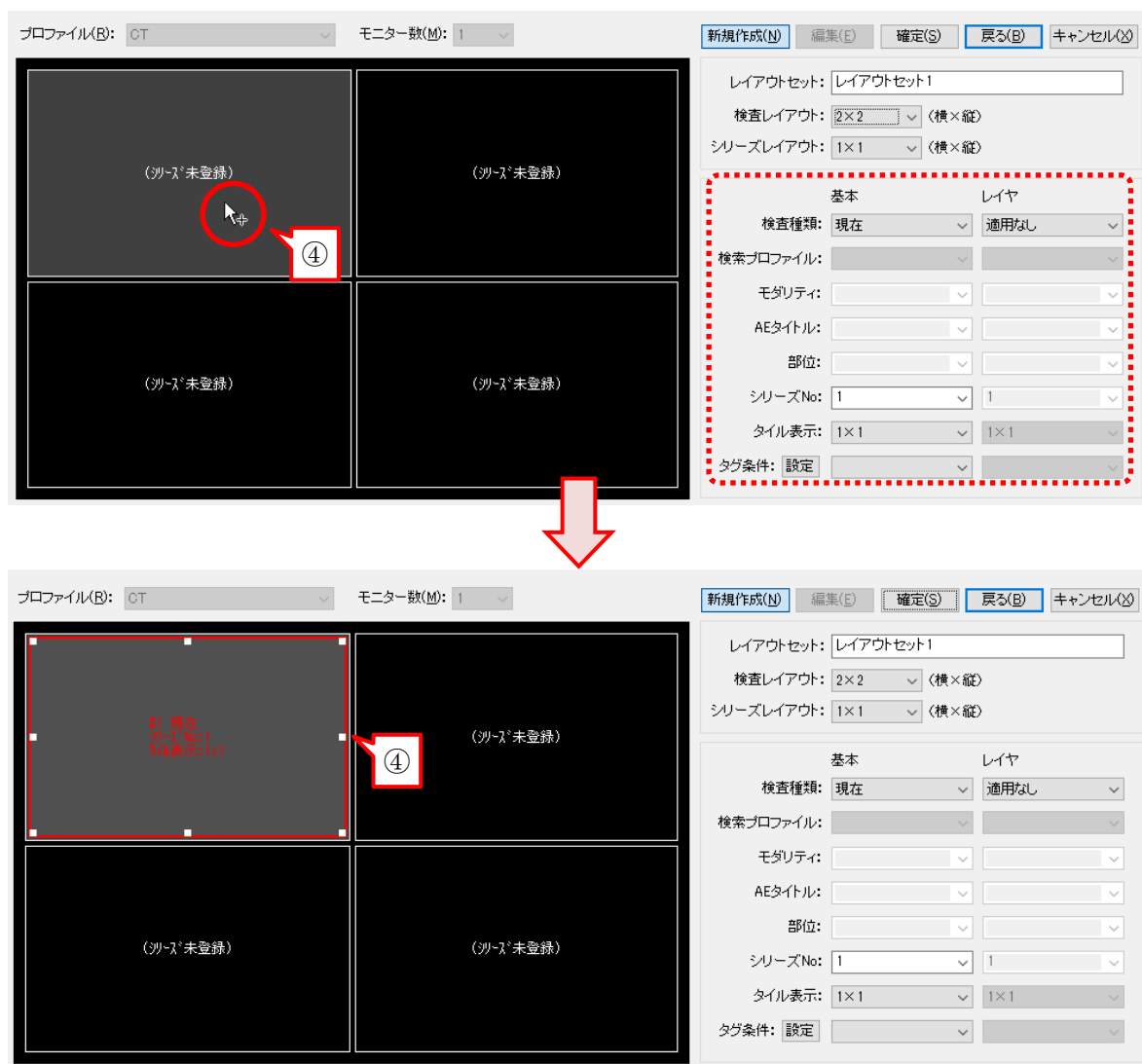
レイアウトセット: レイアウトセット1

検査レイアウト: 2×2 (横×縦)

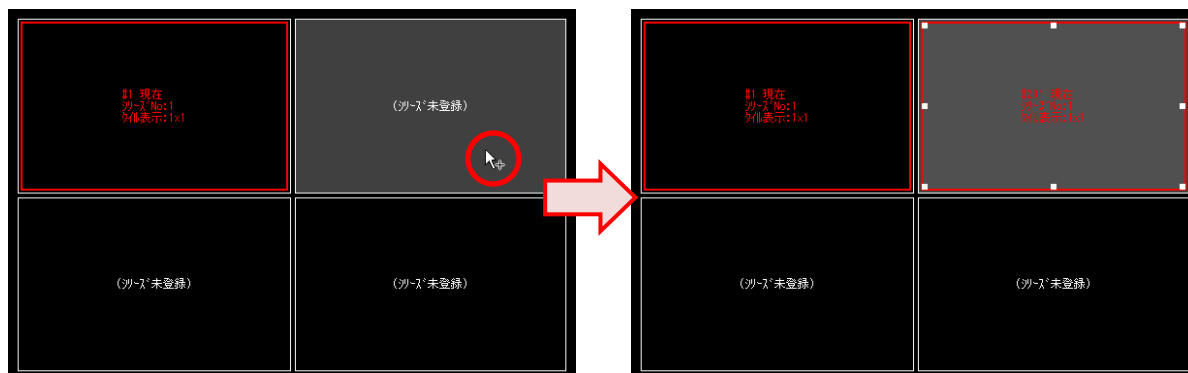
シリーズレイアウト: 1×1 (横×縦)

基本	レイヤ
検査種類: 現在	適用なし
検索プロフィール:	
モダリティ:	
AEタイトル:	
部位:	
シリーズNo: 1	1
タイル表示: 1×1	1×1
タグ条件: 設定	

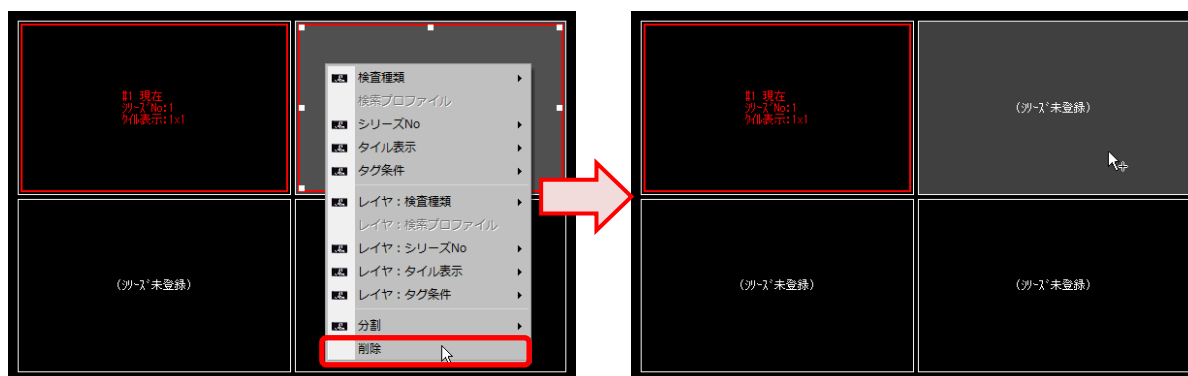
- ④分割したレイアウトにシリーズを構成します。選択されているレイアウトにマウスをかざすとアイコンが  に変化し、クリックするとシリーズが割り当てられ、赤枠点線部の設定状況が反映します。(例では「検査種類」「シリーズ No」「タイル表示」が反映)



別のレイアウトを選択し、同様操作でシリーズを割り当てることもできます。

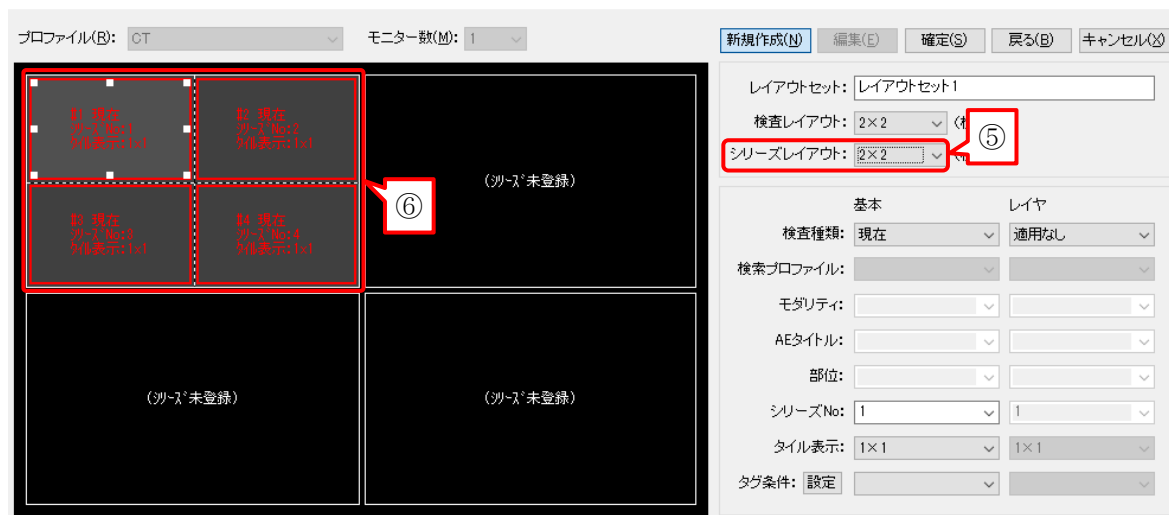


シリーズ割り当てを削除する場合は、右クリックメニューから[削除]を選択します。

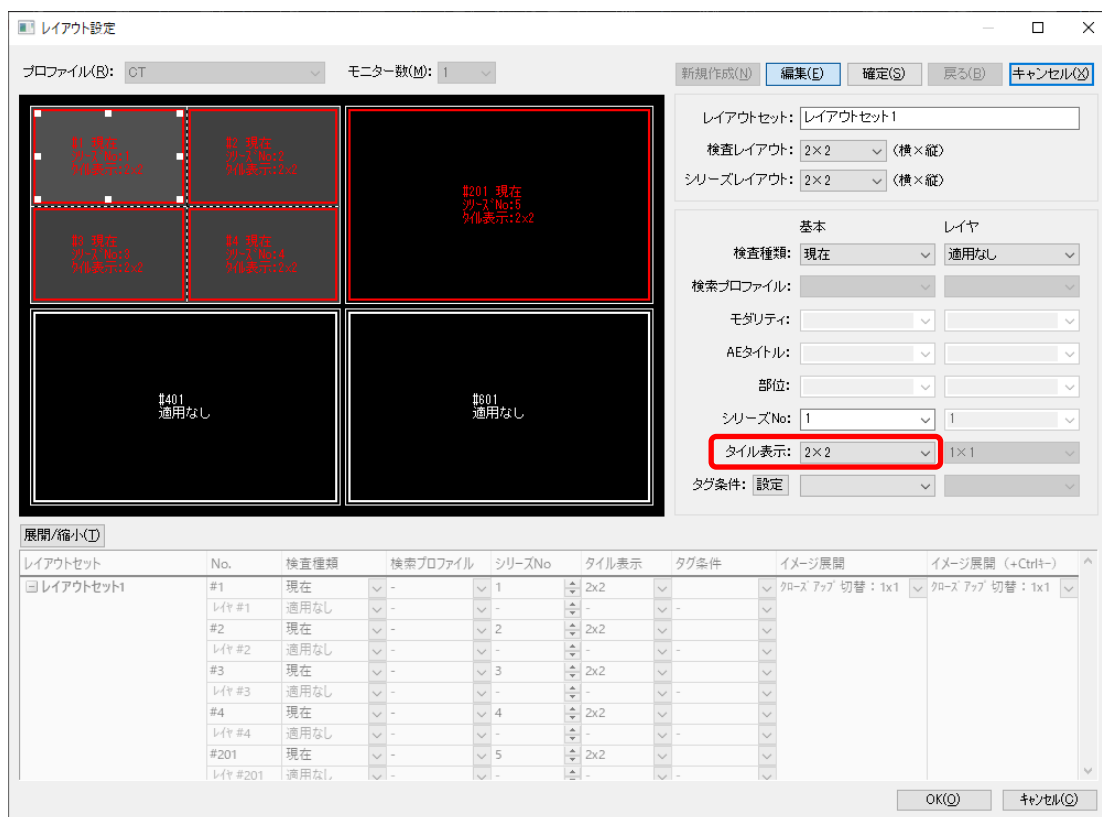


⑤割り当てたシリーズをさらに分割できます。例では、シリーズレイアウト「2×2」を設定し4分割しています。

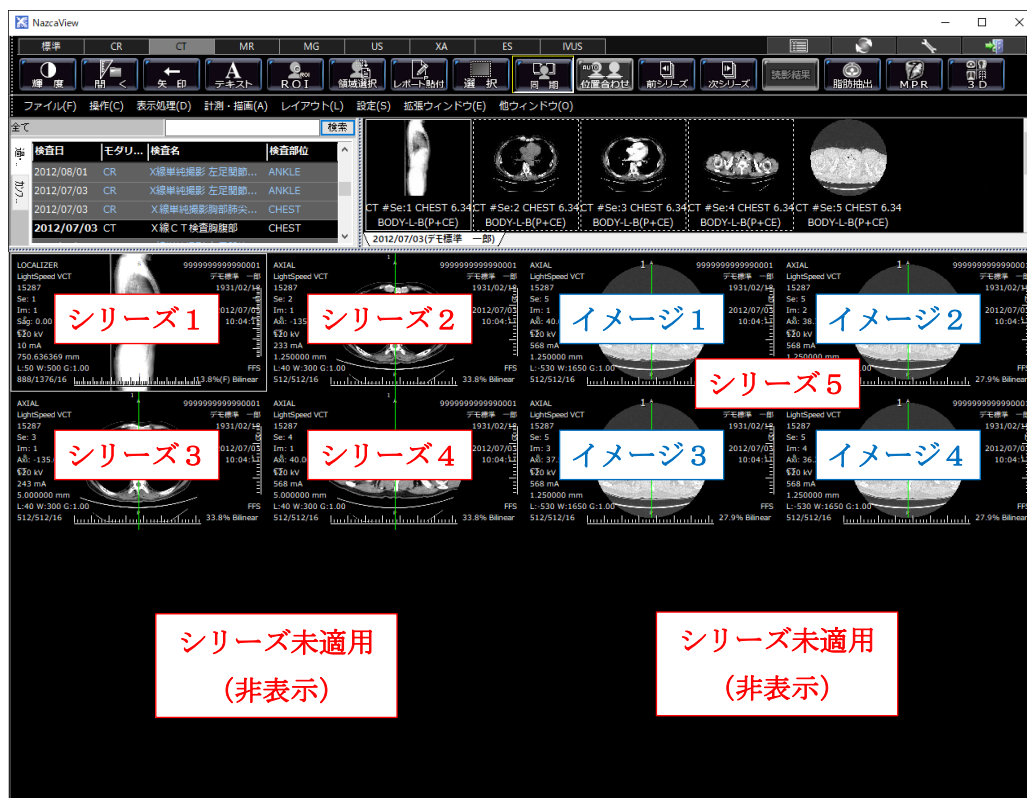
⑥ ⑤で指定した枠が4分割され、シリーズ No : 1~4 で割り当てられます。



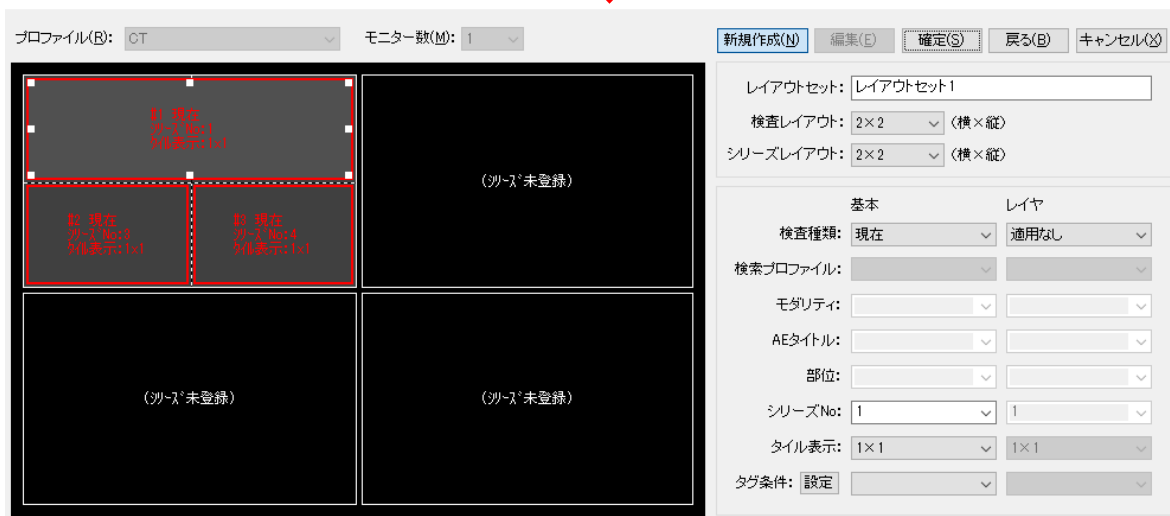
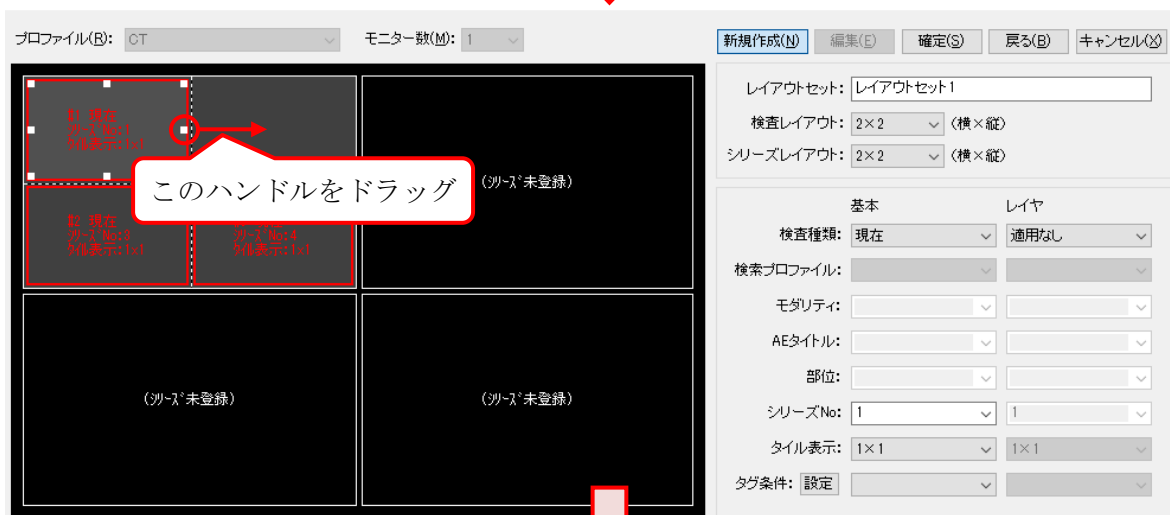
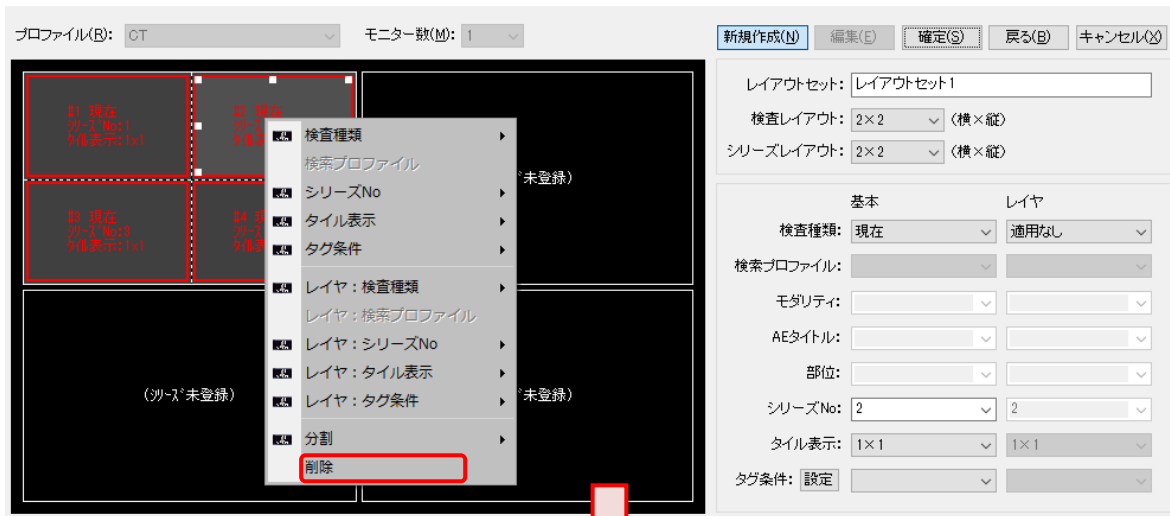
【参考】イメージを分割する場合は「タイル表示」を変更します。例では、右上のレイアウトにシリーズ割り当て後、タイル表示：「2×2」を設定しています。



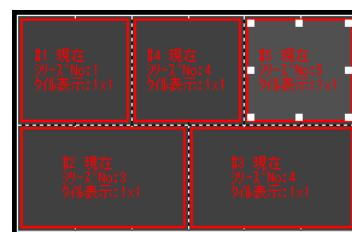
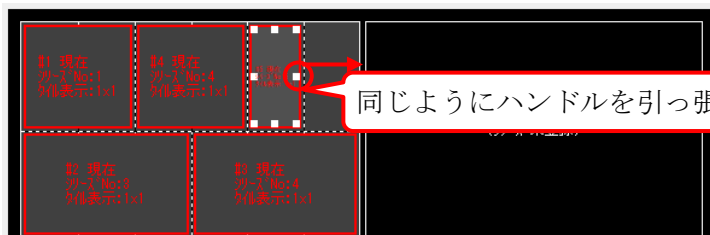
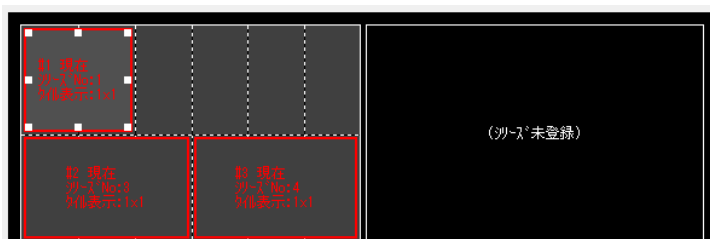
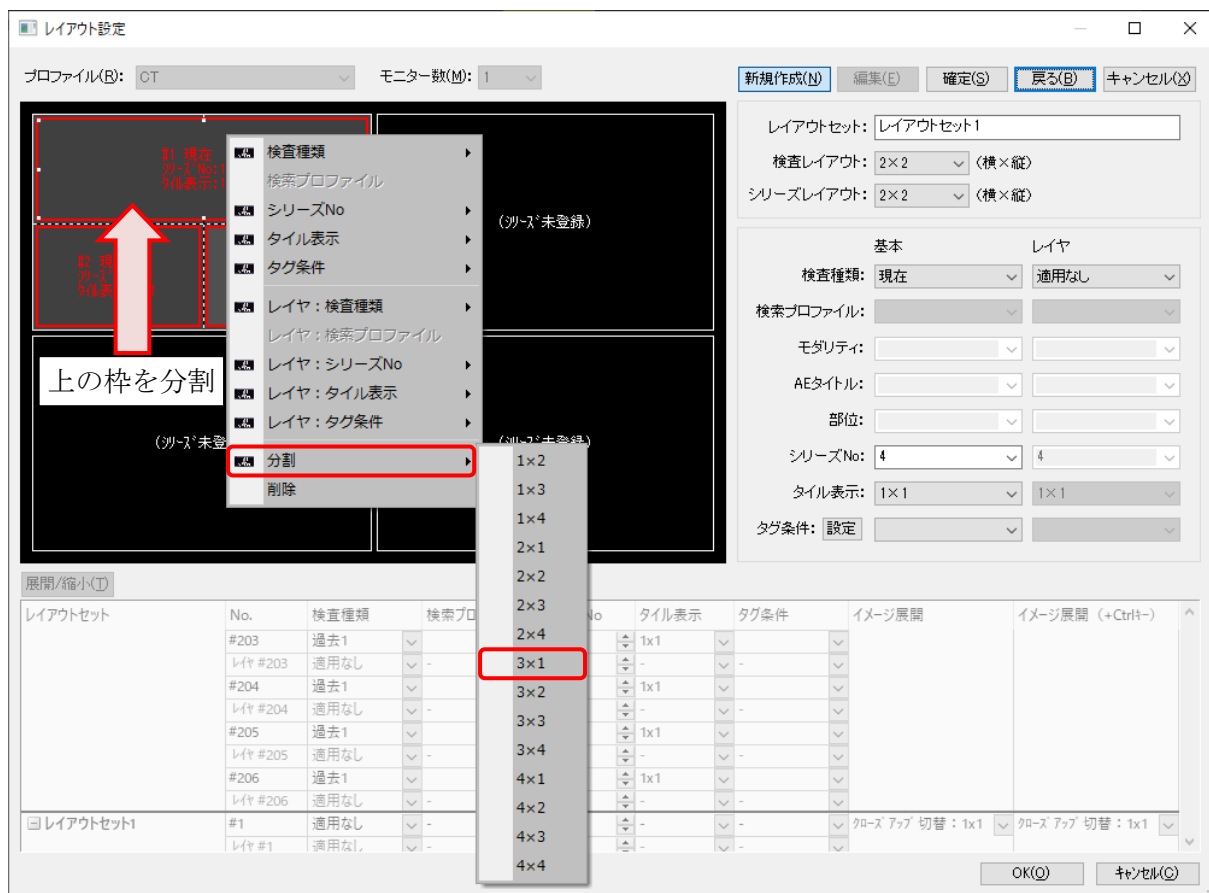
下図のようにビューワで表示されます。



⑦結合する場合、隣り合う枠を右クリックで[削除]を選択・実行し、枠を広げてください。



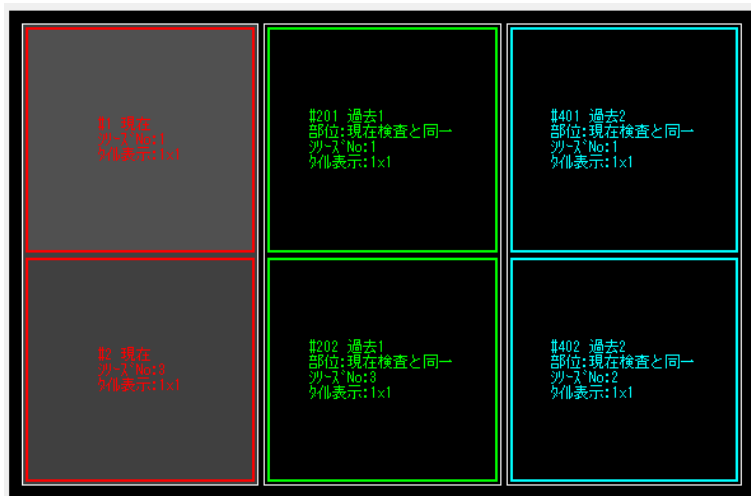
⑧枠を分割する場合は右クリックメニューから [分割] の分割枠数 (例として 3×1) を選択します。



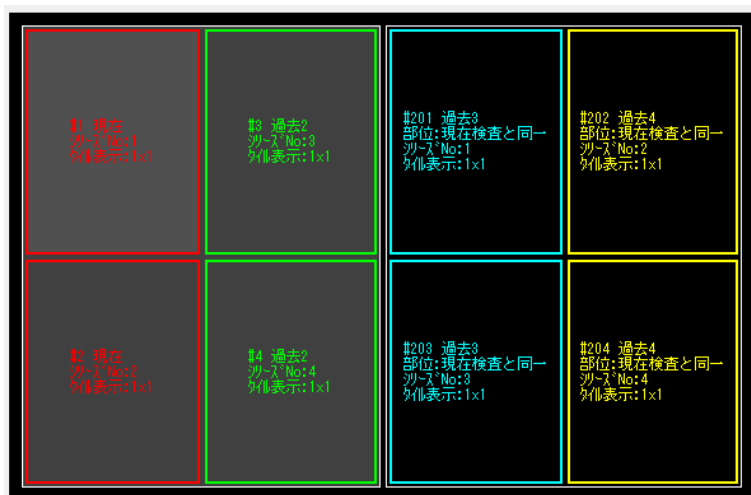
⑨最後に、[確定]ボタン>右下の[OK]ボタンの順に選択し設定を保存します。[確定]ボタンをクリックすると、レイアウトセットに登録できます。

【参考】レイアウトは様々な形で登録、保存できます。

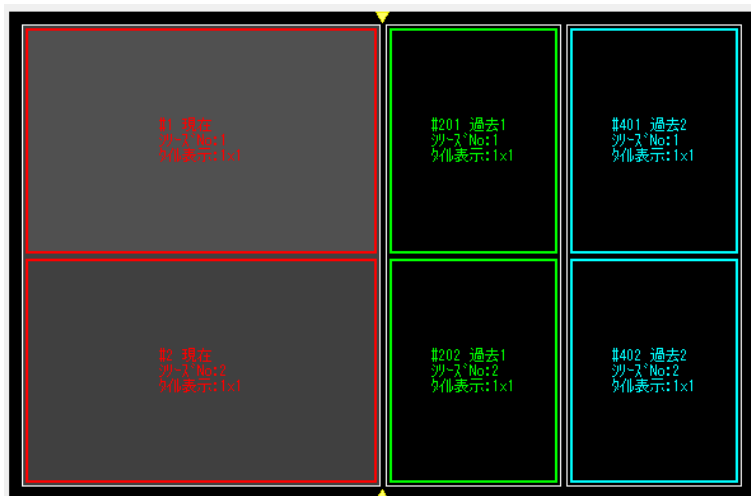
例 1 : 現在+過去 1 +過去 2



例 2 : 現在+過去 2+過去 3 +過去 4

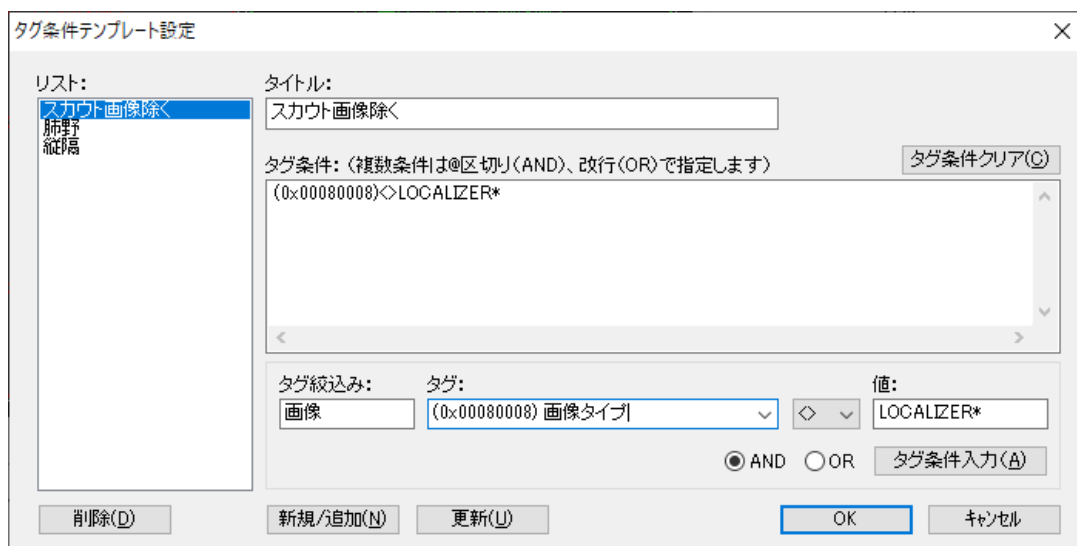


例 3 : 現在+過去 1 +過去 2 (2 画面用)



(※2) タグ条件について

指定したタグ条件に該当する場合に枠に画像表示します。タグ条件は[設定]ボタンからタグ条件設定テンプレート画面を起動し設定します。



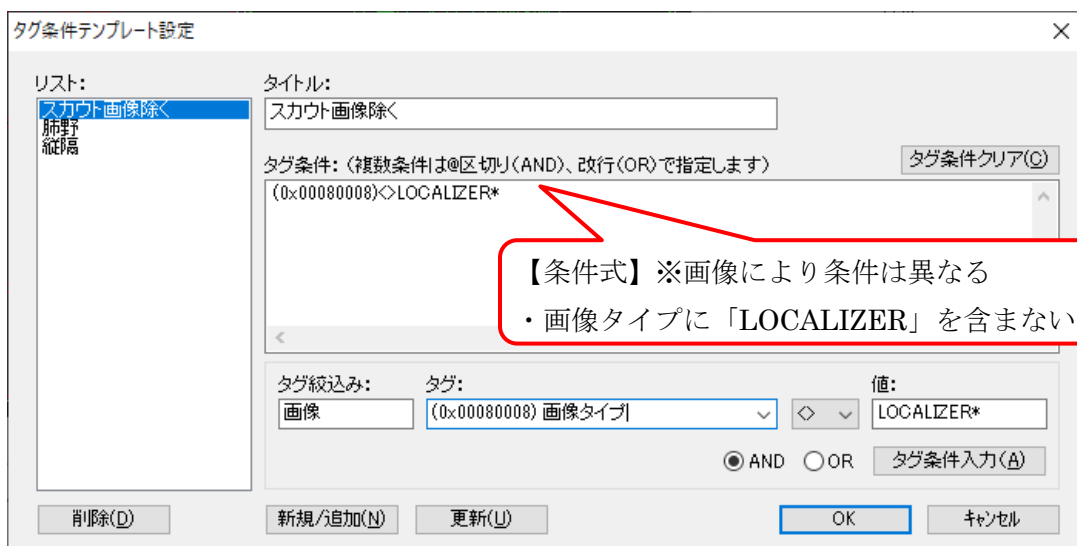
内容	説明
リスト	作成したタグ条件テンプレートの一覧を表示します。
タイトル	テンプレートの名称を設定します。
タグ条件	[タグ条件入力]ボタンで追加したタグ条件が表示されます。
[タグ条件クリア]ボタン	タグ条件をクリアします。
タグ絞り込み	タグ内の文字を検索し、絞り込み結果を「タグ」に表示します。 例) 上図では「画像」と入力し「画像タイプ」と表示されます。 プルダウンでは他の「画像」絞り込み項目が表示されます。
タグ	条件で使用する DICOM タグを選択します。
(演算子枠)	条件で使用する比較演算子を選択します。 「=(等しい)」「<>(等しくない)」「<=(以下)」「>=(以上)」
値	条件で使用する値を入力します。文字列等の他、「*(ワイルドカード：任意の数の文字)」等も使用できます。
[タグ条件入力]ボタン	設定したタグ条件を追加 AND か OR を選択し追加します。
[削除]ボタン	リストで選択したテンプレートを削除します。
[新規/追加]ボタン	リストに新規登録・追加します。タイトルが重複する場合、「(2)」を語尾に追加します。
[更新]ボタン	画面を更新します。
[OK]ボタン	設定を保存します。
[キャンセル]/[X]ボタン	タグ条件テンプレート画面を閉じます。

■タグ条件：登録例

初期設定されているタグ条件の一部を記載します。

<CT：「スカウト画像除く」>

CTのスカウト画像を非表示にします。

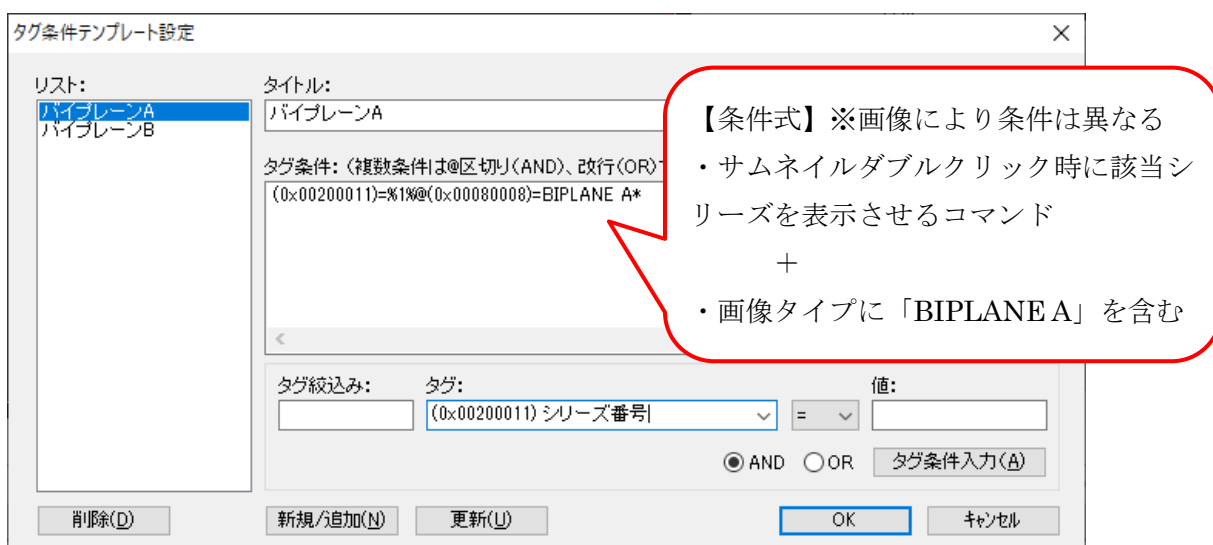


The dialog box 'タグ条件テンプレート設定' (Tag Condition Template Setting) shows the configuration for the 'Scout Image Exclusion' condition. The 'リスト' (List) on the left has 'スカウト画像除く' (Scout Image Exclusion) selected. The 'タイトル' (Title) field contains 'スカウト画像除く'. The 'タグ条件' (Tag Condition) field contains '(0x00080008)>LOCALIZER*'. A red callout box points to this field with the text: 【条件式】※画像により条件は異なる・画像タイプに「LOCALIZER」を含まない (【Condition Formula】※Condition varies by image・Do not include 'LOCALIZER' in image type). Below the condition field, the 'タグ絞込み' (Tag Filtering) section shows 'タグ' (Tag) as '(0x00080008) 画像タイプ' (Image Type) and '値' (Value) as 'LOCALIZER*'. The 'AND/OR' radio buttons are set to 'AND'. At the bottom are buttons for '削除(D)' (Delete), '新規/追加(N)' (New/Add), '更新(U)' (Update), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

<XA：「バイプレーン」>

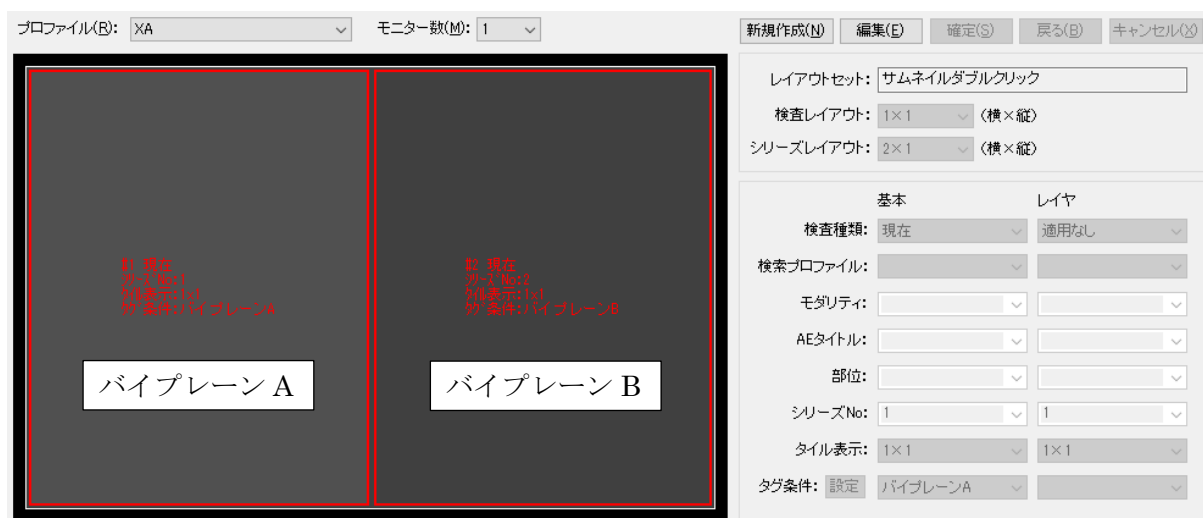
バイプレーン血管撮影装置の検査を表示する設定で、サムネイルダブルクリック時の特殊な設定になります（ビューワ画面のレイアウトセットには表示されません）。

シリーズ1のサムネイルをダブルクリックすると左側にシリーズ1のバイプレーンAが、右側にシリーズ1のバイプレーンBが表示されます。シリーズ2のサムネイルをダブルクリックすると同様にそれぞれシリーズ2のバイプレーンが表示されます。



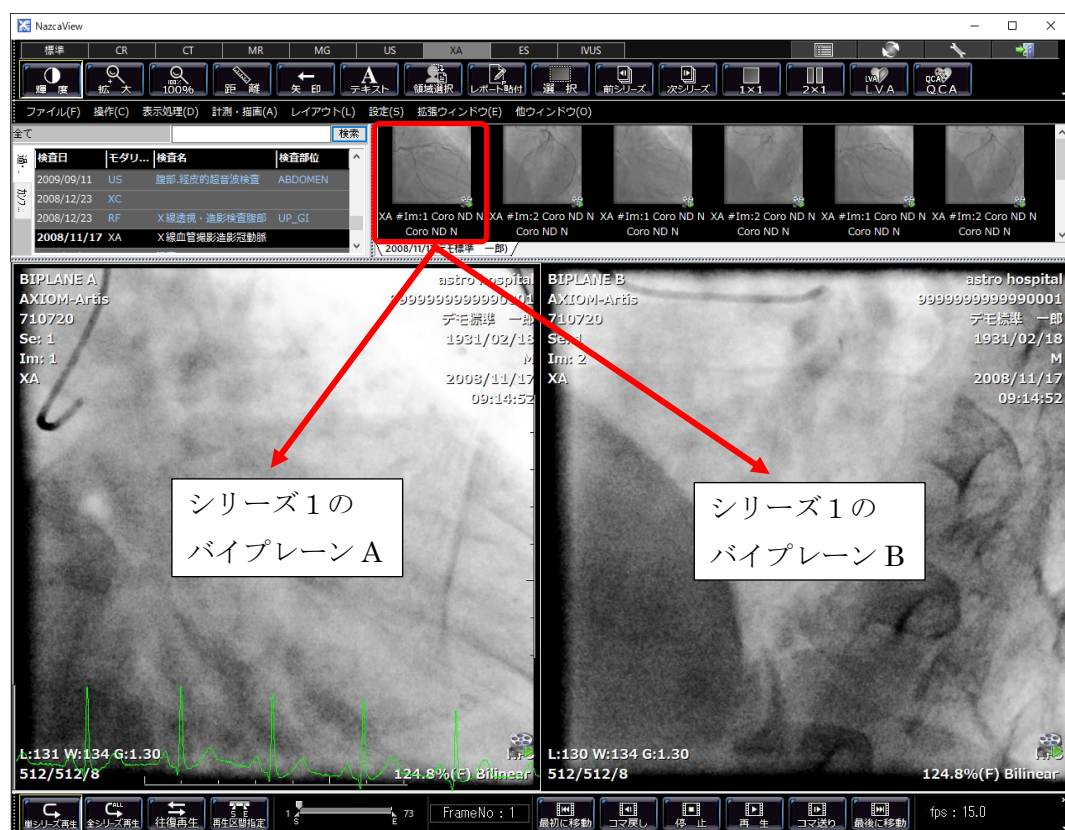
The dialog box 'タグ条件テンプレート設定' (Tag Condition Template Setting) shows the configuration for the 'Biplane' condition. The 'リスト' (List) on the left has 'バイプレーンA' (Biplane A) and 'バイプレーンB' (Biplane B) listed. The 'タイトル' (Title) field contains 'バイプレーンA'. The 'タグ条件' (Tag Condition) field contains '(0x00200011)=%1%(0x00080008)=BIPLANE A*'. A red callout box points to this field with the text: 【条件式】※画像により条件は異なる・サムネイルダブルクリック時に該当シリーズを表示させるコマンド + 画像タイプに「BIPLANE A」を含む (【Condition Formula】※Condition varies by image・Command to display the corresponding series when double-clicking the thumbnail + Image type contains 'BIPLANE A'). Below the condition field, the 'タグ絞込み' (Tag Filtering) section shows 'タグ' (Tag) as '(0x00200011) シリーズ番号' (Series Number) and '値' (Value) as '='. The 'AND/OR' radio buttons are set to 'AND'. At the bottom are buttons for '削除(D)' (Delete), '新規/追加(N)' (New/Add), '更新(U)' (Update), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

レイアウト設定の例を記載します。

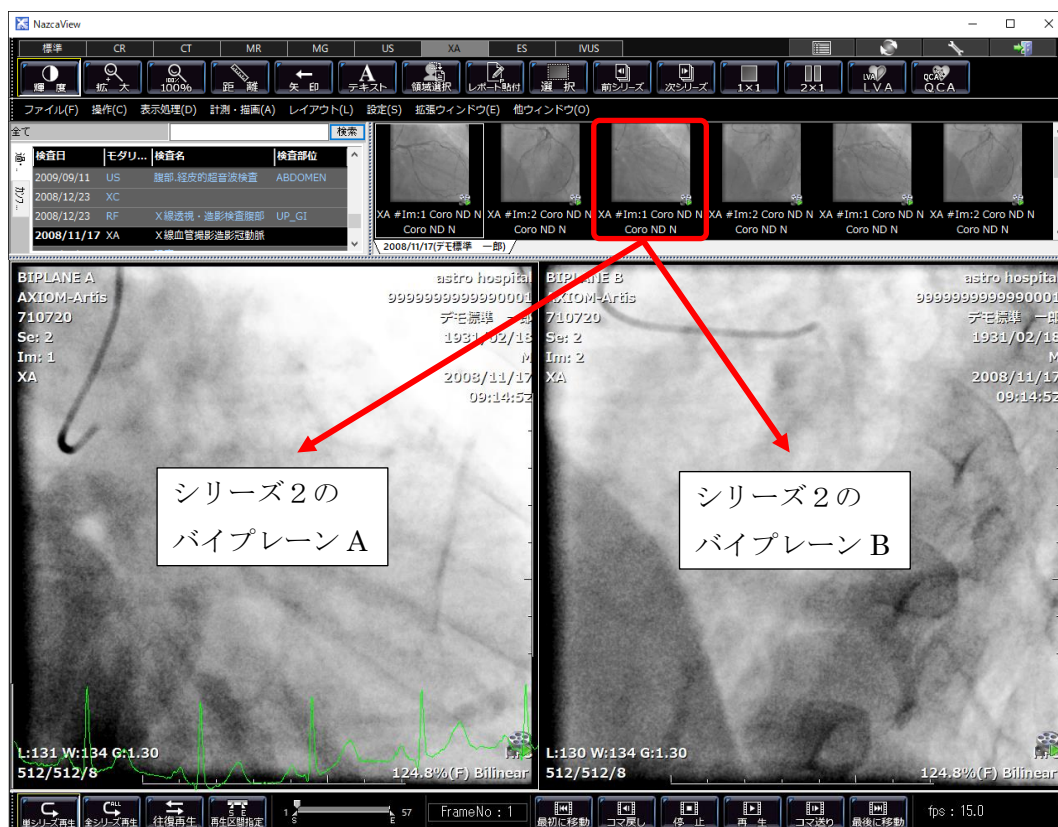


下図のようにビューワ表示されます。

- ・シリーズ1のサムネイルをダブルクリックした場合

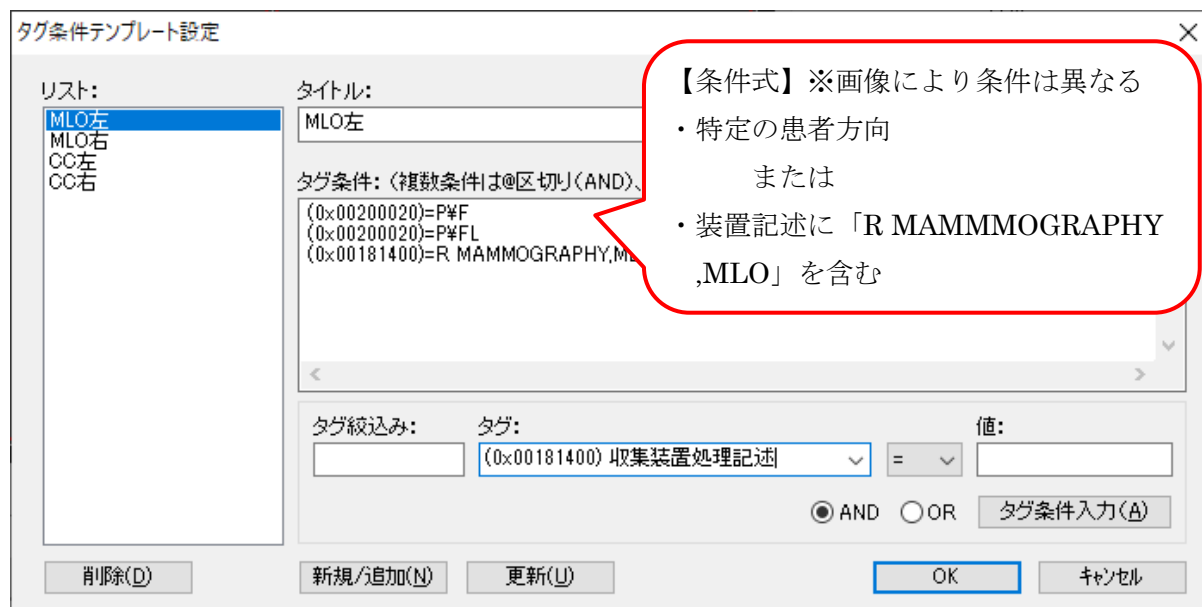


- ・シリーズ2のサムネイルをダブルクリックした場合

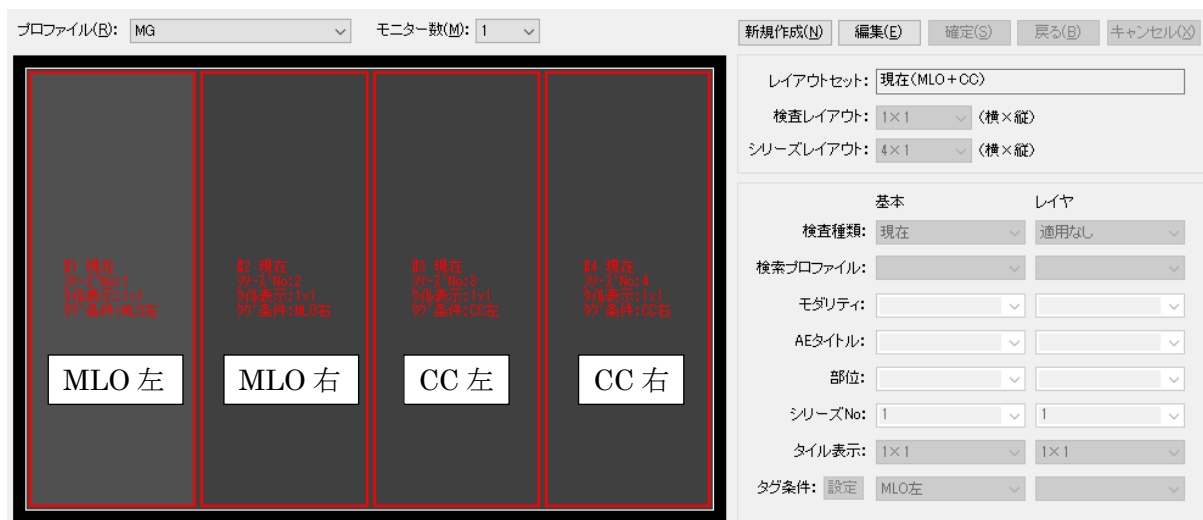


<MG : 「MLO 左」「MLO 右」「CC 左」「CC 右」>

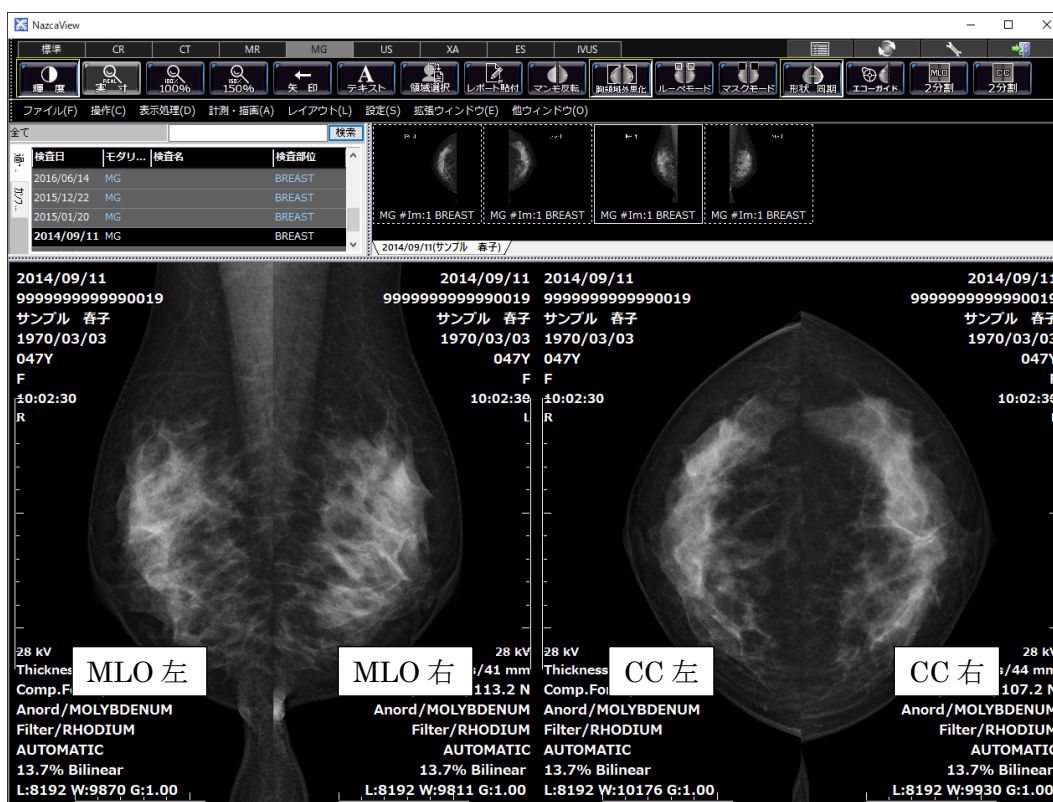
マンモグラフィ検査で左胸、右胸それぞれの MLO、CC を指定します。例では MLO 左を記載します。



レイアウト設定の例を記載します。左から MLO 左>MLO 右>CC 左>CC 右の順で設定します。
この設定は、ビューワ画面の[拡張ウィンドウ]メニュー>マンモグラフィ> 4 分割横 (MLO+CC)
と同様の動きになります。



下図のようにビューワで表示されます。



5. レイアウトセット一覧

作成したレイアウトセットを一覧表示します。

[展開/縮小]ボタン

ボタンをクリックすることにより、レイアウトセットの表示内容を切り替えることができます。

[縮小] 簡易表示

展開/縮小(D)								
レイアウトセット	No.	検査種類	検索プロファイル	シリーズNo	タイル表示	タグ条件	イメージ展開	イメージ展開 (+Ctrl+)
初期表示	#1	現在	-	1	1x1		クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 1x1
検査リストダブルクリック	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 2x2
現在 + 前回	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 1x1
現在 + 前々回	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 1x1
現在 + 前回 + 前々回	#1	現在	-	1	1x1		クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 1x1
肺野 + 縦隔	#1	現在	-	1	1x1	肺野	クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 1x1
現在過去カスタム	#1	現在	-	1	1x1		クロスアップ 切替: 3x3	クロスアップ 切替: 3x3

[展開] 詳細表示

展開/縮小(D)								
レイアウトセット	No.	検査種類	検索プロファイル	シリーズNo	タイル表示	タグ条件	イメージ展開	イメージ展開 (+Ctrl+)
現在 + 前々回	#1	現在	-	1	1x1	スカウト画像除く	クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 1x1
レイヤ #1		適用なし	-	-	-	-		
#2	現在	-	2	1x1	スカウト画像除く			
レイヤ #2		適用なし	-	-	-	-		
#201	過去2	-	1	1x1	スカウト画像除く			
レイヤ #201		適用なし	-	-	-	-		
#202	過去2	-	2	1x1	スカウト画像除く			
レイヤ #202		適用なし	-	-	-	-		
現在 + 前回 + 前々回	#1	現在	-	1	1x1		クロスアップ 切替: 1x1	クロスアップ 切替: 1x1
レイヤ #1		適用なし	-	-	-	-		

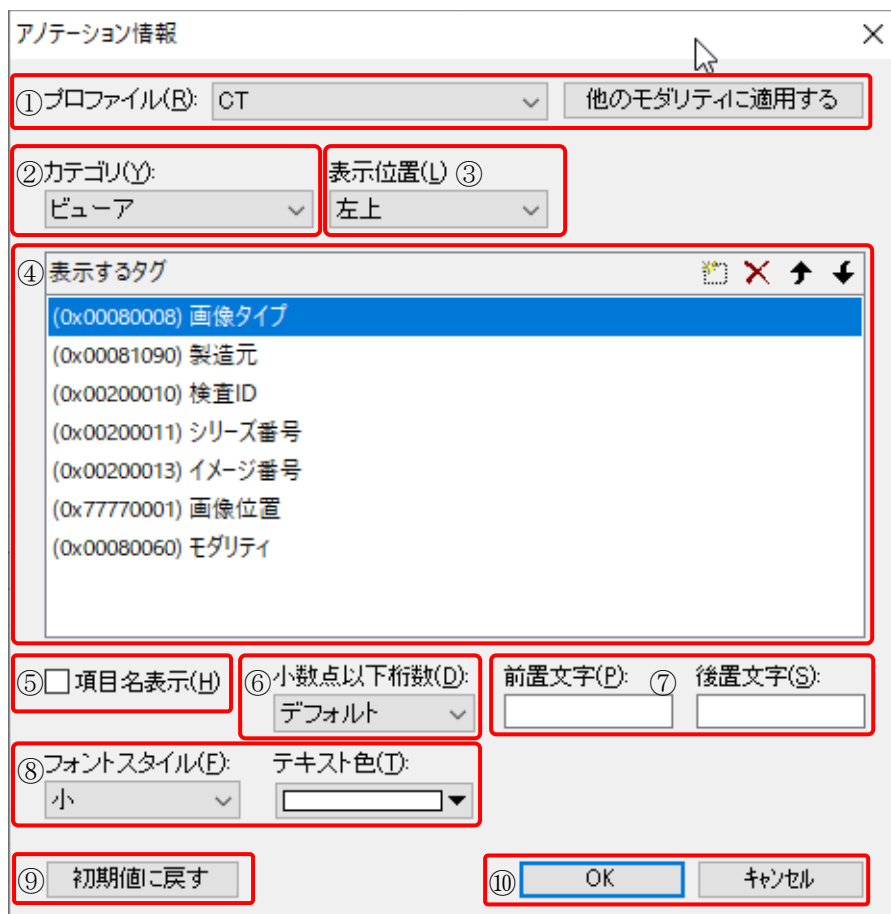
右クリックメニュー

レイアウトセットコピー
レイアウトセット貼り付け
コピーしたレイアウトセットを追加する
レイアウトセット削除
このレイアウトセットを「初期表示」に適用する
このレイアウトセットを「検査リストダブルクリック」に適用する
規定レイアウトパターンから選択して適用する

内容	説明
レイアウトセットコピー	選択中のレイアウトセット内容をコピーします。
レイアウトセット貼り付け	コピー内容を既存レイアウトセットに貼り付けます。
コピーしたレイアウトセットを追加する	コピーしたレイアウトセットを新規作成します。
レイアウトセット削除	選択したレイアウトセットを削除します。
このレイアウトセットを「初期表示」に適用する	選択したレイアウトセットを初期表示に適用します。
このレイアウトセットを「検査リストダブルクリック」に適用する	選択したレイアウトセットを検査リストダブルクリックに適用します。
規定レイアウトパターンから選択して適用する	既定のパターンからレイアウト適用します。

5.3.3 アノテーション情報

アノテーション情報の設定を変更することができます。



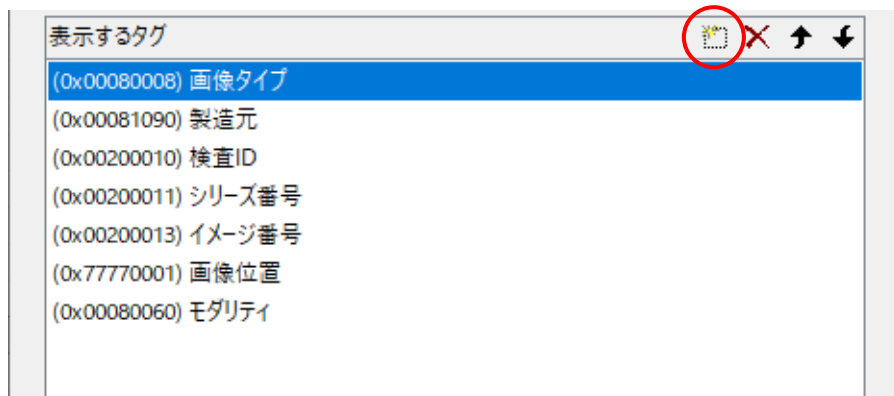
①	プロファイル	モダリティを選択します。
	[他のモダリティに適用する]ボタン	現在のモダリティの内容を他のモダリティに映します。
②	カテゴリ※	「ビューア」「プリント」から選択します。
③	表示位置	「左上」「右上」「左下」「右下」から選択します。
④	表示するタグ※	タグの追加、削除、移動（上下）を行うことができます。
⑤	項目名表示	チェックを入れると項目名が表示されます。
⑥	小数点以下桁数	小数点以下桁数をデフォルト値含め、0～5 桁に変更します。
⑦	前置文字	各項目の先頭に文字を追加します。
	後置文字	各項目の後尾に文字を追加します。
⑧	フォントスタイル	文字サイズと太さを変更します。
	テキスト色	テキストの色を変更します。
⑨	[初期値に戻す]ボタン	変更したものを初期値に戻します。
⑩	[OK]ボタン	設定を有効にし、画面を閉じます。
	[キャンセル] ボタン	設定を無効にし、画面を閉じます。

※②カテゴリ

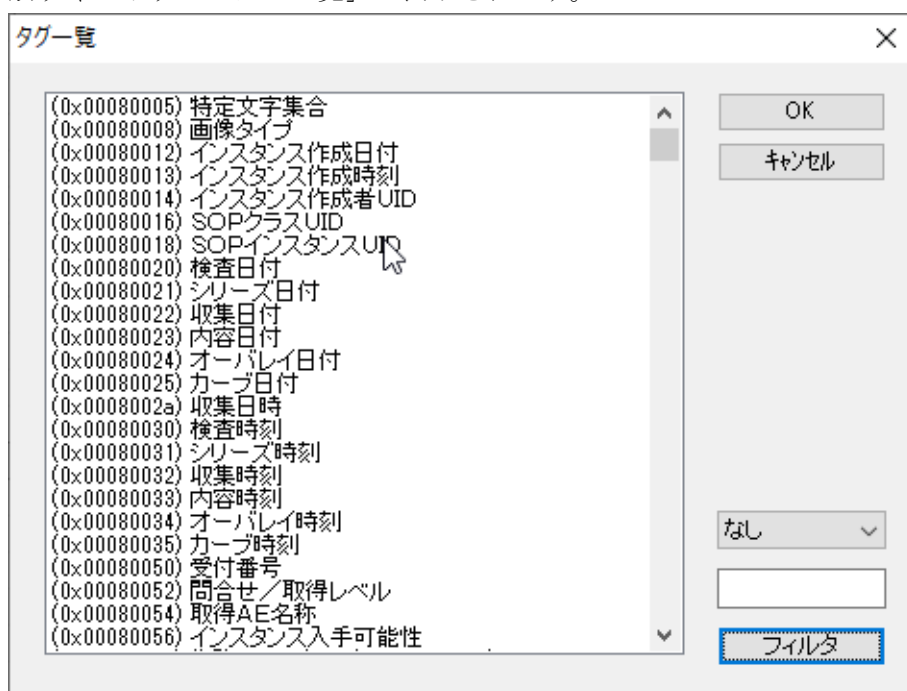
「ビューア」はビューワ画面用、「プリント」はフィルム（印刷）用で使用し、それぞれ項目名、表示するタグを編集することができます。

※④表示するタグ

左上のタグを例にし、表示するタグの追加を行うには、赤丸の「新規作成」をクリックします。

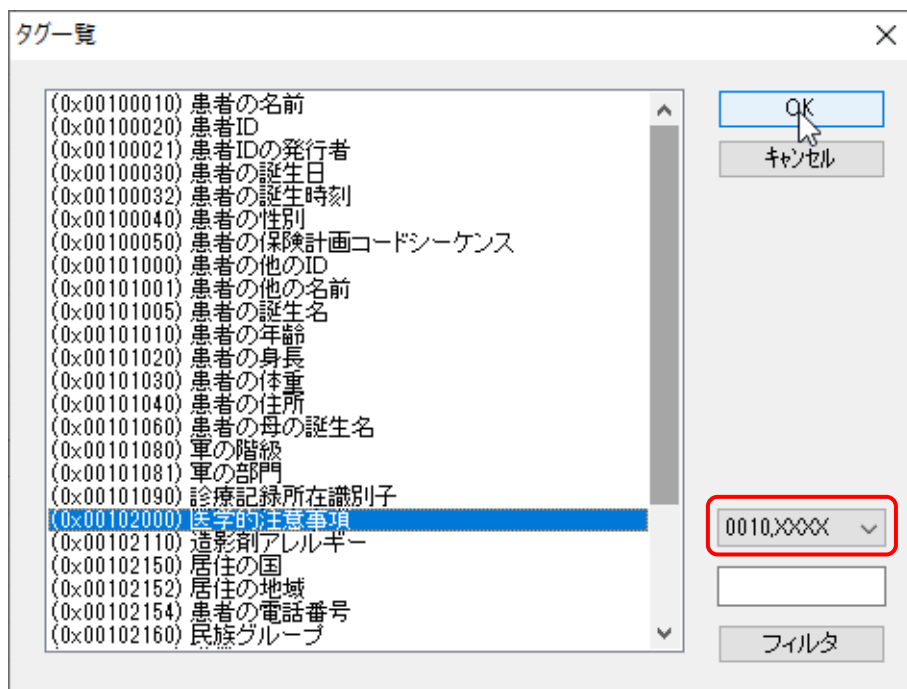


別ウィンドウで「タグ一覧」が表示されます。

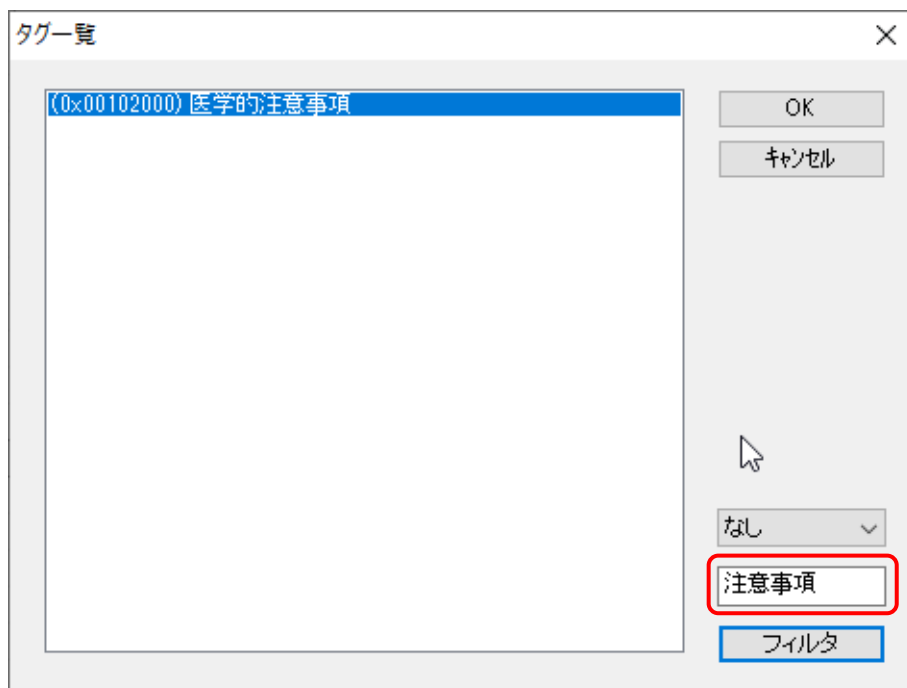


例として赤枠部に（0x 以降）「0010.XXXX」を選択し[フィルタ]ボタンをクリックすると、「0010.XXXX」のコードが抽出されます。

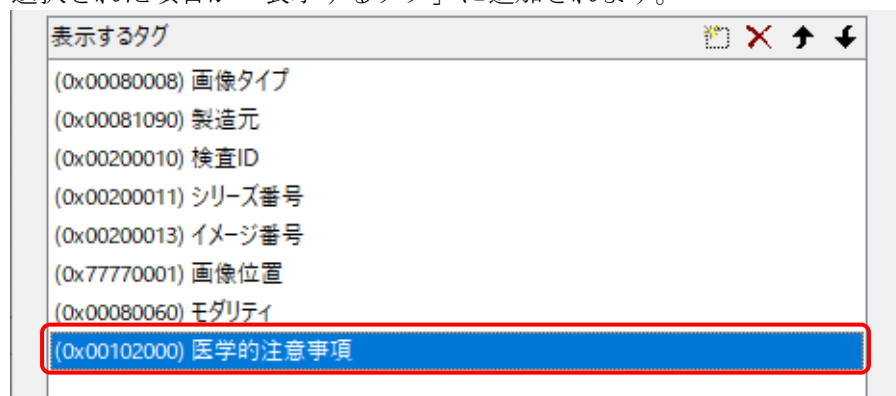
表示するタグに追加したい項目を選択して[OK]ボタンをクリックします。



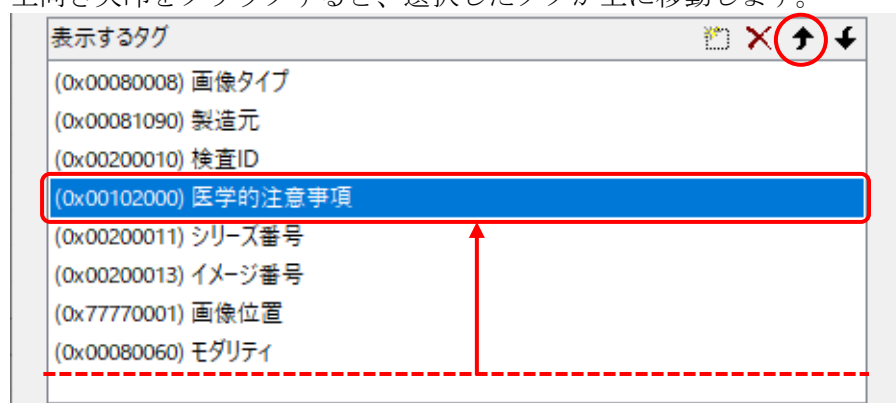
コード番号が不明な場合は、キーワードを入力し[フィルタ]ボタンをクリックすると、検索ができます。（注：全角と半角を判別しません）



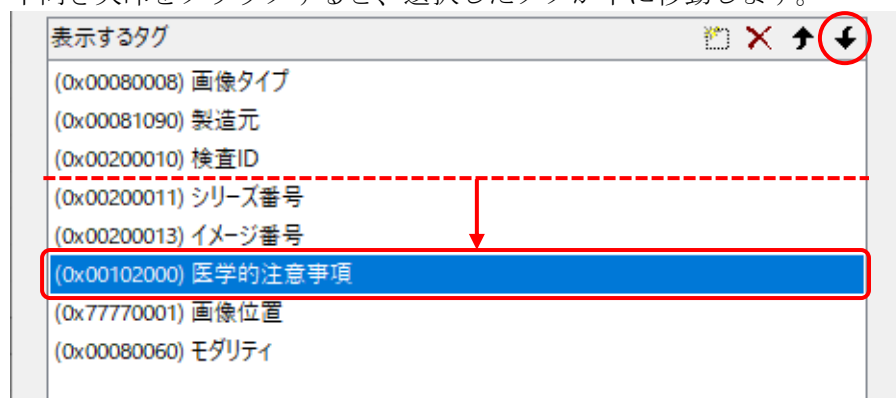
選択された項目が「表示するタグ」に追加されます。



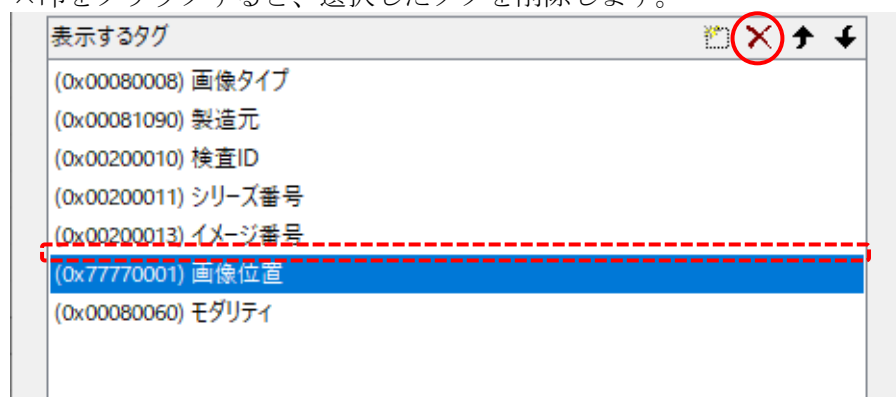
上向き矢印をクリックすると、選択したタグが上に移動します。



下向き矢印をクリックすると、選択したタグが下に移動します。



×印をクリックすると、選択したタグを削除します。



5.3.4 描画・計測ツール

描画・計測ツール

プロファイル(B): OT

他のモダリティに適用する

カテゴリ	ペンの太さ	ペンの色	ブラシの色	中塗り	フォントスタイル	テキスト色	背景色	幅	高さ	入力後未選択	連続使用	マルチフレーム描画	キーマウスコマンド
すべて	2				最小			0	0				
CTR	2				小								-
CTR2	2				小								-
ROI	2				小								-
ポリゴンROI	2				小								-
ルーラー	2				小								W
ルーラー (中間点)	2				小								-
真円 (径)	2				小								-
角度	2				小								-
角度 (2線分)	2				小								-
Cobb角	2				小								-
直線	2				小								-
長方形	2				小								-
円	2				小								-
矢印	2				小								Q
自由線	2				小								-
自由線 (矩形編集)	2				小								-
ポリライン	2				小								-
ポリゴン	2				小								-
テキスト	2				小			250	70				-
スタンプ (円)	2				小			100	100				C
スタンプ (四角)	2				小			100	100				-
スタンプ (ROI)	2				小			100	100				-
中心線	2				小								-
矢印2	2				小								-
ブロック矢印	2				小								-
スタンプ (矢印)	2				小			100	100				-
FTA	2				小								-
自由線計測	2				小								-
エコー計測	2				最小								-
自由線ROI	2				小								-
長短径	2				小								-
相対距離	2				小								-
対基準線角度	2				小								-
対基準線角度・余角	2				小								-
CE/Sharp角	2				小								-
長短径	2				小								-
平行線間距離	2				小								-
平行線間距離比	2				小								-
垂線間距離	2				小								-
垂線間距離2	2				小								-
垂線距離	2				小								-
選択													-

初期値に戻す

OK

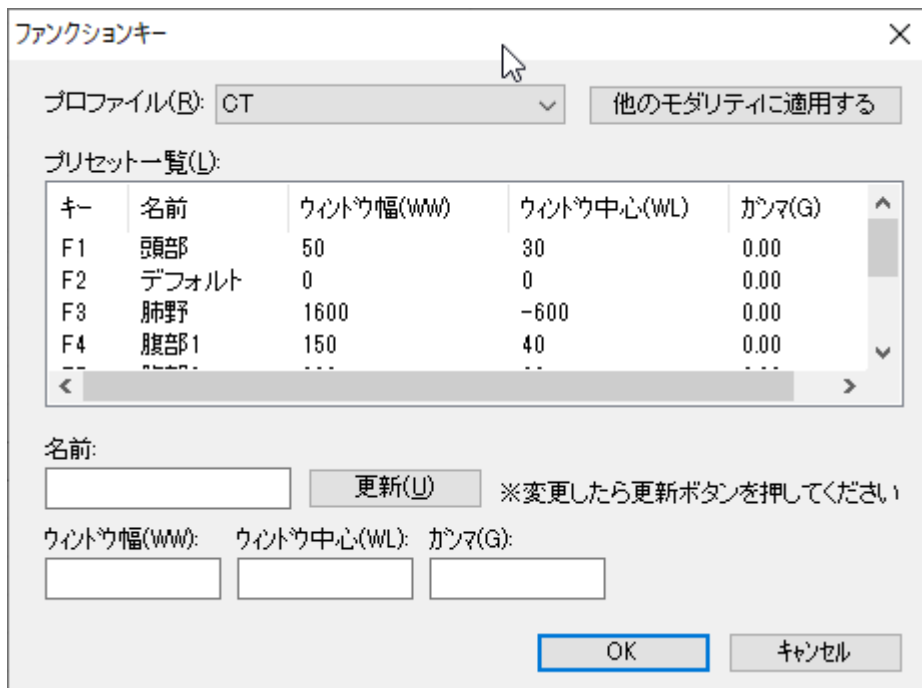
キャンセル

この画面では下記項目をプロファイル毎に行うことができます。

設定できる項目は以下の通りです。

- ・ ペンの太さ ・ ペンの色 ・ ブラシの色 ・ 中塗り ・ フォントスタイル
- ・ テキスト色 ・ 背景色 ・ 幅 ・ 高さ ・ 入力後未選択 ・ 連続使用
- ・ マルチフレーム描画 ・ キーマウスコマンド

5.3.5 プリセット



ファンクションキー

プロファイル(R): CT 他のモダリティに適用する

プリセット一覧(L):

キー	名前	ウインドウ幅(WW)	ウインドウ中心(WL)	ガンマ(G)
F1	頭部	50	30	0.00
F2	デフォルト	0	0	0.00
F3	肺野	1600	-600	0.00
F4	腹部1	150	40	0.00

名前: 更新(U) ※変更したら更新ボタンを押してください

ウインドウ幅(WW): ウインドウ中心(WL): ガンマ(G):

OK キャンセル

[プリセット]をクリックすると、ファンクションキーのダイアログが表示されます。

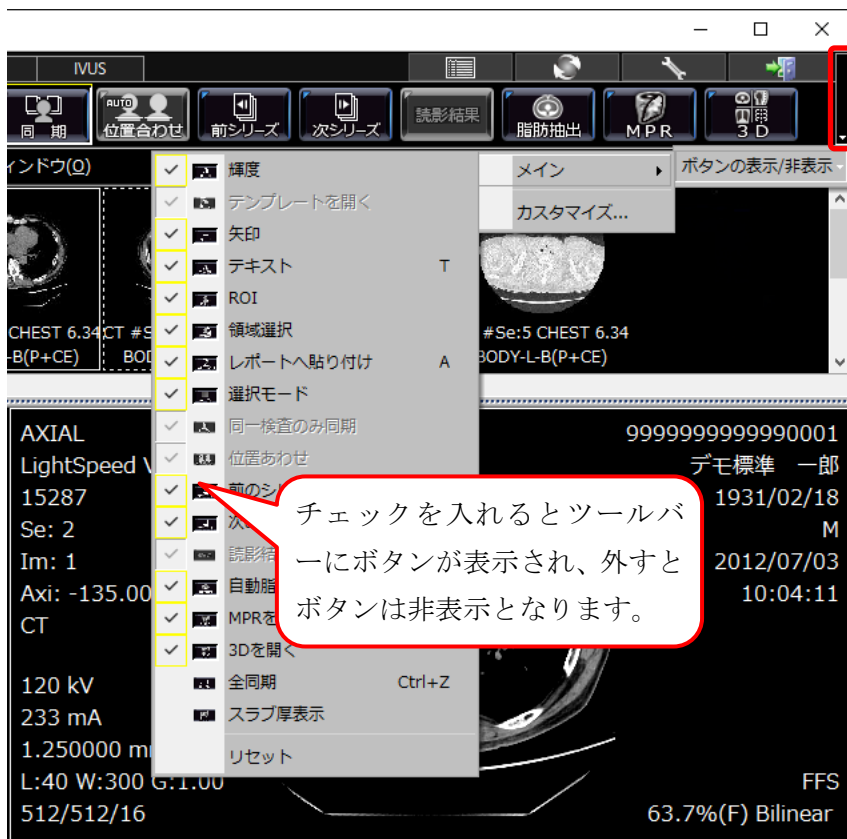
[F1]キーから[F8]キーのプリセットを登録できます。

※メニューバーから[他ウィンドウ]>[プリセット]内では[F9]キーから[F12]キーまでありますが、OS上で割り当てられている場合があるため、使用する際は弊社担当にお問い合わせください。

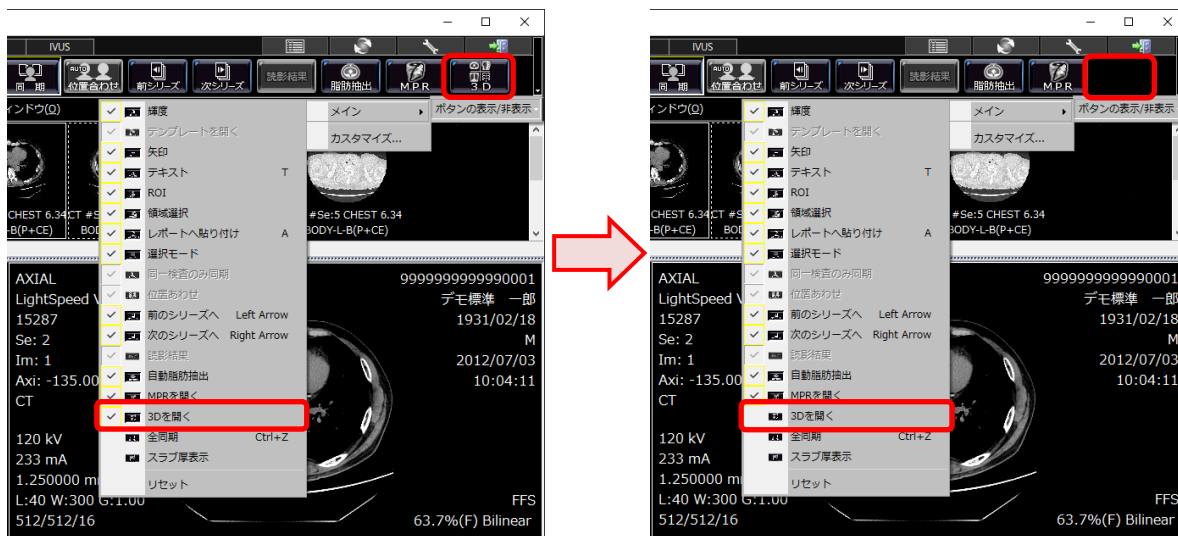
6. 他機能

6.1 ボタンの表示/非表示

ツールバーに表示されるボタンの表示／非表示を切り替えることができます。右上の▼ボタン（下図赤枠）を選択し、「ボタンの表示/非表示」＞「メイン▶」内と進むと、現状設定されているアイコン一覧が表示されます。項目のチェックを入れるとツールバーに表示され、外すと非表示となります。



例では、[3D を開く]ボタンのチェックを外し、3D ボタンを非表示にしています。



6.2 カスタマイズ

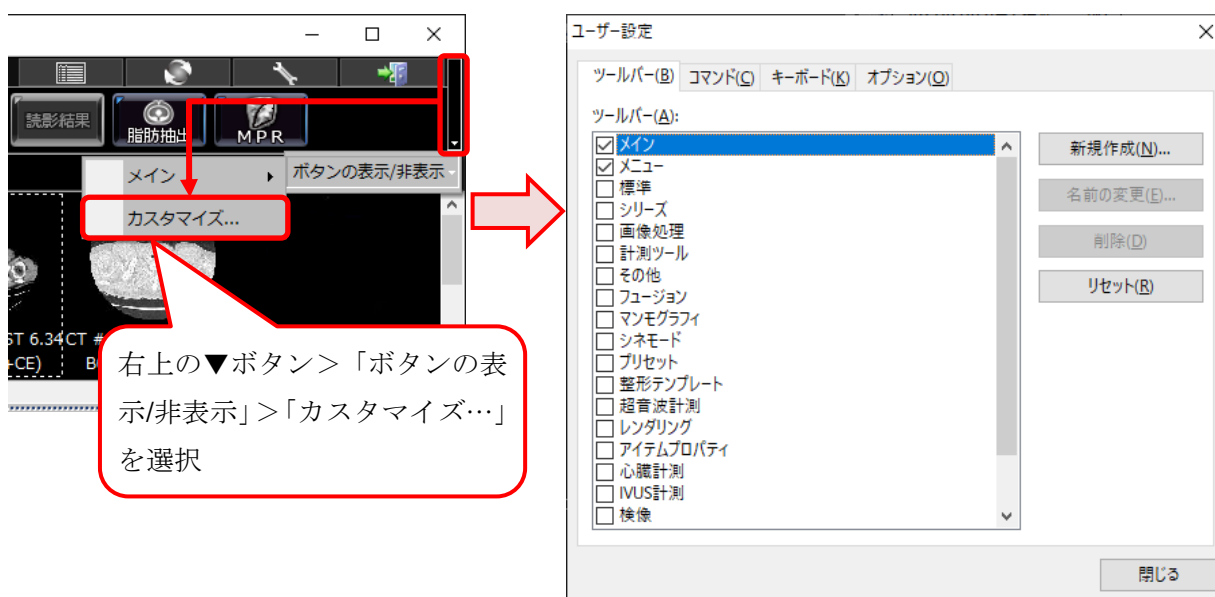
ユーザー設定のダイアログからツールバーの表示／非表示の切り替え、ツールバーへのコマンド追加・削除、コマンドのキーボード割り当て等の設定をすることができます。

6.2.1 ユーザー設定のダイアログ起動

メインバー、メニューバー上で右クリック＞「カスタマイズ...」を選択するか、右上の▼ボタン＞「ボタンの表示/非表示」＞「カスタマイズ...」を選択することでユーザー設定画面を起動します。

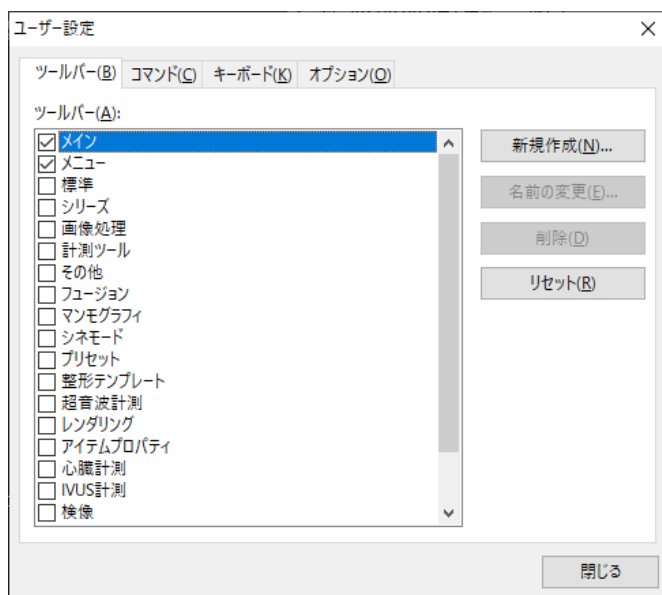


＜ユーザー設定ダイアログ＞



6.2.2 [ツールバー]タブ

各ツールバーの表示／非表示を切り替えます。項目のチェックを入れるとビュー画面に表示され、外すと非表示となります。



[新規作成]ボタン

ツールバーのリストを追加します。

[名前の変更]ボタン

新規作成したリストの名前を変更します。

[削除]ボタン

新規作成したリストを削除します。

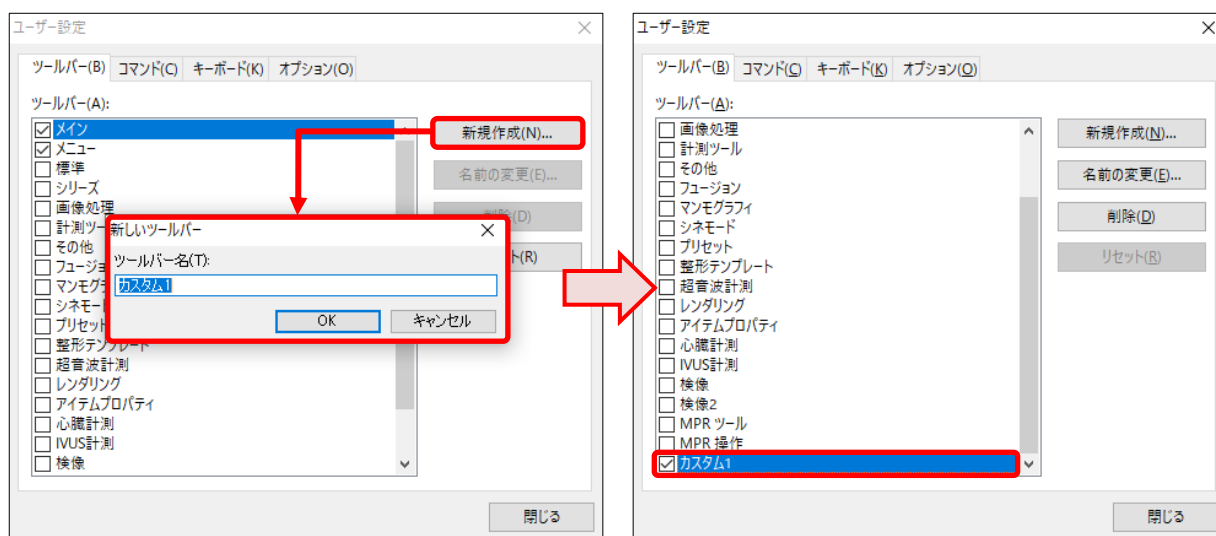
[リセット]ボタン

選択したリストの変更をリセットします。

[閉じる]ボタン／[×]ボタン

ユーザー設定画面を閉じます。

例では、ツールバーのリストを新規作成する際の流れを説明します。[新規作成]ボタンを選択すると、新しいツールバーのダイアログが表示されます。任意のツールバー名を入力し[OK]を押すとリスト内の最下段に追加されます。

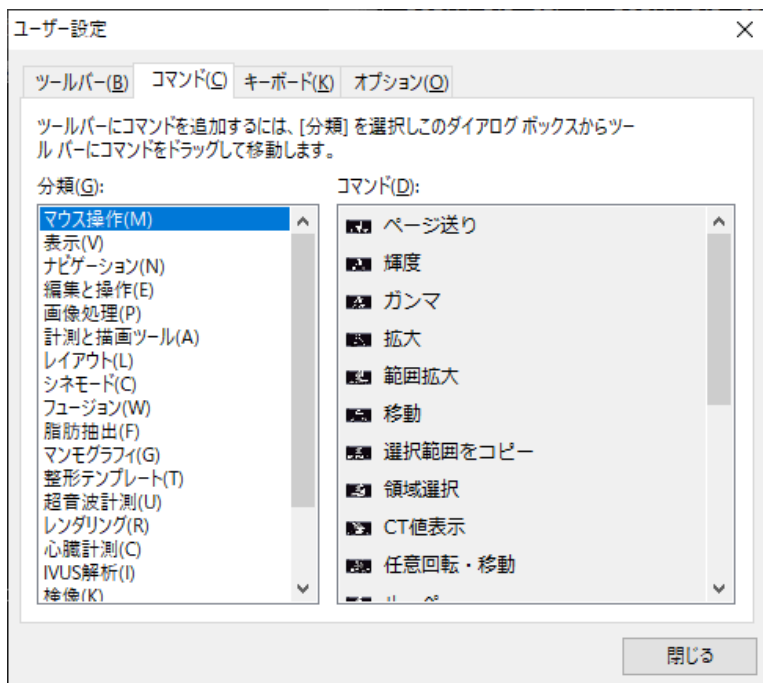


ビュー画面でも、新しくツールバーが反映します。



6.2.3 [コマンド]タブ

ツールバーにコマンドを追加することができます。分類を選択し、任意のコマンドをツールバーにドラッグ&ドロップすることで、コマンドがツールバーに追加されます。

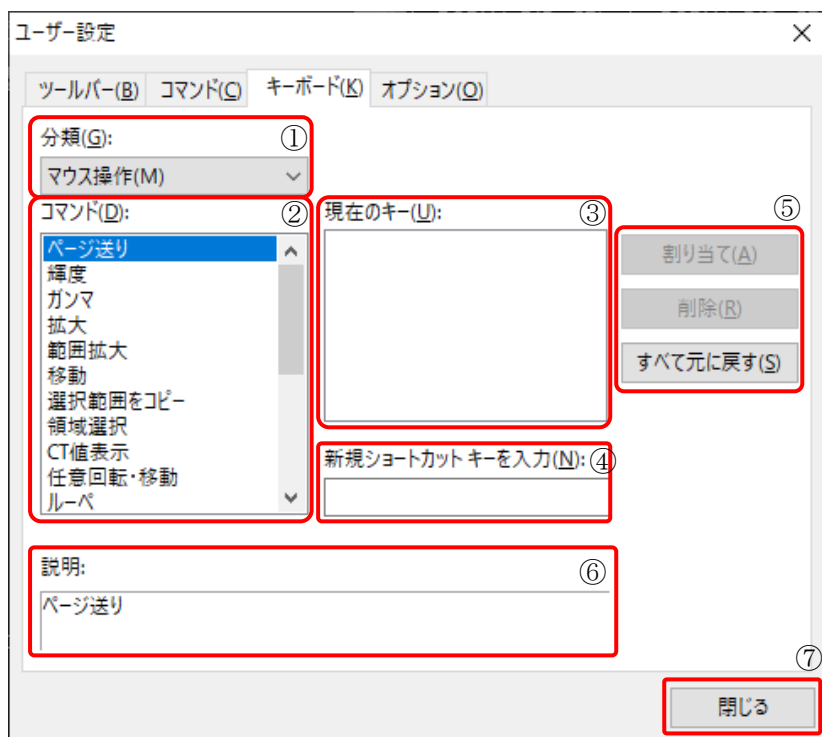


例では、分類中の「すべてのコマンド」から「距離」を選択し、ツールバーに追加しています。



6.2.4 [キーボード]タブ

ツールバーにコマンドを追加することができます。分類を選択し、任意のコマンドをツールバーにドラッグ&ドロップすることで、コマンドがツールバーに追加されます。

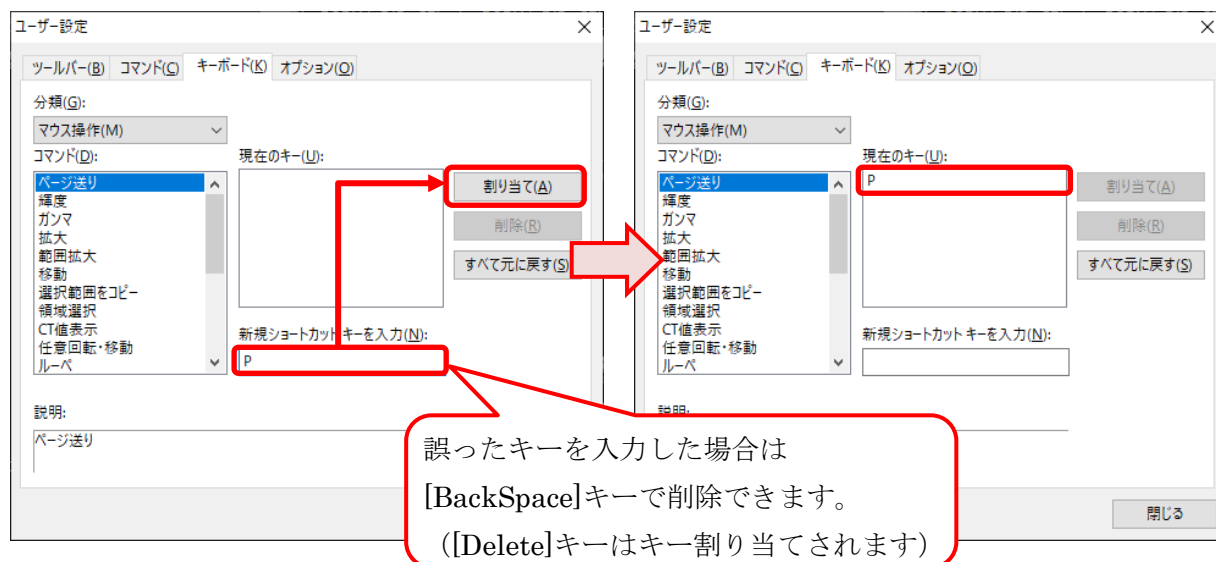


①	分類	分類を選択します。	
②	コマンド	コマンドを選択します。	
③	現在のキー	選択したコマンドの割り当てキーを表示します。	
④	新規ショートカットキーを入力	新しく割り当てるキーを入力します。	
⑤	[割り当て]ボタン	入力した新規ショートカットキーを割り当てます。	
	[削除]ボタン	現在のキーを削除します。	
	[すべて元に戻す]ボタン	全てのキー割付けを消去します。	
⑥	説明 :	選択したコマンドの説明を表示します。	
⑦	[閉じる]ボタン	ユーザー設定ダイアログを閉じます。	

・新規ショートカットキーの割り当て

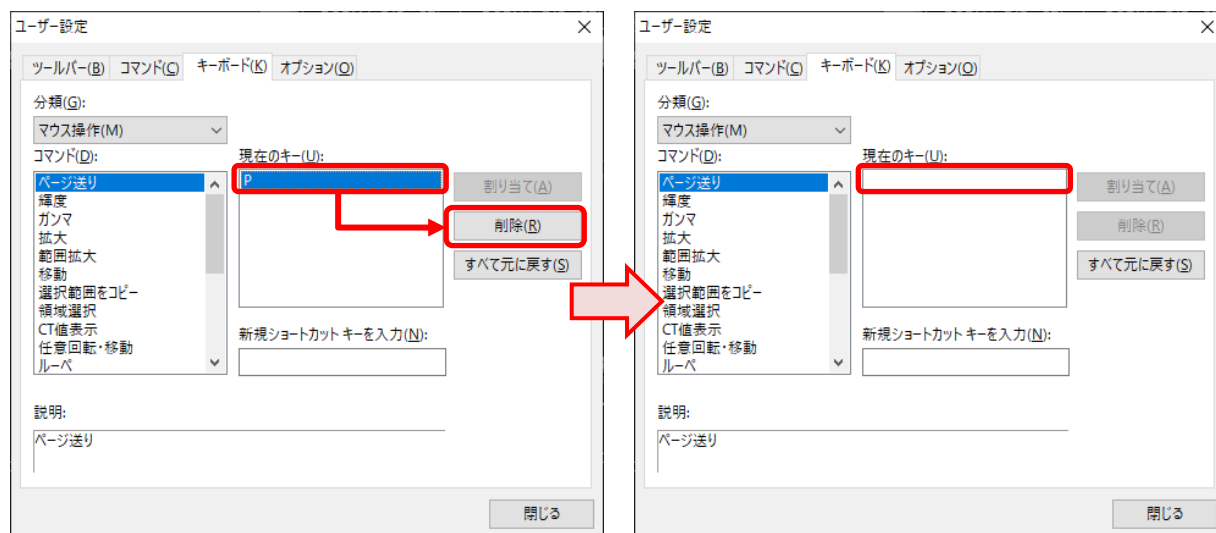
例では、コマンド：「ページ送り」について新規ショートカットキーの[P]を割り当てます。

「新規ショートカットキーを入力」欄を選択し、キーボードから[P]を入力し、[割り当て]ボタンを選択すると「現在のキー」に追加されます。



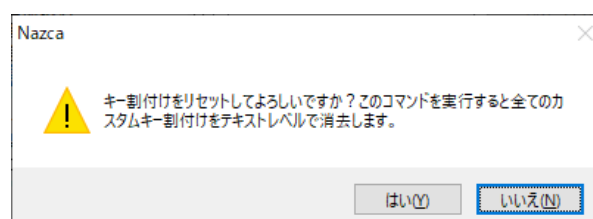
・現在のキーを削除

登録したコマンド：「ページ送り」のキーを削除します。「現在のキー」欄から[P]を選択し、[削除]ボタンを押すと削除されます。



【注意】

[すべて元に戻す]ボタンでは、選択中のコマンド以外の割り当て済みキーが削除されてしまいますので、使用时はご注意ください。

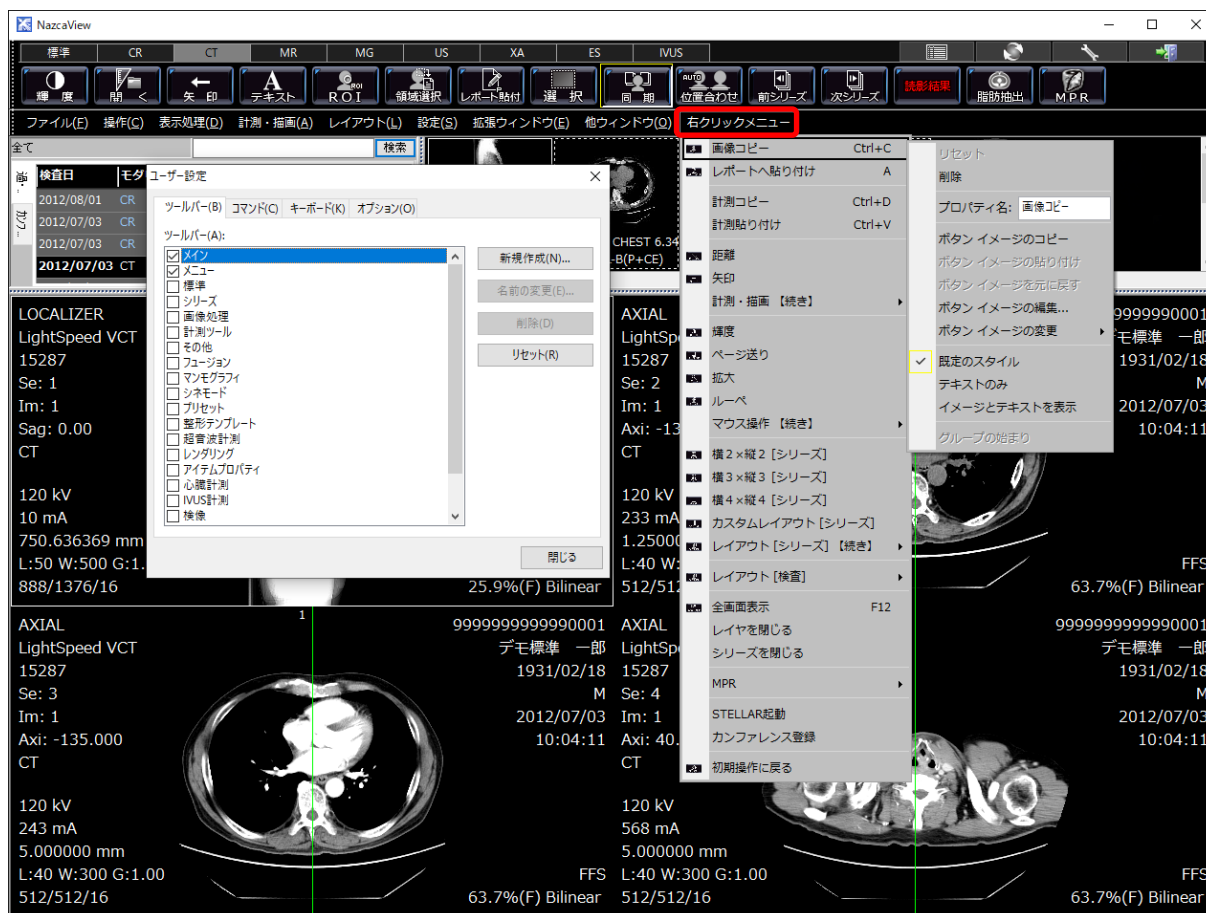


6.2.5 [オプション]タブ

アイコンサイズを大きくする等の設定ができます。

6.2.6 右クリックメニューの編集

ユーザー設定ダイアログが表示されている間は、メニューバーに「右クリックメニュー」が表示され、画像上で右クリックした際のメニューを編集することができます。項目上で右クリックすることで、項目削除や名称変更、ボタンイメージの編集等ができます。



6.3 検査一覧の設定

6.3.1 表示項目の編集

項目タイトル上で右クリックし、「表示項目▶」にマウスをかざすと表示項目の一覧が表示されます。チェックを入れると項目に表示、外すと非表示となります。



※非表示にしたい項目上で右クリックし「列を非表示」を選択すると、同様に非表示にできます。



6.3.2 絞込と並び替え

<絞込>

検索欄に任意文字を入力し[検索]ボタンを押すと、現在表示されている検査から絞込検索されます。例では「X線」で検索し、ヒットした検査で絞込がされています。

検査日を昇順で並び替えしています。

「X線」が含まれる検査で絞り込まれています。

モダリティで絞込する場合は、下図赤枠「全て」をクリックすると起動するプリセットダイアログより、絞込対象のモダリティにチェックを入れ[OK]ボタンを選択してください。(複数選択可)

例では「CR」「CT」にチェックを入れます

「CR」「CT」の検査で絞込されています

<並び替え>

項目タイトルをクリックし並び替えができます。クリックするたびに昇順、降順を切り替えます。例では検査日を昇順で表示しています。

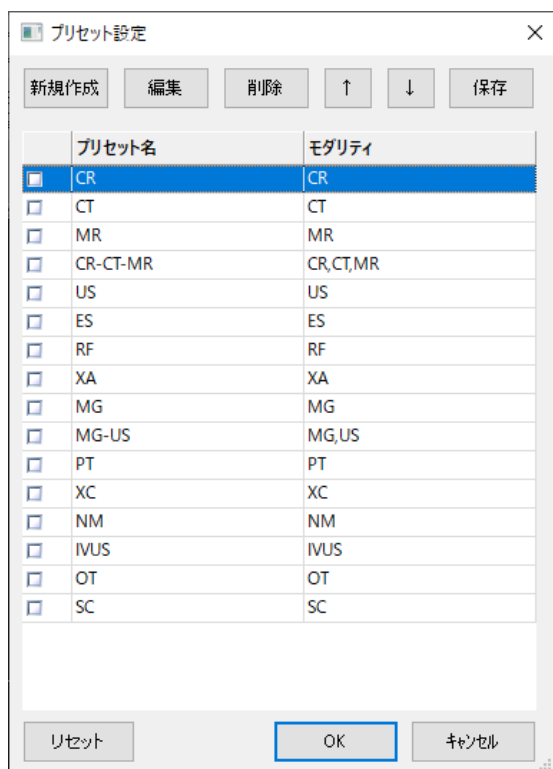


※項目タイトル上で右クリックし、「並び替え▶」にマウスをかざすと表示される「昇順」「降順」から、同様に並び替えが可能です。並び替えの解除をする場合は「解除」をクリックします。



6.3.3 モダリティ検索のプリセット

モダリティ絞込用のプリセットを設定することができます。過去検査リスト上で右クリック、もしくは下図赤枠の「全て」を選択すると表示されるプリセット設定ダイアログから、プリセット名やモダリティ等を設定します。



[新規作成]ボタン

プリセットを新規登録します。

[編集]ボタン

プリセットを編集します。

[削除]ボタン

プリセットを削除します。

[↑][↓]ボタン

検索の優先順位を変更します。

[保存]ボタン

現在のプリセット設定を保存します。

[リセット]ボタン

チェックを解除します。

[OK]ボタン

設定を保存しダイアログを閉じます。

[キャンセル]ボタン／[×]ボタン

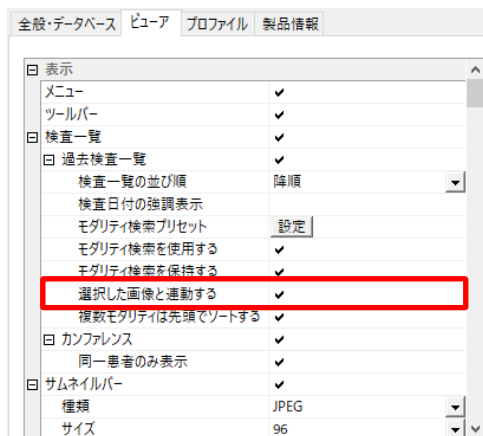
設定を保存せずにダイアログを閉じます。

6.3.4 過去検査一覧と選択画像の連携

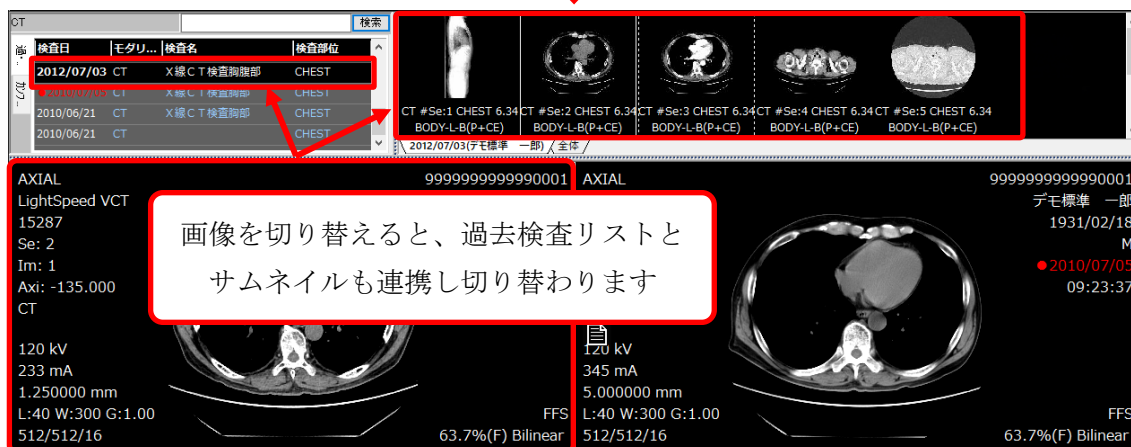
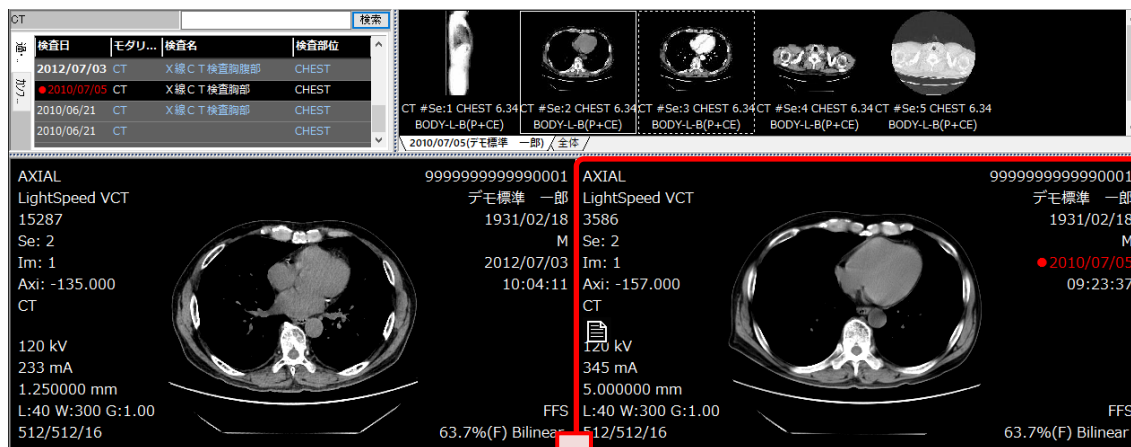
選択した画像に合わせて過去検査リストとサムネイルが切り替わります。
設定で切り替わらないように変更することもできます。

＜設定方法＞

ビューワ画面右上の設定ボタン（スパナボタン）＞[ビューア]タブ＞表示カテゴリ内の「検査一覧」＞「過去検査一覧」＞「選択した画像と連動する」のチェックを外し[OK]ボタンを選択します。



初期設定では、選択した画像に合わせて過去検査リストとサムネイルが切り替わります。



設定変更後は別の画像を選択しても過去検査リストとサムネイルは切り替わりません。

The image displays two screenshots of the ASTROSTAGE CT viewer interface, illustrating that the exam list and thumbnails remain unchanged when the selected image is switched.

Top Screenshot: The interface shows a list of exams on the left. The selected exam is 2010/07/05 CT, X線 C T 検査胸部, CHEST. The main display area shows an axial CT scan of the chest. The right side of the interface displays technical parameters for the selected image.

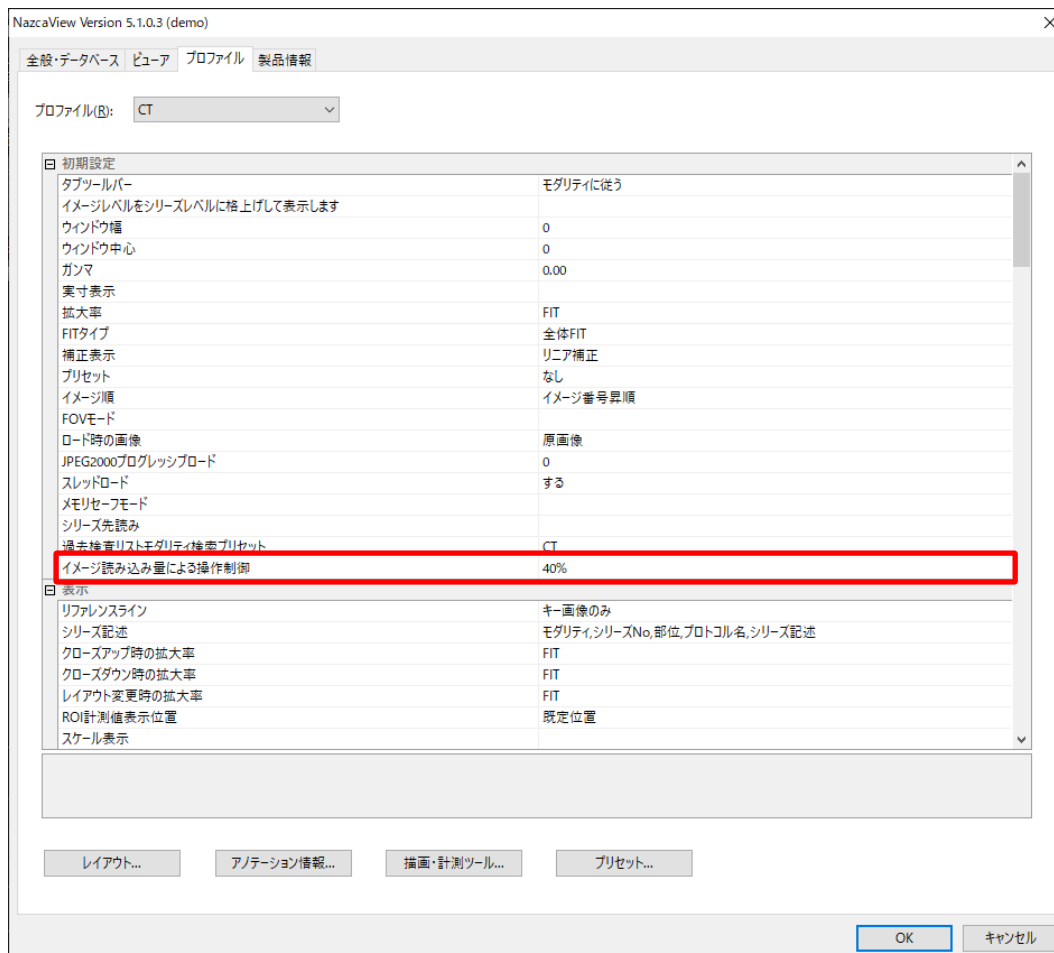
Bottom Screenshot: The interface shows the same list of exams. A red box highlights the thumbnails at the top, indicating that they remain unchanged even when the selected image is switched. A text box in the center states: "画像を切り替えても、過去検査リストとサムネイルは切り替えません" (Even when the image is switched, the past exam list and thumbnails do not change).

6.3.5 イメージ読込量による操作制御

イメージ読み込み量が設定値を超えるまでは、過去検査リストとサムネイルを表示しません。

＜設定方法＞

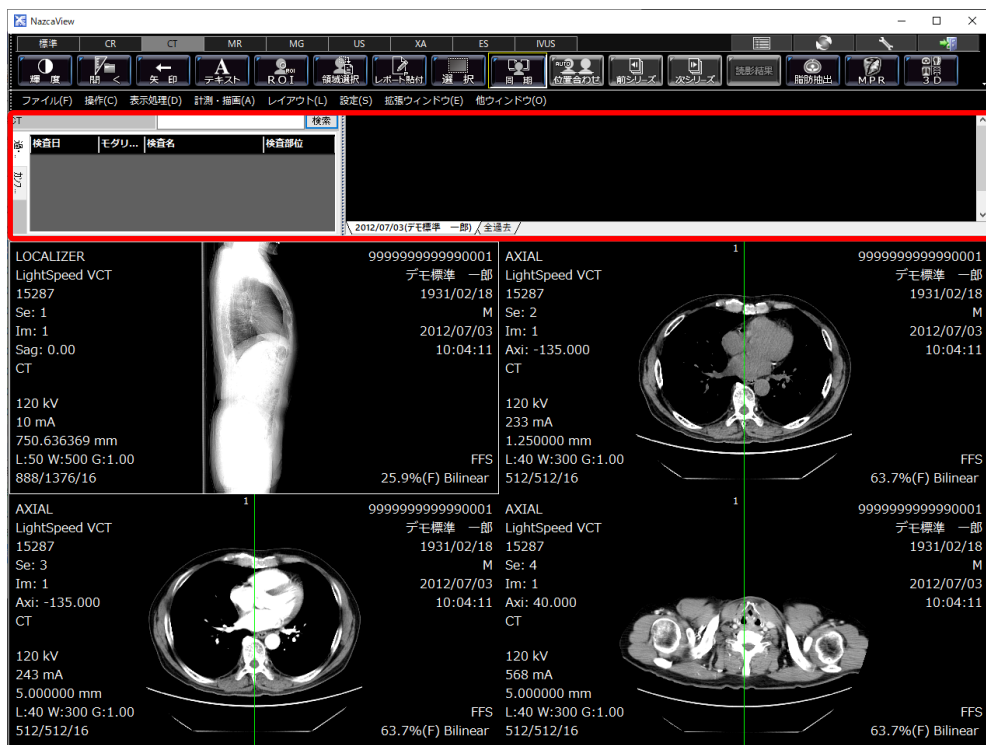
ビューワ画面右上の設定ボタン（スパナボタン）＞[プロファイル]タブ＞初期設定カテゴリ内の、「イメージ読み込み量による操作制御」でプルダウンから設定値を選択します。



※制御無し、10%、20%、30%、40%、50%、60%、70%、80%、90%、100%の中から選択でき、設定値が「制御なし」の場合は、イメージ読み込み量による操作制御を行いません。

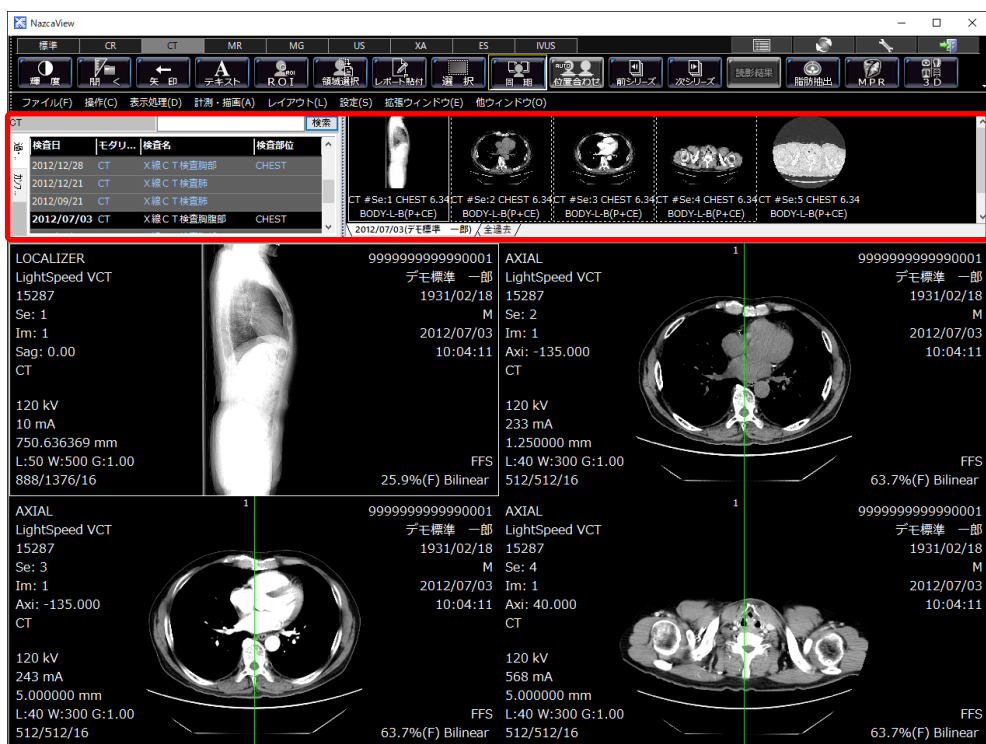
- ・イメージ読み込み量が設定値を超えるまで

過去検査リストとサムネイルは表示されず、マウスホイール等によるイメージ送りもできないように制御されます。



- ・イメージ読み込み量が設定値を超えた場合

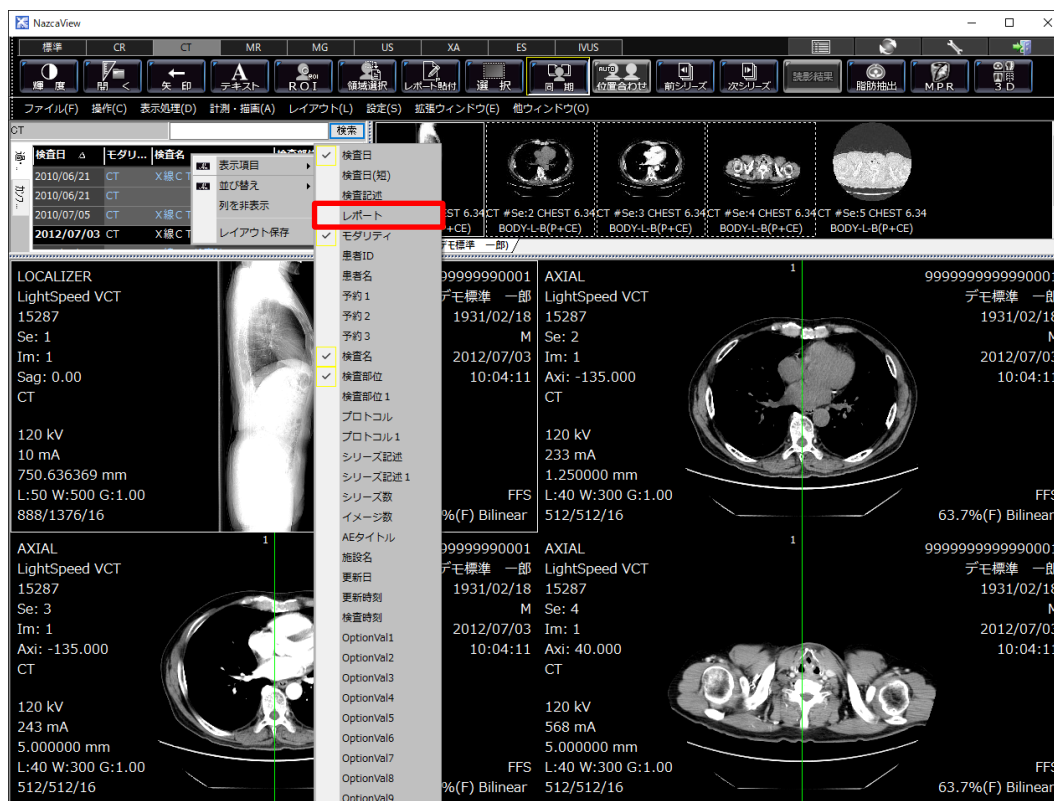
過去検査リストとサムネイルが表示され、イメージ送りも可能になります。



6.3.6 過去検査一覧からのレポート参照

過去検査にレポートがある場合に、過去検査リストのレポート参照ボタンをクリックすると、SOPHIAReport でレポート参照ができます。

過去検査リストのタイトル上で右クリックし「表示項目▶」から「レポート」を選択します。



追加されたレポートの列には、対象の過去検査にレポートがある場合にアイコンが表示されます。アイコンをクリックするとレポートの参照ができます。

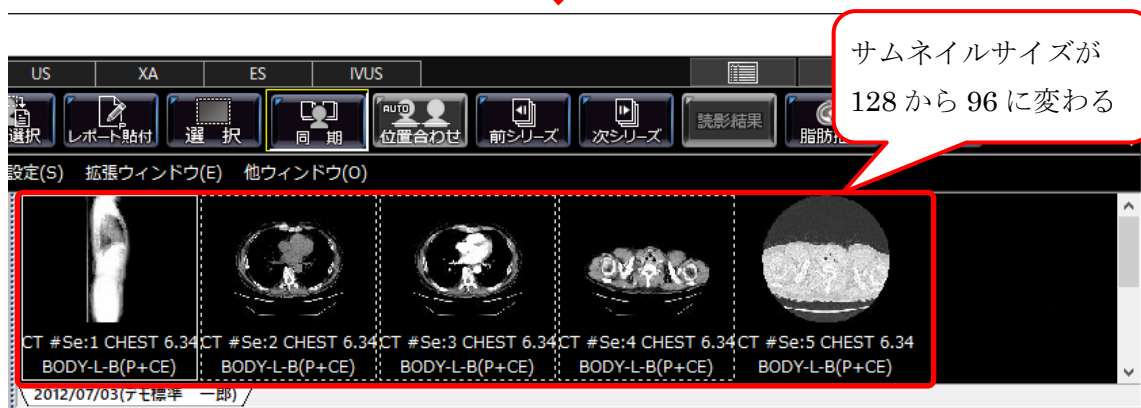
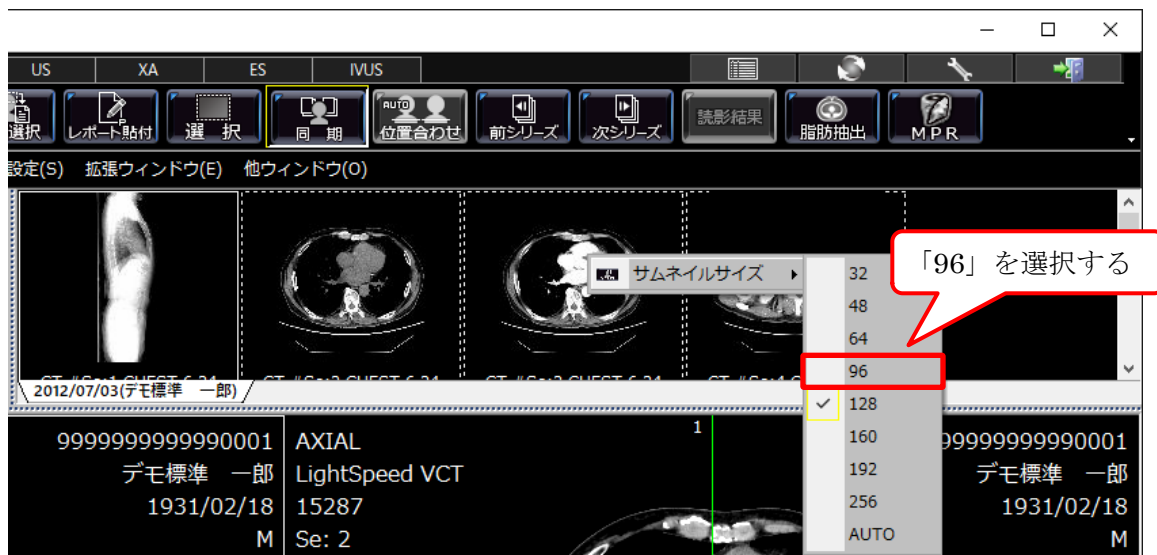


6.4 サムネイル

6.4.1 サムネイルサイズ変更

サムネイル上で右クリック>「サムネイルサイズ」にマウスをかざすと表示される、サムネイルサイズ選択枝からサイズを選択するとサムネイルサイズの変更ができます。

例では、サムネイルサイズを 128 から 96 に変更しています。



6.4.2 サムネイルタブ

検査単位のタブ、[全体]タブ、[全過去]タブでは、それぞれサムネイルの表示を切り替えることができます。

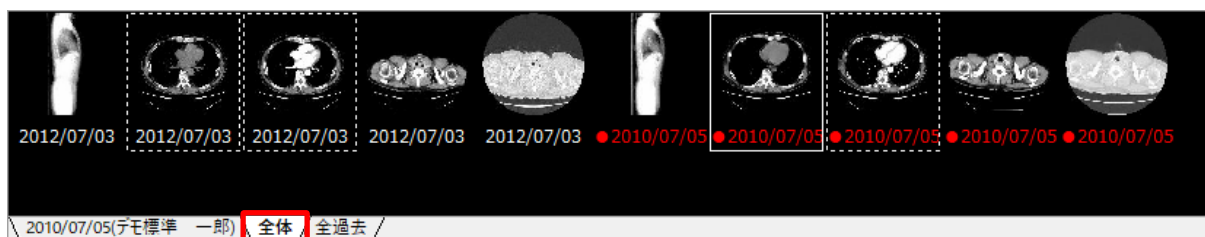
・検査単位のタブ

選択している検査のサムネイルを表示します。



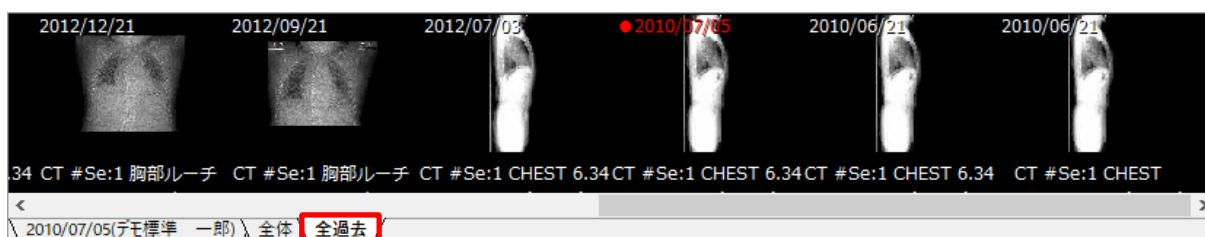
・[全体]タブ

ビューア上に表示している検査のサムネイルを表示します。



・[全過去]タブ

患者の全検査のサムネイルを表示します。



<設定>

[全体]タブ、[全過去]タブを表示する場合は、ビューワ画面右上の設定ボタン（スパナボタン）> [ビューア]タブの順に選択し、「全体サムネイルタブ表示」「全過去サムネイルタブ表示」にチェックを入れ、画面右下の[OK]ボタン押下後にアプリケーションを再起動することで反映します。

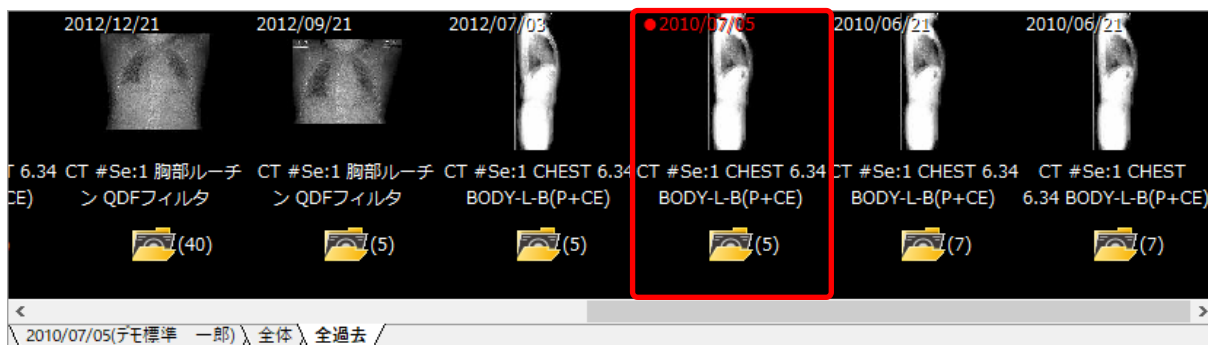


＜サムネイルの展開／縮小＞

[全過去]タブでは、サムネイル下部のフォルダアイコンをクリックすることで、検査単位でサムネイルの展開／縮小表示を切り替えることができます。

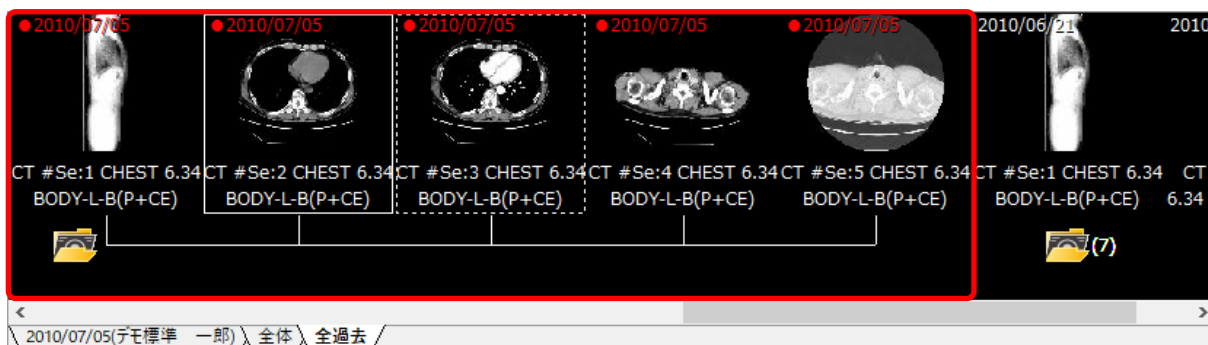
・縮小時

検査の先頭のサムネイルのみが表示され、フォルダの横にシリーズ数が表示されます。



・展開時

同一検査でツリーのラインが表示されます。



＜サムネイルサイズ変更＞

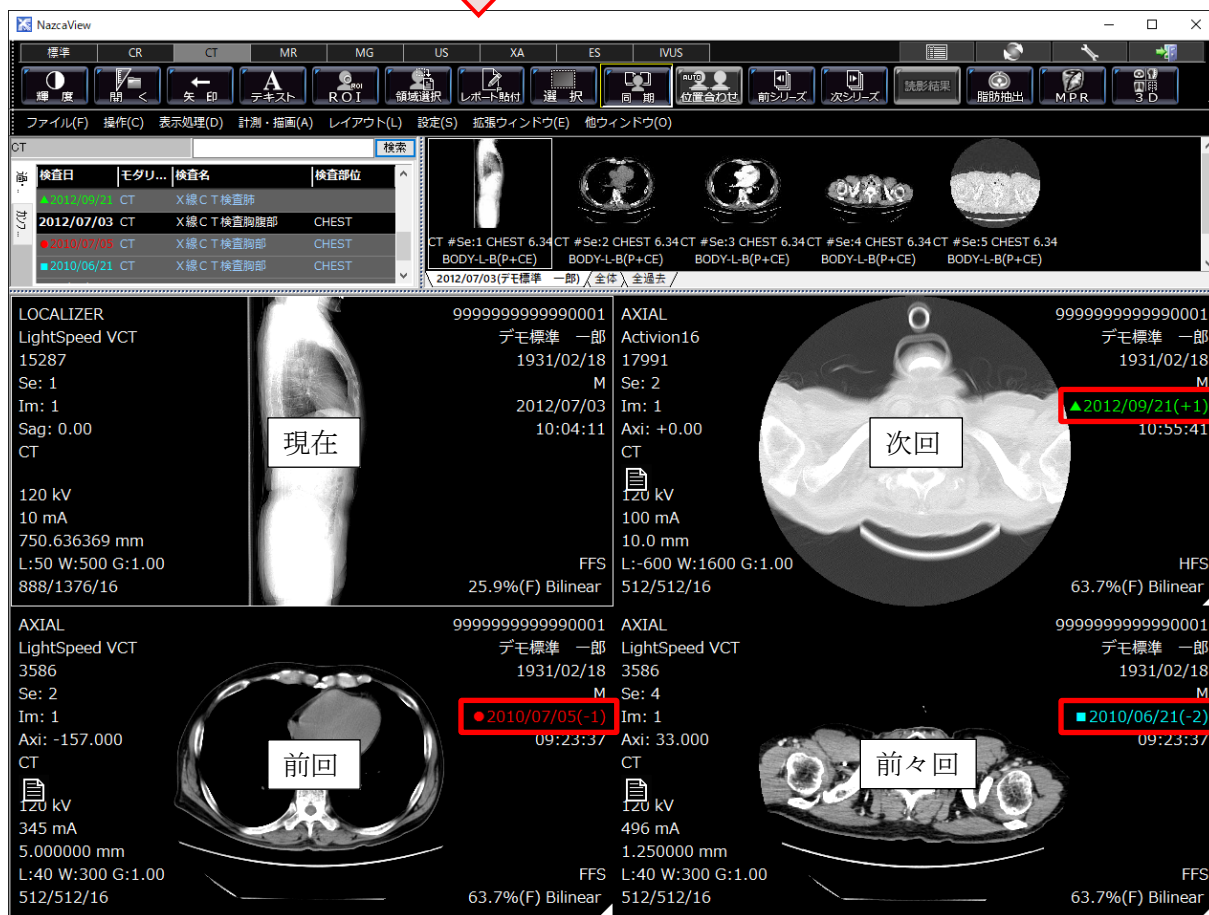
検査単位のタブと同様、[全体]タブや[全過去]タブからも、サムネイル上で右クリック＞「サムネイルサイズ▶」でサムネイルサイズ変更ができます。

6.5 アノテーション

6.5.1 検査履歴番号の表示

設定した DICOM タグのアノテーションの末尾に検査履歴番号を表示します。

現在検査から見て過去がマイナス、未来がプラスで現在検査と同一モダリティの検査履歴で番号が表示されます。例では、検査日付の DICOM タグ (00080020) で設定しています。



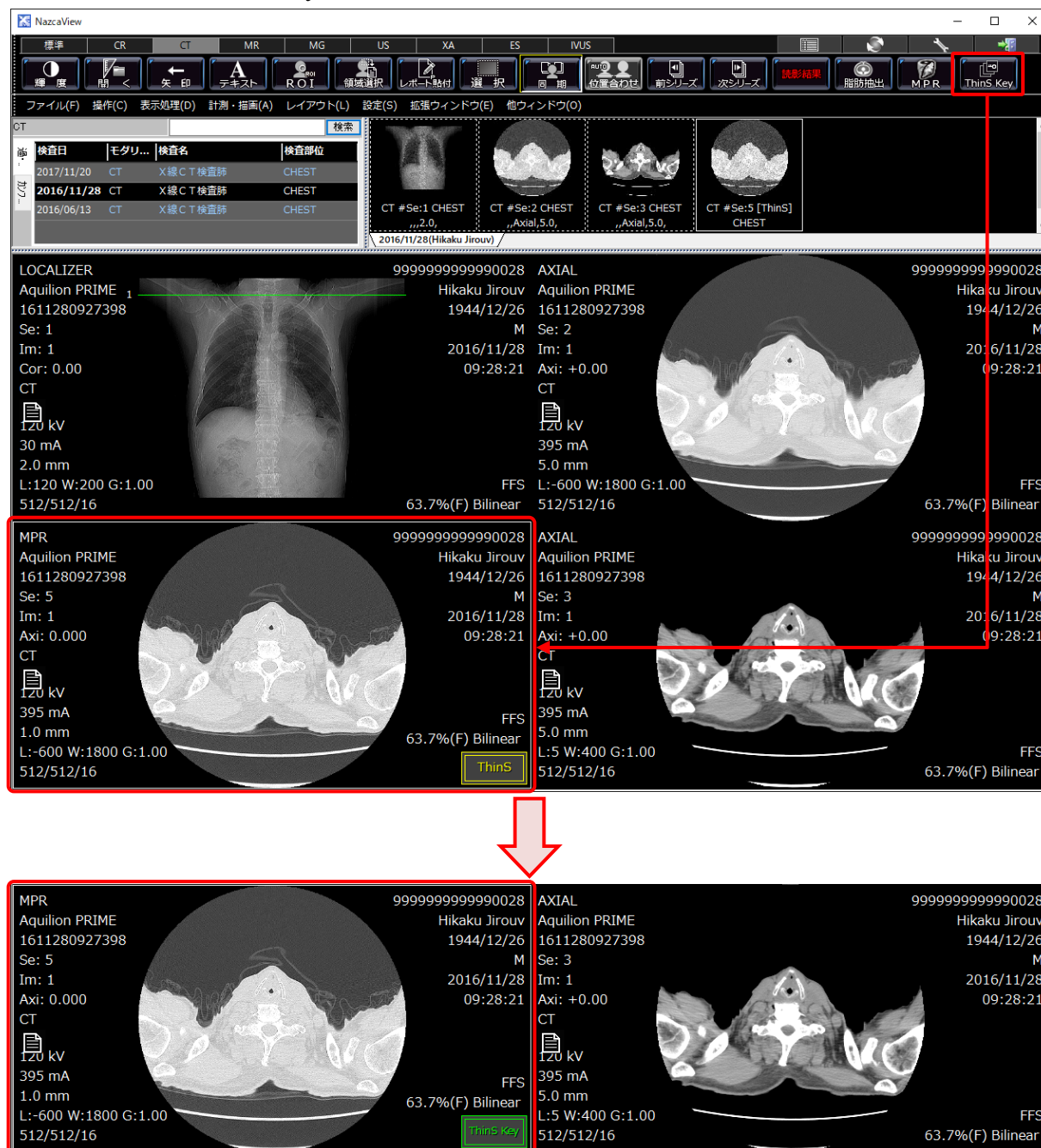
6.6 操作

6.6.1 シンスライスのマーク表示と削除対象からの解除

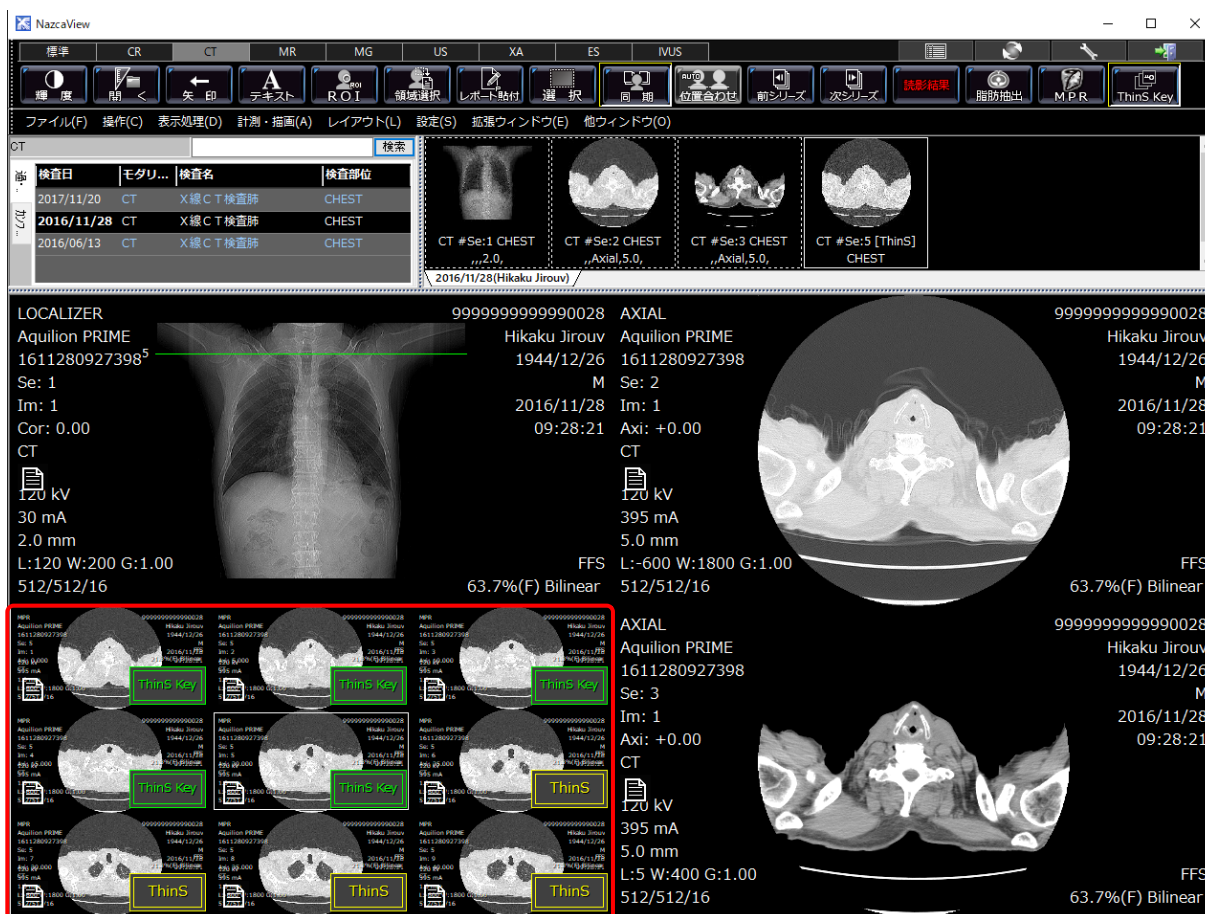
シンスライスの画像はサーバの設定により、一定期間で削除されます。
削除したくない画像を選択し削除対象から解除することができます。

シンスライスの画像には、シンスライスを示す「ThinS」が表示されます。

[ThinS Key]ボタン ([シンスライス削除解除]ボタン) を選択後に対象画像を選択することで、「ThinS」から「ThinS Key」に変化し、削除対象から解除されます。



「選択」と同様、イメージレイアウトを1×1より大きくして[Shift]キーを押しながらクリックすると範囲適用が可能です。例では、先頭5枚を削除解除し他画像を削除対象のままとしています。

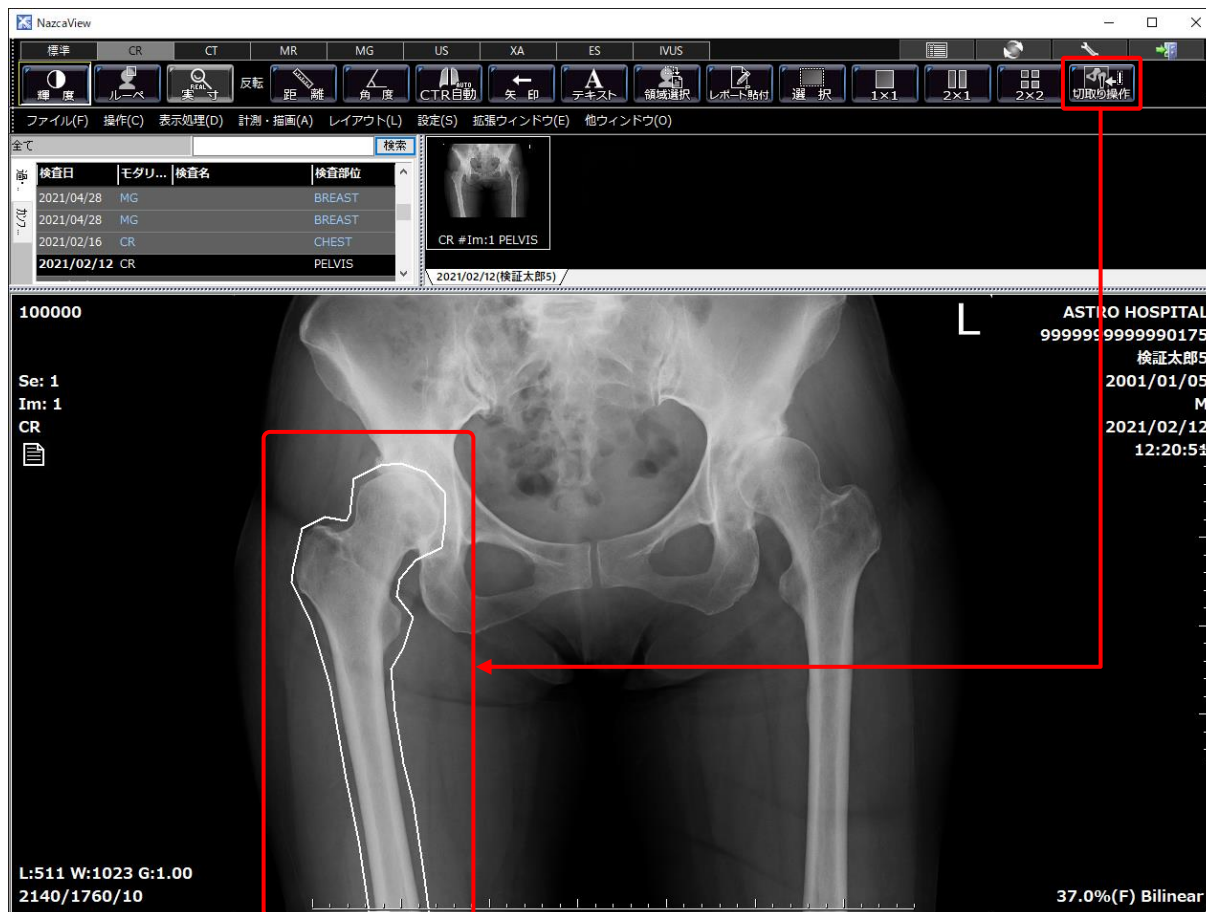


6.6.2 切り取り操作

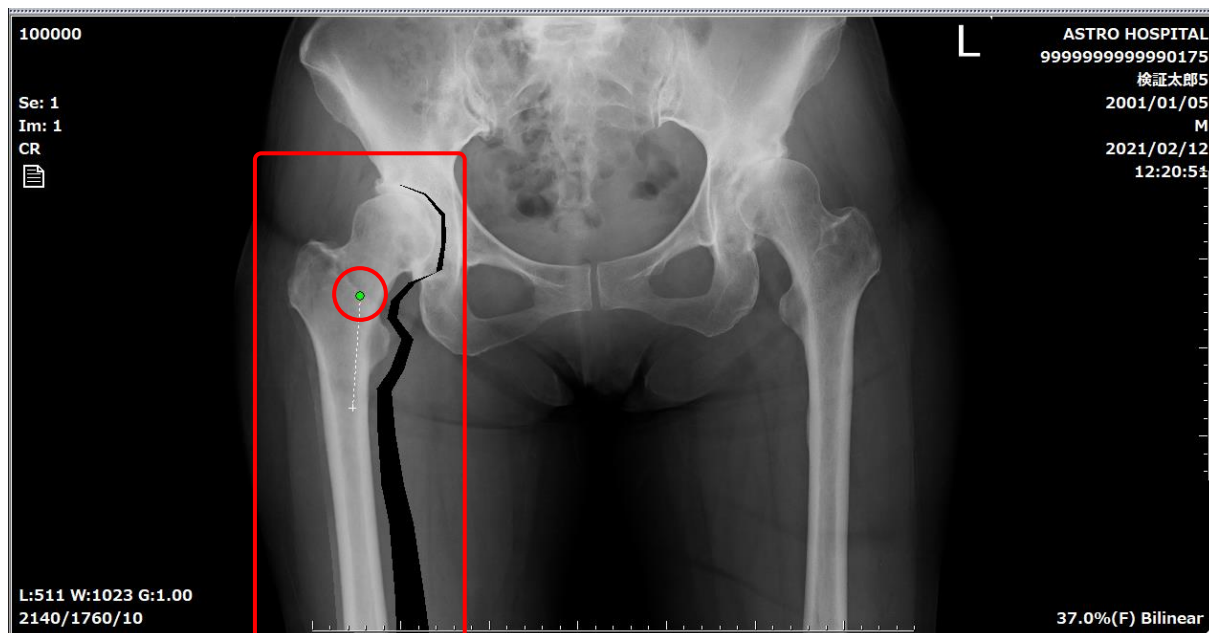
画像の任意範囲を切り取り、保存することができます。

[切り取り操作]アイコンもしくは、[拡張ウィンドウ]メニュー>整形テンプレート>[切り取り操作]を選択し、マウスクリック操作で切り取り範囲のポリゴンを入力します。

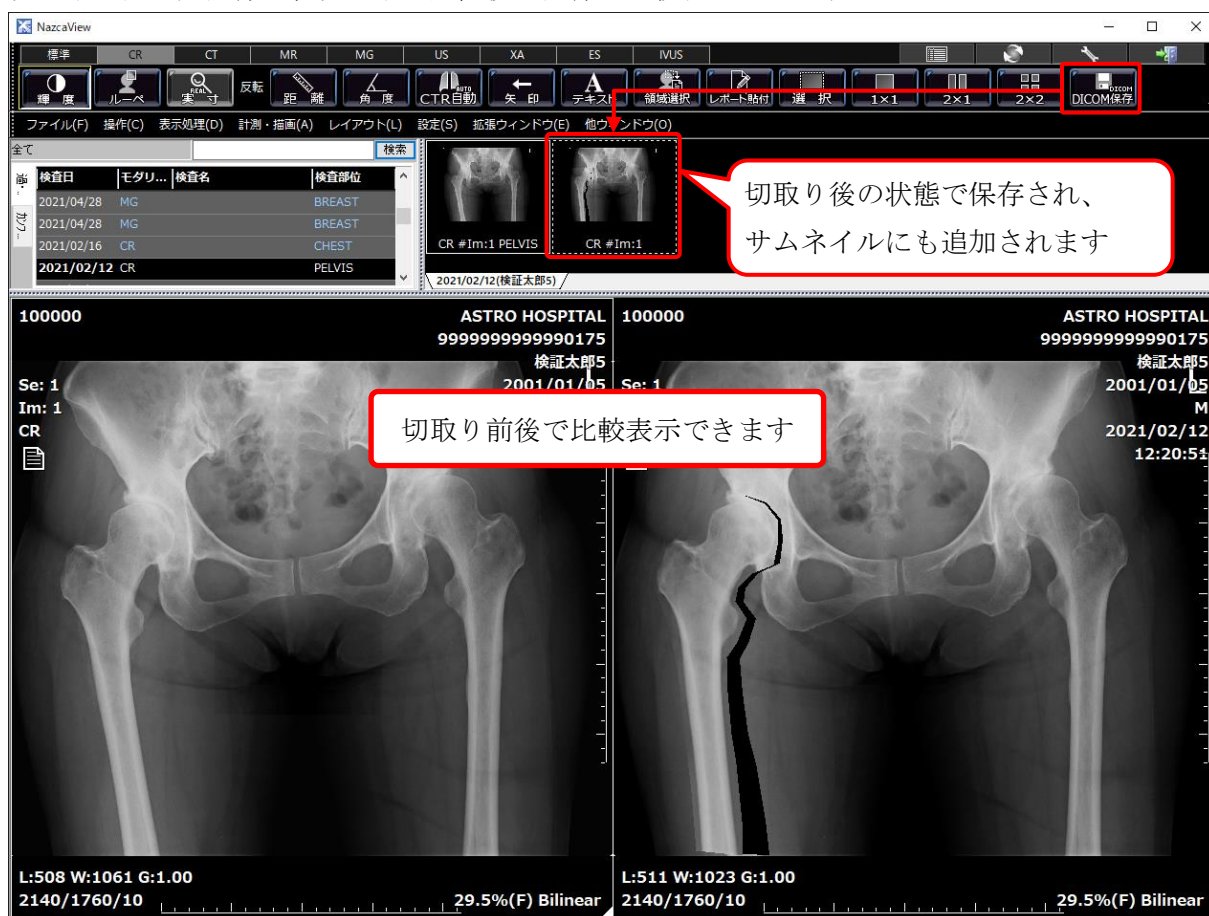
(ポリゴン ROI 等と同様の入力方法です)



切り取った画像をマウスドラッグで移動できます。また、緑丸のトラッカーをドラッグ操作することで、切り取った画像を回転できます。



DICOM 保存機能で、切り取った画像を配置した状態で別シリーズとして保存し追加ができます。切り取り前の元画像と、切り取り配置後の画像を比較表示できます

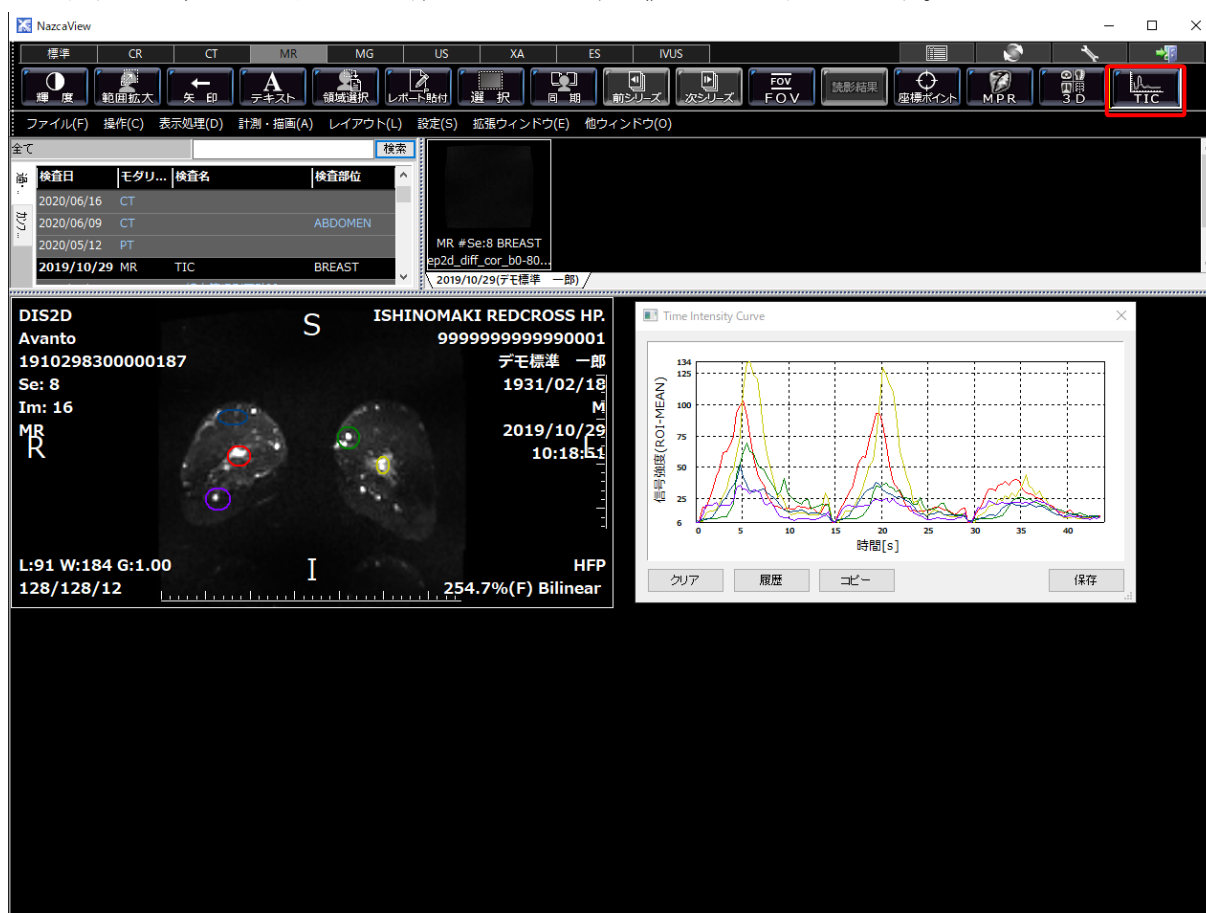


6.6.3 タイムインテンシティカーブ

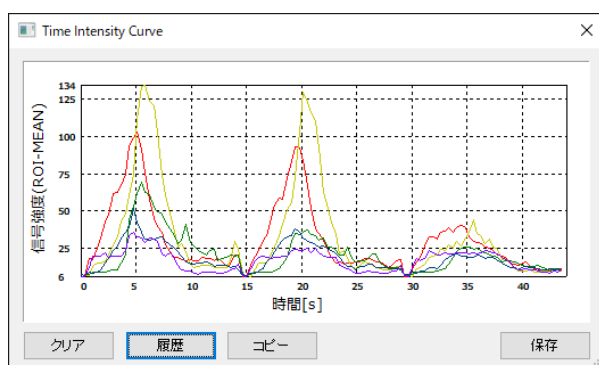
MRI 画像に ROI を作成し、タイムインテンシティカーブ(TIC)画面にグラフを表示します。

[TIC]アイコンからタイムインテンシティカーブ機能を起動し、画像上に ROI を作成します。

TIC 画面では、ROI と同じ色の線色で ROI の平均値をグラフ表示します。



<TIC 画面について>



[クリア]ボタン

ROI を削除します。

[履歴]ボタン

計測保存履歴ダイアログを表示します。

[コピー]ボタン

TIC 画面と、ROI を作成した画像をクリップボードにコピーします。

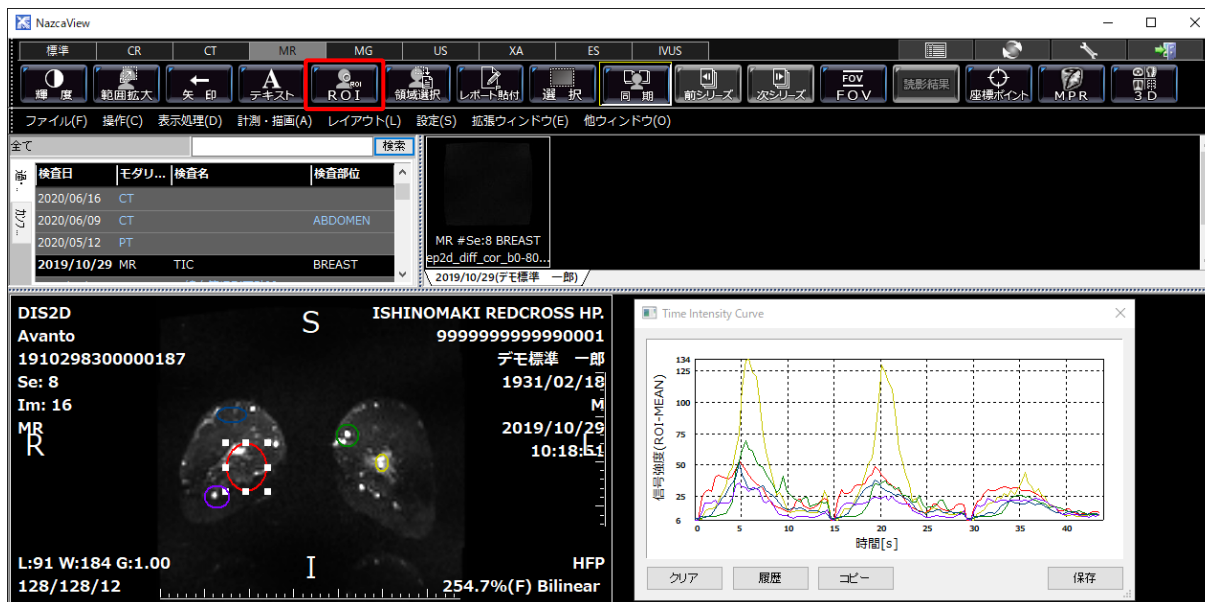
[保存]ボタン

ROI 情報を保存して次回起動時に復元します。

<ROI の編集>

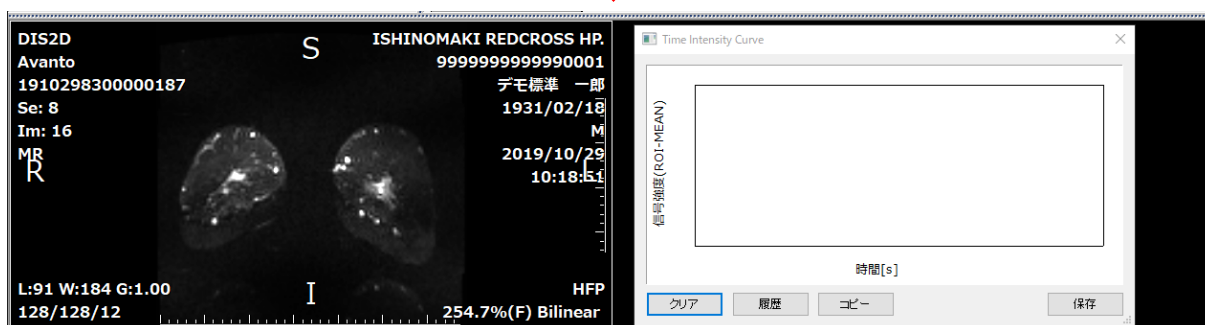
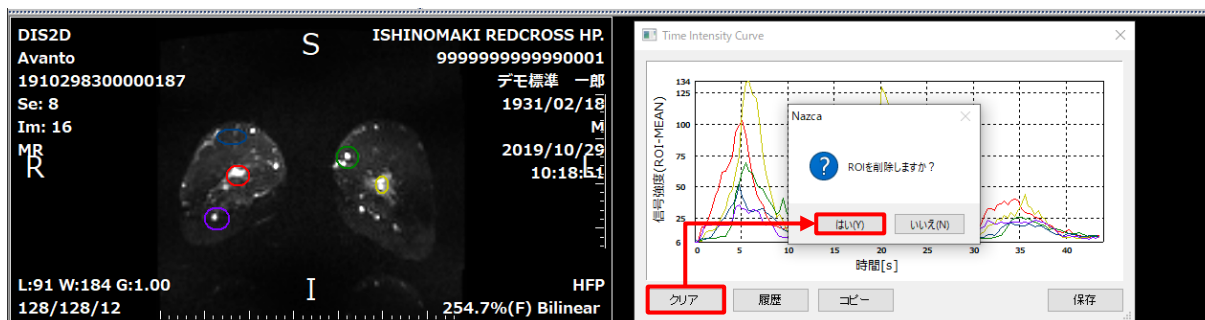
[ROI]アイコンを OFF にすると、ROI の編集が可能になります。

ROI を編集すると、ROI 情報をグラフに反映します。



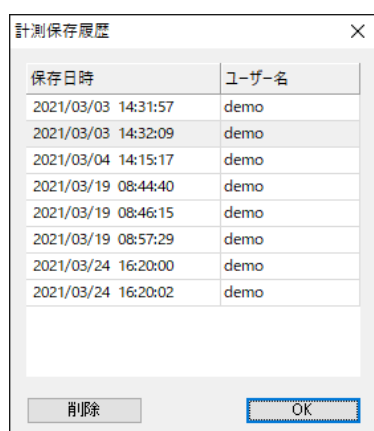
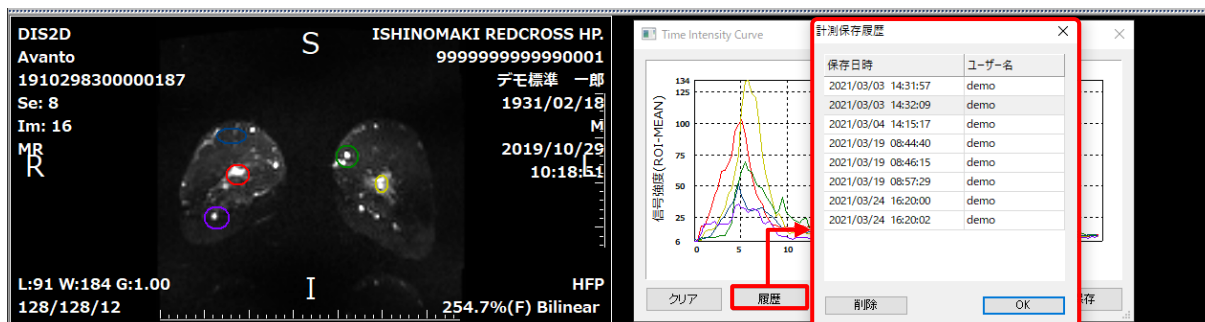
<ROI のクリア>

[クリア]ボタンを押し、確認ダイアログで[はい]を選択すると ROI およびグラフをクリアします。



<計測保存履歴ダイアログ>

[履歴]ボタンを押し、計測保存履歴ダイアログを起動します。



[削除]ボタン

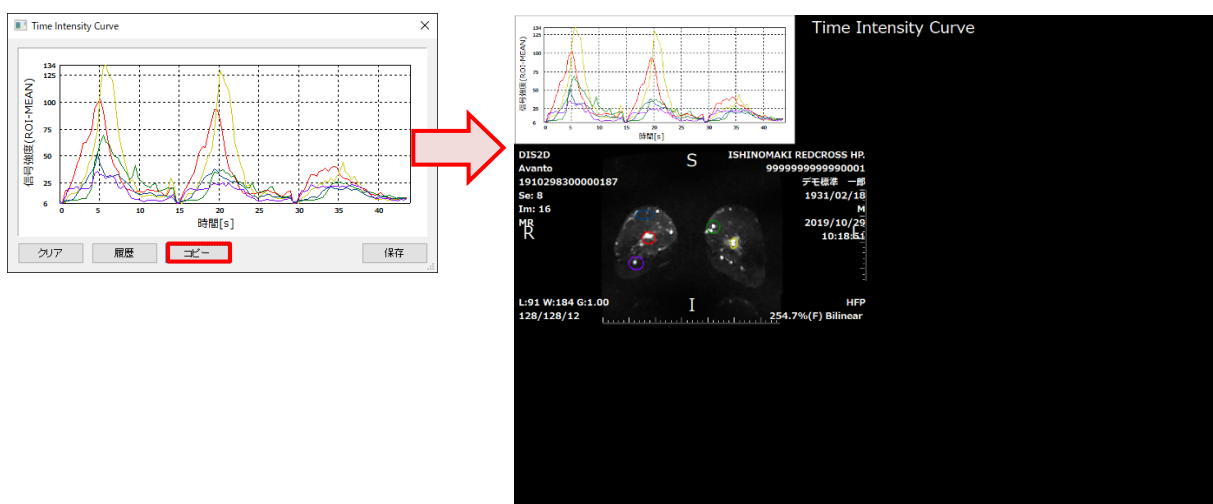
選択した履歴を削除します。

[OK]ボタン

選択した履歴の ROI/グラフを反映します。また、リスト上の履歴をダブルクリックで同様の動作を行います。

<コピー>

[コピー]ボタンを押すと、TIC 画面と ROI を作成した画像をクリップボードにコピーします。



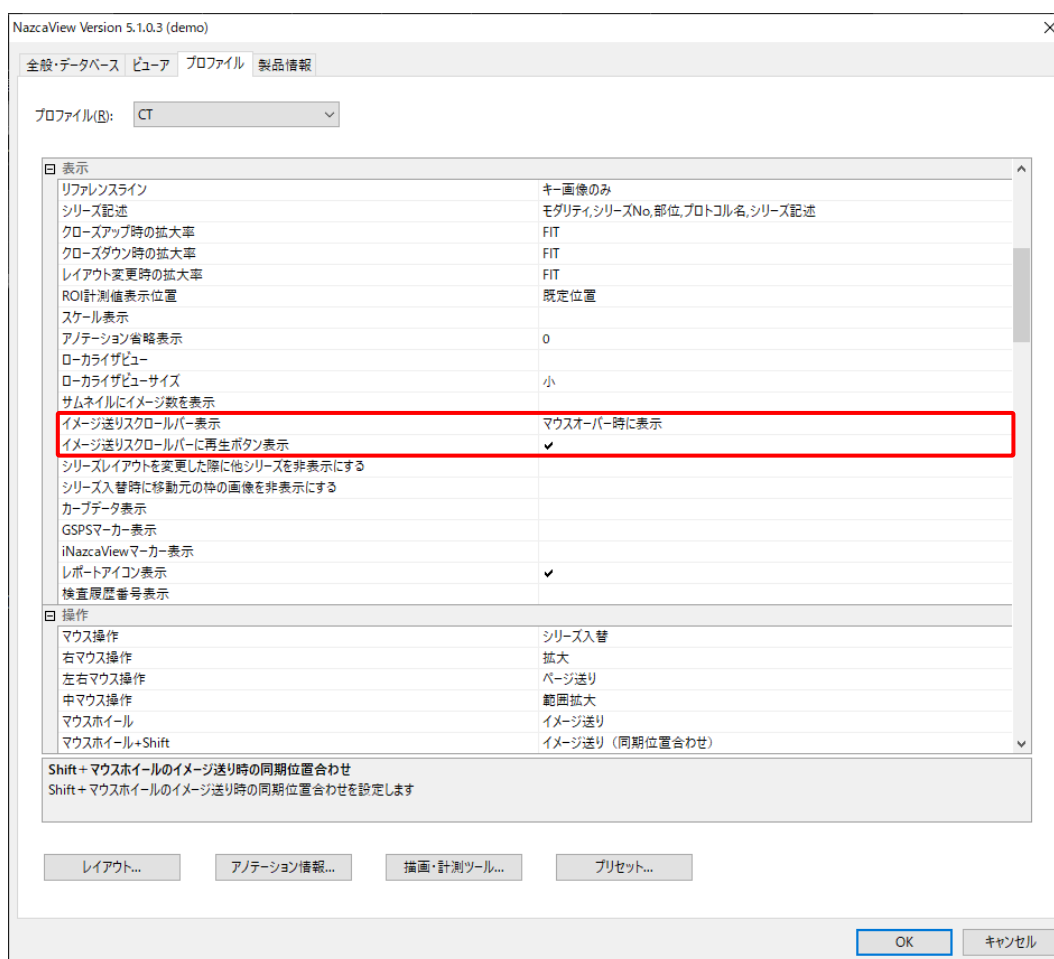
＜設定方法＞

・イメージ送りスクロールバーの表示

ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）＞[プロファイル]タブ内の表示カテゴリ内の「イメージ送りスクロールバー表示」で「マウスオーバー時に表示」「常に表示」「表示しない」から選択ができます。

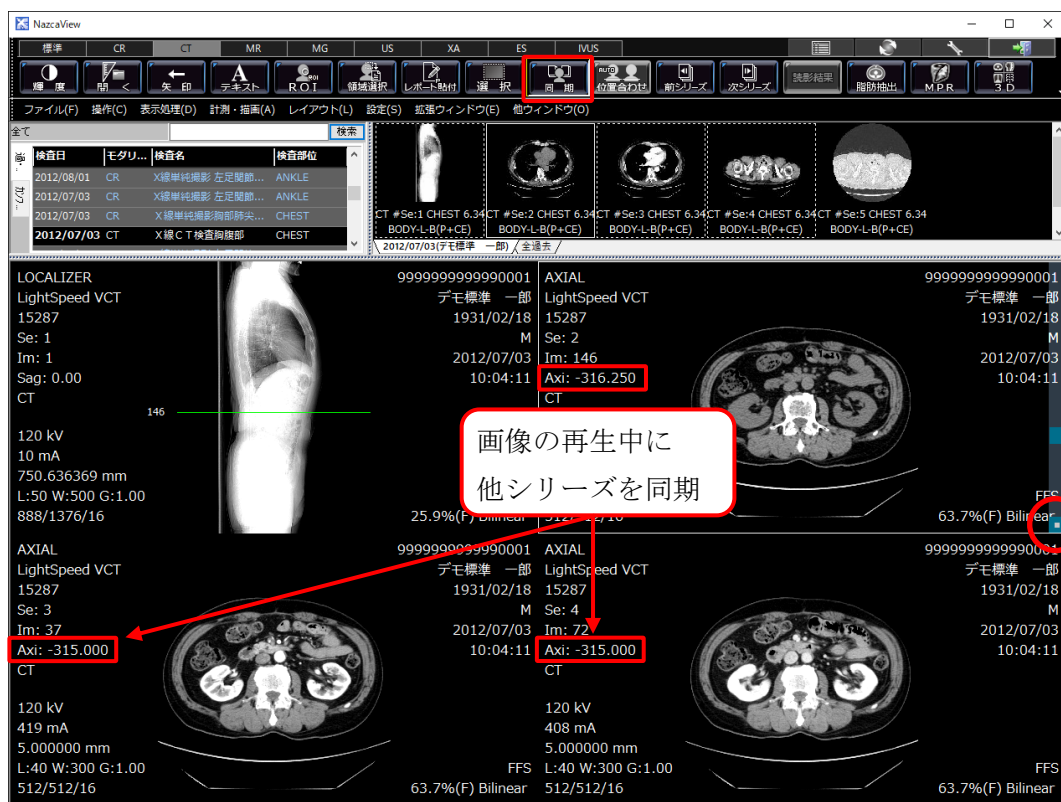
・再生ボタンの表示

表示カテゴリ内の「イメージ送りスクロールバーに再生ボタン表示」にチェックを入れると、再生ボタンをスクロールバーに表示します。



ワンポイント

画像の再生時に他シリーズも同期して再生することができます。



<設定方法>

ビュー画面右上の設定ボタン（スパナボタン）>[プロファイル]タブ内の動画カテゴリ内の「動画再生フレーム同期」を「実行する」に設定します。

